

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 570 集

あいの

こばやしきなが

# 合野遺跡・小林繁長遺跡発掘調査報告書

経営体育成基盤整備事業白山地区関連遺跡発掘調査

2010

岩手県県南広域振興局農林部農村整備室

(財) 岩手県文化振興事業団

# 合野遺跡・小林繁長遺跡発掘調査報告書

経営体育成基盤整備事業白山地区関連遺跡発掘調査

## 序

本県には、旧石器時代をはじめとする1万箇所を超す遺跡や重要な埋蔵文化財が数多く残されています。それらは、地域の風土と歴史が生み出した遺産であり、本県の歴史や文化、伝統を正しく理解するのに欠くことのできない歴史資料です。同時に、それらは県民のみならず国民的財産であり、将来にわたって大切に保存し、活用を図らなければなりません。

一方、豊かな県土づくりには公共事業や社会資本整備が必要ですが、それらの開発にあたっては、環境との調和はもちろんのこと、地中に埋もれ、その土地とともにある埋蔵文化財保護との調和も求められているところです。

当事業団埋蔵文化財センターは、設立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、その調査記録を保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、経営体育成基盤整備事業白山地区に関連して平成20年度に発掘調査された合野遺跡・小林蛇長遺跡の調査成果をまとめたものです。今回の調査では、縄文時代の集落やその周辺に形成された捨て場や狩猟場の様相、平安時代における墓域の一端が明らかとされ、近世の御窓跡も見つかっております。

本書が広く活用され、埋蔵文化財についての关心や理解につながると同時に、その保護や活用、学術研究、教育活動などに役立てられれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査及び報告書の作成にあたり、ご理解とご協力を頂きました岩手県県南広域振興局農林部農村整備室、奥州市教育委員会、奥州市埋蔵文化財センターはじめとする関係各位に対し、深く感謝の意を表します。

平成22年2月

財團法人 岩手県文化振興事業団  
理事長 武田牧雄

## 例　　言

- 1 本報告書は、岩手県奥州市前沢区白山字合野地内に所在する合野遺跡の発掘調査及び、岩手県奥州市前沢区白山字小林地内に所在する小林繁長遺跡の発掘調査の結果を収録したものである。
- 2 岩手県遺跡登録台帳における遺跡番号・調査略号は、次の通りである。  
合野遺跡　／遺跡番号NE47-0084／遺跡略号AN-08  
小林繁長遺跡／遺跡番号NE47-1046／遺跡略号KBSN-08
- 3 本遺跡の発掘調査は、経営体育成基盤整備事業白山地区に伴い、岩手県教育委員会の調整を経て、岩手県県南広域振興局農林部農村整備室の委託を受けた㈲岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが、記録保存を目的として実施した緊急発掘調査である。
- 4 野外調査及び室内整理期間・調査面積・担当者は、次の通りである。  
合野遺跡  
　野外調査 平成20年4月1日～平成20年6月30日／4,275m<sup>2</sup>／菊池昌彦・杉沢昭太郎  
　室内整理 平成20年11月1日～平成21年3月31日　　／菊池昌彦  
小林繁長遺跡  
　野外調査 平成20年7月1日～平成20年10月31日／3,989m<sup>2</sup>／杉沢昭太郎・菊池昌彦  
　室内整理 平成20年11月1日～平成21年3月31日　　／杉沢昭太郎
- 5 基準点測量は、合野遺跡が興国設計株式会社、小林繁長遺跡がアクト技術開発株式会社、航空写真は両遺跡とも東邦航空株式会社に委託した。
- 6 本報告書はⅠ「調査に至る経過」を岩手県県南広域振興局農林部農村整備室、Ⅱ・Ⅲを杉沢・菊池、Ⅳ「合野遺跡」を菊池、V「小林繁長遺跡」が杉沢が中心となって執筆した。
- 7 分析鑑定は石質鑑定のみで、花崗岩研究会に委託した。
- 8 発掘調査では、岩手県県南広域振興局農林部農村整備室・奥州市教育委員会ならびに遺跡周辺住民の方々に多大なるご協力をいただいた。
- 9 野外調査では、奥州市内の作業員の方々にご協力をいただいた。
- 10 土層の色調は、「標準土色帳」(農林水産省農林技術会議局監修)に準拠した。
- 11 本報告書で使用した地形図は国土地理院のもので、図毎に図幅名を記している。
- 12 本遺跡本調査の結果は、先に「合野遺跡現地公開資料」(平成20年6月25日)「小林繁長遺跡現地公開資料」(平成20年10月17日)「平成20年度発掘調査報告書」第546集(平成21年3月31日)において発表しているが、本書の内容が優先するものである。
- 13 本遺跡の出土遺物及び諸記録類は、岩手県立埋蔵文化財センターにおいて保管している。

## 目 次

|                       |    |
|-----------------------|----|
| I 調査に至る経過.....        | 1  |
| II 遺跡の立地と環境.....      | 2  |
| 1 遺跡の位置 .....         | 2  |
| 2 地形・地質 .....         | 3  |
| 3 歴史的環境と周辺の遺跡 .....   | 4  |
| III 野外調査と室内整理の方法..... | 7  |
| 1 合野遺跡 .....          | 7  |
| 2 小林繁長遺跡 .....        | 9  |
| IV 合野遺跡.....          | 20 |
| 1 基本層序 .....          | 20 |
| 2 検出された遺構と出土遺物 .....  | 20 |
| (1) 掘立柱建物跡 .....      | 20 |
| (2) 井戸跡 .....         | 21 |
| (3) 円形周溝 .....        | 24 |
| (4) 土坑 .....          | 26 |
| (5) 陷し穴状遺構 .....      | 37 |
| (6) 溝 .....           | 37 |
| (7) 焼土状遺構 .....       | 50 |
| (8) 柱穴状土坑 .....       | 51 |
| (9) 出土遺物 .....        | 55 |
| 3 まとめ .....           | 62 |
| V 小林繁長遺跡 .....        | 69 |
| 1 基本層序 .....          | 69 |
| 2 検出された遺構と出土遺物 .....  | 69 |
| (1) 竪穴住居跡 .....       | 69 |
| (2) 住居状遺構 .....       | 69 |
| (3) 掘立柱建物跡 .....      | 70 |
| (4) 井戸跡 .....         | 70 |

|              |         |
|--------------|---------|
| (5) 上 坑      | 71      |
| (6) 溝        | 74      |
| (7) 焼 土・炉 跡  | 76      |
| (8) 捨 て 場    | 78      |
| (9) 柱 穴 群    | 79      |
| (10) 出 上 遺 物 | 79      |
| 3 ま と め      | 139     |
| 報告書抄録        | 233・234 |

## 表 目 次

|                |     |
|----------------|-----|
| 第1表 周辺の遺跡      | 5   |
| 〈合野遺跡〉         |     |
| 第2表 柱穴状土坑観察表   | 51  |
| 第3表 縄文土器観察表    | 56  |
| 第4表 上部器・須恵器観察表 | 56  |
| 第5表 陶磁器観察表     | 57  |
| 第6表 石器観察表      | 57  |
| 〈小林繁長遺跡〉       |     |
| 第7表 縄文土器観察表    | 128 |
| 第8表 石器観察表      | 136 |

## 図 版 目 次

|                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| 第1図 岩手県と前沢区の位置                   | 2     |
| 第2図 2遺跡の位置                       | 2     |
| 第3図 地形図                          | 3     |
| 第4図 周辺の遺跡                        | 4     |
| 〈合野遺跡〉                           |       |
| 第8図 合野遺跡基本層序                     | 15    |
| 第9図 合野遺跡構造配置図(1)                 | 16・17 |
| 第10図 合野遺跡構造配置図(2)                | 18・19 |
| 第11図 1～4号掘立柱建物跡                  | 22    |
| 第12図 1～3号井戸跡                     | 23    |
| 第13図 4号井戸跡、1号円形馬溝、1号土坑           | 25    |
| 第14図 2～6号土坑                      | 27    |
| 第15図 7～11号土坑                     | 29    |
| 第16図 12～15号土坑                    | 31    |
| 第17図 16～22号土坑                    | 33    |
| 第18図 23号土坑、1号階下穴状遺構、1～3号溝        | 35    |
| 第19図 4～6号溝                       | 38    |
| 〈小林繁長遺跡〉                         |       |
| 第31図 小林繁長遺跡基本層序                  | 69    |
| 第51図 合野遺跡・小林繁長遺跡調査区全体図           | 10    |
| 第52図 合野遺跡・小林繁長遺跡調査区全体図           | 11    |
| 第6図 小林繁長遺跡グリッド図                  | 12・13 |
| 第7図 合野遺跡グリッド図                    | 14    |
| 第20図 7～9・11号溝                    | 39    |
| 第21図 10・12～14号溝                  | 41    |
| 第22図 15～18号溝                     | 43    |
| 第23図 19・20号溝                     | 45    |
| 第24図 21・22号溝                     | 48    |
| 第25図 1～4号焼土                      | 49    |
| 第26図 縄文土器、土師器、須恵器(1)             | 58    |
| 第27図 土師器、須恵器(2)、陶磁器              | 59    |
| 第28図 石器(1)                       | 60    |
| 第29図 石器(2)                       | 61    |
| 第30図 合野遺跡過年度調査、今年度調査、道上遺跡過年度調査より | 64・65 |
| 第32図 小林繁長遺跡遺構配置図(1)              | 86    |

|      |                                     |     |      |                                       |     |
|------|-------------------------------------|-----|------|---------------------------------------|-----|
| 第33図 | 小林繁長遺跡遺構配図(2).....                  | 87  | 第55図 | 9区捨て場出土土器9.....                       | 109 |
| 第34図 | 1号堅穴住居跡、炉.....                      | 88  | 第56図 | 9区捨て場出土上土器10.....                     | 110 |
| 第35図 | 1号住居状遺構、1号掘立柱建物跡.....               | 89  | 第57図 | 9区捨て場出土土器11.....                      | 111 |
| 第36図 | 1号井戸跡、1～3号土坑.....                   | 90  | 第58図 | 9区捨て場出土土器12.....                      | 112 |
| 第37図 | 4・7～11号土坑.....                      | 91  | 第59図 | 9区捨て場出土上土器13.....                     | 113 |
| 第38図 | 12～14号土坑、1号溝.....                   | 92  | 第60図 | 9区捨て場出土土器14.....                      | 114 |
| 第39図 | 2～8号溝.....                          | 93  | 第61図 | 9区捨て場出土土器15.....                      | 115 |
| 第40図 | 1～4号焼土、1号炉.....                     | 94  | 第62図 | 9区捨て場出土土器16.....                      | 116 |
| 第41図 | 9区上土器捨て場(1)トレレンチ番号図(2)<br>遺構配図..... | 95  | 第63図 | 9区捨て場出土土器17、2区捨て場<br>及びその近辺出土土器1..... | 117 |
| 第42図 | 9区土器捨て場(3)土器集中範囲.....               | 96  | 第64図 | 2区捨て場及びその近辺出土土器2.....                 | 118 |
| 第43図 | 9区土器捨て場周辺の地形.....                   | 97  | 第65図 | 2区捨て場及びその近辺出土土器3.....                 | 119 |
| 第44図 | 2区捨て場.....                          | 98  | 第66図 | 2区捨て場及びその近辺出土土器4.....                 | 120 |
| 第45図 | 9区捨て場.....                          | 99  | 第67図 | 2区捨て場及びその近辺出土土器5ほか.....               |     |
| 第46図 | 遺構内出土土器、土製品、石製品.....                | 100 |      |                                       | 121 |
| 第47図 | 5区出土土器、9区捨て場出土土器1.....              | 101 | 第68図 | 石器1.....                              | 122 |
| 第48図 | 9区捨て場出土土器2.....                     | 102 | 第69図 | 石器2.....                              | 123 |
| 第49図 | 9区捨て場出土土器3.....                     | 103 | 第70図 | 石器3.....                              | 124 |
| 第50図 | 9区捨て場出土土器4.....                     | 104 | 第71図 | 石器4.....                              | 125 |
| 第51図 | 9区捨て場出土土器5.....                     | 105 | 第72図 | 石器5.....                              | 126 |
| 第52図 | 9区捨て場出土土器6.....                     | 106 | 第73図 | 石器6.....                              | 127 |
| 第53図 | 9区捨て場出土土器7.....                     | 107 | 第74図 | 参考資料・小染川第I～III群土器.....                | 144 |
| 第54図 | 9区捨て場出土土器8.....                     | 108 | 第75図 | 参考資料・小染川第IV～Ⅵ群土器.....                 | 145 |

## 写真図版目次

### 〈合野遺跡〉

|       |                              |     |        |                      |     |
|-------|------------------------------|-----|--------|----------------------|-----|
| 写真図版1 | 航空写真(1).....                 | 149 | 写真図版10 | 16～20号土坑.....        | 158 |
| 写真図版2 | 航空写真(2).....                 | 150 | 写真図版11 | 21～23号土坑、1・2号溝.....  | 159 |
| 写真図版3 | 調査前の状況、1号掘立柱建物跡<br>.....     | 151 | 写真図版12 | 1～6号溝.....           | 160 |
| 写真図版4 | 2号掘立柱建物跡、1号井戸跡、12号溝<br>..... | 152 | 写真図版13 | 7～10号溝.....          | 161 |
| 写真図版5 | 2～4号井戸跡、1号陥し穴状遺構<br>.....    | 153 | 写真図版14 | 11～15号溝.....         | 162 |
| 写真図版6 | 1号円形溝、1号土坑.....              | 154 | 写真図版15 | 16～20号溝.....         | 163 |
| 写真図版7 | 2～6号土坑.....                  | 155 | 写真図版16 | 21～22号溝、1～3号焼土.....  | 164 |
| 写真図版8 | 7～10号土坑.....                 | 156 | 写真図版17 | 4号焼土、斜面区調査終了状況.....  | 165 |
| 写真図版9 | 11～15号土坑.....                | 157 | 写真図版18 | 繩文土器、土師器、須恵器(1)..... | 166 |
|       |                              |     | 写真図版19 | 土師器、須恵器(2)、陶磁器.....  | 167 |
|       |                              |     | 写真図版20 | 石器、ガラス製品.....        | 168 |

### 〈小林繁長遺跡〉

|        |                |     |        |              |     |
|--------|----------------|-----|--------|--------------|-----|
| 写真図版21 | 遺跡遠景.....      | 171 | 写真図版23 | 遺跡近景(2)..... | 173 |
| 写真図版22 | 遺跡近景(1)ほか..... | 172 | 写真図版24 | 遺跡近景(3)..... | 174 |

|        |                            |     |        |                          |     |
|--------|----------------------------|-----|--------|--------------------------|-----|
| 写真図版25 | 遺跡近景 (4).....              | 175 | 写真図版54 | 縄文土器 5 .....             | 201 |
| 写真図版26 | 各調査区 (1).....              | 176 | 写真図版55 | 縄文土器 6 .....             | 205 |
| 写真図版27 | 各調査区 (2).....              | 177 | 写真図版56 | 縄文土器 7 .....             | 206 |
| 写真図版28 | 各調査区 (3).....              | 178 | 写真図版57 | 縄文土器 8 .....             | 207 |
| 写真図版29 | 各調査区 (4).....              | 179 | 写真図版58 | 縄文土器 9 .....             | 208 |
| 写真図版30 | 各調査区 (5).....              | 180 | 写真図版59 | 縄文土器10 .....             | 209 |
| 写真図版31 | 各調査区 (6).....              | 181 | 写真図版60 | 縄文土器11 .....             | 210 |
| 写真図版32 | 1号竪穴住居跡 (1).....           | 182 | 写真図版61 | 縄文土器12 .....             | 211 |
| 写真図版33 | 1号竪穴住居跡 (2).....           | 183 | 写真図版62 | 縄文土器13 .....             | 212 |
| 写真図版34 | 1号竪穴住居跡(3)、1号住居状遺構(1)..... | 184 | 写真図版63 | 縄文土器14 .....             | 213 |
|        |                            |     | 写真図版64 | 縄文土器15 .....             | 214 |
| 写真図版35 | 1号住居状遺構 (2).....           | 185 | 写真図版65 | 縄文土器16 .....             | 215 |
| 写真図版36 | 上坑 (1).....                | 186 | 写真図版66 | 縄文土器17 .....             | 216 |
| 写真図版37 | 下坑 (2).....                | 187 | 写真図版67 | 縄文土器18 .....             | 217 |
| 写真図版38 | 土坑 (3).....                | 188 | 写真図版68 | 縄文土器19 .....             | 218 |
| 写真図版39 | 井戸跡.....                   | 189 | 写真図版69 | 縄文土器20 .....             | 219 |
| 写真図版40 | 溝 (1).....                 | 190 | 写真図版70 | 縄文土器21 .....             | 220 |
| 写真図版41 | 溝 (2) ほか .....             | 191 | 写真図版71 | 縄文土器22 .....             | 221 |
| 写真図版42 | 焼土.....                    | 192 | 写真図版72 | 縄文土器23 .....             | 222 |
| 写真図版43 | 1号掘立柱建物跡、1号炉跡(1).....      | 193 | 写真図版73 | 縄文土器24、土師器、須恵器、陶磁器 ..... | 223 |
| 写真図版44 | 1号炉跡 (2)、9区捨て場 (1).....    | 194 |        |                          |     |
| 写真図版45 | 9区捨て場 (2).....             | 195 | 写真図版74 | 陶磁器、土製品、石製品 .....        | 224 |
| 写真図版46 | 9区捨て場 (3).....             | 196 | 写真図版75 | 石器 1 .....               | 225 |
| 写真図版47 | 9区捨て場 (4).....             | 197 | 写真図版76 | 石器 2 .....               | 226 |
| 写真図版48 | 9区捨て場 (5).....             | 198 | 写真図版77 | 石器 3 .....               | 227 |
| 写真図版49 | 9区捨て場 (6) ほか .....         | 199 | 写真図版78 | 石器 4 .....               | 228 |
| 写真図版50 | 縄文土器 1 .....               | 200 | 写真図版79 | 石器 5 .....               | 229 |
| 写真図版51 | 縄文土器 2 .....               | 201 | 写真図版80 | 石器 6 .....               | 230 |
| 写真図版52 | 縄文土器 3 .....               | 202 | 写真図版81 | 羽L1、鉄滓ほか .....           | 231 |
| 写真図版53 | 縄文土器 4 .....               | 203 | 写真図版82 | 羽L1、鉄滓ほか .....           | 232 |

## I 調査に至る経過

合野、小林繁長の2遺跡は、経営体育成基盤整備事業白山地区の施工に伴い事業区域内に位置することから、埋蔵文化財調査を実施することになったものである。

本事業は、前沢区白山地区の約270haをほ場整備するもので、大部分は昭和29年～31年の非補助土地改良事業により10a区画に整備されているが、農道幅員が2～3mと狭小で農作業の効率が悪く、水路は用排兼用土水路のため用水不足や排水不良をきたし維持管理に多大な労力を投じている現状である。よって本事業により営農規模拡大を目指した大区画ほ場とし、作業体系の受委託および農地の流動化を促進し経営規模拡大による担い手農家の育成を図ると共に、生産コスト低減のための整備を行ない近代農業化による農業経営の安定を期するものである。

本事業の施行に係る埋蔵文化財の取り扱いについては、ほ場整備事業主体の水沢地方振興局農政部農村整備室（県南広域振興局農林部農村整備室）が、平成16年9月30日付け水地農整第396-3号（合野遺跡）、平成19年10月26日付け県南広農整第529-3号（小林繁長遺跡）で県教育委員会に試掘調査を依頼した。

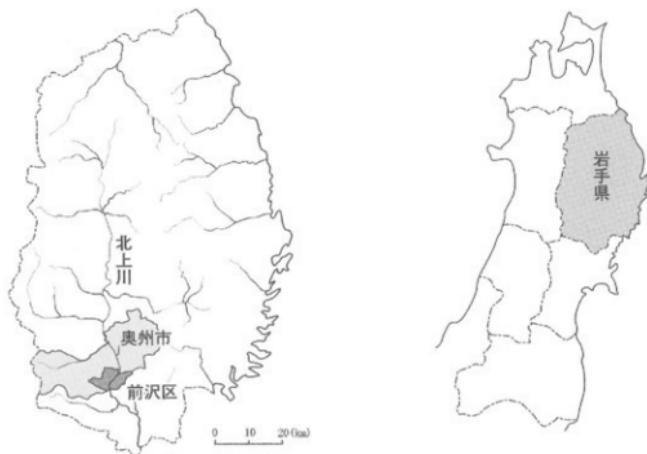
依頼を受けた県教育委員会は、平成17年1月7日付け教生第1409号（合野遺跡）、平成19年12月3日付け教生第1021号（小林繁長遺跡）でそれぞれ回答を行ない、いずれの遺跡も発掘調査が必要となつた。これを受けて財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに発掘調査を委託することになった。

（岩手県県南広域振興局農林部農村整備室）

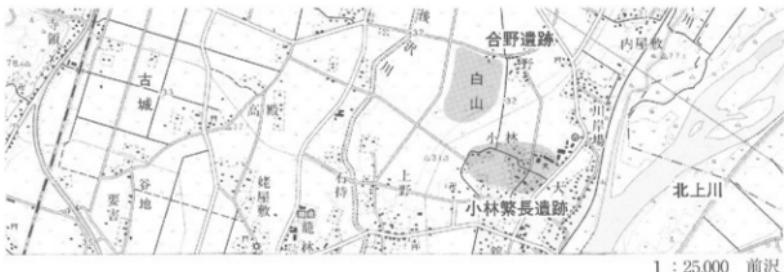
## II 遺跡の立地と環境

### 1 遺跡の位置

合野遺跡、小林繁長遺跡のある奥州市前沢区は岩手県南の内陸南部、北上盆地の南側に位置する。前沢区はもともと「前沢町」であったが、平成18年に周辺の水沢市、江刺市、胆沢町、衣川村と合併し「奥州市前沢区」となった。合野、小林繁長両遺跡とともに奥州市前沢区白山に所在している。合野遺跡は北緯39度4分25秒、東経141度9分20秒周辺に、小林繁長遺跡は北緯39度4分15秒、東経141度9分30秒周辺に位置している。標高は合野遺跡が31~32m、小林繁長遺跡が30mほどである。いずれも現況は水田や畑となっている。遺跡周辺は古くから米作を中心とした農業を基幹産業とする地域だが、米作のみならず全国的ブランドとなった「前沢牛」の飼育を行っている農家も多く見られる。



第1図 岩手県と前沢区の位置

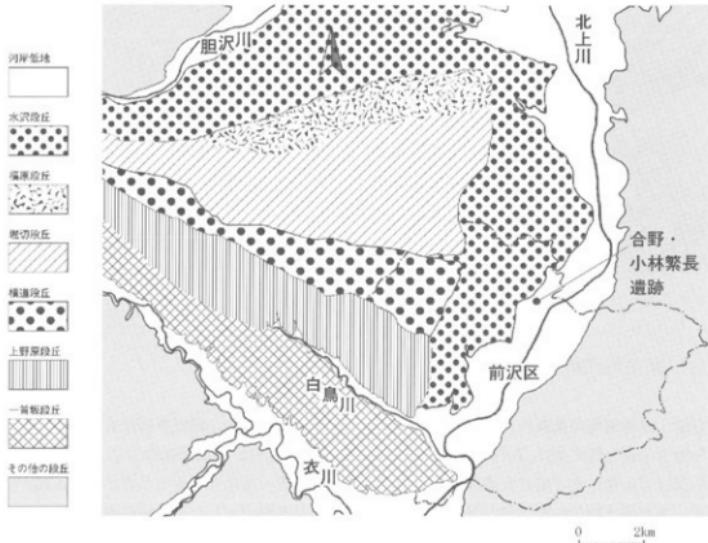


第2図 2遺跡の位置

## 2 地形・地質

ここでは、合野・小林繁長両遺跡がある奥州市前沢区及びその周辺の地理的環境について述べる。北上川水系の視点から見ると、奥州市前沢区は北上川中流域の南端に位置する。前沢区は北上側を挟んだ東西で地形が異なる。北上川の東側は、河岸低地とその東側の山や丘が連なる丘陵地帯から成り立ち、それらの丘陵地帯は第三紀層に相当する北上山系である。河岸低地から丘陵地帯へ急激に標高が高くなる地形になっている。また西側には河岸低地と胆沢扇状地が広がっている。胆沢扇状地は奥羽山系の底部、胆沢区若柳の市野々を扇頂部とし、東に向かって段丘面が広がっている。それらの段丘面は高位から一首坂段丘、西根段丘、胆沢段丘群に分類され、さらに胆沢段丘群は高位から上野原段丘、横道段丘、堀切段丘に細分される。いずれの段丘も高位から順に北に向かって分布し、胆沢段丘の北端部（堀切段丘の北端部）には胆沢川が流れている。胆沢川の浸食作用が北に向かって進んだ地形である。それらの高位段丘の北側と東側には低位段丘である水沢段丘が広がり、広範な洪積層の平坦地が展開する。さらに東側の北上川に近い部分には、堆積作用による沖積層の河岸低地が展開する。ただし水沢段丘と河岸低地はほぼ平坦に統くので、地形的に厳密な境界が見られるわけではない。また白鳥川周辺には、河川の浸食を受けた河岸低地が一首坂段丘と上野原段丘に挟まれるように分布している。白鳥川周辺も含め前沢区の北上川西側は水沢段丘、河岸低地が広がり、合野・小林繁長両遺跡とともに河岸低地に立地している。

地質的には北上川西側の河岸低地を成す沖積層は、北上川の堆積作用によってできた腐食土壤または砂質土壤で成り立ち、両遺跡はこの沖積層上に立地する。なお胆沢扇状地を成す洪積層は、焼石岳や栗駒山付近から供給された火山灰の堆積土壤で成り立っており、河岸低地と地質が異なる。



第3図 地形図



第4図 周辺の遺跡

### 3 歴史的環境と周辺の遺跡

合野・小林繁長両遺跡のある前沢区及びその近辺の平野部には、確認されたものでは縄文時代前期から始まり縄文時代全般、古代、中世そして現代に至る長い期間、人間が生活していた痕跡が見られる。

胆沢区との境にある高日向遺跡では、縄文時代前期初頭～前葉期のものと思われる土器が出土している。また縄文時代中期以降の遺跡としては、中期の土器が出土した小林繁長遺跡、後期の土器が出

土した川岸場Ⅰ遺跡、縄文時代晚期～弥生時代の遺物が出土した川岸場Ⅰ・Ⅱ遺跡があげられる。他に本遺跡近辺で縄文時代晚期の土器が出土した遺跡として、小林繁長・八幡・青木の各遺跡があげられる。いずれにしても、縄文時代後期～晩期にかけてこの一帯にある程度の規模の集落が存在した可能性がある。

本遺跡の周辺は、平安時代の遺跡も多く確認されている。川岸場Ⅱ遺跡第2次調査や道上遺跡第1次調査では、平安時代の堅穴住居跡や土師器が出土している。縄文陶器などが出土した水ノ口、瓦などが出土した明後沢・日呂木本杉遺跡、土師器と須恵器が出土した中林B・大桜の各遺跡は平安時代の集落であったと思われる。また特筆すべき古代の遺物として、平成18年度に行われた道上遺跡3次調査では平安時代のものと思われる墨書き木質遺物（木杭）が出土した。

平安時代以降の遺跡としては、北上川が湾曲する部分の川岸にある白鳥館が知られている。平安時代末期の豪族である安部頼時の子、白鳥八郎の城として作られ、その後も室町時代まで城が存在したと言われている。中世や近世の遺跡では、城館や屋敷があったとされるところが多く確認されている。特に本遺跡の東約1kmに位置する川岸場Ⅱ遺跡には、天正16年（1588年）前後に「大室屋敷」と言わされた鈴木家の環濠屋敷があった。寛永19年（1642年）には、屋敷の南に仙台藩の御本石御蔵が置かれ、現前沢区内の各村の年貢が収納された。屋敷南側には川濱があり、石巻と盛岡を運ぶする船が停泊したという。

第1表 周辺の遺跡

| No | 遺跡名  | 時代    | 主な遺構、遺物等     | No | 遺跡名  | 時代    | 主な遺構、遺物等   |
|----|------|-------|--------------|----|------|-------|------------|
| 1  | 船戸   | 縄文    | 縄文土器、石器      | 33 | 小谷下  | 古代    | 土師器        |
| 2  | 増山   | 縄文、古代 | 縄文土器、十輪器、須恵器 | 34 | 吹張   | 平安    | 十輪器        |
| 3  | 中林B  | 平安    | 十輪器、須恵器      | 35 | 吹張窯跡 | 平安    | 須恵器        |
| 4  | 中林Ⅳ  | 平安    | 土師器、瓦        | 36 | 筋口   | 古代    | 土師器        |
| 5  | 堤ヶ沢Ⅱ | 平安    | 土師器、須恵器      | 37 | 五輪   | 縄文    | 縄文土器       |
| 6  | 堤ヶ沢Ⅰ | 平安    | 土師器、須恵器      | 38 | 内城吹塗 | 縄文～平安 | 縄文土器、土師器   |
| 7  | 折居館  | 中世    |              | 39 | 迎館   | 平安、中世 | 須恵器、中世陶器   |
| 8  | 要害   | 中世、近世 | 塹、土塁         | 40 | 本宿迎館 | 弥生?   | 弥生土器、石器    |
| 9  | 北館   | 中世    | 土師器          | 41 | 津林Ⅰ  | 縄文～古代 | 洞片、土師器     |
| 10 | 北館東Ⅱ | 縄文、古代 |              | 42 | 津林Ⅱ  | 古代    | 土師器        |
| 11 | 北館東Ⅰ | 古代    | 土師器          | 43 | 松島   | 平安    | 土師器        |
| 12 | 谷地   | 中世、近世 | 土師器          | 44 | 柴田   | 平安    | 土師器        |
| 13 | 二ツ湖南 | 平安    | 土師器、須恵器      | 45 | 林Ⅰ   | 古代    | 土師器        |
| 14 | 谷地館  | 平安    | 土師器          | 46 | 林Ⅱ   | 古代    | 土師器        |
| 15 | 二ツ湖  | 平安、中世 | 土師器、須恵器、中世   | 47 | 六日入城 | 古代、中世 | 塹、塚、土塁     |
| 16 | 二ツ湖北 | 平安    | 土師器          | 48 | 水ノ口  | 縄文、平安 | 土師器、須恵器    |
| 17 | 上手南  | 平安    | 十輪器、須恵器      | 49 | 迎野Ⅱ  | 古代    | 土師器、須恵器    |
| 18 | 土手北  | 平安    | 土師器、須恵器      | 50 | 南下田  | 平安    | 須恵器        |
| 19 | 奥城落合 | 平安    | 土師器          | 51 | 下船田  | 平安    | 須恵器        |
| 20 | 寺ヶ前Ⅰ | 平安    | 土師器          | 52 | 迎野Ⅰ  | 古代    | 土師器、須恵器    |
| 21 | 寺ヶ前Ⅱ | 平安    | 土師器          | 53 | 高根Ⅰ  | 古代    | 土師器、須恵器    |
| 22 | 寺ヶ前Ⅲ | 平安    | 土師器          | 54 | 高根Ⅱ  | 古代    | 土師器、須恵器    |
| 23 | 島田Ⅲ  | 平安    | 土師器          | 55 | 堂田Ⅰ  | 古代    | 土師器、須恵器    |
| 24 | 島田Ⅱ  | 平安    | 土師器、須恵器      | 56 | 篠林   | 中世、近世 | 一字一石継、埴輪   |
| 25 | 島田Ⅳ  | 平安    | 土師器          | 57 | 堂田Ⅱ  | 古代    | 土師器、須恵器    |
| 26 | 島田Ⅰ  | 平安    | 土師器、瓦        | 58 | 勝子田  | 古代    | 土師器        |
| 27 | 原抜   | 平安    | 土師器          | 59 | 船台下  | 平安    | 土師器、須恵器    |
| 28 | 桃ノ門  | 平安    | 土師器          | 60 | 下町   | 古代    | 土塀、土師器、須恵器 |
| 29 | 小庄   | 平安    | 土師器          | 61 | 米角館  | 平安、中世 |            |

| No  | 遺跡名      | 時代         | 主な遺構、遺物等         | No  | 遺跡名    | 時代         | 主な遺構、遺物等      |
|-----|----------|------------|------------------|-----|--------|------------|---------------|
| 30  | 翁        | 古代         |                  | 62  | 明後沢    | 平安         | 住居跡、構築、土師器、瓦  |
| 31  | 橋本       | 弥生         | 弥生土器             | 63  | 鳥子沢    | 平安、中世      | 壙、土師器         |
| 32  | 庚申塚      | 平安         | 十輪器              | 64  | 黄葉     | 純文、古代      |               |
| 65  | 八郎館      | 純文、平安、中世   |                  | 114 | 合の沢A   | 純文中期、平安、中世 | 純文土器          |
| 66  | 興        | 純文、平安      | 純文土器、十輪器         | 115 | 合の沢B   | 純文前期       |               |
| 67  | 細野       | 平安         | 丸                | 116 | 崩水     | 純文         |               |
| 68  | 古或外ヶ沢    | 純文前期、古代    | 純文土器、土師器、石器      | 117 | 座場     | 純文         |               |
| 69  | 高日向      | 純文         | 土坑、縮し穴           | 118 | 三郎戸居熊跡 | 近世         |               |
| 70  | 高日向      | 純文前期、近世    | 純文土器、土坑、縮し穴      | 119 | 前田城    | 中世         | 李朝            |
| 71  | 四ツ屋      | 平安         | 十輪器              | 120 | 赤坂I    | 平安         |               |
| 72  | 雷神II     | 純文中期       | 純文土器、石器          | 121 | 赤坂II   | 純文         |               |
| 73  | 古城合ノ沢II  | 純文         |                  | 122 | 尊念寺山廬跡 | 近世         |               |
| 74  | 古城合ノ沢II  | 純文         |                  | 123 | 水坂Ⅲ    | 純文         |               |
| 75  | 古城七野     | 純文中期、古代    | 純文土器、土師器、石斧等     | 124 | 石石     | 純文         |               |
| 76  | 寺ノ上      | 古代         | 土師器              | 125 | 上ノ原    | 純文         | 土師器、須恵器、石器、石皿 |
| 77  | 長者館      | 中世         |                  | 126 | 斐森     | 平安         | 須恵器、土師器       |
| 78  | 丸庭庵      | 中世         | 埴、器              | 127 | 斐森C    | 純文         |               |
| 79  | 寺前冲      | 古代         | 土師器              | 128 | 白鳥塚    | 純文、平安、中世   | 器、壠、土器        |
| 80  | 尻尾       | 純文、古代      |                  | 129 | 南陣場窓跡  | 近世         |               |
| 81  | 内ノ町      | 中世         | 土師器、須恵器、陶器、鐵石    | 130 | 南陣場    | 純文早期、前期    |               |
| 82  | 中領城(柳山城) | 中世         | 壠、土器             | 131 | 徳沢I-里塚 | 近世         |               |
| 83  | 古城方八丁    | 純文、古代      | 純文土器             | 132 | 舞鶴公園   | 純文中期、古代    | 須恵器、石器        |
| 84  | 川前       | 古代         | 鍛冶跡、土師器、須恵器      | 133 | 徳沢I    | 純文         |               |
| 85  | 通上       | 純文、平安      | 青文土器、土器器、須恵器、木製品 | 134 | 新城I    | 純文、平安、中世   | 純文土器、十輪器、須恵器  |
| 86  | 字置       | 古代         |                  | 135 | 長坂     | 純文、旧石器     | 石器            |
| 87  | 字置II     | 古代         |                  | 136 | 新城II   | 平安         |               |
| 88  | 舟野       | 古代、近世      | 堅穴住居、獨立柱建物、土器器   | 137 | 新城III  | 近世         |               |
| 89  | 内匂敷      | 平安         | 十輪器              | 138 | 上木     | 純文後期       |               |
| 90  | 川岸塚II    | 純文後期、平安、元世 | 純文土器、石器、上木、土師器   | 139 | 船根     | 純文         |               |
| 91  | 川岸塚I     | 純文後期、弥生、平安 | 純文土器、石器          | 140 | 吉木     | 純文後期、晚期    | 純文土器          |
| 92  | 小林紫民     | 純文中期、晚期、弥生 | 純文土器、石器、十輪       | 141 | 牛母長根II | 平安?        |               |
| 93  | 白山上野     | 純文後期、平安    | 純文土器、土師器         | 142 | 牛母長根I  | 純文、平安?     |               |
| 94  | 大麻牛櫻     | 古代、中世      | 純文土器、石器          | 143 | 田谷     | 平安         |               |
| 95  | 八崎       | 純文後期       | 純文土器             | 144 | 荒屋     | 弥生         |               |
| 96  | 御船       | 古代         |                  | 145 | 小舟塚    | 山古墳、近世     |               |
| 97  | 飯塚岡      | 純文、平安      |                  | 146 | 赤生津城   | 中世         |               |
| 98  | 田高I      | 純文         | 純文土器             | 147 | 災仙坊塚   | 近世         |               |
| 99  | 田高II     | 純文前期、中期、中世 | 七輪器、須恵器、石斧       | 148 | 坂水     | 純文         |               |
| 100 | 魚田       | 中世         | 土師器、須恵器          | 149 | 二子I    | 純文中期       |               |
| 101 | 要害       | 古代、中世      | 土師器              | 150 | 二子II   | 中世、近世      |               |
| 102 | 上野台      | 中世         | 土師器              | 151 | 幹I     | 純文         |               |
| 103 | 安久沢東     | 中世~近世      | 古錢、馬鐵            | 152 | 上木山    | 純文         |               |
| 104 | 安那跡      | 古代、中世      | 須恵器              | 153 | 大谷地    | 弥生         |               |
| 105 | 竹沢       | 平安         | 須恵器              | 154 | 上木     | 純文、中世      | 純文土器、石器       |
| 106 | 森ヶ島      | 中世、近世      |                  | 155 | 赤間館    | 中世         | 石棒、棒棒         |
| 107 | 谷地       | 純文後期       |                  | 156 | 幹II    | 純文         |               |
| 108 | 日暮木本杉    | 古代         | 土師器、瓶            | 157 | 新田     | 純文         |               |
| 109 | 長塚高瀬     | 平安         |                  | 158 | 日向     | 純文         |               |
| 110 | 邊塚       | 純文         | 純文土器             | 159 | 葉輪     | 純文前期、中期    |               |
| 111 | 人塚       | 平安         | 土師器、須恵器          | 160 | 古船     | 中世         |               |
| 112 | 塔ノ崎      | 近世?        |                  | 161 | 竹ノ内    | 純文         |               |
| 113 | 柏ノ崎      | 純文、平安      | 純文土器、土師器、須恵器     | 162 | 羽場船    | 中世         |               |

| No  | 遺跡名    | 時代      | 主な遺構、遺物等 | No  | 遺跡名   | 時代    | 主な遺構、遺物等     |
|-----|--------|---------|----------|-----|-------|-------|--------------|
| 163 | 南在     | 縄文      | 縄文土器、石器  | 171 | 丸森縄塚  | 中世、近世 |              |
| 164 | 西船     | 縄文後期、中世 | 埴輪、土器、石器 | 172 | 下拂塚   | 中世    | 土器、空器等       |
| 165 | 谷地崩    | 縄文      |          | 173 | 丹波山   | 縄文、中世 | 縄文土器、土師器、須恵器 |
| 166 | 高ノ沢    | 縄文      |          | 174 | 十ヶ坊塚  | 中世、近世 | 埴輪           |
| 167 | 登高羽毛絆塚 | 平安末     |          | 175 | 鶴城    | 縄文、平安 | 縄文土器、須恵器     |
| 168 | 崖の櫻    | 縄文、平安   |          | 176 | 鶴城船   | 平安、中世 | 土器、須恵器、石器    |
| 169 | 古森蛇喰跡  | 近世～近代   |          | 177 | 山風石中前 | 縄文    | 縄文土器         |
| 170 | 白石沢    | 縄文      | 縄文土器     | 178 | 岩手坂神社 | 平安    | 社祠           |

### III 野外調査と室内整理の方法

#### 1 合野遺跡

##### (1) グリッド、調査区、基準点の設定(第7図)

前年度調査のグリッド設定に準じている。1辺100mの大グリッドにより調査区を区割りし、更にこれを1辺4mの小グリッドに分割している。大グリッド名は北から南方向へローマ数字のI、II、III…、西から東方向にアルファベット大文字のA,B,C…を組み合わせIA、IB…と表記した。小グリッド名は北から南方向に算用数字の1～25、西から東方向にアルファベット小文字のa～yを組み合わせ、la,lb…と表記し、グリッド呼称をIA2bといった表記とした。グリッド杭名称はグリッド北東隅の点に与えた。基準点は下表の通り設定した。調査区は3カ所に分かれることから、それぞれ北区、南区、斜面区と名付けた。

| 点名 | グリッド名 | 世界測地系   |       | 点名 | グリッド名 | 世界測地系   |       |
|----|-------|---------|-------|----|-------|---------|-------|
|    |       | X       | Y     |    |       | X       | Y     |
| 基1 | Ⅳ-A1k | -102800 | 27810 | A3 | ⅣB1ij | -102772 | 28010 |
| 基2 | ⅣC1q  | -102800 | 28168 | A4 | ⅣB2lj | -102880 | 28040 |
| A1 | ⅣA15e | -102760 | 27920 | A5 | ⅣC11c | -102810 | 28110 |
| A2 | ⅣA1le | -102840 | 27920 |    |       |         |       |

##### (2) 粗掘、遺構検出

最初に試掘トレーニングを設定して人力掘削を行い、土層の堆積状況と遺構検出面を確認した。水田内にある北区、南区は試掘結果と同様、IV層の黒褐色土及びV層の褐色土を遺構検出面と確認した。IV層の黒褐色土は水田造成時に掘削されたと思われる場所もあった。IV層で確認できた遺構はごく少数だったため、最終的には北区、南区ほぼ全域にわたって重機でV層直上まで重機で掘削し、遺構検出を行った。斜面区はII・III層それぞれの黒褐色土を遺構検出面と確認したが、III層の下部からも土器片や刷片を確認したため、最終的にはIV層まで掘削し、遺構検出や遺物確認を行った。

##### (3) 遺構精査、遺物の取り上げ、実測、写真撮影

遺構精査は土坑や井戸跡は2分法で行った。溝についてはベルトや調査区境の断面から堆積土の調査や実測を行った。柱穴は数が多かったため、作業の効率化を考慮し掘立建物跡になるのが明らかなるもの以外は1度で完掘した。遺物については遺構から出土したものは出土遺構を記録し、それ以外のものは層位を記録し取り上げた。接合できるものや原型をある程度とどめているものは出土地点を記録した。

断面実測は手書きで1/20の縮尺で行い、平面実測はコンピュータと光波トランシットによる電子平板実測を行った。写真撮影についてはデジタルカメラ1台とフィルムカメラ(35mmモノクローム)1台を使用した。広範囲にわたる撮影の場合は6×9cm判フィルムカメラによる撮影も行った。

#### (4) 野外調査の経過

4月10日～資材搬入、調査開始。4月は人手でのトレンチ掘削を中心に行作業を進める。北区、南区は遺物包含層としてIV層の黒褐色土を確認する。V層は黄褐色土層でこの層を最終的な遺構検出面とした。トレンチ内に柱穴を多数確認する。

4月21日：基準点打設（興國設計株式会社）。

5月1日：重機での表土掘削開始。5月の連休明けからは人手での検出作業と遺構の精査を併行して進める。精査を進める中で、柱穴が掘立柱建物跡となる遺構も確認する。

5月16日：重機での表土除去終了。溝、柱穴を多数と、焼土、土坑、井戸跡を確認する。

6月9日：北区の精査が終了。この時点で十坑19基、溝17条、井戸跡4基、焼土3基、陥し穴1基、柱穴約270個（内、掘立柱建物跡1棟）を確認する。

6月10日：南区の円形の遺構を井戸跡と予想していたが、精査の結果、円形周溝であることが判明。また、その東側に掘立柱建物跡も確認する。

6月16日：北区・南区の精査がほぼ完了。この時点で十坑27基、溝21基、井戸跡4基、焼土4基、陥し穴状遺構1基、柱穴約350個（内、掘立柱建物跡3棟）を確認。その後斜面部をトレンチ掘削で精査する。

6月17日：空撮（東邦航空株式会社）。

6月19日：斜面部はどの層からも土器片等の遺物が出土したが、最下層のVI層からも須恵器が出土したため、古代以降の土砂の流出でできた地形と判断する。遺構はなし。

6月20日：終了確認。この時点で調査はほぼ終了したが、柱穴の見落としがないか確認の検出作業を部分的に行う。晴天が続き検出面が硬く乾燥したため、水をまきながらの検出作業となる。

6月25日：現地公開。近隣で調査中の奥州市埋蔵文化財調査センターの調査員、作業員含め52名が来訪。

6月30日：調査終了。資材を小林繁長道路へ搬出。

#### (5) 室内整理

室内整理の期間は平成20年11月1日～平成21年3月31日で、従事した作業員は合野遺跡が前述の期間で1名である。

遺構のトレースや図版組は、コンピュータ上でデジタルデータとして処理した。図版にした際の縮尺は掘立柱建物跡1/100、井戸跡、円形周溝、土坑、陥し穴それぞれ1/50、溝の平面1/100（一部1/300）、断面1/50、焼土1/40とした。遺構の写真もコンピュータ上でデジタルデータとして図版組をした。

遺物は現場やセンターで水洗した後、遺跡番号、出土地点、層位等を注記し接合、実測、写真撮影を行った。遺物のトレースや図版組は手作業で行った。図版にした際の縮尺は、土器1/3、砾石器、石臼1/3、剥片石器1/2とした。石器の石質鑑定は外部機関に委託した。遺物の写真撮影は当センターの専門技師が行った。

## 2 小林繁長遺跡

### (1) グリッド、調査区、基準点の設定（第7図）

前年度調査のグリッド設定に準じている。1辺100mの大グリッドにより調査区を区割りし、更にこれを1辺4mの小グリッドに分割している。大グリッド名は北から南方向へローマ数字のⅠ、Ⅱ、Ⅲ…、西から東方向にアルファベット大文字のA,B,C…を組み合わせⅠA、ⅠB…と表記した。小グリッド名は北から南方向に算用数字の1~25、西から東方向にアルファベット小文字のa~yを組み合わせ、Ⅰa,Ⅰb…と表記し、グリッド呼称をⅠA2bといった表記とした。グリッド杭名称はグリッド北東隅の点に与えた。基準点は下表の通り設定した。調査区は10カ所に分かれることから、それぞれ1区～9区と名付けた。

| 点名 | 世界測地系       |           |        | 点名  | 世界測地系       |           |        |
|----|-------------|-----------|--------|-----|-------------|-----------|--------|
|    | X           | Y         | 標高(m)  |     | X           | Y         | 標高(m)  |
| 基1 | -103179.578 | 27926.592 | 29.514 | 補7  | -103164.000 | 28164.000 | 30.449 |
| 基2 | -103079.247 | 28547.135 | 29.660 | 補8  | -103078.000 | 28148.000 | 30.327 |
| 補1 | -103064.334 | 28137.081 | 30.342 | 補9  | -103094.000 | 28198.000 | 30.637 |
| 補2 | -103191.000 | 27961.000 | 29.550 | 補10 | -103028.000 | 28140.000 | 29.041 |
| 補3 | -103204.000 | 27998.000 | 29.398 | 補11 | -103068.000 | 28398.000 | 30.200 |
| 補4 | -103170.000 | 28008.000 | 29.246 | 補12 | -103084.000 | 28444.000 | 30.329 |
| 補5 | -103131.000 | 28031.000 | 30.277 | 補13 | -103066.000 | 28496.000 | 30.653 |
| 補6 | -103148.000 | 28104.000 | 30.460 | 補14 | -103070.000 | 28624.000 | 29.747 |

### (2) 粗掘、遺構検出

最初に試掘トレンチを設定して人力掘削を行い、土層の堆積状況と遺構検出面を確認した。基本的には地表面での遺構検出であるが、2区と9区には遺物包含層（本文では「捨て場」と記載）が形成されており、IV層での遺物の取り上げ並びに遺構検出を行った。ここでは3~4mグリッドごとにベルトを設定して平面・断面から遺構を探したものの結果的にIV層では遺構はなかった。

### (3) 遺構精査、遺物の取り上げ、実測、写真撮影

遺構精査は土坑や井戸跡は2分法で行った。溝についてはベルトや調査区境の断面から堆積土の調査や実測を行った。柱穴は数多かったため、作業の効率化を考慮し1度で完掘した。遺物については遺構から出土したものは出土遺構を記録し、それ以外のものは層位を記録し取り上げた。接合できるものや原型をある程度とどめているものは出土地点を記録した。9区捨て場出土遺物に関しては小グリッドごとに層位とまとまりで取り上げた。

断面実測は手書きで1/20の縮尺で行い、平面実測はコンピュータと光波トランシットによる電子平板実測を行った。写真撮影についてはデジタルカメラ1台とフィルムカメラ（35mmモノクローム）1台を使用した。広範囲にわたる撮影の場合は6×9cmフィルムカメラによる撮影も行った。

### (4) 室内整理

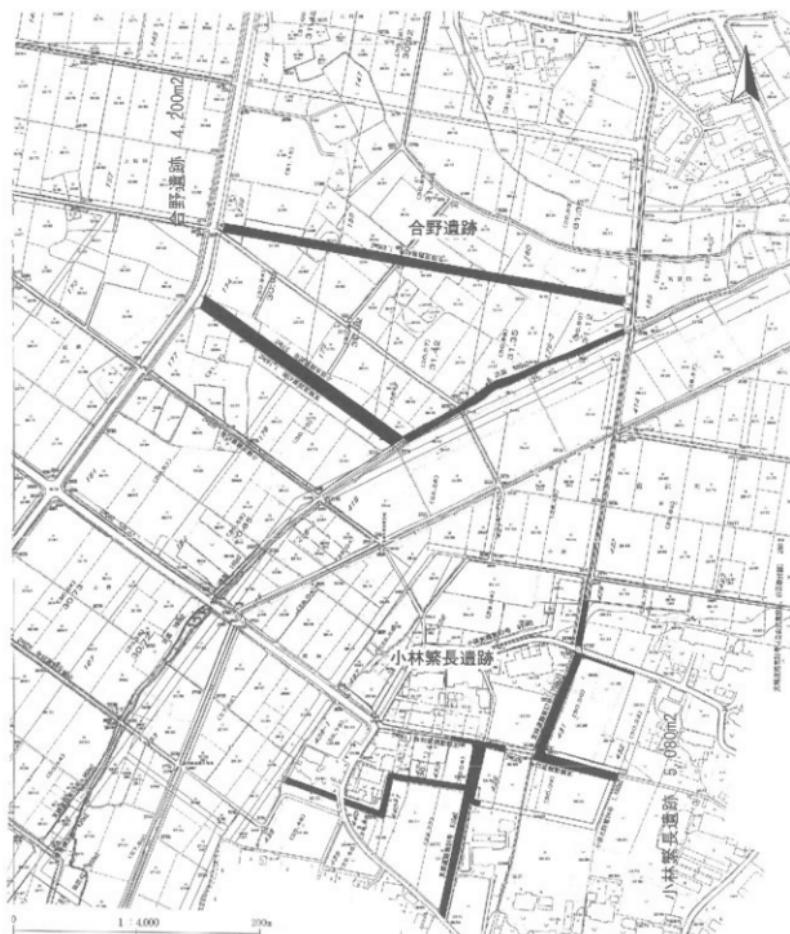
室内整理の期間は平成20年11月1日～平成21年3月31日である。

遺構のトレースや図版組は、コンピュータ上でデジタルデータとして処理した。図版にした際の縮尺は掘立柱建物跡1/100、井戸跡、円形周溝、土坑、陥し穴それぞれ1/50、溝の平面1/100（一部1/300）、断面1/50、焼上1/40とした。遺構の写真もコンピュータ上でデジタルデータとして図版組をした。

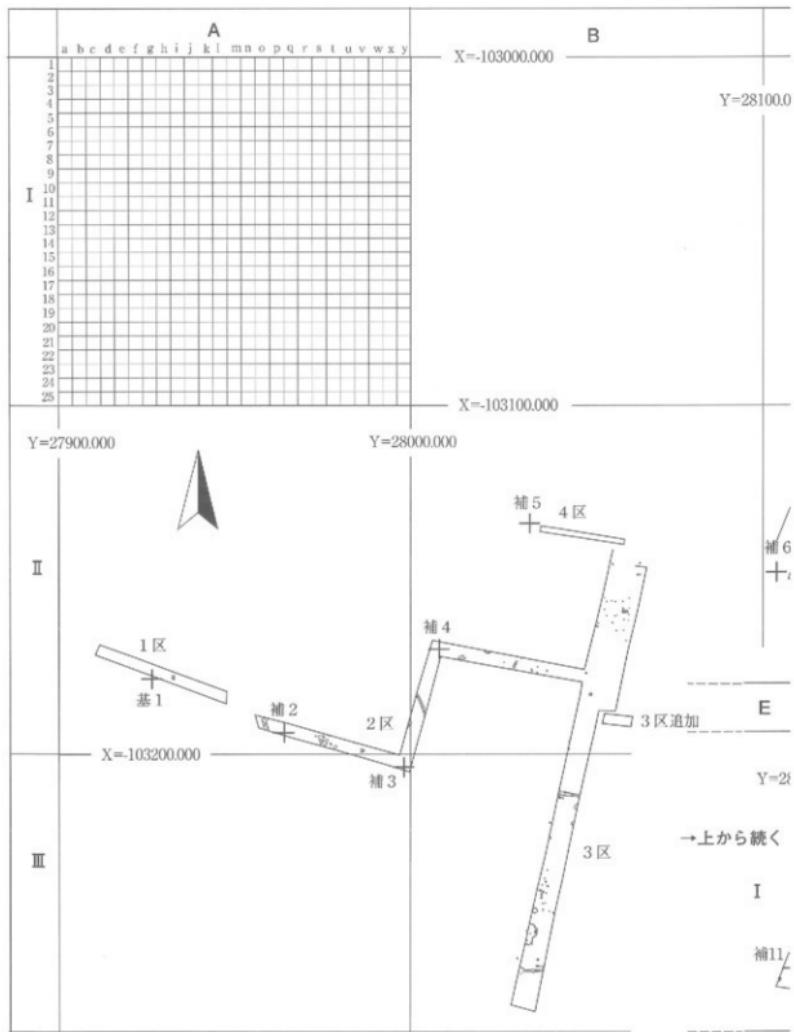
遺物は現場やセンターで水洗した後、遺跡番号、出土地点、層位等を注記し接合、実測、写真撮影を行った。遺物のトレースや図版組は手作業で行った。図版にした際の縮尺は、土器1/3、礫石器、石臼1/3、剥片石器1/2とした。石器の石質鑑定は外部機関に委託した。遺物の写真撮影は当センターの専門技師が行った。



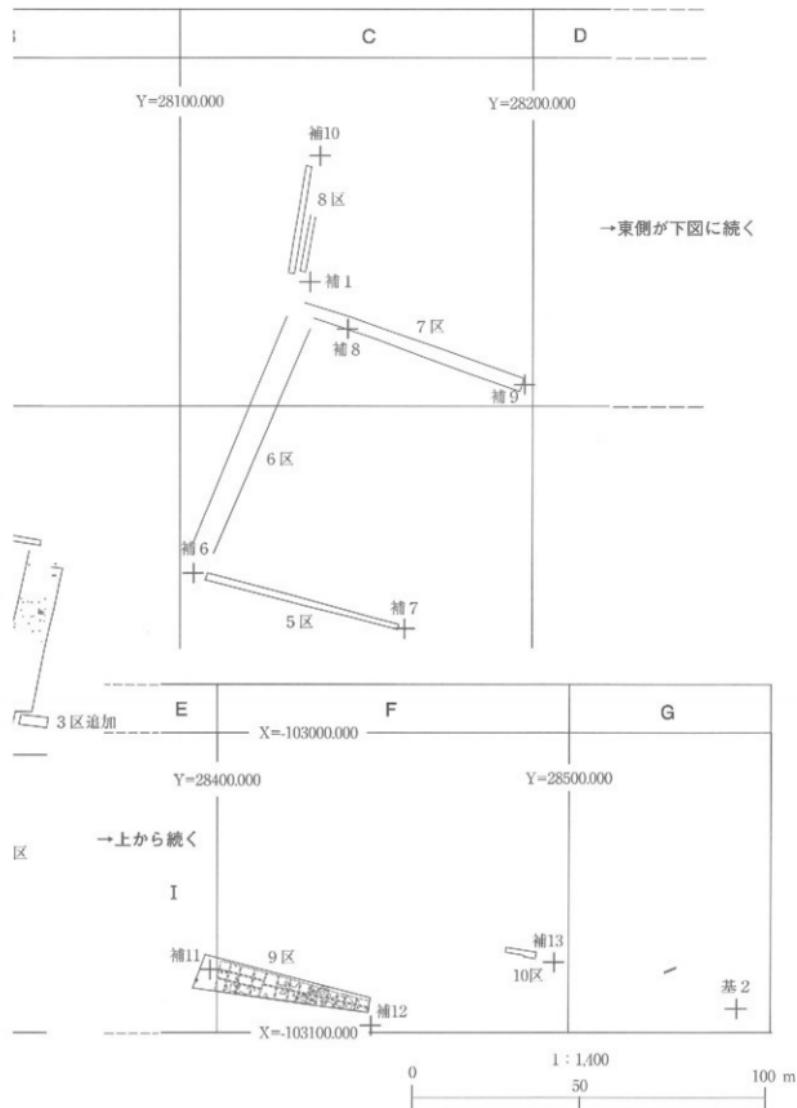
第5-1図 合野遺跡・小林繁長遺跡調査区全体図



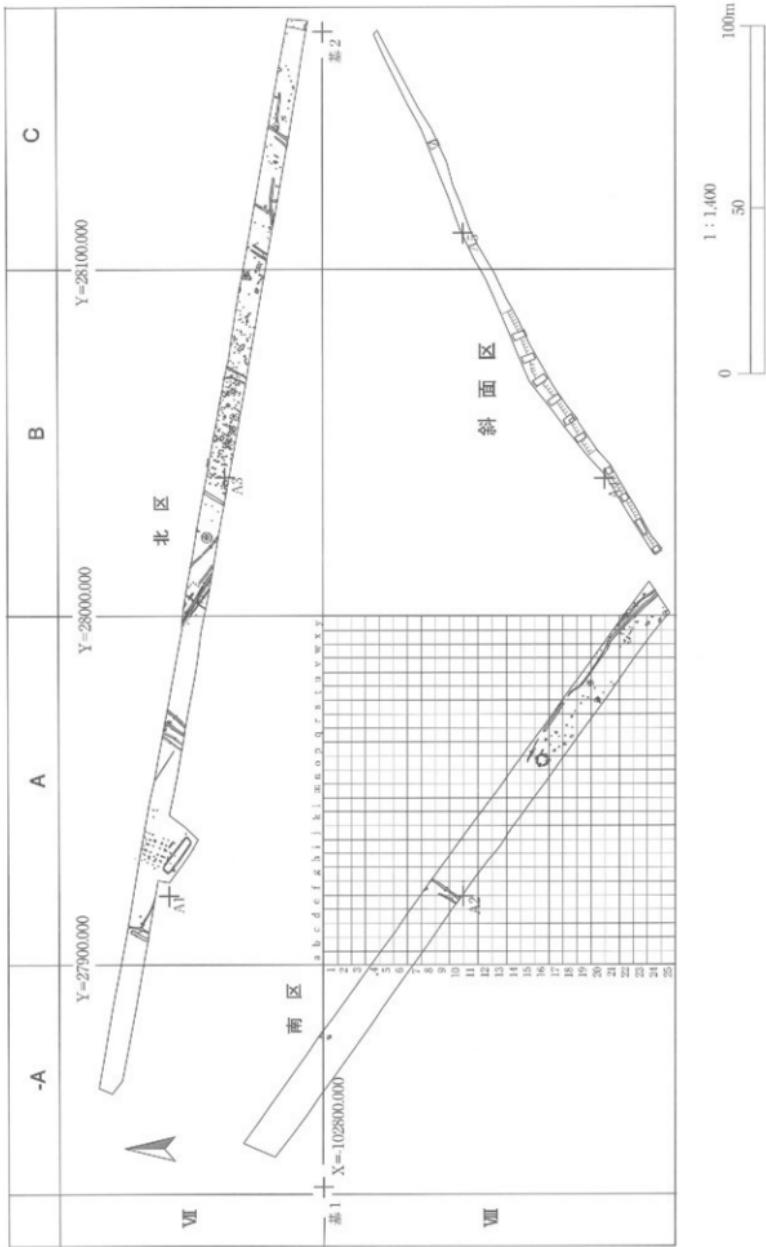
第5-2図 合野遺跡・小林繁長遺跡調査区全体図

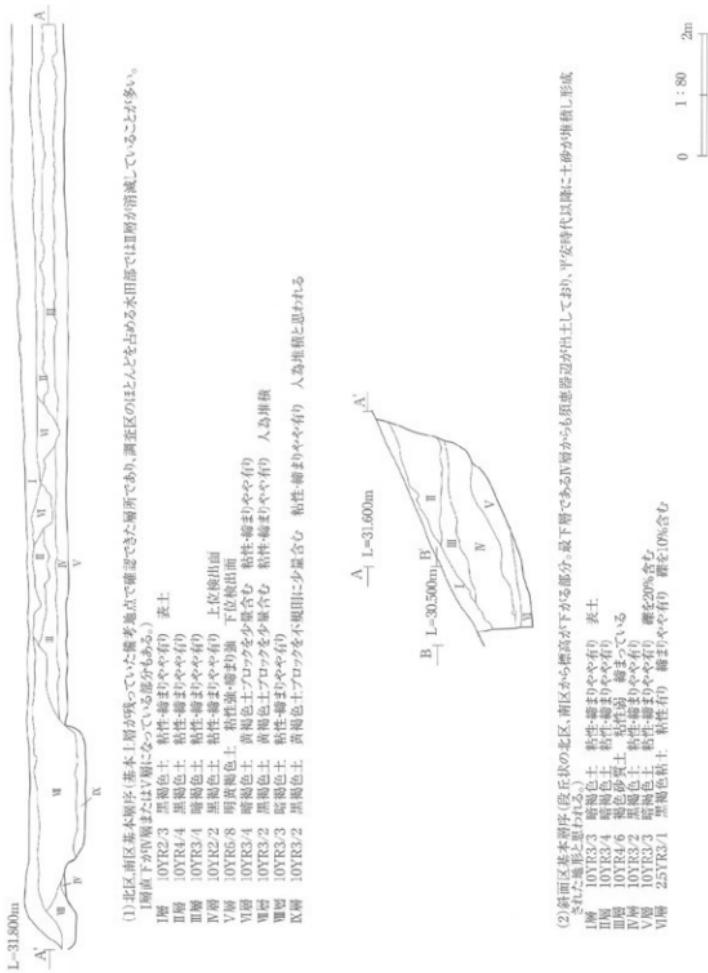


第6図 小林繁長遺跡グリッド図

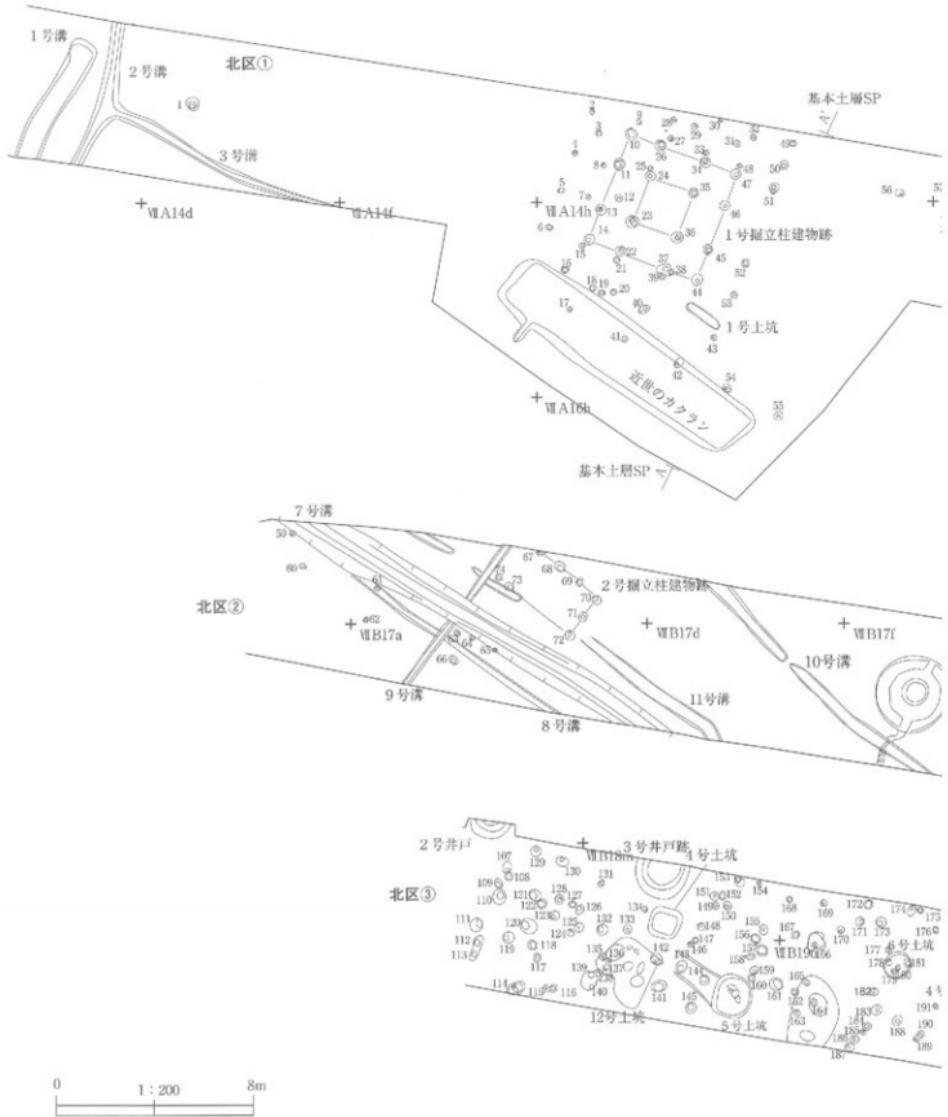


第6図 小林繁長遺跡グリッド図

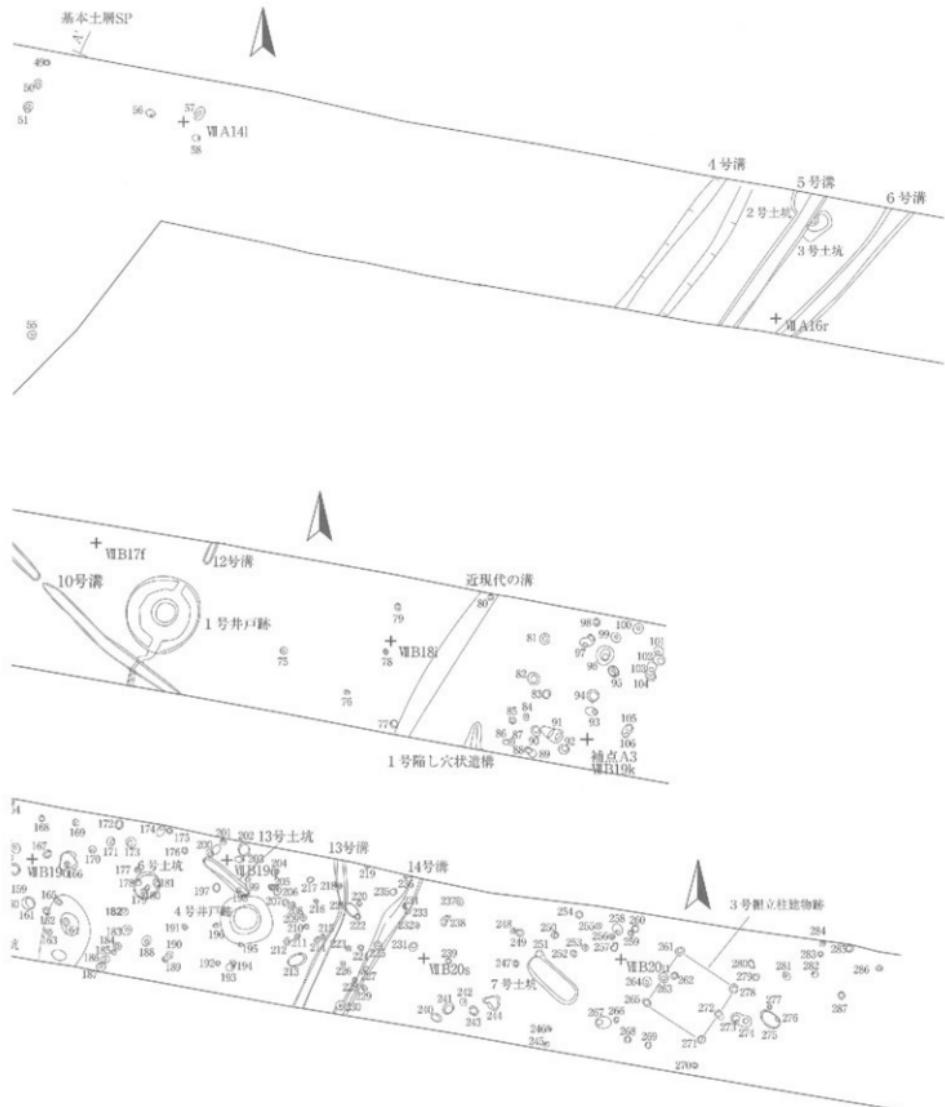




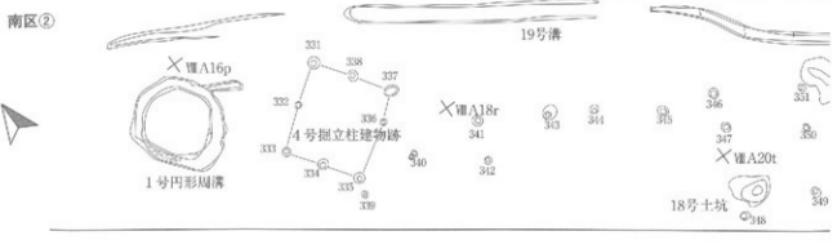
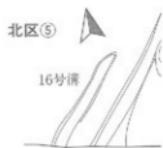
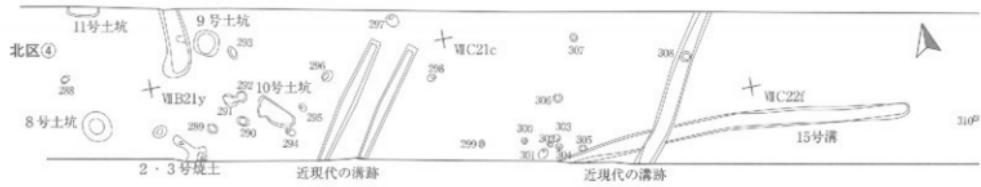
第8図 合野遺跡基本層序



第9図 合野遺跡遺構配置図(1)

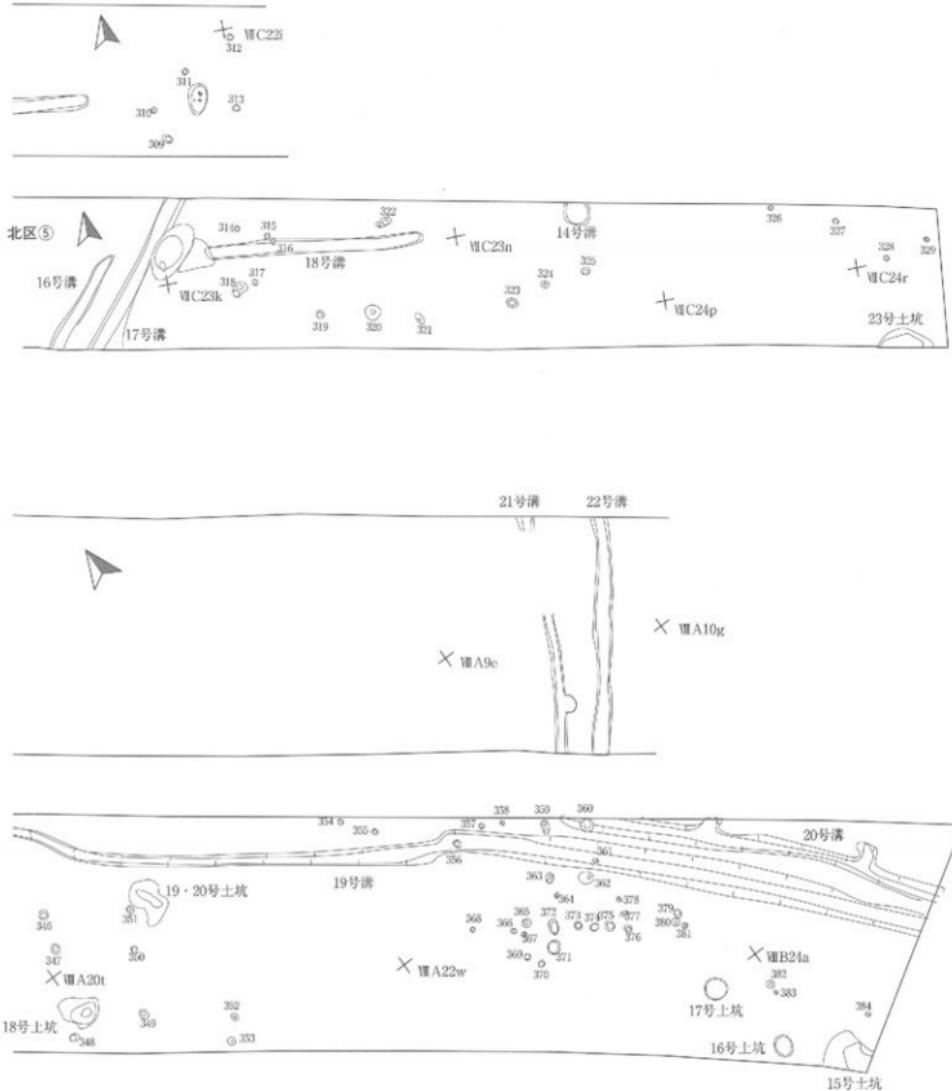


第9図 合野遺跡遺構配置図(1)



0  
1 : 200  
8m

第10図 合野遺跡遺構配置図 (2)



第10図 合野遺跡遺構配置図(2)

## IV 合野遺跡

### 1 基本層序（第8図、写真図版2）

水田内にある北区、南区は試掘結果と同様、IV層の黒褐色土及びV層の褐色土を遺構検出面と確認した。IV層の黒褐色土は水田造成時に掘削されたと思われる場所もあった。IV層で確認できた遺構はごく少数だったため、最終的には北区、南区ほぼ全域にわたって重機でV層直上まで重機で掘削し、遺構検出を行った。斜面区はⅡ、Ⅲ層それぞれの黒褐色土を遺構検出面と確認したが、Ⅲ層の下部からも土器片や剥片を確認したため、最終的には砂礫を含むIV層まで掘削し、遺構検出や遺物確認を行った。

### 2 検出された遺構と出土遺物

#### （1）掘立柱建物跡

##### 1号掘立柱建物跡

###### 遺構（第11図、写真図版3）

【位置・検出状況】 VIIA13h、VIIA13i、VIIA14h、VIIA14iそれぞれのグリッドにまたがって位置する。V層で検出した周辺の柱穴54個の内16個を使用した。

【重複関係】なし

【規模・平面形等】漢字「回」の形で柱穴が内外2重に並ぶものととらえた。外周が桁行3間、梁間3間、内周が桁行1間、梁間1間で、外周の桁行4.70m（15.5尺）、梁間4.67m（15.4尺）。形状はほぼ正方形なので、桁行と梁行の長さの差はほとんどない。柱間寸法は桁行1.34～2m、梁間1.29～1.92m。桁行、梁間とも3間の中間部が長い。桁行の方向はN-22°-E。柱痕は確認されなかった。

【建物の性格】平面形1間四面の柱穴配列から、神社等の祠（ほこら）或いは小規模な御堂と思われる。

遺物 なし

時期 遺物は出土しなかったが、建物の性格から近世と推測する。

##### 2号掘立柱建物跡

###### 遺構（第11図、写真図版4）

【位置・検出状況】 VIIB16b、VIIB16c、VIIB17cグリッドに位置する。V層で検出した柱穴8個を使用した。

【重複関係】9号溝、11号溝が重複している。

【規模・平面形等】桁行3間、梁間2間で、桁行2.96m（9.8尺）、梁間1.79m（5.9尺）。柱間寸法は桁行0.96～1.01m（北側）、梁間0.87～0.91m。桁行の方向はN-49°-W。柱痕は確認されなかった。桁行、梁間とも柱穴の位置が対称にならない。南側の桁行には柱穴がない部分があり、入り口になっていたものと推測される。西側の梁間は、柱穴が溝の埋土にあった可能性があるが、検出時に確認できなかった。

【建物の性格】規模から付属屋と推測される。

遺物 pp68から縄文土器片が1点出土した。

時期 縄文土器片は建物とは無関係と考えられる。不明である。

**3号掘立柱建物跡**

遺構（第11図、写真図版4）

【位置・検出状況】 VII B20uグリッドを中心位置する。V層で検出した周辺の柱穴から6個を使用した。

【重複関係】なし

【規模・平面形等】 桁行2間、梁間1間で、桁行2.53m（8.4尺）梁間2.67m（8.8尺）。柱間寸法は桁行1.20～1.28m、梁間2.66～2.67m。桁行の方向はN-32°-E。柱痕は確認できなかった。

【建物の性格】規模から付属屋と推測される。

遺物 なし

時期 遺物がなく、その他からも判断できないため不明である。

**4号掘立柱建物跡**

遺構（第11図、写真図版4）

【位置・検出状況】 VII A16q、VII A17p、VII A17qグリッドに位置する。V層で検出した柱穴8個を使用した。

【重複関係】なし

【規模・平面形等】 桁行2間、梁間2間で、桁行3.77m（12.4尺）梁間3.32m（11.0尺）。桁柱間寸法は桁行1.34～2.51m、梁間1.57～1.67m。桁行の方向N-53°-E。柱痕は確認できなかった。

【建物の性格】規模から住居と推測される。

遺物 pp337から土師器片1点、pp338から土師器片1点が出土した。

時期 遺物から平安時代と思われる。

**(2) 井戸跡****1号井戸跡**

遺構（第12図、写真図版4）

【位置・検出状況】 主にVII B17fグリッドに位置する。V層で碟を含む円形の堆積上の広がりとして検出された。

【重複関係】12号溝が重複している。

【平面形・断面形・規模】 上端は3.16×3.5m、下端は直径0.81×0.80mでいずれもほぼ円形である。深さは1.70m。断面は漏斗形である。

【埋土】 3層からなり、1層は褐色土ブロックがまばらに入るため埋め戻しと思われる。3・4層は粘土で自然堆積か。

遺物 須恵器片1点が1層から出土した。

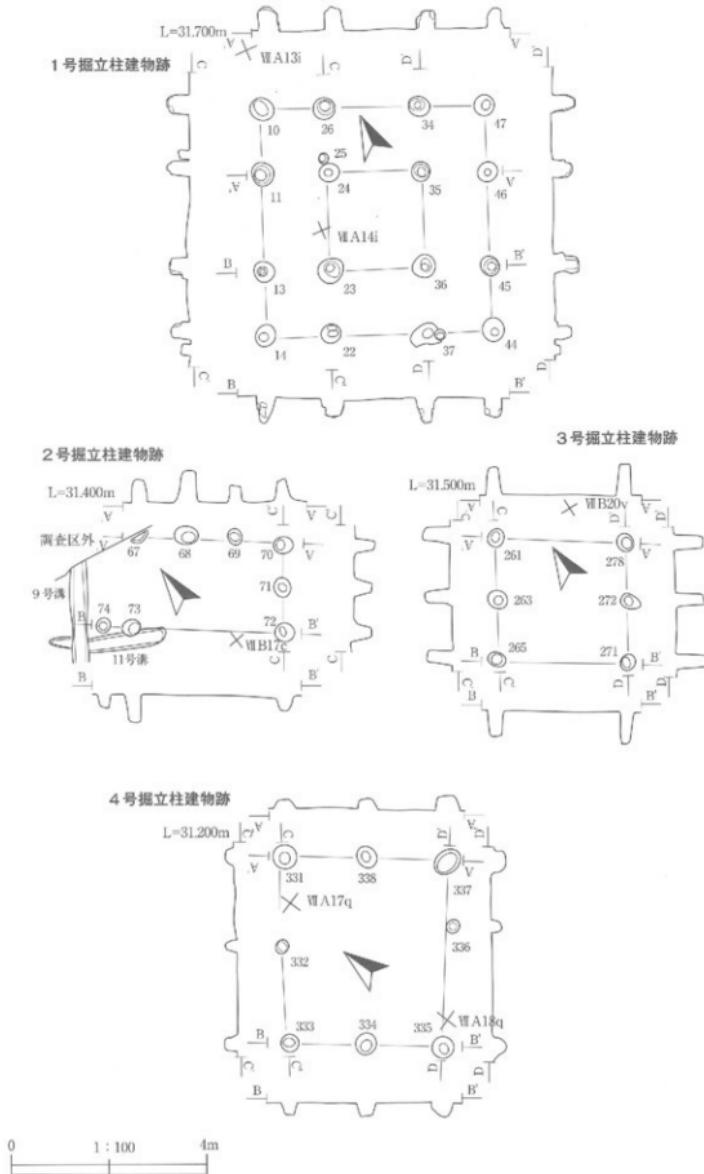
時期 遺物から平安時代と思われる。

**2号井戸跡**

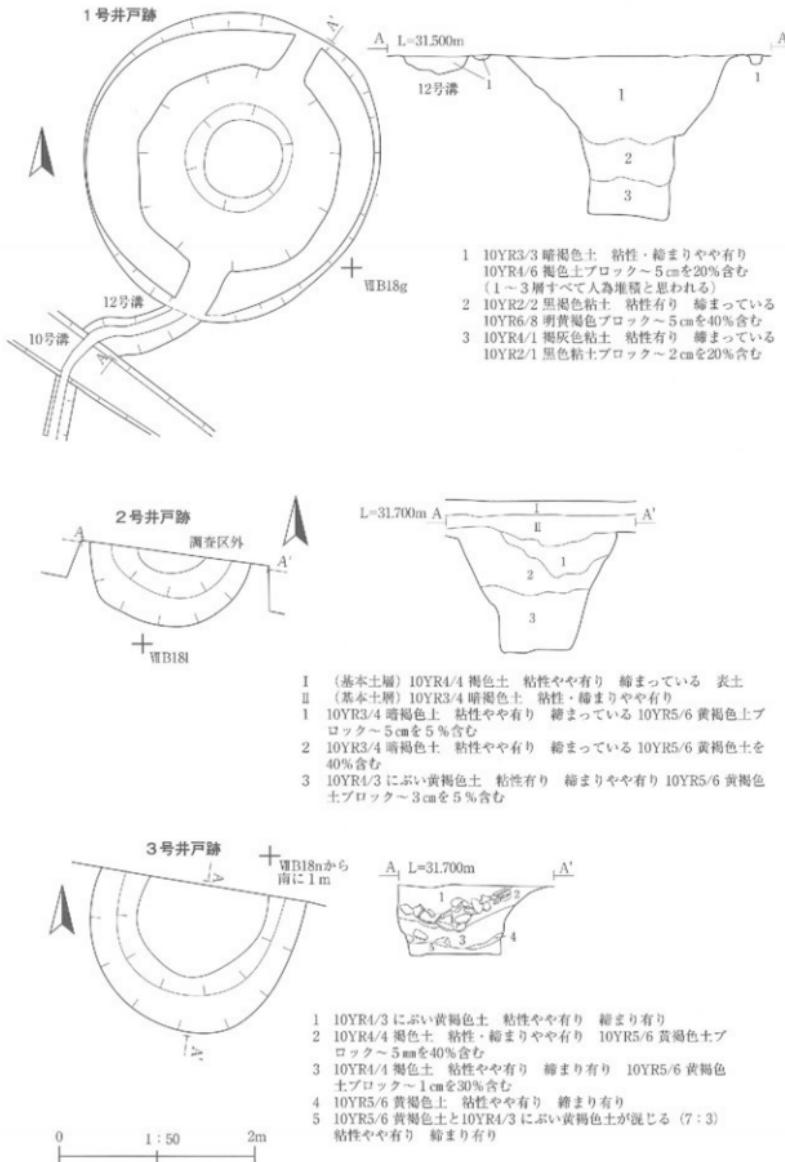
遺構（第12図、写真図版5）

【位置・検出状況】 VII B17kとVII B17lグリッドに位置する。V層で、調査区の北側の境で円形の黒色土の広がりとして検出された。

【重複関係】なし



第11図 1～4号掘立柱建物跡



第12図 1～3号井戸跡

〔平面形・断面形・規模〕 調査区外にかかるため全体の形は不明だが、ほぼ円形になると思われる。上端直径は1.66m、下端直径は0.68m。深さは1.22m。断面は漏斗形である。

〔埋土〕 暗褐色土を中心には堆積する。2層には黄褐色ブロックが入るため、埋め戻しと思われる。

遺物 なし

時期 遺物等がないため不明である。

### 3号井戸跡

遺構（第12図、写真図版5）

〔位置・検出状況〕 主にⅦB18mグリッドに位置する。V層で、調査区の北側の境で疊を含む円形の堆積土の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 なし

〔平面形・断面形・規模〕 調査区にかかるため全体の形は不明だが、ほぼ円形になると思われる。上端直径は2.15m、下端直径は1.28m。深さは0.79m。断面は逆台形状となる。

〔埋土〕 疊が多量に入るため、埋め戻しと思われる。

遺物 近世のものと思われる石臼が出士した。

時期 遺物から近世と思われる。

### 4号井戸跡

遺構（第13図、写真図版5）

〔位置・検出状況〕 主にⅧB19qグリッドに位置する。V層で円形の黒色土の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 なし

〔平面形・断面形・規模〕 上疊は2.23×2.14m、下端は直径0.99×0.93mでいずれもほぼ円形である。深さは1.44m。断面は漏斗形である。

〔埋土〕 1・2層は褐色土ブロックがまばらに入るため、埋め戻しと思われる。

遺物 土師器片1点、須恵器片1点が出士した。（層位不明）

時期 遺物から平安時代と思われる。

## （3）円形周溝

### 1号円形周溝

遺構（第13図、写真図版6）

〔位置・検出状況〕 ⅧA16oグリッドを中心に位置する。V層で黒色土の溝が円になった形で検出された。

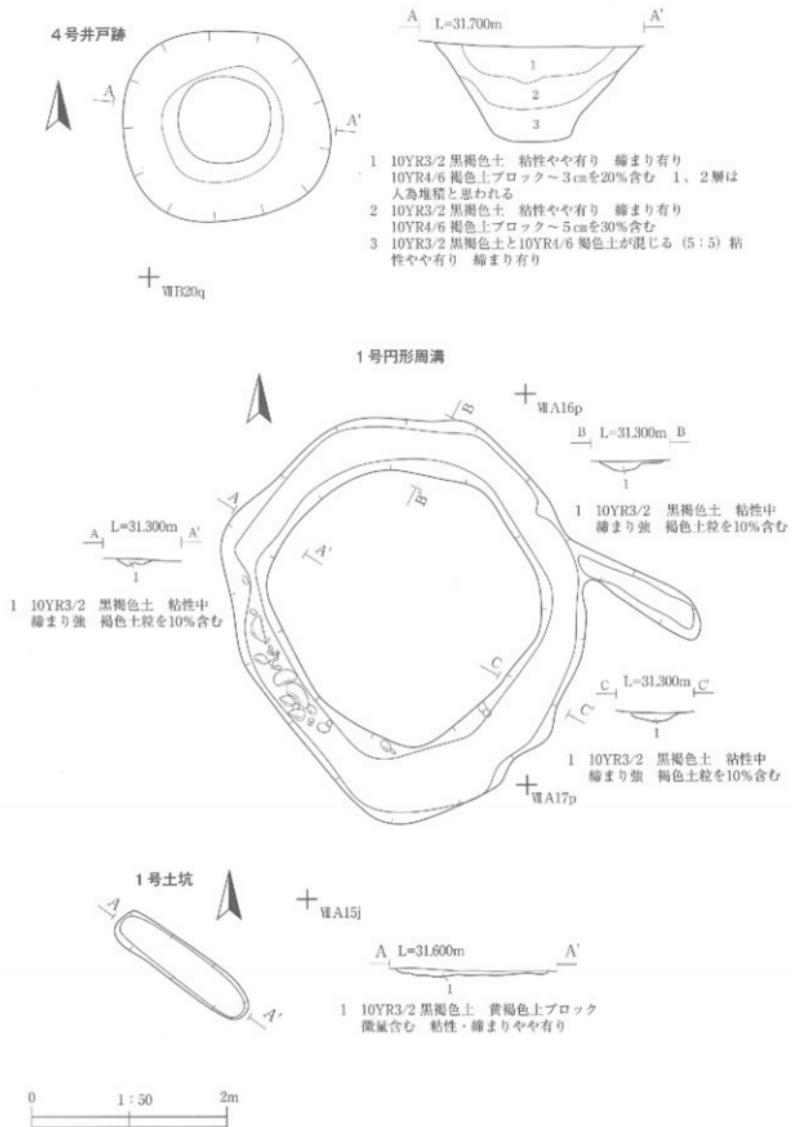
〔重複関係〕 なし

〔平面形・断面形・規模・遺構の性格等〕 溝が円形に掘られ、東側に溝が付随する。外周が3.86×3.64m、内周が2.68×2.71m。溝の幅42~72cm。深さ17cm。断面は皿状。填丘にあたる遺構上部は水田造成時に削られたものと思われる。埋葬施設の可能性もあるが、掘り込みは確認できなかった。

〔埋土〕 黒褐色土の単層である。南西側に石が集中して入る部分がある。

遺物 土師器片が1点出土した。石も十数個出土したが、石器はなかった。

時期 遺物や近隣遺跡の円形周溝の検出例から、平安時代と推測される。



第13図 4号井戸跡、1号円形周溝、1号土坑

#### (4) 土 坑

##### 1号土坑

遺構（第13図、写真図版6）

【位置・検出状況】 VIIA15iグリッドに位置する。V層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。

【重複関係】なし

【平面形・断面形・規模】長軸が1.60m、短軸が0.41mの溝状で、深さ8cm。断面は皿状。長軸の向きはN-37°-W。

【埋土】単層で、黒褐色土に黄褐色土のブロックが微量に入る。自然堆積か。

遺物 なし

時期 遺物がなく、形状からも判断できないため不明である。

##### 2号土坑

遺構（第14図、写真図版5）

【位置・検出状況】 VIIA14rグリッドに位置する。V層で5号溝の西に重複した状態で、黒色土の広がりとして検出された。

【重複関係】5号溝が重複している。本遺構の埋土が5号溝に切られているため、それより古いと考えられる。

【平面形・断面形・規模】平面形は溝との重複で残存部分が少ないため不明だが、楕円形だったのでないかと思われる。規模も平面形は不明。深さは31cm。

【埋土】黒褐色、暗褐色土層の間に黄褐色土層が入る。自然堆積と思われる。

遺物 なし

時期 須恵器が出土した5号溝に切られているため、平安時代またはそれ以前のものと思われる。

##### 3号土坑

遺構（第14図、写真図版7）

【位置・検出状況】 VIIA14r～VIIA15rグリッドに位置する。V層で5号溝の東に重複した状態で、黒色土の広がりとして検出された。

【重複関係】5号溝が重複している。本遺構の埋土が5号溝に切られているため、それより古いと考えられる。

【平面形・断面形・規模】平面は上端、下端ともに部分的にくびれる不規則な形状の楕円形。断面は椀型。規模は長軸88cm、短軸29cm、深さ39cm。

【埋土】暗褐色土層の間に黄褐色土層が入る。自然堆積と思われる。

遺物 なし

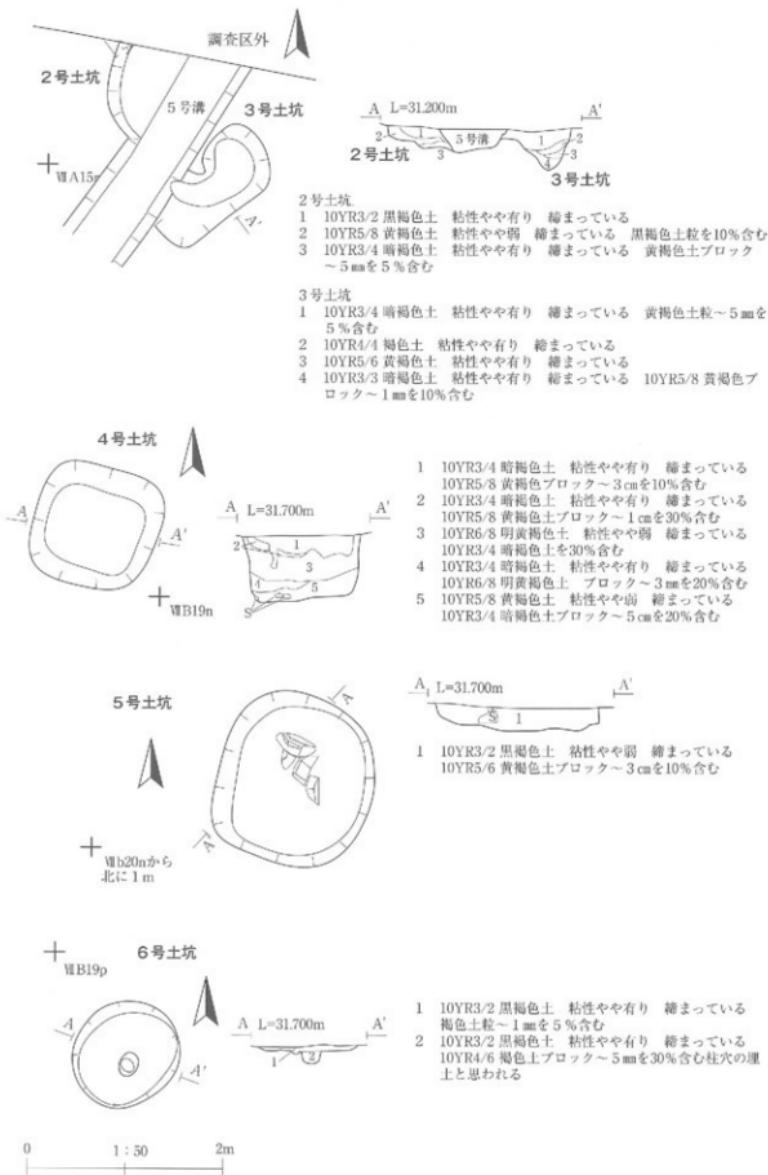
時期 須恵器が出土した5号溝に切られているため、平安時代またはそれ以前のものと思われる。

##### 4号土坑

遺構（第14図、写真図版7）

【位置・検出状況】 VIIB18mグリッドに位置する。V層で黒色土の方形の広がりとして検出された。

【重複関係】なし



第14図 2～6号土坑

〔平面形・断面形・規模〕 平面は上端、下端ともに正方形に近い形状。断面はほぼ垂直に立ち上がる。規模は $0.96 \times 0.80\text{m}$ 、深さ73cm。今回の調査で確認された土坑で方形をしているのは本遺構だけである。

〔埋土〕 3・5層に厚く、暗褐色土及び同ブロックが入る黄褐色土が堆積する。その他の層は暗褐色土だが、それらには黄褐色土ブロックが入る。人為堆積か。

遺物 なし

時期 遺物がなく、形状からも判断できないため不明である。

### 5号土坑

遺構（第14図、写真図版7）

〔位置・検出状況〕 WB19nグリッドに位置する。V層で黒色土の円形の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 なし

〔平面形・断面形・規模〕 平面は円形に近い楕円形。断面は楕状。規模は $1.52 \times 1.31\text{m}$ 、深さ26cm。

〔埋土〕 黒褐色土の単層である。自然堆積と思われる。

遺物 砥石が1点出土した。

時期 砥石が近世のものと思われる所以、この遺構も近世と推測される。

### 6号土坑

遺構（第14図、写真図版7）

〔位置・検出状況〕 WB19pグリッドに位置する。V層で黒色土の円形の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 この土坑よりも古い柱穴が底部に確認された。

〔平面形・断面形・規模〕 平面は上端、下端ともにほぼ円形。断面は皿状。規模は $1.13 \times 1.09\text{m}$ 、深さ10cm。

〔埋土〕 柱穴部以外は、黒褐色土の単層である。自然堆積と思われる。

遺物 なし

時期 遺物がなく、形状からも判断できないため不明である。

### 7号土坑

遺構（第15図、写真図版8）

〔位置・検出状況〕 WB20tグリッドに位置する。V層で黒色土に黄褐色土が混入した埋土の長方形の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 pp251が重複している。

〔平面形・断面形・規模〕 平面は上端、下端ともにほぼ長方形。断面はほぼ垂直に立ち上がる。規模は、長軸 $2.47\text{m}$ 、短軸 $0.91\text{m}$ 、深さ37cm。長軸の向きはN-44°-W。

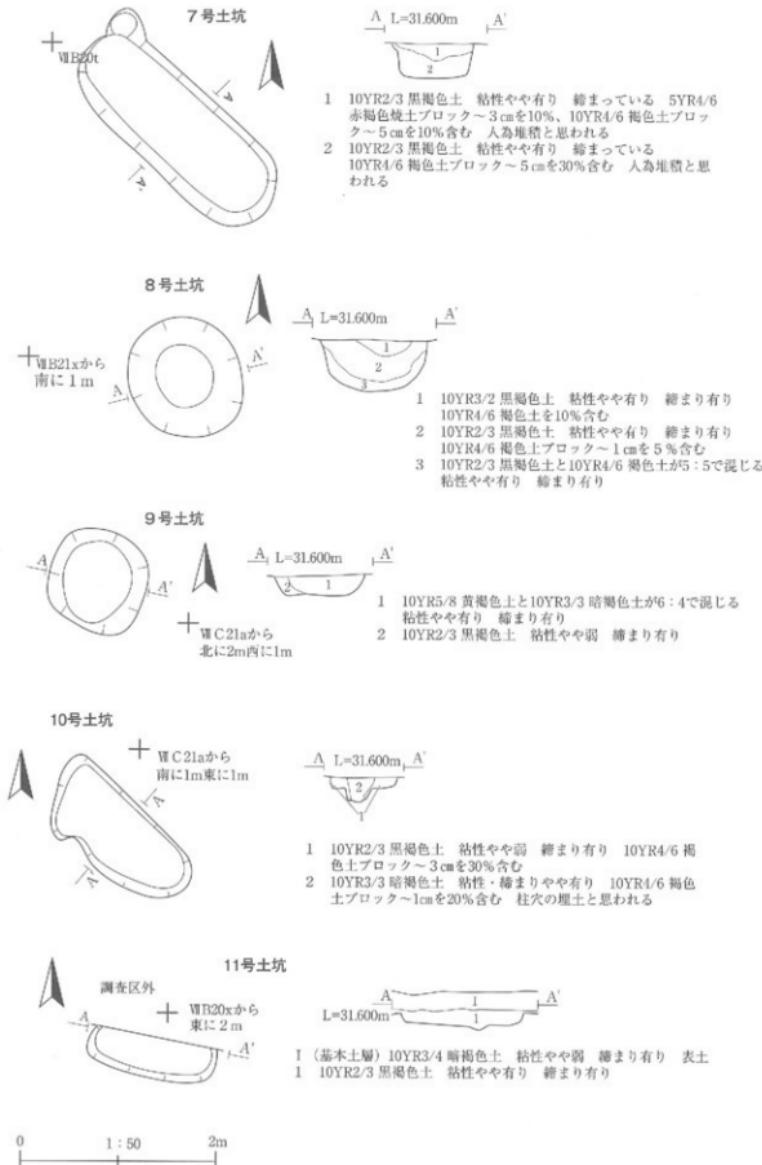
〔埋土〕 黒褐色土に褐色土や赤褐色土の5cm以下のブロックが入る。赤褐色土は焼土で、埋土は埋め戻されたものと思われる。

遺物 なし

時期 遺物がなく、形状からも判断できないため不明である。

### 8号土坑

遺構（第15図、写真図版8）



第15図 7～11号土坑

【位置・検出状況】 VII B21xグリッドに位置する。V層で黒色土の円形の広がりとして検出された。

【重複関係】なし

【平面形・断面形・規模】 平面は上端、下端ともにはほぼ円形。断面は外向して立ち上がる。規模は1.26×1.15m、深さ54cm。

【埋土】どの層にも黒褐色土に褐色土が混じる。自然堆積と思われる。

遺物 なし

時期 遺物がなく、形状からも判断できないため不明である。

#### 9号土坑（第15図、写真図版8）

【位置・検出状況】 VII B20yグリッドに位置する。V層で黒色土の円形の広がりとして検出された。

【重複関係】なし

【平面形・断面形・規模】 平面は上端、下端ともにはほぼ円形。断面は楕円形。規模は1.04×1.01m、深さ25cm。

【埋土】 埋土の多くを暗褐色と黄褐色が混ざった土が占める。自然堆積と思われる。

遺物 なし

時期 遺物がなく、形状からも判断できないため不明である。

#### 10号土坑

遺構（第15図、写真図版8）

【位置・検出状況】 VII C21aグリッドに位置する。V層で黒色土に黄褐色土が混入した、不規則な楕円形の広がりとして検出された。

【重複関係】 この土坑より新規の柱穴が埋土に重複している。

【平面形・断面形・規模】 平面は上端が不規則な楕円形、下端はほぼ楕円形。断面は皿状。規模は長軸1.72m、短軸0.77m、深さ14cm。

【埋土】 柱穴があった部分で断面の記録をとった結果、土坑の埋土に柱穴の埋土が入り込んでいることがわかった。土坑の埋土は黒褐色で、褐色土のブロックが混じる。

遺物 なし

時期 遺物がなく、形状からも判断できないため不明である。重複している柱穴よりは古いものである。

#### 11号土坑

遺構（第15図、写真図版9）

【位置・検出状況】 VII b20xグリッドに位置する。V層で調査区の境に黒色土の楕円形の広がりとして検出された。

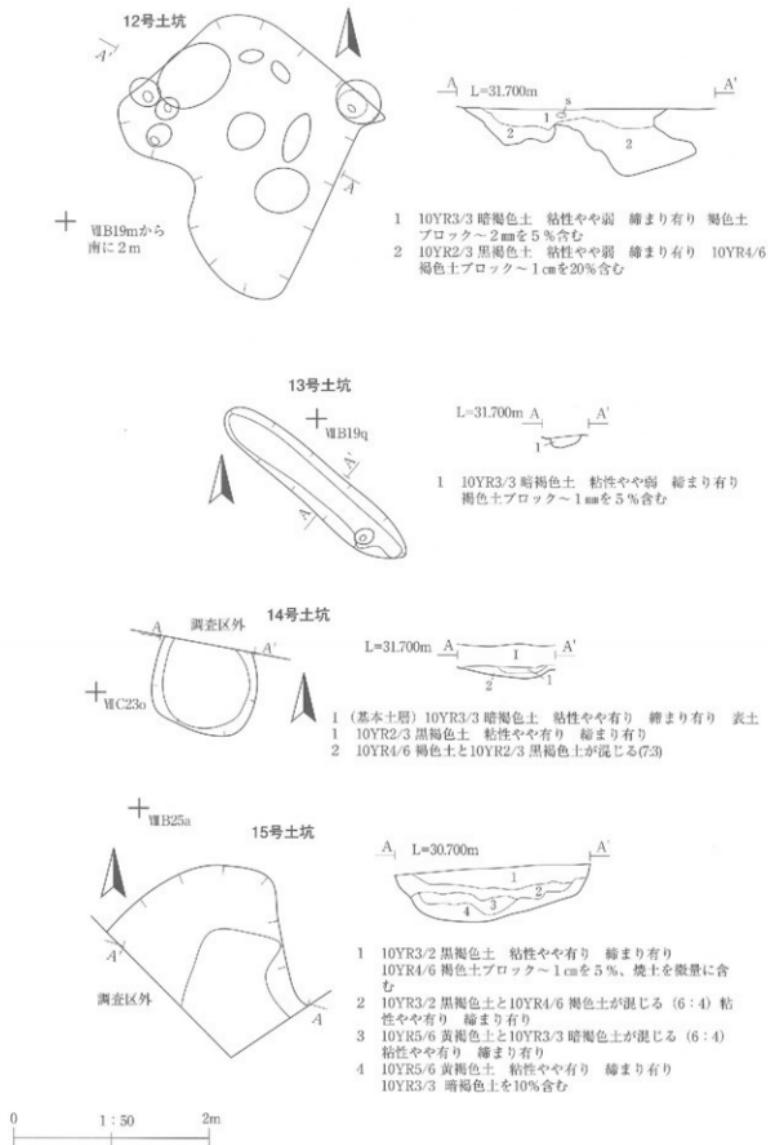
【重複関係】なし

【平面形・断面形・規模】 平面は上端、下端ともにはほぼ円形。断面は皿状。規模は長軸1.29m、短軸は不明。深さ14cm。

【埋土】 V層由来の黒褐色土のみの単層で、自然堆積と思われる。

遺物 なし。

時期 遺物がなく、形状からも判断できないため不明である。



第16図 12~15号土坑

### 12号土坑

遺構（第16図、写真図版9）

【位置・検出状況】 VII B19mグリッドに位置する。V層で黒色土の不定形の広がりとして検出された。

【重複関係】 複数の柱穴が重複している。

【平面形・断面形・規模】 平面は上端、下端ともに不定形。断面も規則的な形状はしていない。規模は $2.22 \times 1.75\text{m}$ 、深さ65cm。

【埋土】 暗褐色、黒褐色土が中心である。

遺物 須恵器片が1点出土した。（層位不明）

時期 遺物から平安時代と思われる。

### 13号土坑

遺構（第16図、写真図版9）

【位置・検出状況】 VII B19pグリッドに位置する。V層で、4号井戸跡の北側に細長い楕円形の広がりとして検出された。

【重複関係】 pp198が重複している。

【平面形・断面形・規模】 平面は上端、下端ともに細長い楕円形。断面は楕状。規模は長軸2.36m、短軸0.43m、深さ23cm、長軸の向きはN-35°-W。

【埋土】 暗褐色土の單層である。

遺物 須恵器片が1点出土している。

時期 遺物から平安時代と考えられる。

### 14号土坑

遺構（第16図、写真図版9）

【位置・検出状況】 VII C22oとVII C23oグリッドにまたがって位置する。V層で調査区の境に黒色土の楕円形の広がりとして検出された。

【重複関係】 なし

【平面形・断面形・規模】 平面は上端、下端ともに楕円形。断面は皿状。規模は長軸が1.09m、短軸は不明。深さ9cm。

【埋土】 黒褐色土の下に褐色系の土が堆積する。

遺物 2層から縄文土器片1点が出土している。

時期 遺物から縄文時代の可能性を考えられる。

### 15号土坑

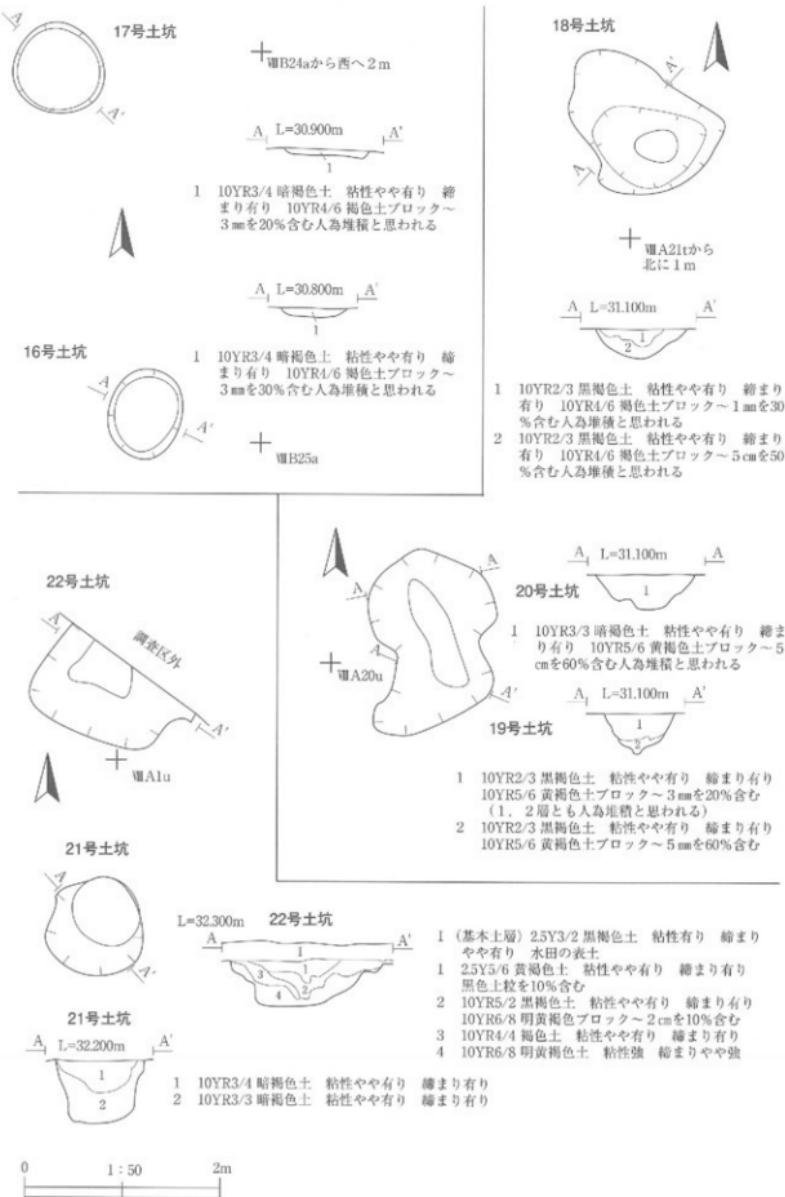
遺構（第16図、写真図版9）

【位置・検出状況】 VII B25aグリッドに位置する。調査区の東端で、V層で黒色土の円形の広がりとして検出された。

【重複関係】 なし

【平面形・断面形・規模】 調査区外に広がるため推測になるが、平面は上端、下端ともに円形に近い形状と思われる。断面は楕状。規模は長軸が不明、短軸2.05m、深さ63cm。

【埋土】 黒褐色土に褐色系の土が混じる。



第17図 16~22号土坑

## 2 検出された遺構と出土遺物

遺物 1層から土師器片が1点出土した。

時期 遺物から平安時代と思われる。

### 16号土坑

遺構 (第17図、写真図版10)

【位置・検出状況】 ■A24yグリッドに位置する。V層で黒色土の円形の広がりとして検出された。

【重複関係】 なし

【平面形・断面形・規模】 平面は上端、下端ともにほぼ円形。断面は皿状。規模は $0.92 \times 0.77\text{m}$ 。深さ13cm。

【埋土】 暗褐色土の単層である。

遺物 縄文土器片が1点出土した。

時期 遺物から縄文時代の可能性が考えられる。

### 17号土坑

遺構 (第17図、写真図版10)

【位置・検出状況】 ■A23y~24yグリッドに位置する。V層で黒色土の円形の広がりとして検出された。

【重複関係】 なし

【平面形・断面形・規模】 平面は上端、下端ともにほぼ円形。断面は皿状。規模は $0.96 \times 0.90\text{m}$ 、深さ9cm。

【埋土】 暗褐色土の単層である。

遺物 縄文土器片が1点出土した。

時期 遺物から縄文時代の可能性が考えられる。

### 18号土坑

遺構 (第17図、写真図版10)

【位置・検出状況】 ■A20s~20tグリッドに位置する。V層で黒色土の楕円形の広がりとして検出された。

【重複関係】 なし

【平面形・断面形・規模】 平面は上端が不規則ではあるが楕円形に近い形状、下端はほぼ円形。断面は椀状。規模は長軸が1.71m、短軸が1.05m、深さ14cm。

【埋土】 黒褐色土に褐色土のブロックが入る。人為堆積と思われる。

遺物 2層から縄文土器片が1点出土した。

時期 遺物から縄文時代の可能性が考えられる。

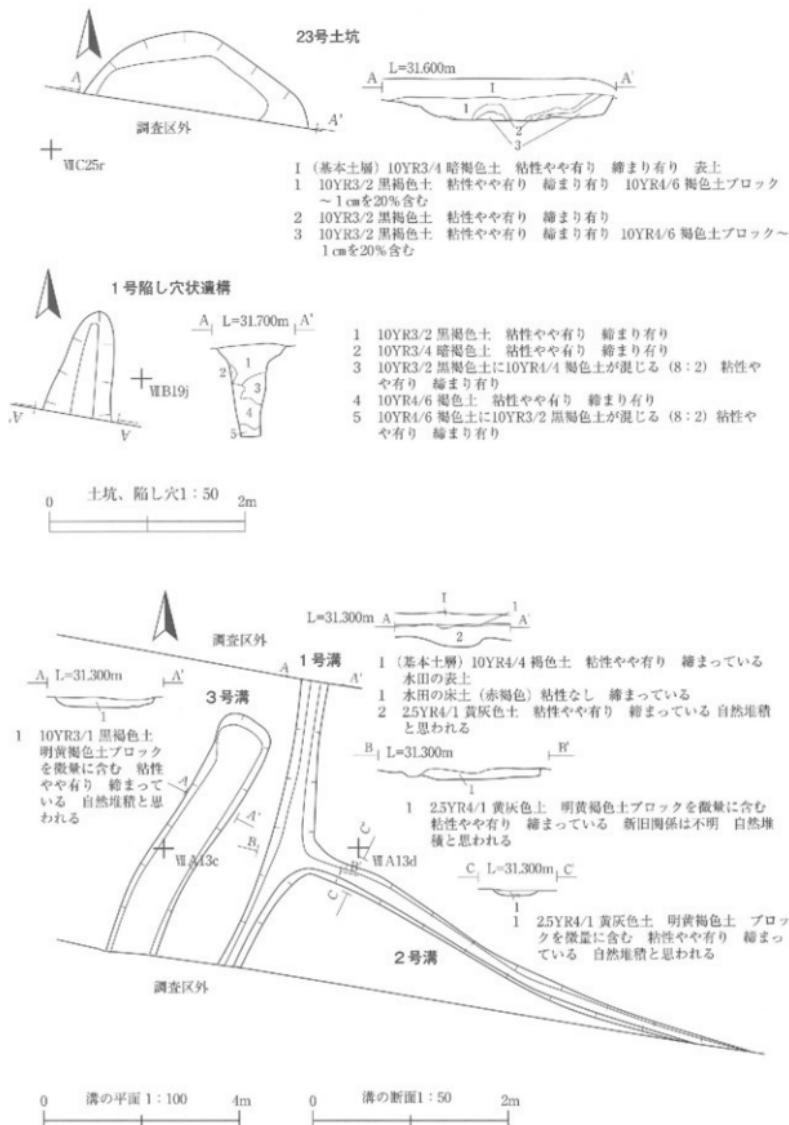
### 19・20号土坑

遺構 (第17図、写真図版10)

【位置・検出状況】 ■A19u~20uグリッドに位置する。V層で黒色土の不定形の広がりとして検出された。

【重複関係】 19・20号土坑が重複している。新旧関係は不明である。

【平面形・断面形・規模】 平面は重複のため明確ではないが上端、下端ともに楕円形と思われる。断



第18図 23号土坑、1号陷し穴状遺構、1~3号溝

面は楕円形。規模はそれぞれの土坑では明確にできない。二つの土坑を合わせた長軸が1.75m。深さ49cm。

〔埋土〕 黒色土に黄褐色土のブロックが入り、埋め戻しと思われる。特に25号土坑には焼土と思われる赤褐色土のブロックも入る。

遺物 20号土坑の埋土上層から、土師器片1点、須恵器片1点が出土した。

時期 遺物から平安時代と考えられる。

### 21号土坑

遺構（第17図、写真図版11）

〔位置・検出状況〕 VII Altグリッドに位置する。V層で黒色土の円形の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 なし

〔平面形・断面形・規模〕 平面は上端、下端とも円形。断面はビーカー状。規模は1.07×1.03m、深さ91cm。

〔埋土〕 喰褐色土である。

遺物 なし

時期 遺物がなく、形状からも判断できないため不明である。

### 22号土坑

遺構（第17図、写真図版11）

〔位置・検出状況〕 VII A25t-25uグリッドに位置する。南調査区の北西部の境界で、V層で黒色土の楕円形の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 なし

〔平面形・断面形・規模〕 境界線にまたがるので推測になるが、平面は上端、下端ともに楕円形と思われる。断面は楕円形。規模は長軸が1.53m、短軸は不明。深さ49cm。

〔埋土〕 褐色系の上層に、黒褐色土層が入る。

遺物 なし

時期 遺物がなく、形状からも判断できないため不明である。

### 23号土坑

遺構（第18図、写真図版11）

〔位置・検出状況〕 VII C24rグリッドに位置する。北調査区の南東部の境界で、黒色土の楕円形の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 なし

〔平面形・断面形・規模〕 境界線にまたがるので推測になるが、平面は上端、下端ともに楕円形と思われる。断面は皿状。規模は長軸が2.38m、短軸は不明。深さ22cm。

〔埋土〕 黑褐色土を主体とする。

遺物 2層から土師器片1点が出土した。

時期 遺物から平安時代と考えられる。

## (5) 陥し穴状遺構

### 1号陥し穴状遺構

遺構（第18図、写真図版5）

【位置・検出状況】 VII B18iグリッドからVII B19iグリッドにまたがるように位置する。北区の南側調査区境界で、黒色土の溝状の広がりとして検出された。

【重複関係】なし

【平面形・断面形・規模】 平面は上端、下端ともに溝状。断面はほぼV字型。規模は長軸が境界にまたがるため不明、短軸は0.72m、深さ94cm。

【埋土】 上層が黒褐色土を主体、下層が褐色土主体となる。

遺物 なし。

時期 遺物はないが、形状から縄文時代と考えられる。

## (6) 溝

### 1号溝

遺構（第18図、写真図版11・12）

【位置・検出状況】 VII A12c～VII A13cグリッドに位置する。V層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。

【重複関係】 2号溝と重複している。新旧関係は不明である。

【規模・平面形・断面形】 規模は、確認できた長さ5.46m、幅は上端1.04m下端75cm、深さは検出面から14cm。

【埋土】 黄灰色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 なし

時期 遺物がなく、埋土状態からも判断できないため不明である。

### 2号溝

遺構（第18図、写真図版11・12）

【位置・検出状況】 VII A13c～VII A13eグリッドに位置する。IV層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。

【重複関係】 1号溝から分かれている。新旧関係は不明である。

【規模・平面形・断面形】 規模は、確認できた長さ9.20m（1号溝との分歧点から）、幅は上端46cm下端21cm、深さは検出面から17cm。

【埋土】 黄灰色土を主体とする。自然堆積と思われる。

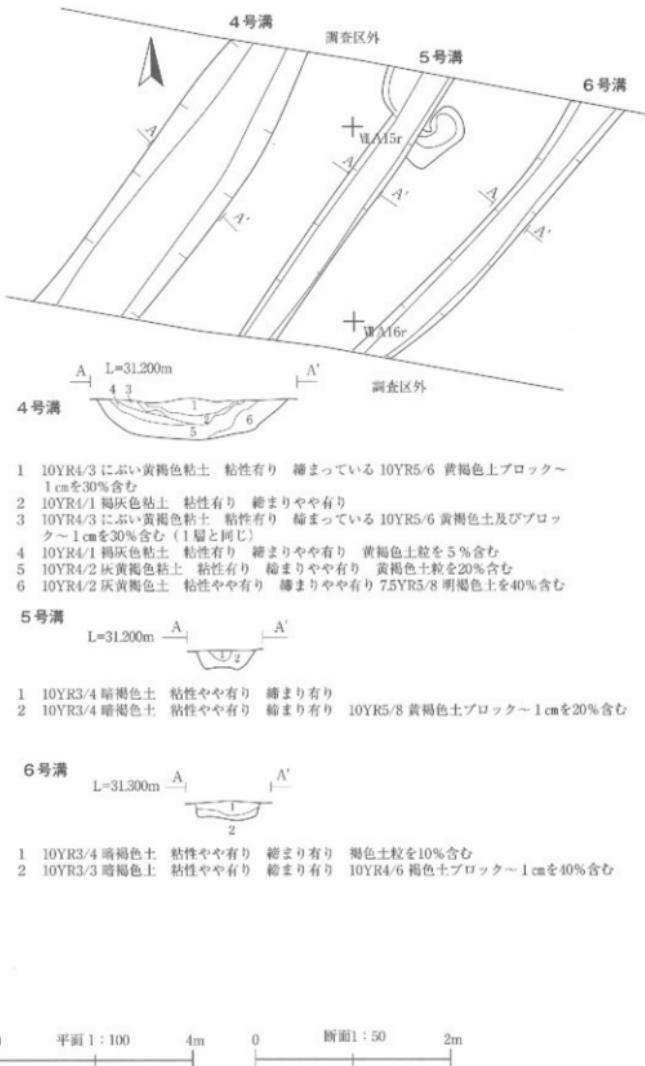
遺物 なし

時期 遺物がなく、埋土状態からも判断できないため不明である。

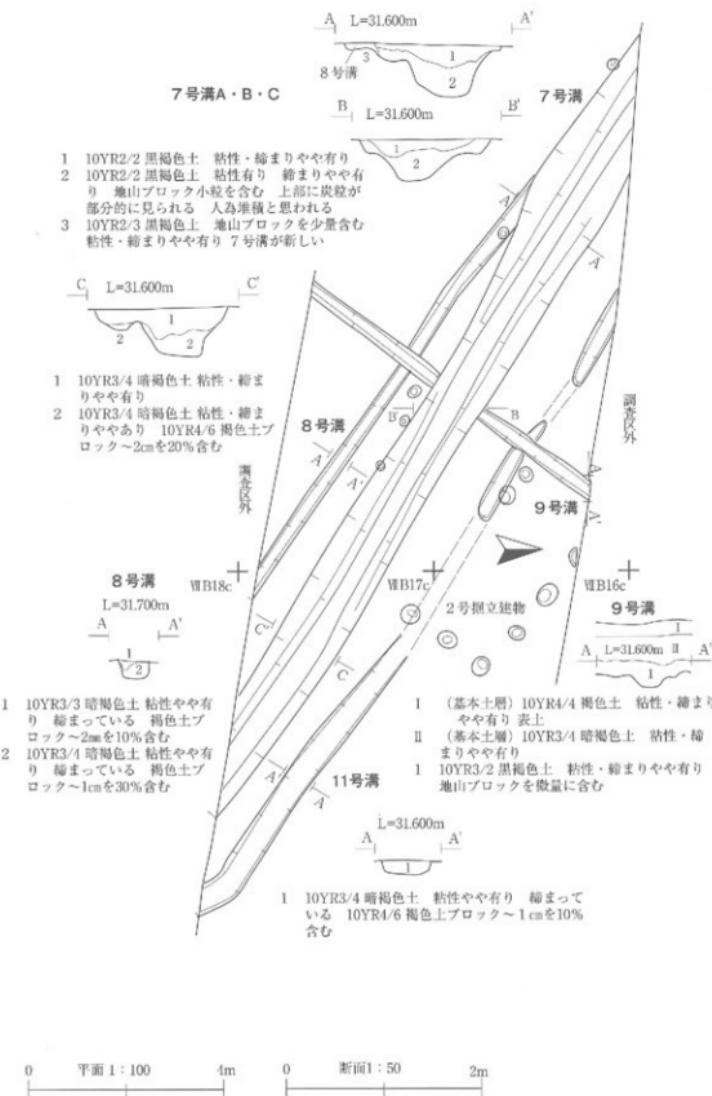
### 3号溝

遺構（第18図、写真図版12）

【位置・検出状況】 VII A12c、VII A13b、VII A13cグリッドに位置する。V層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。



第19図 4～6号溝



第20図 7～9・11号溝

〔重複関係〕なし

〔規模・平面形・断面形〕水田造成時に上部が消失したものと思われ、途中で遺構が消失する。規模は、確認できた長さ5.39m、幅は上端99cm下端70cm、深さは14cm。

〔埋土〕黒褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 なし

時期 遺物がなく、埋土状態からも判断できないため不明である。

#### 4号溝

遺構（第19図、写真図版12）

〔位置・検出状況〕ⅦA14q、ⅦA15p、ⅦA15qグリッドに位置する。V層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。

〔重複関係〕なし

〔規模・平面形・断面形〕規模は、確認できた長さ6.61m、幅は上端1.75~2.10m、下端0.70~1.30m、深さ14cm。

〔埋土〕褐灰色、灰黄褐色粘土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 なし

時期 遺物がなく、埋土状態からも判断できないため不明である。

#### 5号溝

遺構（第19図、写真図版12）

〔位置・検出状況〕ⅦA14r、ⅦA15q、ⅦA15rグリッドに位置する。V層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。

〔重複関係〕3・4号土坑と重複している。

〔規模・平面形・断面形〕規模は、確認できた長さ6.52m、幅は上端74cm下端47cm深さ26cm。

〔埋土〕暗褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 2層から須恵器片が1点出土した。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

#### 6号溝

遺構（第19図、写真図版12）

〔位置・検出状況〕主にⅦA15rグリッドに位置する。V層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。

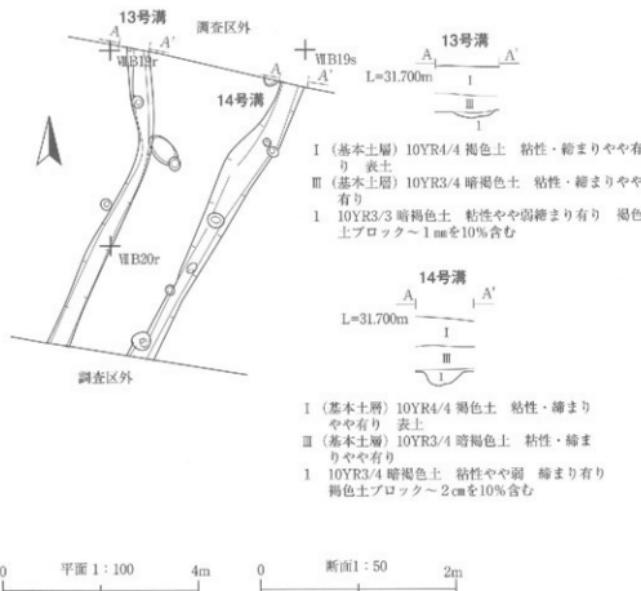
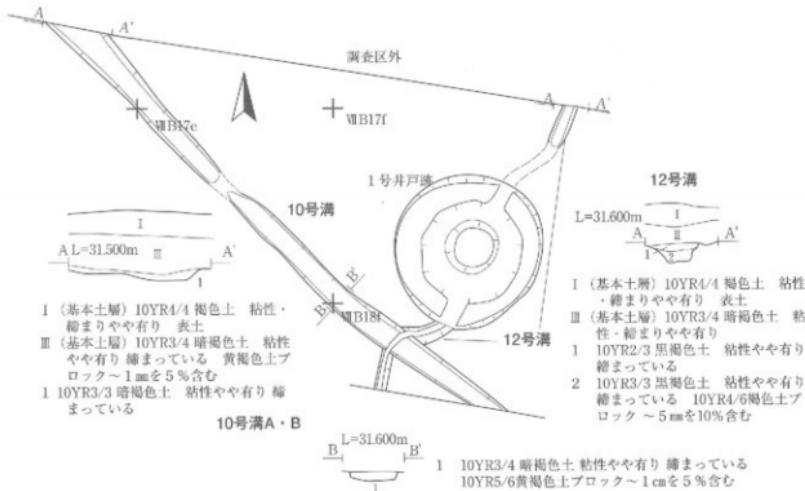
〔重複関係〕なし

〔規模・平面形・断面形〕規模は、確認できた長さ6.92m、幅は上端73cm~1.10m下端45~75cm、深さ21cm。

〔埋土〕暗褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 なし

時期 遺物はないが、埋土状態が5号溝とかなり似ていることや、規模、形状を考えると5号溝同様、平安時代の可能性が考えられる。



第21図 10・12~14号溝

### 7号溝

遺構（第20図、写真図版13）

【位置・検出状況】 VIIA16yグリッドからVII B17cグリッドに向けて伸びる。V層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。

【重複関係】 8・9号溝を切っている。

【規模・平面形・断面形】 規模は、確認できた長さ15.8m、幅は上端1.10～1.70m、下端30～45cm、深さ57cm。

【埋土】 黒褐色土・暗褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 上部器片1点、須恵器片1点が出土した。

時期 遺物から平安時代と思われる。

### 8号溝

遺構（第20図、写真図版13）

【位置・検出状況】 VII b16a、VII b17bグリッドに位置する。V層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。

【重複関係】 9号溝・7号溝に切られている。

【規模・平面形・断面形】 規模は、確認できた長さ9.51m、幅は上端35cm下端14～30cm、深さ10cm。水田開墾時に上部が削られたものと思われる。

【埋土】 暗褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 なし

時期 遺物はないが、平安時代のものと思われる7号溝が本遺構を切っているので、平安時代またはそれ以前と推測する。

### 9号溝

遺構（第20図、写真図版13）

【位置・検出状況】 VII B17aグリッドに位置する。V層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。

【重複関係】 8号溝を切っているが、7号溝には切られている。

【規模・平面形・断面形】 規模は、確認できた長さ7.08m、幅は上端29～37cm下端22cm、深さ14cm。

【埋土】 暗褐色土・黒褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 なし

時期 遺物はないが、平安時代のものと思われる7号溝が本遺構を切っているので、平安時代またはそれ以前と推測する。

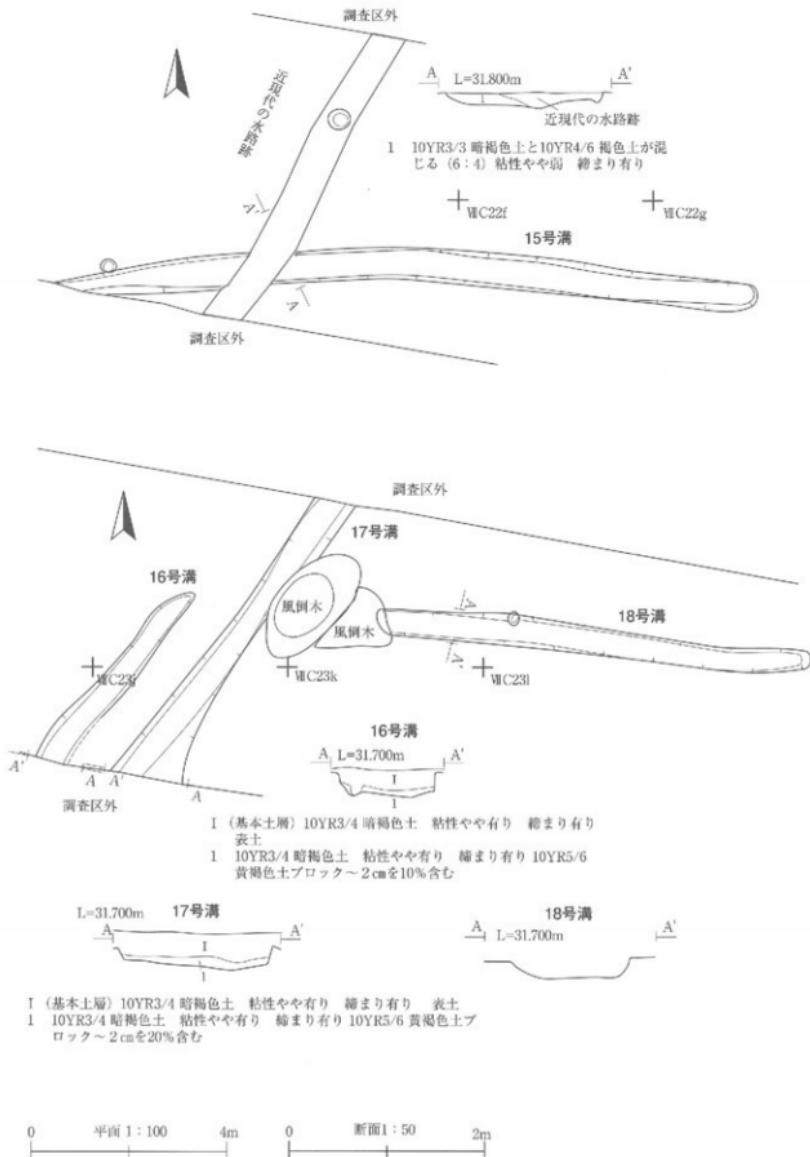
### 10号溝

遺構（第21図、写真図版13）

【位置・検出状況】 VII B16b、VII B17aグリッドに位置する。V層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。

【重複関係】 12号溝が一部重複している。

【規模・平面形・断面形】 規模は、確認できた長さ11.59m、幅は上端36～59cm、下端30～49cm、深さ16cm。



第22図 15~18号溝

〔埋土〕 暗褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 1層から陶磁器片が出土した。

時期 陶磁器の時期が不明なため、本遺構の時期も不明である。

#### 11号溝

遺構 (第20図、写真図版14)

〔位置・検出状況〕 VII B17c、VII B18dグリッドに位置する。IV層（一部V層）で暗褐色土の溝状の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 9号溝に切られている。

〔規模・平面形・断面形〕 規模は、確認できた長さ15.13m、幅は上端43~52cm、下端46cm、深さ14cm。

〔埋土〕 暗褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 なし

時期 遺物はないが、平安時代またはそれ以前のものと思われる9号溝が本遺構を切っているので、本遺構もその時期と推測する。

#### 12号溝

遺構 (第21図、写真図版14)

〔位置・検出状況〕 VII B17g、VII B18fグリッドに位置する。V層で黒色土の溝状の広がりとして、調査区の北側と南側から検出された。溝は中間で切れているが中間点には1号井戸跡があり、溝と何らかの関連がある可能性がある。

〔重複関係〕 1号井戸跡、10号溝が重複している。

〔規模・平面形・断面形〕 規模は、確認できた長さ北側93cm、南側1m15cm、幅は上端34cm、下端18cm、深さ14cm。

〔埋土〕 黒褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 黒褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

時期 不明だが、1号井戸跡と関連があるとすれば平安時代の可能性がある。

#### 13号溝

遺構 (第21図、写真図版14)

〔位置・検出状況〕 VII B19r、VII B20qグリッドに位置する。V層で黒褐色土の溝状の広がりとして検出された。

〔重複関係〕 柱穴がいくつか重複している。新旧関係は不明である。

〔規模・平面形・断面形〕 規模は、確認できた長さ6.41m、幅は上端20~48cm、下端20~28cm、深さ13cm。

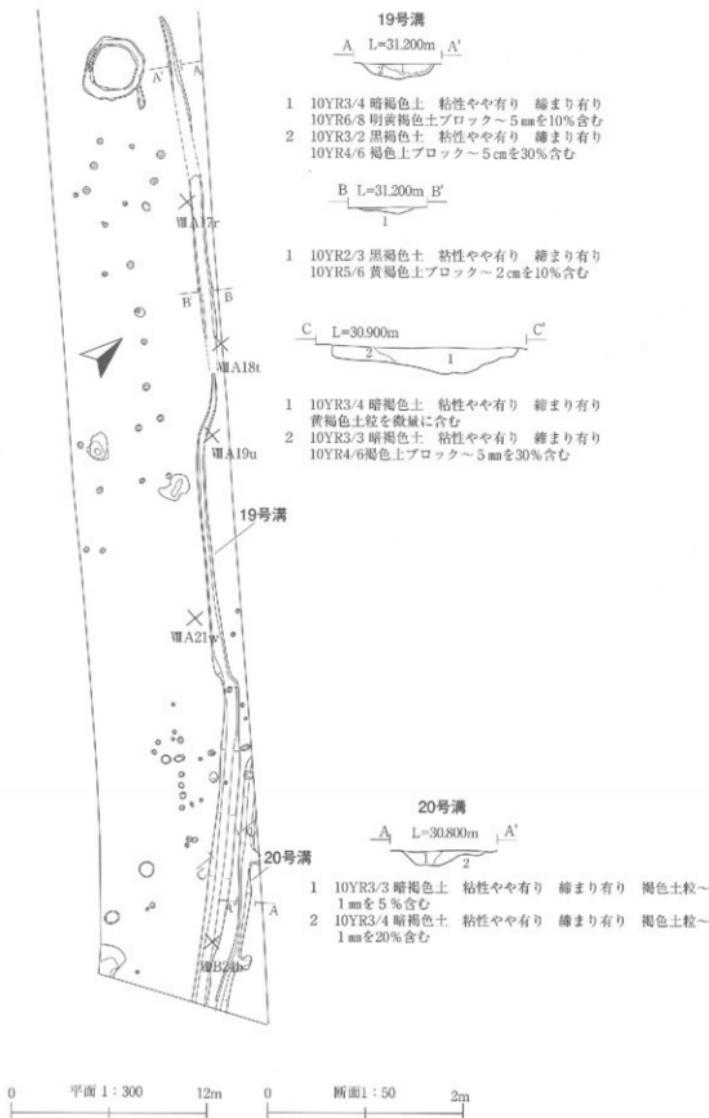
〔埋土〕 暗褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 なし

時期 遺物がなく、埋土状態からも判断できないので不明である。

#### 14号溝

遺構 (第21図、写真図版14)



第23図 19・20号溝

【位置・検出状況】 VII B19r、VII B20rグリッドに位置する。V層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。

【重複関係】 柱穴がいくつか重複している。新旧関係は不明である。

【規模・平面形・断面形】 規模は、確認できた長さ6.45m、幅は上端33~78cm、下端23~41cm、深さ14cm。

【埋土】 暗褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 1層から土師器片1点が出土した。

時期 遺物から平安時代と思われる。

#### 15号溝

遺構 (第22図、写真図版14)

【位置・検出状況】 VII C22dからVII C22gグリッドに向けて伸びる。V層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。

【重複関係】 近代または現代のものと思われる溝に切られている。

【規模・平面形・断面形】 調査区の北側から東に向かって伸び、水田造成時に上部が消失したものと思われ、途中で遺構が消失する。規模は、確認できた長さ14.16m、幅は上端54~73cm、下端21~55cm、深さ19cm。

【埋土】 暗褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 なし

時期 不明である。

#### 16号溝

遺構 (第22図、写真図版15)

【位置・検出状況】 VII C23i、VII C23j、VII C22jグリッドに位置する。V層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。

【重複関係】 なし

【規模・平面形・断面形】 北区の調査区南側境界から、ほぼ北に向けて伸びる。水田造成時に上部が消失したとみられ、途中で遺構が消失する。規模は、確認できた長さ4.51m、幅は上端57cm、下端38cm、深さ7cm。

【埋土】 暗褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 なし

時期 遺物がなく、埋土状態からも判断できないので不明である。

#### 17号溝

遺構 (第22図、写真図版15)

【位置・検出状況】 VII C22k、VII C22j、VII C23jグリッドに位置する。V層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。

【重複関係】 なし

【規模・平面形・断面形】 規模は、確認できた長さ6.97m、幅は上端56cm~1.05m下端56cm、深さ18cm。

【埋土】 暗褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

**遺物** なし

**時期** 遺物がなく、埋土状態からも判断できないので不明である。

### 18号溝

遺構（第22図、写真図版15）

【位置・検出状況】ⅧC22からⅧC22mグリッドに向けて伸びる。V層で黒褐色～暗褐色上の溝状の広がりとして検出された。

【重複関係】17号溝南側の風倒木手前で遺構が切れている。位置関係から15号溝の続きの可能性もある。

【規模・平面形・断面形】田の造成時に上部が消失したものと思われる、溝の両端が消失する。規模は、確認できた長さ8.58m、幅は上端64cm、下端44cm、深さ10cm。

【埋土】（記録なし）

遺物 16世紀のものと思われる陶磁器片が1点出土した。

時期 遺物は出土したが、埋土の残存状況が不十分なため表土直下から入り込んだ可能性もあり、不明である。

### 19号溝

遺構（第23図、写真図版15）

【位置・検出状況】ⅧA16qからⅧB24bグリッドにかけて伸びる。V層で黒褐色～暗褐色上の溝状の広がりとして検出された。

【重複関係】なし

【規模・平面形・断面形】規模は消失した部分を含め、確認できた長さ61.39m、幅は上端45cm～1.36m、下端22～92cm深さは最も深い部分で74cm。

【埋土】暗褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 1層から須恵器片が1点出土した。

時期 遺物から平安時代と思われる。

### 20号溝

遺構（第23図、写真図版15）

【位置・検出状況】ⅧA8gからⅧA10eグリッドに向けて伸びる。Ⅲ層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。

【重複関係】なし

【規模・平面形・断面形】規模は、確認できた長さ9.73m、幅は上端55～73cm下端34～58cm、深さ46cm。

【埋土】黒褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 1層から縄文土器片1点が出土した。

時期 縄文土器が出上したが、溝の通説から判断すると縄文時代とは考えにくい。不明である。

### 21号溝

遺構（第24図、写真図版16）

【位置・検出状況】ⅧA8fからⅧA10eグリッドに向けて伸びる。V層で黒色土の溝状の広がりとして検出された。一部は水田造成時に消失したものと思われる。

## 〔重複関係〕なし

〔規模・平面形・断面形〕 規模は、確認できた長さ北側60cm、南側5.72m、幅は上端47～87cm、下端25～79cm、深さ9cm。

〔埋土〕 暗褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 18世紀のものと思われる陶磁器片が1点出土した。

時期 遺物は出土したが、埋土の残存状況が不十分なため表土直下から入り込んだ可能性があり、不明である。

## 22号溝

遺構 (第24図、写真図版16)

〔位置・検出状況〕 ⅧA21yからⅧB24bグリッドにかけて伸びる。V層で黒褐色土の溝状の広がりとして検出された。

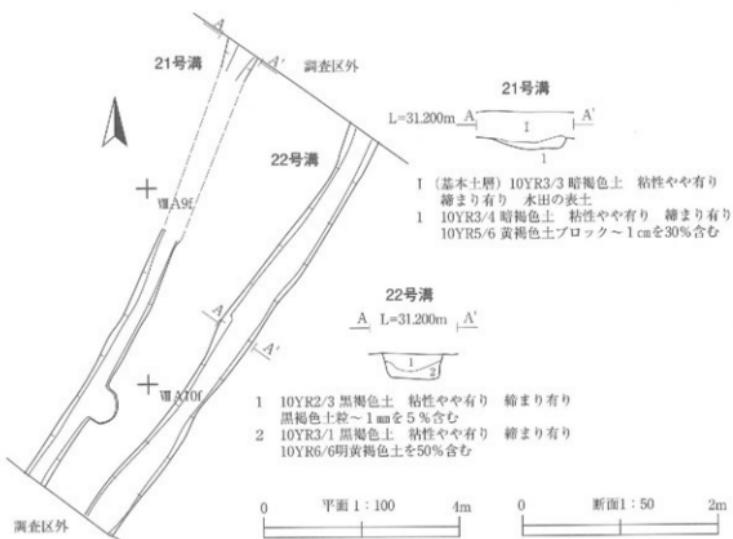
## 〔重複関係〕なし

〔規模・平面形・断面形〕 規模は、確認できた長さ15.26m、幅は上端51～80cm、下端16～38cm、深さ74cm。

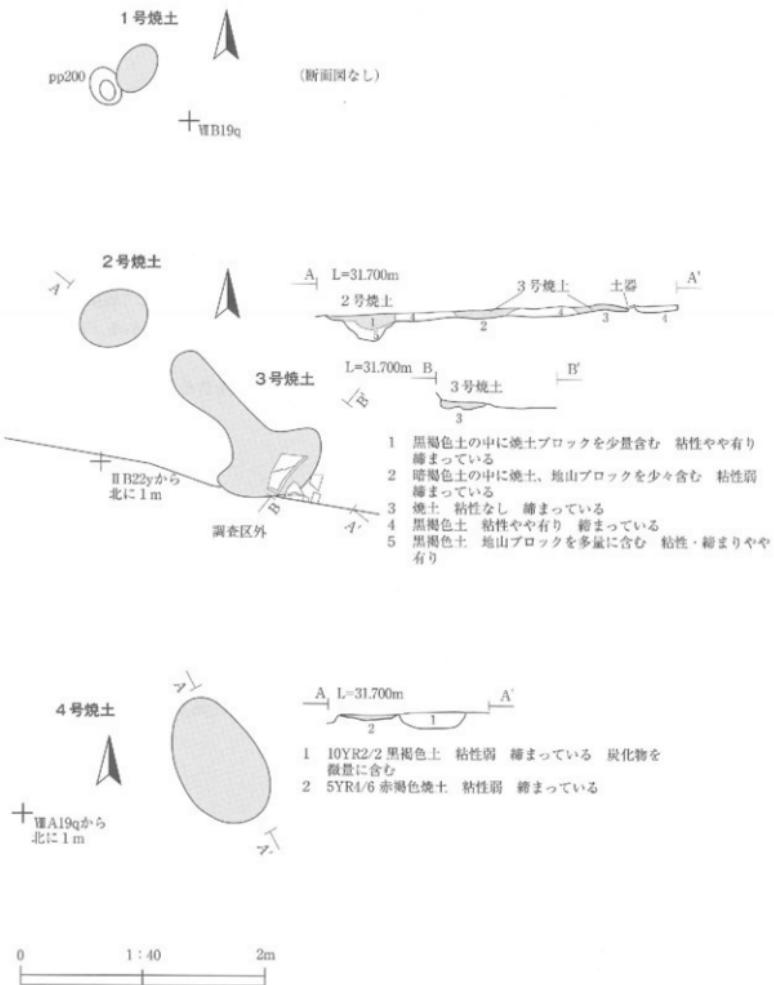
〔埋土〕 暗褐色土を主体とする。自然堆積と思われる。

遺物 1層から須恵器片1点、出土層位不明で土師器片1点が出土した。

時期 遺物から平安時代と思われる。



第24図 21・22号溝



第25図 1~4号焼土

### (7) 焼土状遺構

#### 1号焼土

遺構（第25図、写真図版16）

【位置・検出状況】ⅧB18pグリッドに位置する。V層で赤色土の円形の広がりとして検出された。

【重複関係】なし

【規模・平面形・断面形】楕円形で、規模は44×28cm。赤化が薄く断面実測が不可能だった。

【埋土】赤褐色。

遺物 土師器片が1点出土した。

時期 遺物から平安時代と思われる。

#### 2号焼土

遺構（第25図、写真図版16）

【位置・検出状況】ⅧB22xグリッドに位置する。IV層で赤色土の円形の広がりとして検出された。

【重複関係】重複ではないが、3号焼土が50cmほど南西にあり関連していると思われる。出土遺物や本遺構の形態からカマドの煙出しの可能性がある。

【規模・平面形・断面形】楕円形で、規模は58×43cm。焼土ブロックを含む層が8cmほど堆積している。

【埋土】黒褐色土の中に焼土ブロックを含む。

遺物 土師器（甕）の胴部が出土している。

時期 遺物から平安時代と思われる。

#### 3号焼土

遺構（第25図、写真図版16）

【位置・検出状況】ⅧB22xグリッドに位置する。IV層で赤色土の不定形の広がりとして検出された。

【重複関係】重複ではないが、2号焼土が50cmほど北東にあり関連していると思われる。出土遺物や2号焼土・3号焼土を含めた形状から本遺構はカマド焚口～煙道部の可能性が高い。

【規模・平面形・断面形】不定形で、規模は長さ1.43m、幅は広い部分で90cm。焼土層が10cmほど堆積している。

【埋土】焼土及び焼上ブロック。

遺物 土師器片が1点出土している。

時期 遺物から平安時代と思われる。

#### 4号焼土

遺構（第25図、写真図版17）

【位置・検出状況】ⅧA19qグリッドに位置する。IV層で赤色土と黒色土の楕円形の広がりとして検出された。

【重複関係】なし。

【規模・平面形・断面形】楕円形で、規模は長さ1.09×0.70m。焼土層が4cmほど堆積している。

【埋土】黒色土及び焼上ブロック。

遺物 なし。

時期 遺物がないので推測になるが、周辺の掘立柱建物跡や円形周溝が平安時代のものと考えられるので、本造構も同時期か。

### (8) 柱穴状土坑

掘立柱建物跡になるものも含め全部で384個確認された（第2表参照）。分布の傾向を見ると、北区のⅧAグリッドは1号掘立柱建物跡周辺のみの分布。ⅧBグリッド中央部に最も集中し、ⅧCグリッドでは分布が疎になる。南区はⅧAグリッドの南東側に分布するが、北西側にはほとんどない。斜面部には全くない。

特に北区ⅧBグリッドでの分布の様相を見ると、一定の期間その周辺が居住域だったことは間違いないと思われる。それは柱穴群がある範囲に井戸が存在することからも明らかである。

柱穴群の時期であるが、平安時代と思われる井戸跡が確認されたことから、柱穴も平安時代のものという可能性を否定はしない。ただし一般的に平安時代の居住形態は竪穴住居とされることから、柱穴については平安時代より新しいものが多いのではないかと推測される。なお前年度調査では竪穴住居が1棟、今年度調査でもカマドの上部が削られたものと思われる焼土跡が確認されたことから、平安時代も調査区周辺に居住域があったと思われる。水田造成時に竪穴住居跡の多くは消失したのではないかと推測される。

第2表 柱穴状土坑観察表

| 遺構名  | 径(cm) | 深さ(cm) | 底面標高(m) | 備考    | 遺構名  | 径(cm) | 深さ(cm) | 底面標高(m) | 備考   |
|------|-------|--------|---------|-------|------|-------|--------|---------|------|
| PP1  | 54×53 | 61     | 30.550  | 底部に柱材 | PP25 | 25×19 | 22     | 31.406  |      |
| PP2  | 23×18 | 6      | 31.421  |       | PP26 | 45×44 | 42     | 31.216  | 1号掘立 |
| PP3  | 25×25 | 6      | 31.446  |       | PP27 | 26×25 | 13     | 31.511  |      |
| PP4  | 22×21 | 10     | 31.412  |       | PP28 | 23×19 | 10     | 31.542  |      |
| PP5  | 29×23 | 17     | 31.438  |       | PP29 | 28×27 | 47     | 31.293  |      |
| PP6  | 29×22 | 14     | 31.428  |       | PP30 | 18×13 | 10     | 31.533  |      |
| PP7  | 23×22 | 18     | 31.462  |       | PP31 | 30×26 | 42     | 31.161  |      |
| PP8  | 23×20 | 12     | 31.516  |       | PP32 | 24×23 | 10     | 31.476  |      |
| PP9  | 22×21 | 17     | 31.465  |       | PP33 | 27×23 | 16     | 31.465  |      |
| PP10 | 49×46 | 43     | 31.165  | 1号掘立  | PP34 | 46×42 | 47     | 31.169  | 1号掘立 |
| PP11 | 51×43 | 47     | 31.179  | 1号掘立  | PP35 | 39×39 | 37     | 31.247  | 1号掘立 |
| PP12 | 33×27 | 16     | 31.472  |       | PP36 | 48×48 | 50     | 31.097  | 1号掘立 |
| PP13 | 43×42 | 50     | 31.184  | 1号掘立  | PP37 | 67×43 | 34     | 31.224  | 1号掘立 |
| PP14 | 46×42 | 42     | 31.219  | 1号掘立  | PP38 | 21×21 | 15     | 31.398  |      |
| PP15 | 24×22 | 21     | 31.435  |       | PP39 | 27×26 | 12     | 31.441  |      |
| PP16 | 29×26 | 17     | 31.398  |       | PP40 | 48×33 | 32     | 31.234  |      |
| PP17 | 22×20 | 10     | 31.084  |       | PP41 | 26×24 | 13     | 31.032  |      |
| PP18 | 28×28 | 22     | 31.359  |       | PP42 | 42×27 | 45     | 31.012  |      |
| PP19 | 27×26 | 24     | 31.313  |       | PP43 | 21×24 | 31     | 31.238  |      |
| PP20 | 27×24 | 16     | 31.400  |       | PP44 | 47×47 | 33     | 31.249  | 1号掘立 |
| PP21 | 27×26 | 21     | 31.445  |       | PP45 | 43×38 | 36     | 31.219  | 1号掘立 |
| PP22 | 41×39 | 41     | 31.230  | 1号掘立  | PP46 | 42×39 | 41     | 31.174  | 1号掘立 |
| PP23 | 53×52 | 36     | 31.210  | 1号掘立  | PP47 | 42×42 | 37     | 31.221  | 1号掘立 |
| PP24 | 44×38 | 46     | 31.172  | 1号掘立  | PP48 | 25×16 | 13     | 31.450  |      |

| 遺構名  | 径(cm) | 深さ(cm) | 底面標高(m) | 備考   | 遺構名   | 径(cm) | 深さ(cm) | 底面標高(m) | 備考  |
|------|-------|--------|---------|------|-------|-------|--------|---------|-----|
| PP19 | 28×24 | 19     | 31.370  |      | PP96  | 82×69 | 51     | 31.082  |     |
| PP50 | 39×33 | 34     | 31.216  |      | PP97  | 63×35 | 63     | 31.959  |     |
| PP51 | 45×35 | 32     | 31.229  |      | PP98  | 31×29 | 22     | 31.361  |     |
| PP52 | 38×30 | 21     | 31.353  |      | PP99  | 41×36 | 25     | 31.329  |     |
| PP53 | 29×28 | 25     | 31.286  |      | PP100 | 43×38 | 63     | 31.577  |     |
| PP54 | 36×30 | 47     | 30.922  |      | PP101 | 40×38 | 30     | 31.292  |     |
| PP55 | 36×34 | 48     | 30.905  |      | PP102 | 51×42 | 47     | 31.134  |     |
| PP56 | 40×28 | 38     | 31.040  |      | PP103 | —     | 89     | 30.708  |     |
| PP57 | 59×38 | 38     | 30.963  |      | PP104 | —     | 43     | 31.173  |     |
| PP58 | 33×25 | 26     | 31.059  |      | PP105 | —     | 32     | 31.249  |     |
| PP59 | 24×23 | 14     | 31.337  |      | PP106 | —     | 41     | 31.158  |     |
| PP60 | 28×23 | 13     | 31.350  |      | PP107 | 50×36 | 27     | 31.304  |     |
| PP61 | 26×22 | 11     | 31.284  |      | PP108 | 34×32 | 17     | 31.358  |     |
| PP62 | 26×19 | 11     | 31.317  |      | PP109 | 48×30 | 27     | 31.248  |     |
| PP63 | 29×21 | 9      | 31.270  |      | PP110 | 62×53 | 51     | 31.004  |     |
| PP64 | 24×19 | 10     | 31.254  |      | PP111 | 56×52 | 39     | 31.203  |     |
| PP65 | 19×17 | 20     | 31.227  |      | PP112 | —     | 65     | 30.941  |     |
| PP66 | 43×31 | 19     | 31.197  |      | PP113 | —     | 57     | 31.017  |     |
| PP67 | —     | 23     | 31.205  | 2号掘立 | PP114 | 80×30 | 55     | 31.032  |     |
| PP68 | 49×38 | 33     | 31.086  | 2号掘立 | PP115 | 31×25 | 8      | 31.309  |     |
| PP69 | 34×28 | 16     | 31.222  | 2号掘立 | PP116 | 35×27 | 19     | 31.401  |     |
| PP70 | 41×34 | 18     | 31.168  | 2号掘立 | PP117 | 33×30 | 40     | 31.207  |     |
| PP71 | 42×33 | 18     | 31.198  | 2号掘立 | PP118 | 39×38 | 44     | 31.165  |     |
| PP72 | 40×37 | 23     | 31.219  | 2号掘立 | PP119 | 47×45 | 80     | 30.798  |     |
| PP73 | 38×35 | 29     | 31.095  | 2号掘立 | PP120 | 69×61 | 77     | 30.833  |     |
| PP74 | 31×27 | 14     | 31.238  | 2号掘立 | PP121 | 50×43 | 51     | 31.084  |     |
| PP75 | 29×29 | 17     | 31.277  |      | PP122 | 41×37 | 43     | 31.160  |     |
| PP76 | 25×20 | 18     | 31.333  |      | PP123 | 38×38 | 37     | 31.206  |     |
| PP77 | 34×32 | 5      | 31.452  |      | PP124 | 30×25 | 42     | 31.138  |     |
| PP78 | 23×19 | 14     | 31.355  |      | PP125 | 39×35 | 43     | 31.134  |     |
| PP79 | 32×24 | 26     | 31.247  |      | PP126 | 44×29 | 28     | 31.322  |     |
| PP80 | 27×22 | 17     | 31.311  |      | PP127 | 31×30 | 15     | 31.425  |     |
| PP81 | 46×40 | 37     | 31.234  |      | PP128 | 39×36 | 20     | 31.403  |     |
| PP82 | 51×48 | 26     | 31.329  |      | PP129 | 43×42 | 40     | 31.163  |     |
| PP83 | 40×31 | 13     | 31.411  |      | PP130 | 51×40 | 43     | 31.130  |     |
| PP84 | 30×23 | 28     | 31.284  |      | PP131 | 40×22 | 44     | 31.128  |     |
| PP85 | 30×28 | 12     | 31.147  |      | PP132 | 47×44 | 38     | 31.175  |     |
| PP86 | 26×22 | 8      | 31.479  |      | PP133 | 35×33 | 34     | 31.182  |     |
| PP87 | 31×22 | 21     | 31.315  |      | PP134 | 26×18 | 39     | 31.163  |     |
| PP88 | —     | 11     | 31.437  |      | PP135 | 33×30 | 26     | 31.185  |     |
| PP89 | —     | 12     | 31.437  |      | PP136 | 25×22 | 18     | 31.196  |     |
| PP90 | 47×33 | 60     | 30.955  |      | PP137 | 26×20 | 30     | 31.194  |     |
| PP91 | 91×57 | 69     | 30.879  |      | PP138 | —     | 36     | 31.201  |     |
| PP92 | 15×42 | 54     | 31.029  |      | PP139 | —     | 66     | 30.903  |     |
| PP93 | 49×34 | 43     | 31.101  |      | PP140 | —     | 37     | 31.196  |     |
| PP94 | 49×47 | 31     | 31.261  |      | PP141 | 64×46 | 53     | 31.012  | 傾斜器 |
| PP95 | 31×39 | 51     | 31.079  |      | PP142 | 48×44 | 35     | 31.073  |     |

| 遺構名   | 径(cm) | 深さ(cm) | 底面標高(m) | 備考 | 遺構名   | 径(cm) | 深さ(cm) | 底面標高(m) | 備考 |
|-------|-------|--------|---------|----|-------|-------|--------|---------|----|
| PP143 | 55×40 | 29     | 31.228  |    | PP191 | 26×21 | 6      | 31.470  |    |
| PP144 | 42×38 | 42     | 31.019  |    | PP192 | 20×20 | 9      | 31.415  |    |
| PP145 | 46×45 | 26     | 31.282  |    | PP193 | 32×28 | 14     | 31.369  |    |
| PP146 | 26×22 | 52     | 31.036  |    | PP194 | 27×19 | 20     | 30.297  |    |
| PP147 | 27×26 | 24     | 31.395  |    | PP195 | 21×18 | 16     | 31.331  |    |
| PP148 | 32×29 | 57     | 31.067  |    | PP196 | 24×18 | 39     | 31.117  |    |
| PP149 | 31×26 | 67     | 30.989  |    | PP197 | 37×29 | 15     | 31.145  |    |
| PP150 | 39×32 | 31     | 31.324  |    | PP198 | 20×18 | 29     | 31.168  |    |
| PP151 | 38×34 | 67     | 30.993  |    | PP199 | 21×19 | 28     | 31.522  |    |
| PP152 | 38×29 | 11     | 31.555  |    | PP200 | 32×22 | 62     | 31.003  |    |
| PP153 | 49×37 | 47     | 31.182  |    | PP201 | 26×22 | 48     | 31.126  |    |
| PP154 | 19×17 | 29     | 31.654  |    | PP202 | 53×45 | 8      | 31.484  |    |
| PP155 | 40×33 | 56     | 31.075  |    | PP203 | 36×26 | 16     | 31.385  |    |
| PP156 | 42×33 | 32     | 31.328  |    | PP204 | 23×18 | 24     | 31.229  |    |
| PP157 | 49×44 | 27     | 31.367  |    | PP205 | 25×23 | 24     | 31.284  |    |
| PP158 | 43×26 | 21     | 31.423  |    | PP206 | 37×32 | 14     | 31.368  |    |
| PP159 | 37×34 | 53     | 31.086  |    | PP207 | 35×26 | 13     | 31.386  |    |
| PP160 | 32×31 | 33     | 31.274  |    | PP208 | 16×15 | 11     | 31.401  |    |
| PP161 | 53×49 | 11     | 31.276  |    | PP209 | 26×22 | 51     | 30.985  |    |
| PP162 | 34×29 | 21     | 31.335  |    | PP210 | 26×22 | 9      | 31.384  |    |
| PP163 | 33×23 | 26     | 31.238  |    | PP211 | 24×19 | 41     | 31.102  |    |
| PP164 | 31×30 | 15     | 31.409  |    | PP212 | 31×25 | 7      | 31.387  |    |
| PP165 | 35×22 | 34     | 31.224  |    | PP213 | 80×47 | 13     | 31.315  |    |
| PP166 | 88×78 | 62     | 31.007  |    | PP214 | 32×24 | 22     | 31.263  |    |
| PP167 | 34×29 | 33     | 31.302  |    | PP215 | 23×22 | 24     | 31.225  |    |
| PP168 | 25×21 | 19     | 31.487  |    | PP216 | 24×13 | 16     | 31.341  |    |
| PP169 | 29×25 | 22     | 31.441  |    | PP217 | 30×24 | 14     | 31.376  |    |
| PP170 | 30×28 | 21     | 31.401  |    | PP218 | 26×25 | 37     | 31.105  |    |
| PP171 | 37×34 | 32     | 31.320  |    | PP219 | —     | 11     | 31.421  |    |
| PP172 | 38×34 | 20     | 31.484  |    | PP220 | 22×20 | 14     | 31.361  |    |
| PP174 | 46×31 | 23     | 31.421  |    | PP221 | 59×41 | 12     | 31.374  |    |
| PP175 | 30×22 | 34     | 31.299  |    | PP222 | 27×24 | 20     | 31.289  |    |
| PP176 | 29×36 | 11     | 31.510  |    | PP223 | 25×25 | 14     | 31.299  |    |
| PP177 | 29×25 | 35     | 31.269  |    | PP224 | 26×23 | 15     | 31.306  |    |
| PP178 | 29×24 | 13     | 31.421  |    | PP225 | 36×31 | 10     | 31.276  |    |
| PP179 | 25×22 | 15     | 31.386  |    | PP226 | 22×19 | 20     | 31.232  |    |
| PP180 | 26×18 | 13     | 31.408  |    | PP227 | 25×15 | 22     | 31.157  |    |
| PP181 | 38×26 | 10     | 31.434  |    | PP228 | 21×19 | 12     | 31.304  |    |
| PP182 | 36×31 | 39     | 31.200  |    | PP229 | 26×19 | 12     | 31.306  |    |
| PP183 | 42×41 | 41     | 31.167  |    | PP230 | 39×38 | 28     | 31.140  |    |
| PP184 | 33×32 | 30     | 31.277  |    | PP231 | 39×32 | 37     | 31.100  |    |
| PP185 | 21×18 | 36     | 31.216  |    | PP232 | 26×19 | 19     | 31.331  |    |
| PP186 | 38×30 | 38     | 31.208  |    | PP233 | 25×21 | 27     | 31.238  |    |
| PP187 | 37×35 | 31     | 31.308  |    | PP234 | 17×14 | 14     | 31.268  |    |
| PP188 | 44×34 | 49     | 31.080  |    | PP235 | 31×26 | 16     | 31.336  |    |
| PP189 | —     | 22     | 31.302  |    | PP236 | —     | 10     | 31.406  |    |
| PP190 | 51×29 | 29     | 31.222  |    | PP237 | 37×28 | 32     | 31.211  |    |

## 2 検出された遺構と出土遺物

| 遺構名   | 径(cm) | 深さ(cm) | 底面標高(m) | 備考   | 遺構名   | 径(cm) | 深さ(cm) | 底面標高(m) | 備考   |
|-------|-------|--------|---------|------|-------|-------|--------|---------|------|
| PP225 | 49×25 | 10     | 31.399  |      | PP285 | 33×28 | 18     | 31.321  |      |
| PP229 | 25×20 | 6      | 31.374  |      | PP286 | 26×22 | 14     | 31.264  |      |
| PP240 | 47×29 | 15     | 31.259  |      | PP287 | 31×29 | 13     | 31.305  |      |
| PP241 | 51×39 | 18     | 31.228  |      | PP288 | 42×28 | 9      | 31.355  |      |
| PP242 | 31×28 | 40     | 31.022  |      | PP289 | 47×37 | 73     | 31.354  |      |
| PP243 | 39×35 | 15     | 31.280  |      | PP290 | 51×36 | 42     | 31.039  |      |
| PP244 | 72×63 | 24     | 31.195  |      | PP291 | —     | 24     | 31.215  |      |
| PP245 | 24×21 | 15     | 31.261  |      | PP292 | —     | 24     | 31.368  |      |
| PP246 | 24×23 | 13     | 31.273  |      | PP293 | 57×32 | 26     | 31.184  |      |
| PP247 | 27×26 | 9      | 31.371  |      | PP294 | 43×25 | 15     | 31.334  |      |
| PP248 | 23×21 | 46     | 30.994  |      | PP295 | 33×24 | 27     | 31.484  |      |
| PP249 | 34×31 | 35     | 31.120  |      | PP296 | 51×39 | 20     | 31.370  |      |
| PP250 | 32×24 | 20     | 31.216  |      | PP297 | 54×44 | 20     | 31.366  |      |
| PP251 | —     | 24     | 31.205  |      | PP298 | 35×26 | 14     | 31.451  |      |
| PP252 | 28×25 | 18     | 31.280  |      | PP299 | 30×25 | 19     | 31.420  |      |
| PP253 | 23×23 | 26     | 31.202  |      | PP300 | 28×24 | 21     | 31.397  |      |
| PP254 | 30×29 | 27     | 31.198  |      | PP301 | 48×33 | 18     | 31.410  |      |
| PP255 | 29×22 | 17     | 31.271  |      | PP302 | 22×21 | 11     | 31.471  |      |
| PP256 | 21×23 | 53     | 30.923  |      | PP303 | 29×28 | 31     | 31.281  |      |
| PP257 | 37×23 | 13     | 31.321  |      | PP304 | 30×24 | 23     | 31.368  |      |
| PP258 | 46×37 | 56     | 30.897  |      | PP305 | 36×25 | 13     | 31.469  |      |
| PP259 | 27×21 | 32     | 31.148  |      | PP306 | 37×36 | 13     | 31.443  |      |
| PP260 | 33×30 | 34     | 31.137  |      | PP307 | 33×31 | 10     | 31.497  |      |
| PP261 | 38×32 | 29     | 31.147  | 3号掘立 | PP308 | 47×43 | 20     | 31.243  |      |
| PP262 | 33×26 | 29     | 31.166  |      | PP309 | 45×31 | 16     | 31.408  |      |
| PP263 | 41×36 | 28     | 31.160  | 3号掘立 | PP310 | 24×23 | 19     | 31.400  |      |
| PP264 | 39×34 | 28     | 31.176  |      | PP311 | 29×26 | 10     | 31.484  |      |
| PP265 | 39×29 | 27     | 31.180  | 3号掘立 | PP312 | 33×28 | 17     | 31.382  |      |
| PP266 | 26×20 | 19     | 31.251  |      | PP313 | 30×29 | 8      | 31.505  |      |
| PP267 | 64×50 | 28     | 31.163  |      | PP314 | 25×24 | 15     | 31.435  |      |
| PP268 | 28×26 | 19     | 31.222  |      | PP315 | 25×23 | 14     | 31.432  |      |
| PP269 | 27×24 | 18     | 31.245  |      | PP316 | 26×24 | 23     | 31.338  |      |
| PP270 | 21×23 | 11     | 31.304  |      | PP317 | 27×24 | 8      | 31.461  |      |
| PP271 | 34×29 | 33     | 31.092  | 3号掘立 | PP318 | 68×51 | 9      | 31.431  |      |
| PP272 | 41×28 | 29     | 31.126  | 3号掘立 | PP319 | 37×33 | 11     | 31.439  |      |
| PP273 | —     | 21     | 31.205  |      | PP320 | 66×63 | 16     | 31.386  |      |
| PP274 | —     | 24     | 31.175  |      | PP321 | 50×26 | 19     | 31.352  |      |
| PP275 | 91×54 | 18     | 31.248  |      | PP322 | 64×35 | 8      | 31.471  |      |
| PP276 | 20×14 | 21     | 31.156  |      | PP323 | 48×39 | 9      | 31.410  |      |
| PP277 | 21×18 | 25     | 31.173  |      | PP324 | 33×31 | 13     | 31.383  |      |
| PP278 | 39×33 | 34     | 31.113  | 3号掘立 | PP325 | 38×33 | 6      | 31.454  |      |
| PP279 | 33×28 | 17     | 31.305  |      | PP326 | 22×19 | 30     | 31.276  |      |
| PP280 | 37×24 | 14     | 31.326  |      | PP327 | 27×24 | 33     | 31.212  |      |
| PP281 | 38×27 | 19     | 31.256  |      | PP328 | 27×19 | 12     | 31.138  |      |
| PP282 | 26×26 | 44     | 31.113  |      | PP329 | 21×18 | 16     | 31.206  |      |
| PP283 | 23×21 | 20     | 31.272  |      | PP330 | 36×33 | 42     | 30.511  |      |
| PP284 | 25×20 | 38     | 31.123  |      | PP331 | 48×47 | 18     | 30.893  | 4号掘立 |

| 遺物名   | 径(cm) | 深さ(cm) | 底面標高(m) | 備考   | 遺物名   | 径(cm) | 深さ(cm) | 底面標高(m) | 備考 |
|-------|-------|--------|---------|------|-------|-------|--------|---------|----|
| PP332 | 31×26 | 23     | 30.902  | 4号縦立 | PP359 | 63×30 | 30     | 30.632  |    |
| PP333 | 38×38 | 23     | 30.888  | 4号縦立 | PP360 | 57×54 | 29     | 30.612  |    |
| PP334 | 45×43 | 28     | 30.846  | 4号縦立 | PP361 | 24×18 | 9      | 30.609  |    |
| PP335 | 45×44 | 28     | 30.847  | 4号縦立 | PP362 | 63×50 | 30     | 30.633  |    |
| PP336 | 31×28 | 22     | 30.933  | 4号縦立 | PP363 | 45×30 | 31     | 30.628  |    |
| PP337 | 60×44 | 29     | 30.858  | 4号縦立 | PP364 | 27×18 | 22     | 30.742  |    |
| PP338 | 48×39 | 21     | 30.884  | 4号縦立 | PP365 | 42×35 | 25     | 30.731  |    |
| PP339 | 30×30 | 25     | 30.875  |      | PP366 | 28×21 | 26     | 30.716  |    |
| PP340 | 42×32 | 16     | 30.977  |      | PP367 | 22×19 | 17     | 30.812  |    |
| PP341 | 44×44 | 13     | 30.720  |      | PP368 | 30×19 | 27     | 30.668  |    |
| PP342 | 33×29 | 18     | 30.965  |      | PP369 | 29×26 | 18     | 30.783  |    |
| PP343 | 61×52 | 46     | 30.683  |      | PP370 | 32×22 | 33     | 30.632  |    |
| PP344 | 34×33 | 23     | 30.764  |      | PP371 | 61×52 | 12     | 30.860  |    |
| PP345 | 47×41 | 23     | 30.773  |      | PP372 | 66×38 | 28     | 30.701  |    |
| PP346 | 44×37 | 29     | 30.718  |      | PP373 | 36×31 | 23     | 30.762  |    |
| PP347 | 44×33 | 20     | 30.812  |      | PP374 | 37×32 | 29     | 30.676  |    |
| PP348 | 43×31 | 27     | 30.731  |      | PP375 | 41×39 | 19     | 30.706  |    |
| PP349 | 40×33 | 30     | 30.693  |      | PP376 | 34×31 | 27     | 30.629  |    |
| PP350 | 33×26 | 10     | 30.906  |      | PP377 | 39×19 | 23     | 30.684  |    |
| PP351 | 35×35 | 32     | 30.681  |      | PP378 | 24×20 | 23     | 30.683  |    |
| PP352 | 34×28 | 20     | 30.795  |      | PP379 | 38×31 | 40     | 30.434  |    |
| PP353 | 32×30 | 36     | 30.646  |      | PP380 | 34×33 | 21     | 30.632  |    |
| PP354 | 26×24 | 13     | 30.830  |      | PP381 | 26×22 | 9      | 30.752  |    |
| PP355 | 28×24 | 16     | 30.792  |      | PP382 | 36×32 | 7      | 30.672  |    |
| PP356 | 36×31 | 7      | 30.731  |      | PP383 | 21×14 | 31     | 30.416  |    |
| PP357 | 27×24 | 16     | 30.775  |      | PP384 | 21×21 | 27     | 30.303  |    |
| PP358 | 22×18 | 35     | 30.609  |      |       |       |        |         |    |

### (9) 出土遺物

今回の調査で出土した遺物は、縄文土器11点0.520kg、土師器、須恵器36点1.712kg、石器類17点1.287kg、中近世陶磁器12点0.191kg、その他（近代ガラス製品）1点0.17kgである。以下、縄文時代、平安時代に分けて着目できる遺物について記す。

縄文土器ではⅧB20vグリッドから出土した鉢（図版縄文土器No2）が接合の結果、胸部上部～下部にかけての器形をとどめるものとなった。器形や厚さから縄文晩期～弥生にかけてのものと思われる。縄文晩期特有の雲形文や工字文がなく、縄文時代か弥生時代か特定はできない。文様の摩耗も激しい。ⅧB20tグリットⅣ層から出土したもの（縄文土器図版No3）は口縁部をとどめ、突起の形状が十腰内式の深鉢に該当するものと思われる。その他はいずれも小片で、No9が晩期の鉢の口縁部と思われる他は時期不明である。石器はNo1の砥石以外は、縄文時代の可能性が高いものが多い。

平安時代の遺物はⅧC21aグリッドから出土した須恵器壺（図版土師器・須恵器No1）、ⅧC22iグリッドから出土した土師器壺（図版土師器・須恵器No2）が口縁部から底部にかけての器形をとどめるものとなった。No1は胸部にロクロナデ、底部に静止糸切り根が見られる。No2は胸部にロクロナデ、底部に回転糸切り根が見られる。いずれも平安時代のものと思われる。その他の土師器、須恵器も平安時代のものの可能性が高い。

陶磁器には中世と近世のものがある。まず中世の陶磁器であるが49の陶器は自信はないが50と同じく瀬戸美濃産陶器（16世紀末）ではないかと思われる。同じく56も瀬戸美濃産陶器で、今回の調査では何れも16世紀末の陶器が出土している。57は小破片のため自信はないが、白磁の壺・瓶類の可能性がある。

近世の陶磁器は17世紀代のものが見られず、18世紀以降のもので構成されている。よって遺物からは中世と近世では断絶が認められる。器種は碗・皿・壺類他で点数は少なく、陶磁器の集落での使用状況を検討するには種類・量ともに不足している。その他、石臼が1点出土している。

第3表 調文土器観察表

| No | 収番 | 出土地点        | 層位 | 器種 | 部位  | 文様         | 時期      | 備考      |
|----|----|-------------|----|----|-----|------------|---------|---------|
| 1  | 13 | 調査区外        | 不明 | 鉢  | 腹部  | 斜縞文平脚LR    | 晩期?     |         |
| 2  | 27 | VII-20v     | Ⅳ層 | 壺  | 胴部  | 斜縞文平脚LR    | 縞文晩期～弥生 | 摩耗している  |
| 3  | 30 | VII-20      | Ⅳ層 | 鉢  | 口縁部 | 沈線         | 後期      | 口縁部欠け   |
| 4  | 32 | 16号土坑       | 1層 | 不明 | 胴部  | 斜縞文平脚LR    | 不明      |         |
| 5  | 33 | VII-20y 瓢箪木 | Ⅳ層 | 鉢  | 腹部  | 斜縞文平脚LR    | 不明      |         |
| 6  | 31 | 14号土坑       | 2層 | 鉢  | 口縁部 | 斜縞文平脚LR・沈線 | 不明      |         |
| 7  | 35 | 18号土坑       | 1層 | 鉢  | 胴部  | 斜縞文平脚LR    | 不明      |         |
| 8  | 36 | 17号土坑       | 1層 | 不明 | 胴部  | 斜縞文平脚LR    | 不明      |         |
| 9  | 37 | pp337       | 1層 | 鉢  | 口縁部 | 沈線         | 晩期      |         |
| 10 | 38 | pp68        | 1層 | 鉢  | L縁部 | 沈線         | 不明      |         |
| 11 | 39 | 20号溝        | 1層 | 不明 | 不明  | 原範のため不明    | 不明      | 胎土に砂を含む |

第4表 土師器・須恵器観察表

| No | 収番 | 出土地点       | 層位    | 種類・器種 | 部位   | 計測値(cm) |      | 内面調整 | 外向色調         | 内向色調  | 胎土<br>その他 |
|----|----|------------|-------|-------|------|---------|------|------|--------------|-------|-----------|
|    |    |            |       |       |      | 口径      | 底径   |      |              |       |           |
| 1  | 1  | VII-C21a   | Ⅳ層    | 須恵器・壺 | 口～底  | 13.30   | 6.70 | 4.70 | クロコ          | 褐色    | 砂を含む      |
| 2  | 2  | VII-C22    | Ⅳ層    | 須恵器・壺 | 口～底  | 15.00   | 7.90 | 5.60 | クロコ          | 灰白    | 淡黄橙       |
| 3  | 3  | VII-C23    | Ⅳ層    | 須恵器・壺 | 口～胴  | 14.80   | —    | 4.10 | クロコ          | 淡黄橙   | 淡黄橙       |
| 4  | 4  | 18号土坑      | 2層    | 上部器・壺 | 底部   | 2.00    | 7.10 | —    | クロコ          | にぶい黄橙 | 高台付壺      |
| 5  | 5  | 20号土坑      | 1層    | 上部器・壺 | 口縁部  | —       | —    | —    | 口：ヨコナデ 案：ハケメ | 浅黄橙   | にぶい黄橙     |
| 6  | 6  | pp338(4号住) | 1層    | 土師器・壺 | 口縁部  | —       | —    | —    | クロコ          | にぶい橙  | 砂を含む      |
| 7  | 7  | 4号井戸跡      | 不明    | 土師器・壺 | 口縁部  | —       | —    | —    | クロコ          | にぶい黄橙 | にぶい黄橙     |
| 8  | 8  | 北区         | 表上    | 須恵器・壺 | 口縁部  | —       | —    | —    | クロコ          | 灰黄褐   | 黒化粧       |
| 9  | 9  | pp141      | 1層    | 須恵器・壺 | 口縁部  | —       | —    | —    | クロコ          | にぶい橙  | にぶい橙      |
| 10 | 10 | 4号井戸跡      | 不明    | 須恵器・壺 | 口縁部  | —       | —    | —    | クロコ          | 橙     | 砂を含む      |
| 11 | 11 | 12号土坑      | 不明    | 須恵器・壺 | 口縁部  | —       | —    | —    | クロコ          | 褐色    | にぶい橙      |
| 12 | 12 | 不明         | 須恵器・壺 | 底部    | 2.00 | 5.00    | —    | クロコ  | 口クロ          | 褐色    | 灰褐色       |
| 13 | 14 | 5号備        | 2層    | 須恵器・壺 | 胴部   | —       | —    | —    | —            | 褐色    | 褐色        |
| 14 | 15 | 前部         | 1層    | 須恵器・壺 | 胴部   | —       | —    | —    | タクキ          | 褐色(淡) | 褐色(淡)     |
| 15 | 16 | 北区         | 表上    | 須恵器・壺 | 胴部   | —       | —    | —    | タクキ          | 褐色    | 褐色        |
| 17 | 18 | 7号溝        | 1層    | 須恵器・壺 | 口～胴  | —       | —    | —    | ナデ           | タクキ   | 褐色        |
| 18 | 19 | 北区         | 表上    | 須恵器・壺 | 胴部   | —       | —    | —    | タクキ          | 褐色(淡) | 褐色(淡)     |
| 19 | 20 | 北区         | 表上    | 須恵器・? | ?    | —       | —    | —    | 自然釉          | 褐色    | 褐色        |
| 20 | 21 | 1号井戸跡      | 1層    | 須恵器・壺 | 口～胴  | —       | —    | —    | タクキ          | ナデ    | 褐色        |
| 21 | 22 | 19号溝       | 1層    | 須恵器・壺 | 胴部   | —       | —    | —    | ナデ           | 褐色(淡) | 褐色(淡)     |
| 22 | 23 | 18号土坑      | 2層    | 須恵器・壺 | 胴部   | —       | —    | —    | タクキ          | —     | 褐色(淡)     |
| 23 | 24 | 13号土坑      | 1層    | 須恵器・壺 | 胴部   | —       | —    | —    | タクキ          | —     | 褐色(淡)     |
| 24 | 25 | 南区         | 表上    | 須恵器・壺 | 底部   | —       | —    | —    | タクキ          | 少?    | 灰白        |

| No. | 仮番 | 出土地点      | 層位   | 種類・器種 | 部位  | 計測値(cm) |     |    | 外向調整 | 内面調整 | 外面色調    | 内面色調 | 胎土その他の |
|-----|----|-----------|------|-------|-----|---------|-----|----|------|------|---------|------|--------|
|     |    |           |      |       |     | 口径      | 底径  | 器高 |      |      |         |      |        |
| 25  | 28 | 15号土坑     | 1層   | 土師器・壺 | 底部  | —       | 640 | —  | —    | —    | 橙       | 橙    | 赤母を含む  |
| 26  | 29 | 7号 sond   | 1~2層 | 土師器・壺 | 底部  | —       | 500 | —  | —    | —    | にぶい黄橙   | 橙    |        |
| 27  | 31 | 14号 sond  | 3層   | 土師器・壺 | 底部  | —       | —   | —  | —    | —    | にぶい黄橙   | 砂を含む |        |
| 28  | 42 | 2号 sond   | 1層   | 土師器・壺 | 底部  | —       | —   | —  | —    | —    | 灰褐色~赤褐色 | 砂を含む |        |
| 30  | 40 | 22号 sond  | 不明   | 須恵器・壺 | 底部  | —       | —   | —  | —    | —    | 灰       | 灰    |        |
| 31  | 43 | 1号 sond   | 1層   | 土師器・壺 | 底部  | —       | —   | —  | —    | —    | 浅黄橙     | 浅黄橙  |        |
| 32  | 44 | 3号 sond   | 1層   | 土師器・壺 | 底部  | —       | —   | —  | —    | —    | 浅黄橙     | 浅黄橙  |        |
| 33  | 45 | 22号 sond  | 不明   | 土師器・壺 | 底部  | —       | —   | —  | —    | —    | 浅黄橙     | 浅黄橙  |        |
| 34  | 46 | JB20y 墓倒木 | 許層   | 土師器・壺 | 底部  | —       | —   | —  | —    | —    | にぶい黄橙   | 橙    |        |
| 35  | 47 | 円形周溝      | 1層   | 土師器・壺 | 底部  | —       | —   | —  | —    | —    | にぶい黄橙   | 橙    |        |
| 36  | 48 | 20号土坑     | 1層   | 土師器・壺 | 口縁部 | —       | —   | —  | ロクロ  | ロクロ  | にぶい黄橙   | 砂を含む |        |

\*No.29~No.36は、写真のみ掲載で実測図なし。

第5表 陶磁器観察表

| No. | 仮番 | 出土地点       | 層位 | 器種  | 部位  | 胎土  | 鉢蓋  | 產地   | 年代     |
|-----|----|------------|----|-----|-----|-----|-----|------|--------|
| 1   | 49 | 10号 sond   | 1層 | 碗   | 胴部  | 墨褐  | 不明  | 不明   | 不明     |
| 2   | 50 | 18号 sond   | 1層 | 皿   | 胴部  | 灰白  | 灰雜  | 瀬戸美濃 | 16c末   |
| 3   | 51 | 21号 sond   | 1層 | 碗   | 胴部  | 灰白  | 灰雜  | 大堀相馬 | 18c    |
| 4   | 25 | 北区         | 表土 | 壺   | 口縁部 | 暗灰  | 燒鈍  | 不明   | 近代以降   |
| 5   | 52 | 北区         | 表土 | 皿   | 口縁部 | 赤褐  | 白化粧 | 肥前   | 18c以降  |
| 6   | 53 | 北区         | 表土 | 碗   | 底部  | 褐灰色 | 灰雜  | 不明   | 18·19c |
| 7   | 54 | 北区         | 表土 | 皿   | 口縁部 | 白   | 染付  | 肥前   | 18c    |
| 8   | 55 | 南区         | 表土 | 仏像器 | 窓合部 | 白   | 染付  | 肥前   | 近世であろう |
| 9   | 56 | 南区         | 表土 | 皿   | 口縁部 | 灰白  | 灰雜  | 瀬戸美濃 | 16c末   |
| 10  | 57 | 不明         | 皿層 | 不明  | 胴部  | 白   | 白胎か | 中国   | 中世     |
| 11  | 58 | 1号墳立柱・カクラン | 表土 | 口縁部 | 白   | 染付  | 肥前系 | 19c前 |        |
| 12  | 59 | 不明         | 表土 | 甕   | 胴部  | 小石合 | 燒鈍  | 不明   | 不明     |

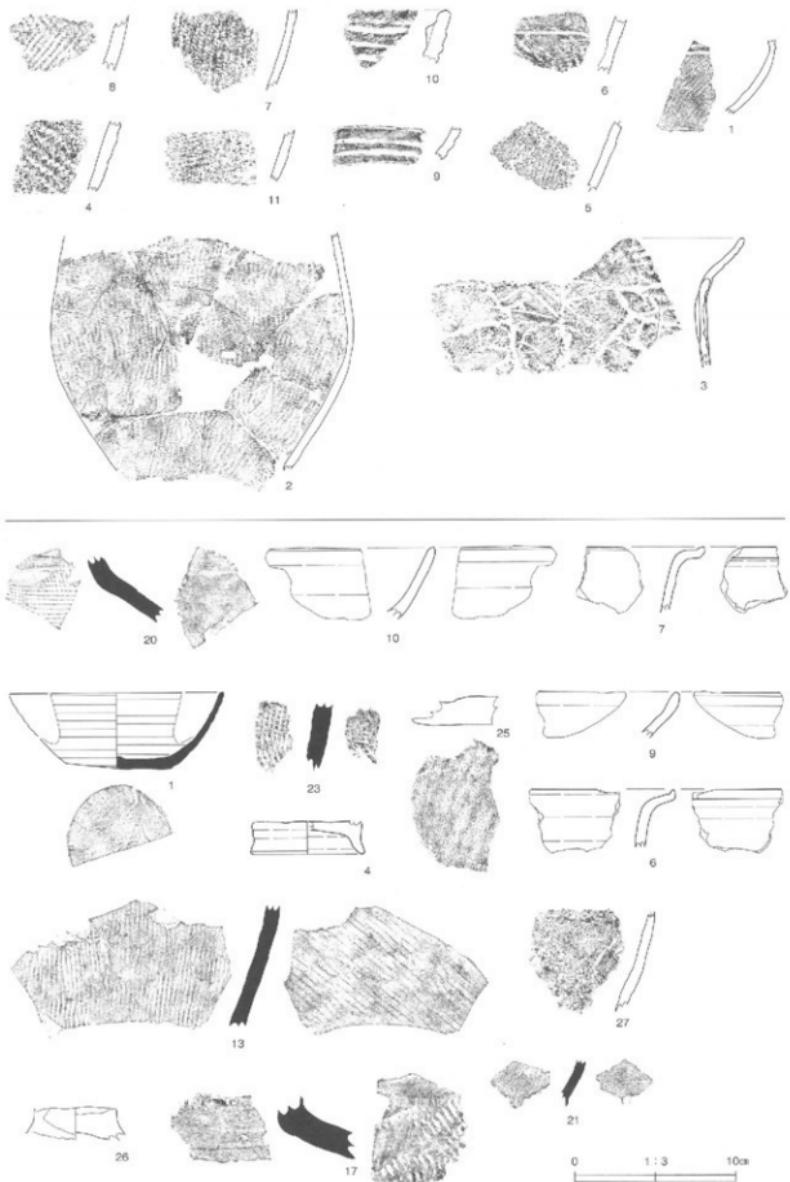
No3~No10~No12は、写真のみ掲載で実測図なし。

第6表 石器観察表

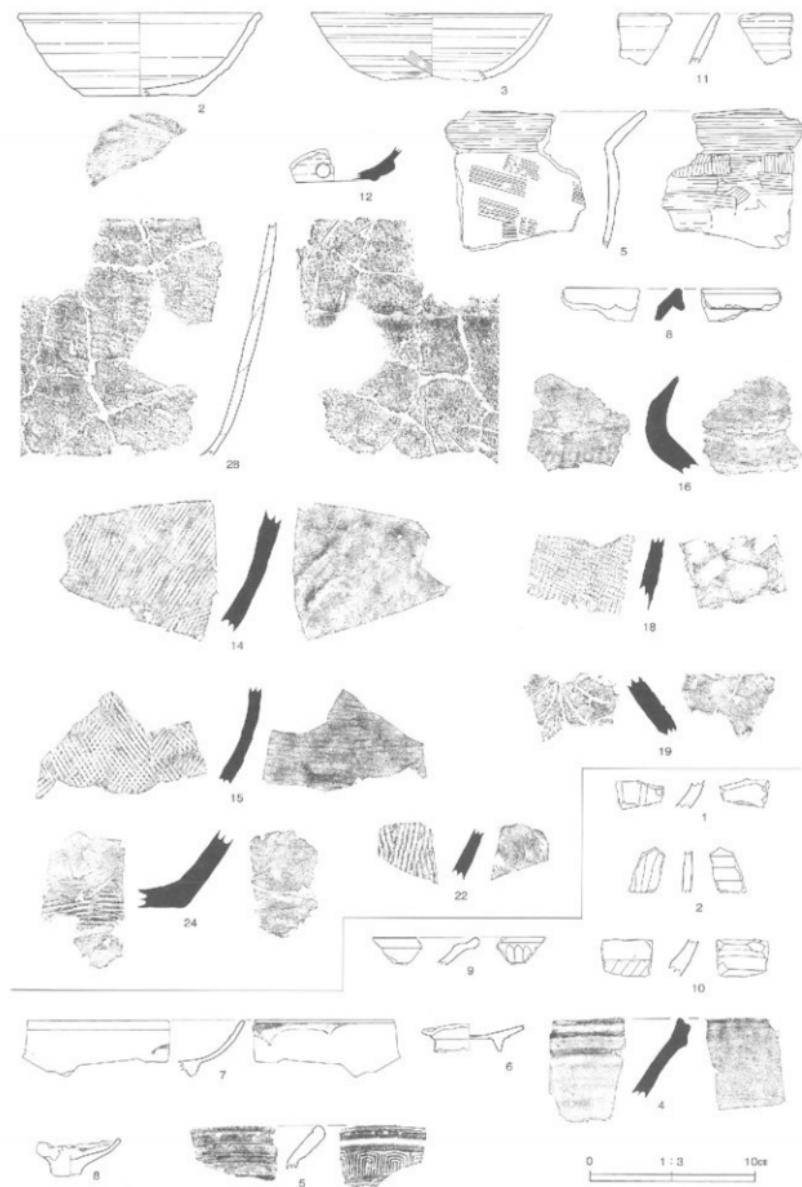
| No. | 仮番 | 出土地点     | 層位  | 種類  | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石質      | 產地   |
|-----|----|----------|-----|-----|--------|-------|--------|-------|---------|------|
| 1   | 1  | 6号 sond  | 1層  | 砥石  | 1420   | 710   | 275    | 4716  | 凝灰岩     | 奥羽山脈 |
| 2   | 2  | 斜面西区     | 表土  | 石斧  | 880    | 440   | 220    | 1227  | 蛇紋岩     | 北上山地 |
| 3   | 3  | 南区       | 表土  | 石盤  | 170    | 125   | 0.25   | 0.6   | 頁岩      | 北上山地 |
| 4   | 4  | 斜面西区     | IV層 | 石盤  | 190    | 120   | 0.50   | 0.8   | 頁岩      | 北上山地 |
| 5   | 5  | 北区       | 表土  | 刮削器 | 470    | 260   | 105    | 10.4  | 頁岩      | 奥羽山脈 |
| 6   | 6  | 南区       | 表土  | 刮削器 | 430    | 290   | 0.65   | 7.4   | 頁岩      | 奥羽山脈 |
| 7   | 7  | 18号 sond | 1層  | 刮削器 | 355    | 370   | 0.80   | 12.7  | 頁岩      | 奥羽山脈 |
| 8   | 8  | 北区       | 表土  | 刮削器 | 570    | 310   | 1.80   | 36.2  | 頁岩      | 奥羽山脈 |
| 9   | 9  | 斜面西区     | IV層 | 刮削器 | 870    | 610   | 1.80   | 100.9 | 頁岩      | 奥羽山脈 |
| 10  | 10 | 北区       | 表土  | 刮削器 | 490    | 585   | 2.10   | 50.1  | 頁岩      | 奥羽山脈 |
| 11  | 11 | 北区       | 表土  | 不明  | 440    | 490   | 1.00   | 25.5  | 頁岩      | 奥羽山脈 |
| 12  | 12 | 北区       | 表土  | 削器  | 320    | 160   | 1.00   | 4.1   | 頁岩      | 奥羽山脈 |
| 13  | 13 | 北区       | 表土  | 削器  | 490    | 240   | 1.00   | 9.8   | 頁岩      | 奥羽山脈 |
| 14  | 14 | 南区       | 表土  | 刮削器 | 310    | 240   | 0.80   | 6.1   | 頁岩      | 奥羽山脈 |
| 15  | 15 | 北区       | 表土  | 石斧  | 870    | 435   | 2.10   | 110.4 | 蛇紋岩     | 北上山地 |
| 16  | 17 | 11号 sond | 1層  | 磨擦器 | 590    | 10.50 | 4.30   | 317.9 | ホルンフェルス | 北上山地 |
| 17  | 18 | 3号井戸跡    | 1層  | 4石  | —      | —     | 12.50  | 10kg  | ディサイト   | 奥羽山脈 |

その他のNo18 ガラス製品1点表土より出土、青色の遮光高さ5.6cm幅2.4cm重量17g、

表裏にそれぞれ「日榮 コカイン水」「會津製薬会社」の表示あり



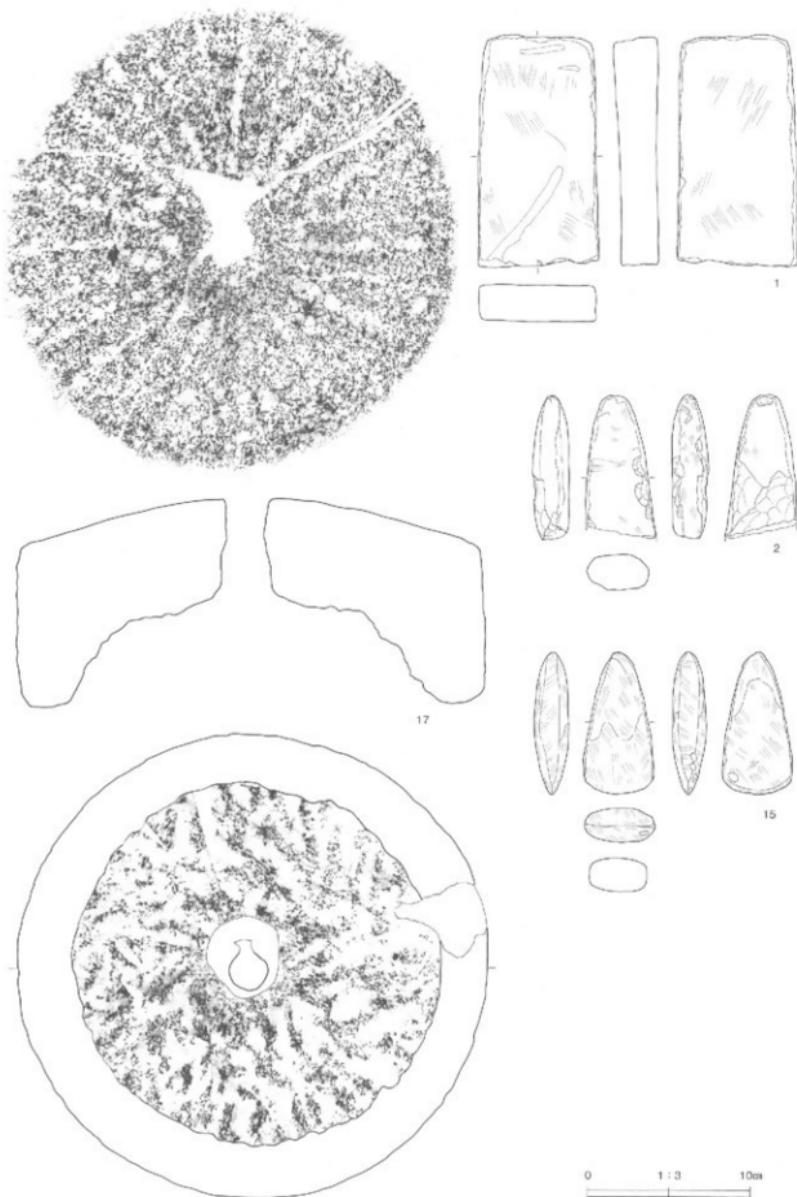
第26図 條文土器、土師器、須恵器（1）



第27図 土師器、須恵器(2)、陶磁器



第28図 石器（1）



第29図 石器（2）

### 3 まとめ

検出した遺構数と時期の分類は以下の通りである。

|        | 縄文時代 | 古代(平安) | 近世 | 不明・その他 | 計  |
|--------|------|--------|----|--------|----|
| 掘立柱建物跡 | 0    | 1      | 1  | 2      | 4  |
| 井戸跡    | 0    | 2      | 1  | 1      | 4  |
| 円形掘溝   | 0    | 1      | 0  | 0      | 1  |
| 土坑     | 5    | 5      | 1  | 12     | 23 |
| 陥し穴状遺構 | 1    | 0      | 0  | 0      | 1  |
| 溝      | 0    | 9      | 0  | 13     | 22 |
| 焼土     | 0    | 4      | 0  | 0      | 4  |

\*柱穴については第2表参照。

\*「その他」とは平安時代またはそれ以前、という意味で、上坑が2基含まれる。

出土遺物については前項「(9) 出土遺物」で詳細を記述したのでここでは割愛する。

#### (1) 合野遺跡過年度調査と今年度調査、道上遺跡過年度調査からの考察

合野遺跡は昨年度、今年度と当センターで調査を行ったので、昨年度調査結果と関連付けながら考察を進めた。昨年度、今年度合野遺跡の調査区、奥州市埋蔵文化財調査センターの合野遺跡調査区と当センターで行った道上遺跡2・3次調査区を図面上で合成し、遺構の分布状況や地形的特色から時代ごとに明らかになることがないか考察してみた。(第30図 道上1次調査は図版の縮尺の関係で割愛した。)

##### 縄文時代について

縄文時代のものと思われる陥し穴が4カ所確認されたが、分布状況に傾向は見られない。また、埋土から縄文土器が出上した土坑が4基ある(今年度調査より)。それらの土坑は旧河道②の近くに分布する傾向がある。縮尺の都合上図面からは割愛したが、今年度の南調査区から20mほど南側の奥州市埋蔵センターの調査区では、縄文時代の竪穴住居も確認されており、それも旧河道②のそばに位置する。したがって合野遺跡周辺は、縄文時代は旧河道②沿いに居住域があり、それ以外の区域は狩猟場だったと思われる。

次に遺物からの考察だが、合野遺跡の調査範囲では昨年度、今年度ともに縄文時代の遺物は少ない。時期が判断できるものは、後期のものが1点、晩期のものが2点、晩期または弥生時代のものが1点である。

これらだけで居住域のあった時期を判断するのは不十分だが、隣接する道上遺跡の低湿地からも縄文後期～晩期の上器が多数出土したことを考えると、合野遺跡周辺の居住域は縄文後期から晩期にかけて存在した可能性が高いと言える。道上遺跡の低湿地部は土器などの捨て場だったのであろう。

ちなみに今年度の当センターの調査で、500mほど南東に位置する小林繁長遺跡の調査区からは縄文中期の土器が多数出土した。このことから縄文時代は時期によって居住域の変化があったことがわかる。

##### 古代(平安時代)について

まず、竪穴住居、柱穴及び掘立柱建物跡、井戸跡、焼土の分布状況から古代以降の居住域が解明できるのではないかと考えた。竪穴住居(いずれも古代のもの)や掘立柱建物跡(近世以前と思われる

もの)が検出された範囲を古代以降の居住域ととらえ、判断したのが第30図の居住域の範囲である。旧河道①を挟み、旧河道②(かつての北上川支流?)に沿って古代以降の居住域があったのではないかと思われる。

旧河道②から多量の土師器、須恵器が出土した(道上遺跡第3次調査より)。土器などの捨て場だったと考えられる。また、この範囲は旧河道より2m程度標高を高くする自然堤防上に位置する。水を得ることができる上に、水害に対しても比較的安全な場所だったと思われる。これらの理由から範囲の南端はほぼ妥当と考える。北端については解明できない範囲が多いので推測の域を出ない。また縮尺の都合で図面には掲載しなかったが、合野遺跡北側を調査した道上遺跡1次調査では、堅穴住居2棟、住居状造構3棟を検出している。そういう調査結果や調査区が限定された範囲であることを考慮すれば、解明されていない居住域の可能性があることは言うまでもない。

次に溝の関連を考察した。向きや位置関係から、調査区を挟んでつながる溝がないか検討してみたが、調査区が限定される上に離れているため不可能であった。ただし規模が他の溝と比べて大きかったものは関連しているのではないかと推測した。①昨年度調査の溝A(平成21年度合野・道上遺跡調査報告書SD10)溝B(同SD09)と②今年度調査の溝C(4号溝)、溝D(7号溝)である。(下表)

| 溝名       | 土な性土         | 幅(cm) | 深さ(cm) | 出土遺物      |
|----------|--------------|-------|--------|-----------|
| 溝A(SD10) | 褐色土(後日確認)    | 141   | 32     | なし        |
| 溝B(SD09) | 黒褐色土         | 160   | 43     | 須恵器(後日確認) |
| 溝C(4号溝)  | 黄褐色粘土、灰黃褐色粘土 | 196   | 42     | なし        |
| 溝D(7号溝)  | 黒褐色土         | 122   | 53     | 縦文土器、須恵器  |

\*幅、深さは断面実測した地点のもの。数カ所断面実測したものは最も規模の大きかった部分。

\*調査区内の長さを比較することは意味がないものととらえ、表には掲載せず。

北側の溝A・Bと南側の溝C・Dはほぼ南北の関係にあることや、規模が似ていることから関連しているのではないかと考えた。特に溝B・Dは遺物から平安時代に属するものと考えられることと、埋土の様相も似ていることから、関連する可能性が高いと思われる。規模を考えると、ある程度の水量もあり農業用水や生活用水に重要な役割を果たしていたものかもしれない。旧河道①から旧河道②へ横断する形で造られたのかもしれない。いずれにしても調査区内でわかる事は限られるため、そういったことは推測の域を出ない。

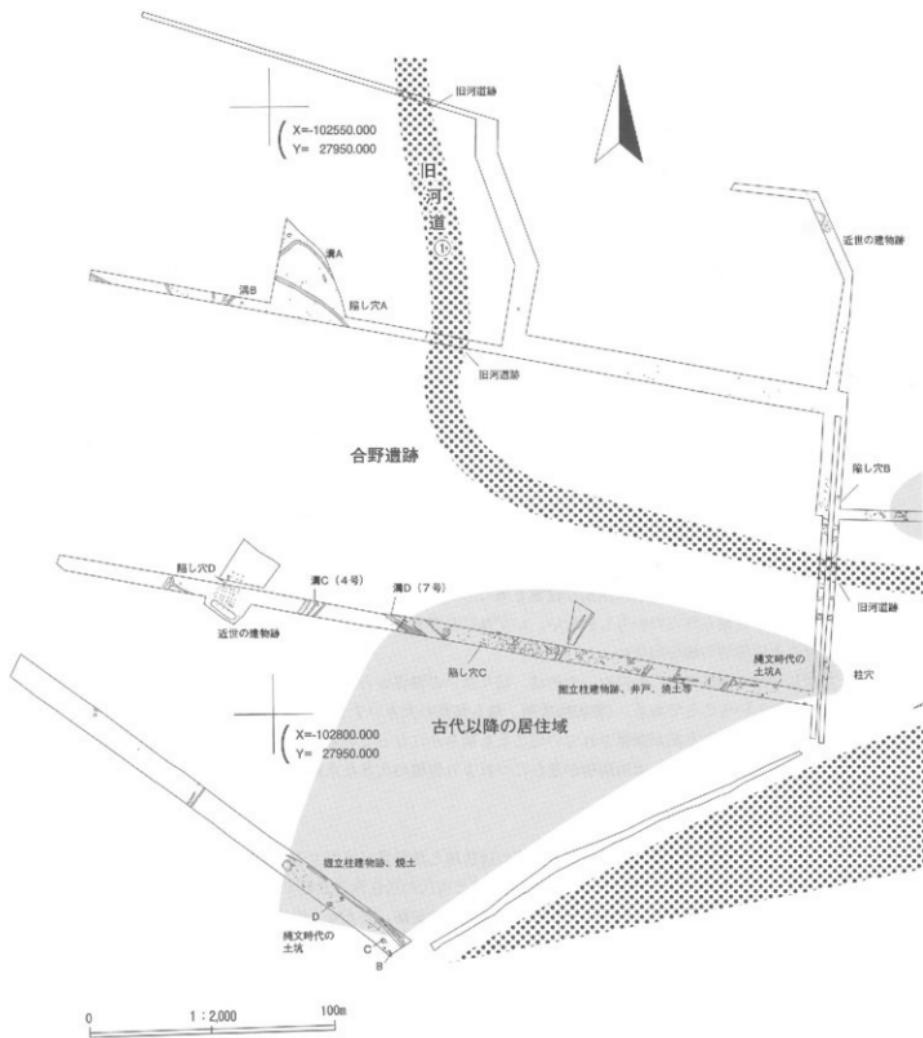
ただし今回の調査で明らかになったのは、切り合いの関係から、溝は規模の大きなものが新規に造られていたということである。(第20図参照。最も規模の大きい7号溝が最も新規のものである)平安時代にこの周辺で水田が開墾されていたことも明らかになっているので(道上遺跡第3次調査から出土した木杭より 註1)水田開墾が進むにつれより規模の大きな水路(溝)が必要になったのではないだろうか。

#### 近世について

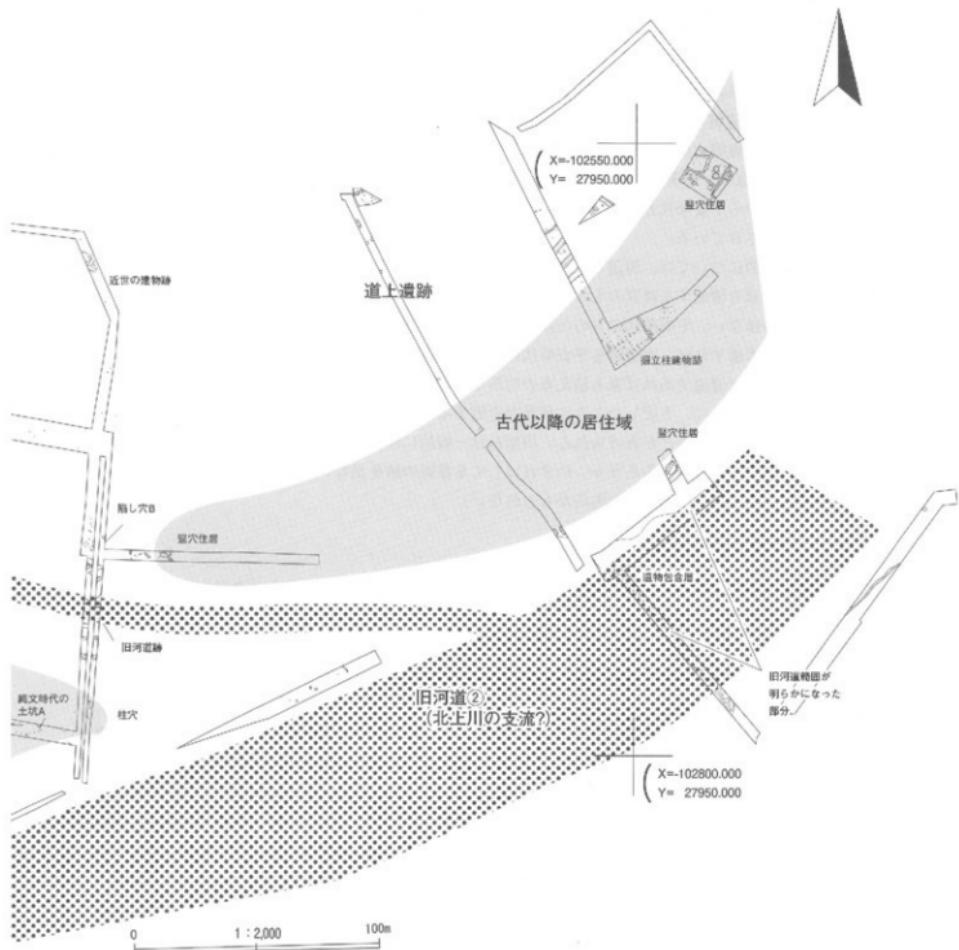
近世のものと思われる掘立柱建物跡は古代の居住域と無関係に位置する。ただし近世のものと思われる井戸が古代の居住域と重複しているので、近世と古代の居住域は重複する部分があると思われる。

近世の造構で着目すべきものは1号掘立柱建物跡(社祠跡)である。詳細については(3)に記す。

(註1) 平成19年に行われた道上遺跡第3次調査で、木杭に文書が書かれた平安時代の遺物が出土した。内容は他人の水田を勝手に使うことを禁止するものであった。出土地点は今回調査区東端から東北東約500mほどであり、合野遺跡周辺でも水田が平安時代にあったことを証明するものである。



第30図 合野遺跡過年度調査、今年度調査、道上遺跡過年度調査より



第30図 合野遺跡過年度調査、今年度調査、道上遺跡過年度調査より

### (2) 1号円形周溝について

円形周溝について「古墳」という記述で表現されていたものも含め類例を調べてみた。参照したのは飯岡才川、飯岡沢田の隣接する両遺跡（盛岡市）、中半入遺跡・蝦夷塚古墳（奥州市水沢区）、瀬原Ⅱ遺跡（平泉町）である。

本遺構はそれらの検出例と規模、形状が異なる。他遺跡の検出例はほとんどが外周7~10mで「C」型であった。本遺構は外周3.80m前後で周溝の切れ目がない「O」型で、他には数例しかなかった。時期については飯岡才川、飯岡沢田の両遺跡が7世紀前半~9世紀前半（検出例が多く時期も長期に渡る）、中半入遺跡・蝦夷塚古墳が遺物出土状況から8世紀後半、瀬原Ⅱ遺跡のものが出土した炭化物の年代測定から平安時代とされている。遺構の性格は、飯岡才川、飯岡沢田の両遺跡が古代の墓域という判断がされている。

本遺構の時期については、周辺でこれが唯一の検出例であることを考慮すれば、古墳時代~奈良時代のように墓域を構成する時期のものではないと思われる。調査区から出土する遺物も古墳時代~奈良時代のものはない。平安時代のものと思われる土器器片が埋土から出土したことや、近隣の瀬原遺跡の検出例を考慮すれば、本遺構も平安時代のもの可能性が高いと思われる。

本遺構の性格は通説であれば墓と言えるのだろうが、副葬品が出土していないので明言はできない。また興味深い点として、上記したように周溝が全局すること、埋土の一部に川原石と思われる石が無造作に入っていたことなどがあげられる。川原石は一般的に埋蔵施設の掘り込みや境丘に入るものだが、後に解体されたのであろうか。いずれにしても推測の域を出ない。今後の周辺調査で類例が検出されれば、明らかになることがあるかもしれない。

### (3) 1号掘立柱建物跡（社祠跡）

合野遺跡の所在する奥州市前沢区の白山は明治8年に下姉岱村と六日入村とが合併してからの地名で新しい。それ以前、遺跡周辺は六日入村と呼ばれていた。『岩手県の地名』によると地名の起こりは明らかではないが、前九年の役のとき、安倍一族が館に六日間籠城して戦ったという故事から生じたという伝承がある。近世にはキリスト教が伝わり、明治初年村内合野の畠からマリア像が見つかったとある。

村の状況については「正保郷帳」に田方七二貫三五〇文・畠方一六貫五二文、他に新田高二一貫一一七文とある。「安永風土記」では田九二貫五七五文・畠一八貫三六五文、うち藏入五五貫五六〇文・給所五五貫三八〇文。人頭一〇五・代数有之百姓八、家紋一〇七・人数四八三、馬七六。舟一船（御穀舟三・刈子舟六・狼舟二）。神社六、修驗一、御藏場一、古館一（六日入城）、古塚二、壠二、道三筋、屋敷名数三六とある。屋敷名は大室・星場・荒屋敷・下屋敷・隅屋敷・つきね・發端・南畑・反屋敷・宮ヶ崎・西佐野・沼田・堂ノ木・綾織・主膳・向畑・向中・檜葉田・台野々・錢神・供地田・館野・内屋敷・東畑・朴木田・樂堂・小反・佐野・田端・水ノ口・古館・三反田・松ヶ林・關口・鄉士・西畑がある（下線は現在の地名と一致するもの）。

本遺跡はこの中の合野々に位置するか、隣接する錢神・上姉岱村上野々になる可能性も含んでいるといえる。「安永風土記」によると六日入村には神社が六つあると記されており、その中に合野々には白山社と明神社がある。白山社は「社地 方四間、社 東向七尺作…」、明神社は「社地 當村白山社地之内勅請付間數書上仕兼候事、社 南向四尺三寸作…」とある。白山社のある敷地内に明神社も造られたようで、社の向きから白山社の北東側に明神社が位置していたと推測される。合野々には

他に修験一院があったとある「寶勝坊 本山派、本尊 不動明王 木佛立像 御長一尺五寸」といった内容である。錢神屋敷には神社・堂宇の記録はなかった。下郷村には佛閣が三つあり、その内の觀音堂が上野々にあった。「觀音堂、境内 東西五間・南北五間、堂 南向三尺四面、本尊 正觀音木佛坐像御長六寸…」

ここで本遺跡から検出された1号掘立柱建物跡の構造について簡単に整理してみたい。間尺は約63尺、四隅は4.6尺、建物は22°西に振れている。平面形は1間四面で正方形を呈するため梁栟の違いが見い出せない。よって建物の正面は不明であるが本遺構周囲の状況から北西側が正面と想定した。

「安永風土記」に記載のある神社・御堂と比較してみると、合野々にある白山社・明神社は建物規模が微妙に一致しない。修験の院は規模不明であるが、本尊の大きさなどから1号掘立柱建物跡と同規模程度と思われる。上野々の觀音堂をみると平面形式は同じであるが間尺が三尺と狭く、基本的に内部に人間の入れる御堂ではないようだ。

1号掘立柱建物跡と「安永風土記」記載の神社・御堂の比較から次の可能性を指摘できる。時期的に新しいものからあげてみたい。

第一に1号掘立柱建物跡が「安永風上記」記載の神社・御堂とは関係のない施設であり、加えて「安永風土記」作成以降になって建てられたと仮定できること。これならば「安永風土記」に記載がなくとも不自然ではない。地元の方は遺跡内に神社・御堂があったと伝え聞いてないので18世紀後半頃以降に建てられ明治初め頃には廃絶したとみることができよう。

第二に1号掘立柱建物跡が「安永風土記」記載の神社・御堂である可能性であるが、白山社・明神社とともに建物の間尺が本遺構と若干食い違うので、この部分については拡大解釈をせざるを得ない。調査範囲も狭いため白山社・明神社何れの可能性もあるが、本遺構のある部分の地形は東・南・西側の三方向が低くなるため1号掘立柱建物跡が白山社・明神社は北東側の調査区外にいると地形的には違和感がないように思う。現在も合野地区には白山神社があるのだが、これは1号掘立柱建物跡からはかなり離れた場所に位置している。この白山神社が建つ場所に「安永風土記」記載の白山社・明神社があった可能性も十分にある。無論1号掘立柱建物跡のある場所から現在の白山神社の場所へ移動した可能性もある。

また修験院については具体的な規模についての記載がないため比較は難しいが、本尊の大きさ、建物内部で人が何らかの宗教的行為をする空間が必要と推測されることから、1号掘立柱建物跡の規模はそうした点では矛盾しないといえる。上野々の觀音堂は規模が小さいようなので該当しないと考えた。

第三は1号掘立柱建物跡が「安永風土記」作成以前に廃絶した神社・御堂で、中世または近世初頭の遺構とする可能性である。本遺構からは出土遺物もなく時期を決定する直接的な資料はない。しかしながら調査区内からは中世の遺物が数点出土しており人々の生活の場であったことを示している。本遺跡から出土した陶磁器の中には17世紀前半～18世紀前半のものが見られないようなので時期が下っても17世紀初頭には廃絶したと仮定できよう。

何れの可能性も根拠は弱いために決め手を欠いているが、本県では中世後半から近世における神社・御堂の調査事例も殆どなく、一棟ではあるがその全貌を把握できた本遺構はとても貴重なものである。また周間に有る柱穴群も何らかの建物・施設をなしていた可能性が高い。1号掘立柱建物跡に隣接する施設または前述の建物かもしれない。

1号掘立柱建物跡の東側約70mには近世の井戸や柱穴群が広がっている。凡そ18世紀後半頃の集落であろうが、調査区の幅が狭いため掘立柱建物跡は把握できなかった。「安永風土記」によると合野々には屋敷拾と記載があるので、今回検出された近世の遺構群は「安永風土記」にある合野々屋敷の一つ

端を示していると推察される。仮に1号掘立柱建物跡もこの時期の施設であるならば、集落と神社・御堂とをセットで把握できる興味深い地域といえよう。現在の合野集落は遺跡のある場所より北に位置していることから、近世から現代にかけての集落内の占地の変化・変遷も窺える。本遺跡周辺は現在では全く人家ではなく、近世のある段階で廃絶（移動）したものといえる。よって検出される柱穴も密ではなく、プランを把握しやすい可能性があるので近世集落を考古学的に研究するには良好な遺跡であるし、中世の遺物も散見されるので中世集落からの変遷も把握できる可能性も有している。

#### 引用・参考文献

- 高木 見ほか 2002「中平入道跡・蝦夷塚古墳発掘調査報告書」(第1分冊) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第380集
- 西澤 正祐ほか 2006「飯岡沢田道路第9・10次発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第489集
- 村木 敬ほか 2008「瀬原Ⅰ遺跡第5次・瀬原Ⅱ遺跡第9次発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第507集
- 村田 淳ほか 2008「飯岡才川遺跡第7・13次・細谷地遺跡第12次・久盛遺跡第9次発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第508集
- 村田 淳ほか 2008「飯岡才川遺跡第12次発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第515集
- 大島 英介ほか 2004「図説 肴江・両磐の歴史」郷土出版社
- 丸山 浩治ほか 2009「追上遺跡第3次・合野遺跡・小林繁長遺跡発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第544集

## V 小林繁長遺跡

### 1 基本層序(写真図版49)

現況の多くは水田であった所が多かったが、土層に関しては若干の違いがある。V層が基盤となる点では同じであるが、地点によっては多量の河原石を含むところがあった。今回の調査区でいうと6・7区付近である。土層断面は7区にて作成しており、各層の内容は以下の通りである。

### 2 検出された遺構と出土遺物

#### (1) 竪穴住居跡

##### 1号竪穴住居跡

遺構(第34図、写真図版34・35)

[位置・検出状況] 遺跡の西端、II A20 i グリッドに位置している。II・III層を掘り下げている段階で、石圍炉の一部を検出したため、プランを把握する前に土層ベルトを設定して精査を始めた。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 設定した土層断面ベルトC-C'・D-D'には壁の立ち上がりが見られなかつたため南北方向で3.70m以上、東西方向で3.20m以上を測ると推測される。平面形は不明である。

[床・壁] 床面はIII層の下位からIV層の上面にかけてであるが、特別硬く締まっているわけではない。壁面は東西方向に設定した土層観察用のベルト内では確認できなかった。南北方向は調査区の関係から3.70m分しかベルトを設定できなかつたため壁の立ち上がりを把握することはできなかつた。

[堆積土] 黒褐色土を主体とし、一部暗褐色土も見られた。層厚は12cm程しかなく堆積状況を観察するには十分とは言い難い。土が流れ込んだような状況や反対に一気に埋め戻したような土は見られなかつた。

[柱穴・周溝] 何れも精査したが見つからなかつた。

[炉] 石围炉をI基検出した。規模は94×82cmで平面形は隅丸方形をしている。32個の河原石で造られていた。炉内はとくに深く掘り込まれているわけではなかつた。上位面を中心に若干ではあるが焼土の広がりが確認されている(1層)。

出土遺物 繩文時代の上器片が数点出土しているが床面や本遺構に伴つて出土したものはない。

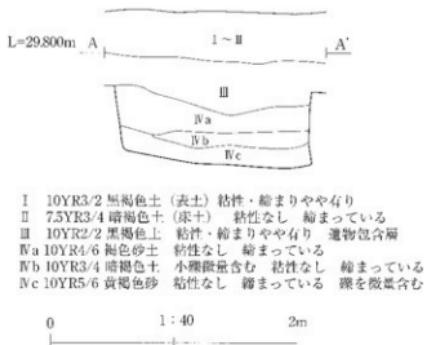
時期 遺構内やその周辺から出土した遺物の状況から縄文時代中期中葉～後葉に位置づけたい。

#### (2) 住居状遺構

##### 1号住居状遺構

遺構(第35図、写真図版35・36)

[位置・検出状況] 遺跡の南西側にあたるIII B14 j グリッドに位置する。V層上面にて検出した。



第31図 小林繁長遺跡基本層序

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形〕 南北6.30m、東西方向は2.80mまで検出したが西側が調査区外へと続いている。平面形は不整形である。

〔床・壁〕 南半部は概ね平坦であったが、中央から北側にかけては凹凸が認められる。これは床面が疊層に達しているためかもしれない。

〔堆積土〕 黒褐色砂質土を主体とする。床面付近には褐色砂質土が部分的に見られる。自然堆積か人为的な埋め戻しがあったのかは分からなかったが、地山ブロックなどが多量に含まれる状況は認められなかった。

〔柱穴・周溝〕 床面から5個の柱穴を確認しているが、規則性がなく、本遺構に伴うものか不確実である。周溝はない。

出土遺物 弥生時代の土器片が数点出土している。埋土からの出土で本遺構に嚴密に伴っているとは見なし難いものの、他時期の遺物が含まれないこともあり、遺構の機能していた時期の遺物であると判断した。

時期 弥生時代の可能性が高い。

### (3) 掘立柱建物跡

#### 1号掘立柱建物跡

遺構（第35図、写真図版43）

〔位置・検出状況〕 遺跡のやや西側にあたる3区、II B16 o グリッド付近で検出した。遺構はV層面にて検出した。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形等〕 桁行き3間、梁行き3間の建物に、西・北・東側に縁が取り付いたような形状をしている。桁行きをp14-p27間でみるとp14-p22が7.0尺、p22-p26が10.7尺、p26-p27は10.2尺を測る。梁行きはp14-p15が7.0尺、p15-p16が3.6尺、p16-p17は5.0尺であった。縁はp25-p26が4.0尺、p13-p25では9.5尺と6.1尺が使われている。何れのところも柱間寸法には規則性があまり認められない。

〔柱穴〕 平面規模22~40cmの柱穴で構成されている。明瞭な柱痕は確認できなかった。

〔建物の性格〕 建物の規模や柱配置が不規則なことから主屋ではなく、付属小屋と考えられる。1号炉跡も本遺構と関連する施設と捉えたいが、確たる根拠はない。

遺物 なし。

時期 周辺の遺構・遺物の状況から近世及びそれ以降と推測される。

### (4) 井 戸 跡

#### 1号井戸跡

遺構（第36図、写真図版39）

〔位置・検出状況〕 遺跡のやや西側にあたる2区、II B19 e グリッド付近で検出した。遺構はV層上面で検出した。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形・断面形〕 本遺構の南半は調査区外に延びている。南北1.30m以上、東西2.36m、底面は南北0.40m以上、東西0.80mを測る。平面形は概ね円形となる。断面形は底面から外傾して立ち上がっている。底面は疊層に達しており湧水も認められた。

〔埋土〕 Ⅲ層から掘り込まれている。大小の礫を含む黒褐色土が主体となり、最下層の4層はグライ化していた。人為堆積の様相を呈する。

遺物 羽口の破片が出土している。礫などとともに廃棄されたようである。

時期 近世及びそれ以降と推測される。

### (5) 上 坑

#### 1号土坑

遺構 (第36図、写真図版37)

〔位置・検出状況〕 遺跡のやや西側にあたるⅢ A 1 w グリッド付近に位置し、V層上面にて検出した。  
〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形・断面形〕 遺構検出面での規模は1.15×1.00mで平面形は不整形である。深さは0.22mを測り、底面は平坦ではなく段をもちながら外傾する。

〔埋土〕 黒褐色土及び暗褐色土に黄褐色土・灰黄褐色土（地山）が一定量混じる人為堆積である。

遺物 なし。

時期 不明。

#### 2号土坑

遺構 (第36図、写真図版36)

〔位置・検出状況〕 遺跡の西側、Ⅱ B 24 a グリッド付近にあり、V層上面にて検出された。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形・断面形〕 西側が調査区外に延びているので全容は不明であるが、南北2.15m、東西は0.74m以上となる。底面は概ね平坦で、壁は底面から緩やかに外傾して立ち上がっている。深さは40cmを測る。

〔埋土〕 黒褐色土の単層で、自然堆積か人為堆積か不明である。

遺物 なし。

時期 不明。

#### 3号土坑

遺構 (第36図、写真図版37)

〔位置・検出状況〕 遺跡西側にあたるⅢ B 6 m グリッド付近に位置している。V層上面にて検出された。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形・断面形〕 東側が調査区外へと続いているため全体は把握できていないが、遺構検出面での規模は南北1.00m、東西方向は0.56m以上となる。深さは20cmで底面は概ね平坦である。壁は北側が急角度で、南側は緩やかに外傾しながら立ち上がっている。

〔埋土〕 黒褐色土の単層である。自然堆積か人為堆積かは不明。

遺物 なし。

時期 不明である。

#### 4号土坑

遺構（第37図、写真図版37）

【位置・検出状況】 遺跡の西側にあたる2区、ⅢB 5 mグリッド付近に位置している。V層上面で検出した。

【重複関係】 なし。

【規模・平面形・断面形】 東側が調査区外へと延びているため全体は不明であるが、遺構検出面での規模は1.80m以上×0.72m以上となる。深さは最大で45cmを測り、底面は幅が狭く細長い。壁は外傾して立ち上がっている。

【埋土】 黒褐色土の单層である。自然堆積・人為堆積の判断はできなかった。

遺物 なし。

時期 不明である。

5・6号土坑は精査の結果、遺構ではないことが判明した。

#### 7号土坑

遺構（第37図、写真図版37）

【位置・検出状況】 遺跡のやや西側、Ⅱ B 22 n グリッド付近に位置し、V層面で検出した。

【重複関係】 なし。

【規模・平面形・断面形】 遺構検出面での規模は0.96×0.82m、平面形状は不整形である。深さは0.13mと浅く底面は平坦であった。壁は底面から外傾して立ち上がっている。

【埋土】 黒褐色土の单層である。自然堆積か人為堆積かは判らなかった。

遺物 なし。

時期 不明。

#### 8号土坑

遺構（第37図、写真図版37）

【位置・検出状況】 遺跡のやや西側にあたる2区、Ⅱ B 19 g グリッドに位置しており、V層上面にて検出した。

【重複関係】 なし。

【規模・平面形・断面形】 北側が調査区外へと続いているため、全体を検出したわけではない。遺構検出面での規模は東西1.58m、南北方向は0.63m以上となる。平面形は隅丸長方形と思われる。深さは55cmを測り、底面は平坦であった。壁は底面から垂直に立ち上がっている。

【埋土】 暗褐色土に地山ブロックを多量に含む人為堆積である。

遺物 東側の底面から馬骨が少量出土した。埋土の中にも骨片が若干混じっていた。

時期ほか 馬を埋葬した墓であり、周囲の遺構状況から近世と推測される。

#### 9号土坑

遺構（第37図、写真図版38）

【位置・検出状況】 遺跡のやや西側にあたる3区のⅢ B 12 j グリッドに位置している。V層上面で検出した。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形・断面形〕 遺構検出面での規模は径1.38mの円形を呈する。深さは最大で53cmあり、底面は平坦ではない。壁は底面から内傾、外傾を繰り返しながら立ち上がっている。

〔埋上〕 上器片を含む黒褐色土が主体で、北側の壁から床面にかけては暗褐色砂質土が堆積している。人為堆積と思われる。

遺物（第46図、写真図版73） 墓土から弥生土器片が一定量出土している。中には大きな破片も含まれていたが、床面に置かれたような状態で出土したものはない。1層と共に投げ込まれたと思われる。  
時期 弥生時代。

#### 10号土坑

遺構（第37図、写真図版38）

〔位置・検出状況〕 遺跡のやや西側にあたるⅢ B 1 付近に位置し、V層上面にて検出した。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形・断面形〕 西側は調査区外へと続いている。遺構検出面での規模は0.88m × (0.45)mで平面形は円形を基調とするものと思われる。深さは最大で25cm程で壁は底面から外傾しながら立ち上がっている。

〔埋土〕 地山ブロックを微量含む黒褐色土の単層である。人為堆積の可能性がある。

遺物 なし。

時期 不明である。

#### 11号土坑

遺構（第37図、写真図版38）

〔位置・検出状況〕 遺跡北東縁にあたる9区、I E 19 y グリッドに位置し、V層上面で検出した。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形・断面形〕 遺構検出面での規模は0.75 × 0.58mで長円形をしている。深さは15cm程しかなく、壁は外傾して立ち上がっている。

〔埋土〕 黒褐色土の単層である。自然堆積。

遺物 なし。

時期 あまり根拠はないが、周囲には縄文時代の捨て場しかないことから本遺構も縄文時代の可能性があると見たい。

#### 12号土坑

遺構（第38図、写真図版38）

〔位置・検出状況〕 遺跡北東端にあたる9区のI F 18 b グリッド、V層上面にて検出した。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形・断面形〕 遺構検出面での規模は0.68 × 0.58mでほぼ円形である。深さは46cmあり、壁はほぼ垂直に立ちあがっている。

〔埋土〕 黒褐色土を主体とする人為堆積で、底面西側には径25cm程の河原石が置かれていた。

遺物 なし。

時期ほか 土坑というより、柱穴の可能性が高い。周囲には縄文時代の遺構しかないが、本遺構は縄

文時代の遺構とは思わない。時期については不明としたい。

### 13号土坑

遺構（第38図、写真図版39）

【位置・検出状況】 遺跡の北東端、9区ⅠF20hグリッドにあり、V層上面で検出した。

【重複関係】 なし。

【規模・平面形・断面形】 遺構検出面での規模は0.92×0.70m、不整な円形をしている。深さは14cm程度しかない。

【埋土】 地山ブロックを多量に含む人為堆積。

遺物 繩文土器片が多量に含まれていた。

時期 繩文時代。9区の捨て場が形成されていく段階に本遺構も構築されたと考えたい。

### 14号土坑

遺構（第38図、写真図版39）

【位置・検出状況】 遺跡北東端にあたる9区、ⅠF19iグリッド付近に位置し、V層上面で検出された。

【重複関係】 なし。

【規模・平面形・断面形】 北側が調査区外に延びているため詳細は不明であるが、検出された部分だけで計測すると1.72×1.72mある。深さは22cmを測り、底面は平坦ではない。壁は緩やかに立ちあがっている。

【埋土】 黒褐色土の單層で繩文土器片も少量混じる。自然堆積と思われる。

遺物 繩文土器片が少量含まれていた。

時期 繩文時代或いはそれ以降と考えられる。

## （6）溝

### 1号溝

遺構（第38図、写真図版40）

【位置・検出状況】 遺跡西側にあたる2区ⅡA24pグリッド付近に位置し、V層上面で検出された。

【重複関係】 なし。

【規模・平面形・断面形】 南北方向に延びているが両端は調査区外へと続いている。遺構検出面での規模は長さ3.50m以上、幅1.78m、深さ32cmを測る。溝の底面は概ね平坦であった。

【埋土】 暗褐色土や黒褐色土からなり、底面付近は砂質土となる。自然堆積。

遺物 なし。

時期 不明である。

### 2号溝

遺構（第39図、写真図版40）

【位置・検出状況】 遺跡の西側、ⅢB41グリッド付近に位置し、V層上面で検出した。

【重複関係】 なし。

【規模・平面形・断面形】 東西方向に延びており、両端が調査区外へと続いている。遺構検出面で

の規模は長さ6.10m以上、幅1.22m、深さ18cmを測る。底面は概ね平坦であった。

〔埋土〕 黒褐色土の単層である。自然堆積か人為堆積なのかは判らなかった。

遺物 なし。

時期 平安時代以降であろう。

### 3号溝

遺構（第39図、写真図版40）

〔位置・検出状況〕 遺跡の西側、2区ⅡB23bグリッドに位置している。遺構検出面はV層上面である。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形・断面形〕 北西-南東方向に延びている。両端は調査区外へ続いているため全長は不明であるが、遺構検出面での規模は長さ5.85m以上、幅0.85m、深さは29cmを測る。底面は概ね平坦である。

〔埋土〕 上層が黒褐色土、下層が暗褐色砂質土の自然堆積。

遺物 なし。

時期 平安時代以降であろう。

### 4号溝

遺構（第39図、写真図版41）

〔位置・検出状況〕 遺跡のやや西側にあたるⅡB20hグリッドに位置し、V層上面から検出された。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形・断面形〕 南東-北西方向に延びている。南西部は調査区外へ延びており、北東側は徐々に浅くなつて不明瞭となる。遺構検出面での規模は長さ2.55m以上、幅0.65m、深さは10cmを測る。底面は概ね平坦である。

〔埋土〕 黒褐色土の単層である。自然堆積。

遺物 なし。

時期 平安時代以降である。

### 5号溝

遺構（第39図、写真図版41）

〔位置・検出状況〕 遺跡のやや西側にあたるⅢ区南端に位置し、V層上面から検出した。

〔重複関係〕 なし。

〔規模・平面形・断面形〕 東西方向に延びている溝であるが、その両端は調査区外へ続いていた。底面は平坦ではなく断面図を作成した部分では段がついて壁が立ち上がっていた。深さは19cmを測る。

〔埋土〕 黒褐色砂質土の単層。自然堆積であろう。

遺物 なし。

時期 平安時代以降と思われる。

### 6号溝

遺構（第39図、写真図版41）

## 2 検出された遺構と遺物

【位置・検出状況】 遺跡のやや西側にあたるⅢ区南端、Ⅱ B16 i グリッドに位置している。V層上面にて検出した。

【重複関係】 なし。

【規模・平面形・断面形】 東西方向に延びているが、その両端は調査区外へ続いている。遺構検出面での長さは5.50m、幅0.65m、深さ20cmを測る。

【埋土】 暗褐色土混じりの黒褐色土である。

遺物 なし。

時期 平安時代以降であろう。

### 7号溝

遺構（第39図）

【位置・検出状況】 遺跡やや西側にあたる3区南端、Ⅱ B16 j グリッド付近に位置し、V層上面で検出した。

【重複関係】 ない。

【規模・平面形・断面形】 東西方向に延びていくが、その東側は調査区外へ西側は徐々に浅く不明瞭になっていく。遺構検出面での規模は長さ2.30m、幅0.40m、深さ18cmを測る。

【埋土】 上層は黒褐色土、下層はにぶい黄褐色砂質土である。自然堆積の可能性がある。

遺物 なし。

時期 平安時代以降と思われる。

### 8号溝

遺構（第39図、写真図版40）

【位置・検出状況】 遺跡やや西側にあたる3区Ⅲ B 4 l グリッド付近にあり、V層で検出した。

【重複関係】 なし。

【規模・平面形・断面形】 東西方向に延びているが、西側が調査区外へと続いている。東側は徐々に浅くなり自然消滅してしまう。遺構検出面での規模は長さ1.85m以上、幅0.40m、深さ11cmを測る。

【埋土】 暗褐色土の単層である。

遺物 なし。

時期 平安時代以降と思われる。

## （7） 焼土・炉跡

### 1号焼土

遺構（第40図、写真図版42）

【位置・検出状況】 遺跡西側の2区Ⅱ A 25 t グリッド付近に位置し、V層上面で検出した。

【重複関係】 ない。

【規模】 遺構検出面での規模は78×58cm、厚さ6cmである。

【埋土】 暗赤褐色焼上ブロックと暗褐色土からなる。別な場所からもたらされた焼土である。

遺物 なし。

時期 遺構検出面の状況から縄文時代中期中葉から後葉といえる。

**2号焼土**

遺構（第40図、写真図版42）

〔位置・検出状況〕 遺跡西側の2区Ⅱ A25t グリッド付近に位置し、Ⅴ層上面で検出した。

〔重複関係〕 なし。

〔規模〕 遺構検出面での規模は92×76cm、厚さ8cmである。

〔埋土〕 赤褐色焼土ブロックと暗褐色土から成る。この場で形成された焼上ではない。

遺物 なし。

時期 遺構検出面の状況から縄文時代中期中葉から後葉といえる。

**3号焼土**

遺構（第40図、写真図版42）

〔位置・検出状況〕 遺跡西側の2区に位置しており、Ⅲ層下位で検出された。

〔重複関係〕 ない。

〔規模・平面形・断面形〕 径22cm、厚さ3cmを測る。

〔埋土〕 黒褐色土中に焼上ブロックと炭粒が含まれる。現地性の焼上ではない。

遺物 なし。

時期 不明。

**4号焼土**

遺構（第40図、写真図版42）

〔位置・検出状況〕 遺跡やや西側のⅠ E19y グリッド付近に位置しており、Ⅲ層下位で検出した。

〔重複関係〕 なし。

〔規模〕 遺構検出面での規模は46×35cm、厚さ8cmを測る。

〔埋土〕 暗褐色土に焼土ブロックと炭粒が混じる。現地性焼土ではない。

遺物 なし。

時期 不明。

**1号炉跡**

遺構（第40図、写真図版44）

〔位置・検出状況〕 遺跡西側の3区、Ⅱ B16p グリッド付近に位置しており、Ⅲ層下位で検出した。

〔重複関係〕 平面的には1号掘立柱建物跡と重なる。

〔規模〕 遺構検出面での規模は1.58×1.02m、底面までは21cm程が残存していた。壁は底面から丸みをもって立ち上がりつていて、東側の壁立ち上がりは緩やかである。そして壁面の西半部は焼けていることから、東側が焚口で西側の壁が焼けているほうが燃焼部であったといえる。底面はあまり焼けていない。本来はドーム状の上部構造をしていたと考えられるが、耕作により失われていた。

〔埋土〕 燃焼部には焼土ブロックと炭粒が多量にあった。壁面の焼土は4cmほどの厚さがあり、その内側には黒褐色土が堆積している。鉄滓等は含まれていない。

遺物 なし。

時期ほか 平面的に重なる1号掘立柱建物跡に伴う施設の可能性がある。時期を判断する資料を欠くが近世の遺構とここでは捉えておく。

### (8) 捨て場

今回の調査では縄文時代の遺物の捨てられた場所が2ヵ所で見つかっている。

#### 2区捨て場（第44図、写真図版24）

遺跡西側にあたる2区のII A25tグリッド付近に位置している。東西約7.8m、南北方向は調査区外へ延びており4.3m以上である。基本層序でいうⅢ層から縄文土器・石器・無加工の河原石などがまとまって出土した。明らかに周囲の調査区よりは多くの遺物が得られ、大コンテナ8箱の土器と小コンテナ1箱の石器が出上した。

Ⅲ層の層厚は30~40cmはあるが、遺物の含まれるのはその中でもⅢ層の下半部に限られる。遺物を包含する層は単層で薄い（10cm前後）。現況では概ね平坦であったが、捨て場の部分は周囲よりも低くなっていた。自然の落ち込みを捨て場として利用していたと推察される。

遺構との重複も想定し、複数の土層観察用のベルトを設定して掘り下げていったが、遺構は構築されていないようであった。河原石も配石や石門炉などの可能性を想定して精査したが、人為的に並べられたものはなかった。この他に焼土が2基検出されているが、この焼土も廃棄されたものである。

出土した土器（第63~67図、写真図版68~72）は中期、大木8b式が中心で9区で出土している時期の土器は見られないようである。細かい破片で出土するものが殆どであったが、中にはその場で潰れたような状態で出土したものも数点あった。

調査区内には捨て場の一部しか含まれていない。捨て場は南北方向へと続いているが、現況からその広がりを捉えるには地形的な特徴がなく難しい。ここでは調査区から北へ10m、南へ20m程続いていると推測しておく。

9区の捨て場が大木7a・7b・8a式段階、2区捨て場が8b式段階の捨て場であることが明らかとなり、二つの捨て場は直線距離にして約250m離れている。

#### 9区捨て場（第41~43図、写真図版44~49）

遺跡北東端にあたる9区の全域、I E18y~I F20jグリッド付近にて検出された。面的な広がりは東西50.2m以上、南北10.0m以上あり、北側と西側以外の2方向は調査区外へ続いている。基本層序でいうⅣ層から縄文土器・石器・土製品・石製品・無加工の河原石などが多量に出土した。明らかに周囲の調査区とは異なるまとまりをもった出土状況を呈しており、大コンテナ30箱の土器と大コンテナ1箱の石器類が得られた。無加工の河原石は径3cm~30cmのものが土糞袋に約35袋分は散布していた。

遺物包含層であるⅣ層の層厚は35cm前後であるが、過去にはもっと厚く堆積していた。しかしながら後世の削平により一旦Ⅳ層の上面は削られ、その後別な土で盛土されている。現在、Ⅳ層よりも上層（I~Ⅲ層）は盛土・耕作土等になっており、旧表土等は失われていた。従ってⅣ層上面が削られた際に、そこに含まれていた遺物も失われた可能性が高い。Ⅳ層より上層（I~Ⅲ層）には遺物が極端に少ないので、削られずに残っていたⅣ層には、後世の耕作が及んで遺物が巻き上げられたといった様相は見られない。そうした状況からもI~Ⅲ層は別の場所から運ばれた土であるといえる。

検出された捨て場は、集落の想定される南側（白山小学校側）に比べると1段低い平坦面に形成されている。推定で集落の南側とは1.0~1.5mの高低差がある。捨て場の北側には旧河道が広がっており、捨て場の形成された平坦面より更に低くなっている。現況から想定した捨て場の範囲は第43図

に示しておくが、現表土からは遺物はあまり拾えないのであくまで推測の域を出ないものである。

捨て場の精査では造構との重複、包含層の分層の可能性、配石造構の有無はかも考慮しつつ進めたため、9区を細かく区割りして32区割りした。(第44図参照) 土層観察用のベルトを設定しながら掘り下げていった。その際には出土状況を観察するため上器・石器類・河原石などは残しながら掘り下げている。

精査を続ける中、この9区の捨て場は造構との重複関係があまりないことが分かった。捨て場より新しいのは近現代の溝1条のみ、古い造構は小規模な土坑3基である。よって捨て場の遺物は造構によって殆ど乱されていない。捨てられた時の状態を保っているとみなすことができた。

遺物の出土状況からIV層を分層できないかと考えたが、遺物包含層はIV層の上層に層厚10cm程しかなく、単層であった。同じIV層でも下層になると遺物は皆無に等しい状況となり、包含層は「広く薄く」形成されていた。

出土した土器は中期初頭から中期中葉まで(ごく少数だが晩期の個体もある)を含んでいたが、これらを分層して把握することは不可能であった。このような状況を逆に中期初頭から中期中葉までの土器が連続性をもって捨てられて形成されたものと解釈した。

土器類は風化の著しい破片を中心としながらも、その場で潰れたような状態の個体なども多く含まれており、土器を残しながら掘り下げる足の踏み場もないほどの広がりを呈した。土器埋設造構の有無も注意して精査したが見られなかった。接合率はあまり良くなかったが、これは包含層の上面が削られたことに起因すると考えている。河原石も配石造構の可能性を検証するため動かさずに精査したが、人為的配置を成すものはなかった。但しもともとIV層に含まれる石ではないため、集落内で利用したものをここに廃棄したことは明らかである。石器類に関しては散発的な出で、意図的な配置をするものは見られなかった。

遺物の取り上げは細かく区割りしたブロックごとに層位を記して行った。個体としてのまとまりを把握できる資料に関しては平面図を作成してから取り上げている。

本捨て場の南側には関連する集落(居住域)が位置していると考えられる。居住域と捨て場との位置関係は、居住域の北側、旧河道へと向かって1段下がった所にある平坦面を捨て場として利用したことが分かった。そしてその広がりは第43図のように推定された。

9区捨て場と2区捨て場の関係、遺跡内およびその周辺における縄文時代からの集落内容については第3節に記したい。

#### (9) 柱 穴 群

検出された柱穴に関しては一覧表に整理した。

#### (10) 出 土 遺 物

##### 土 器 (陶磁器を含む)

###### (1) 造構内出土土器 (第46図、写真図版73)

検出された各造構から出土した遺物はそれほど多くはなかったため、そのためその殆どを掲載することができた。可能な限り図化したが小破片については写真のみを掲載した。各遺物の出土状況については造構の記載の中で、ここでは遺物の特徴や想定される時期について記載する。こうした遺物の特徴については遺物観察表にも整理し分類も記している。

1号堅穴住居跡 1は口縁部に隆帯による横位の区画文が配される。縄文時代中期中葉と思われる。

1号住居状遺構 2・3・6は同一個体と思われる。弥生時代の無文の壺類とみられ、外面を中心には煤が多く付着している。4・5は磨消繩文が施される壺か壺で弥生中期頃と思われる。

9号土坑 8・9は同一個体である。地文のみが施される壺で外面を中心に煤が少量付着している。10・11は磨消繩文が施される壺・壺類である。12は口縁部が小波状を呈する無文の壺で頸部に沈線が1条入る。13は変形工字文が更に退化したような文様が施されている。何れも弥生前期から中期と考えられる。

12号土坑 7は口縁部に斜・横・弧状の沈線を組み合わせた文様が施されている。縄文時代中期前葉。

11号土坑 14は地文のみが施された浅鉢である。縄文時代中期。

#### (2) 遺構外出土土器 (第47図、写真図版50)

15は底部付近に貝殻腹縁文がある。縄文時代早期と思われる。

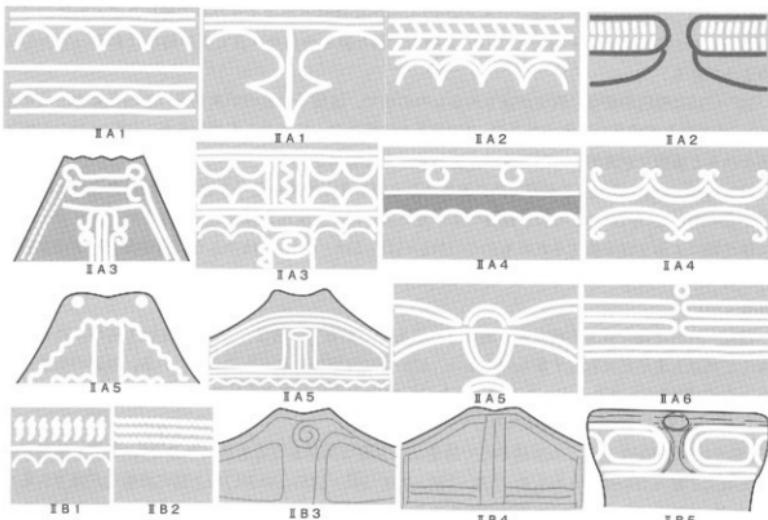
#### (3) 2区捨て場・9区捨て場出土土器 (第47～67図、写真図版50～72)

ここでは2区捨て場及びその近辺から出土した縄文時代の土器（以下縄文時代を省略）と9区捨て場から出土した土器について扱う。9区捨て場では中期初頭から中葉、2区捨て場及びその近辺からは中期中葉から後葉の土器が出土しているよう、本遺跡の他の地区から出土した土器も含め、時期ごとに大別し、さらに文様の特徴を基に細分することとした。器形の違いについても重要な観察項目であることは理解しているが、本遺跡の場合は口縁部から底部まで描っている個体、つまり器形を完全に把握できる資料が極めて少ない状況であったため、器形を細分していくことは困難であった。よって文様構成に主眼を置いて分類を組み立てている。それでも深鉢・浅鉢などの器形に付随する諸特徴については注視しつつ分類した。縄文の施文方法についても特徴的なものがみられる時期だが、胴部破片の接合率が悪かったので分類の中に活かすことはできなかった。

第I群（早期・前期）、第II群（中期前葉）、第III群（中期中葉）、第IV群（中期後葉・後期・晚期）とした。第I群・第IV群は量的に少ないため細分せずに個別に報告することとした。9区捨て場からは第II群・第III群土器が、2区捨て場及びその近辺からは第III群土器が多量に出土しており、これらを既知の土器型式編年と照らして分けてみた。大凡であるが大木7a式（第II群A類）、大木7b式（第II群B類）、大木8a式（第III群A類）、大木8b式（第III群B類）とし、その中で文様の特徴から細分が可能かを試みた。その内容については分類基準表を作成し整理することとし、個々の土器に施された文様の特徴については土器観察表に記載している。

上器に施される各種の文様については、これまで多くの報告書などに用いられている表現を可能な限り使っているが、文字からだけではどういった文様を指しているのか理解できないものも多いと感じた。そこで本報告では文章による文様表現を補足する模式図を加えることとした。周知の通り、縄文時代の土器文様は強い類似性をもちつつも、全くの同一文様という資料はないため文様すべてを完全に文章で表現することは難しい。ここでの模式図はあくまで文様理解の補助的な利用とするものである。

| 部 | 類  | 特徴 1   | 特徴 2                                  |
|---|--|--|---------------------------------------|
| I | 縦分なし(早・前期)   |  |                                       |
| A | 1. 連続する弧線文と継横の沈線で文様を構成するもの。<br>2. 推進する弧線文と継横の沈線に加えて、刻目や刺穴列が施されるもの。<br>3. 潟巻文が基点となるような場所に施文されるもの(渦巻文は沈線が多く落書きのものは少ない)。<br>4. 潟巻文が基点となるような場所以外の所に施される。<br>5. 潟巻文以外の文様で構成されているもの。<br>6. 陰線・沈線による渦円形横巻区画文が主体となるもの。 | 弧線文の中には派生・小波状を呈するものもある。沈線を主体としたものもあら。弧線は横方向に連続するものが多いが、縱に施用するものもある。<br>刻目は堅い・沈線による縱あるいは斜方向が多い。<br>刺穴は複数以外の方向が多い。<br>渦巻文のみといふものはない。大半は弧線文、刻目、刺穴など組み合わせて文様を構成する。 | 平緩な深鉢・浅鉢が多い。<br>山形の口縁を呈するものが多い。       |
| B | 1. 縦柱直文が縱方向に施文されるもの。<br>2. 縦柱直文が主に横向方向へ施文されるもの。<br>3. 主たる文様が縦柱直文による渦巻文であるもの。<br>4. 縦柱直文による文様で渦巻文以外のもの。<br>5. 案円形横巻区画文が施され、沈線で施される。   | 縦柱直文は縦方向に2~4条並んで施文されるものが多い。<br>Ⅱ A 3のように渦巻文が土器の起点となるような場所に施されることが多い。<br>曲線・直線的なもの。破片により渦巻文となるかもしれないものも含む。  | 山形の口縁を呈するものが多い。                       |
| C | 分離できなかつたもの。  | 渦巻文のみの個体も含む。   | 直筋も含んでいる可能性あり。                        |
| A | 1. 渾巻文等の文様が施される。<br>2. 渾巻文等の文様が施される。   | 文様は1本の落線と2本の沈線を基本として施文されているもの。<br>文様は2本の落線と3本以上の沈線を基本として構成されているもの。   | Ⅱ A 3のように渦巻文が土器の起点となるような場所に施されることは多い。 |
| B | 1. 文様が口縁部付近のみに施される。<br>2. 文様が胴部へも延びている。  |  |                                       |
| Ⅳ | 縦分なし(中期後葉・後期・晚期)   |  |                                       |



文様模式図

16~32は弧線文と沈線で文様を構成している(II A 1)。文様は沈線によって施されるものが大半で、隆線によるものはごく一部である。18や21などは弧線がしっかりとしているが、25・27などは弧線というよりも小波状の沈線を呈する。文様が横走するものが圧倒的に多いが22のように弧線文が縱方向に配置されるものも存在する。

33~51は弧状文と沈線に加えて刻目や刺突列が施されるものである(II A 2)。33・35・37などは短沈線による刻目文が1段のもの。38・43・44などは2段となる。40・41・42などの刺突列は楕円形の沈線に閉まれるようにある。殆どが口縁部付近に施文される中で50は胴部付近に刺突列が縱方向に施文されている。

52~75は渦巻文が土器の基点となるような場所に付くものである(II A 3)。52~61は渦巻文が未発達のように見えるものを集めた。沈線・隆線が一回りするかしないか程度の単純なものである。口縁は平縁と山形状・突起をもつものなどがある。62~65は渦巻文が明瞭なものである。66・67は同一個体と思われる。突起部分とその下部に渦巻文がある。69・70・72~75は渦巻文が2つ組み合わせて使用されているものである。

76~86は渦巻文が土器の基点となるような場所以外に見られるものである(II A 4)。平縁のものと、山形口縁のものとがある。比較的大きな渦巻文が施されるのは76のみで、小さな渦巻文が複数施文されるものが多い。殆どが口縁部付近に施文される中、85は胴部付近に施文されたものようであるが、天地がよく分からなかった。86は浅鉢と思われる。

87~107は渦巻文以外の文様をもつものである(II A 5)。II A 1・II A 2類のように弧線文は主要な文様にならない。多様な文様があり文章で表現するのはかなり難しいものもある。小波状文が主体となるもの(87)、渦巻文に似た円文がつくもの(88・89・92・93)、沈線による文様(94~101・104~106)、隆線を主体とする文様(102・103)がある。口縁部の形状はII A 4類と似ている。浅鉢については良好な資料は抽出できていない。106が浅鉢となるようだが文様にあまり特徴がでていない。粘土貼付に刻目を施すものは、多様な文様と組み合わせられて長い時期にわたってみられるようである。

107~113は楕円形横帯区画文が施されるものの中で、区画そのものが未発達のものを集めた(II A 6)。その殆どが横長の区画であるが、110のように縱方向へ区画するものもある。107・113などの区画をみると弧線文が変形して区画文へと変わるように看取される。

114~122・132は繩圧痕文が縱方向に施されるものをまとめている(II B 1)。繩圧痕文は1段のものが多いが、117や121のように2段持つものもある。繩圧痕文は口縁上部に限定されるようその下には沈線による文様が施文されるものや(115~117・119・120)、114のように繩圧痕文を楕円形横帯区画文で区画するものもある。123~125は繩圧痕文が縱・横組み合わせたものだが、量的にはあまり多くない。

126から131は繩圧痕文が横方向に施文されるものである(II B 2)。繩圧痕文は1列のみのものではなく2列以上を平行に施文するものが多い。128・129は頸部に隆線を巡らせている。器形の全容が明らかなのは130のみであるが、これによると口縁部は小波状で胴中央付近に最大幅を持つような器形といえる。131は浅鉢で口縁部は内湾している。

133~149は繩圧痕文による文様の中で渦巻文が主要な文様となるもの(II B 3)。刻目・刻目状の繩圧痕文と組み合せられるもの(133・134・140・141・145)、山形口縁上部に渦巻文が施されるもの(135~139)、139は隆線による渦巻文をモチーフにした口縁の下部にも渦巻文が配置されているようである。144~146は渦巻文の他に楕円形横帯区画文・弧状文が組み合せられて文様を構成している

ものである。145・146は浅鉢である。147・148は同一個体である。橋状突起及びその周囲に渦巻文を施し、縄圧痕文が波状に展開している。149では渦巻状の縄圧痕文が口縁部に施されている。

150～160は縄圧痕文による文様の中で渦巻文以外の文様が主となるものをまとめた（II B 4）。縄圧痕文のみで文様を構成するものと、沈線や隆線と組み合わせて文様を成すものがある。口縁部の形状はII B 3類に似るものが多い。

161～190は楕円形横帯区画文を持つもので（II B 5）でII A 6類よりも区画文が発達しているものを集めている。161～165では区画内に縄圧痕文を施しており、浅鉢が多い。166～173は楕円形区画文の外部上方に縄圧痕文を施している。174・175は楕円形区画文の外部下方に弧線文を組み合わせている。176は刺突文との組み合わせである。177～181は楕円形区画文のみの単純なもの、182～185では楕円形区画文が上下2段で配置される。186～189は楕円形区画文に加えて上述以外の文様が施されるものである。

191～212はII群ともIII群とも分類しにくいものをまとめている（II C）。191・196は浅鉢である。191には口縁部に隆線による波状文が巡っている。同様の文様を持つものとして200～201がある。203～207では胴部に波状の隆線（沈線）が縱方向に施文される。209は縱横直線的な隆線の上に縄圧痕文が付く。210～212は地文のみの資料である。

213～231は渦巻文などの文様が1本の隆線と2本の沈線を基本として施されているものを集めた（III A 1）。後述するIII A 2類との区別が難しい個体も含まれている。文様が胴部にまで及ぶ資料はあまり見られなかった。213～218には渦巻文がなく、II群で見られていた楕円形横帯区画文的な文様を持つ。220～221・223は頭部より上に渦巻文が巡るものである。222・224～231は口縁部に取り付けられた突起部分に渦巻文・渦巻文的な文様を持つものである。器形・器種のよく分からぬものが多い。

232～250は渦巻文等の文様が2本の隆線と3本以上の沈線で描かれるものが多いものである（III A 2）。前述したIII A 1類との区別が不明瞭な資料も少しある。232～240では渦巻文などの文様が口縁部に描かれるものである。233には口唇部の一部に刻目を持ち、そこを隆線による文様の基点としている。236では口唇部に縄圧痕文がつけられている。241～245は胴部に文様が展開するものである。246～250は浅鉢或いは小形の鉢と思われる。247・248はキャリバー型の土器だが、浅鉢よりも器厚がなく、通常の深鉢のような大きさにはならない。

251～261は文様帶が口縁部にのみ見られるものである（III B 1）。251～258は刺突列または縄圧痕文列が1段ないし2段付くもので、中には251・253・255・256のように隆沈線による渦巻文と組み合わせられたものもある。259～261は刺突列・縄圧痕文列などが見られない土器群である。259は渦巻文だけが施されるもの、260は隆沈線による渦巻文と区画文が描かれるものである。261は横走する沈線間に縄文を施している。

262～300は渦巻文等の文様が口縁部だけでなく胴部にも展開しているものをまとめた（III B 2）。この中には口縁部突起（274・275・279・280）のみの資料もあり、これらが胴部に文様を持つかは断定できない。しかしながら前述したIII B 1類よりも本類に含めたほうが妥当と観察した上で判断したものである。

破片資料が多くほぼ全容が分かる資料としては271や272くらいしかない。口縁部に渦巻文などを施した突起が付くほかは、特に文様を持たないものが多いようである。

301～304は小型の土器である。302は上げ底風になっていた。

305～317は縄文時代中期末から後期・晩期・弥生時代の土器である。個体数が少ないので一括してIV群とした。305・306は口縁部を無文とし、頭部に隆帶が横方向に1本巡っている。中期末頃の資料

であろう。307~309・311は晩期の土器である。312~315は後期初頭の上器と思われる。316・317は弥生時代と思われる。

#### (4) 遺構外出土土師器・須恵器・陶磁器（第67図、写真図版73）

遺跡西部にあたる1区から3区を中心に土師器・須恵器・陶磁器が出土しているがその量は少ない。

318・319は土師器壺の破片で外面はヘラケズリされている。320・321は須恵器壺類の破片。何れも平安時代である。322は肥前産磁器皿で18世紀後半、323は肥前産陶器皿で16世紀末から17世紀初頭のようである。

#### 石器（第68~73図、写真図版75~80）

上器と同様、2区捨て場・9区捨て場からの出土が多かった。石器類に関しては下記の基準を設けて分類し、代表的なものを掲載した。

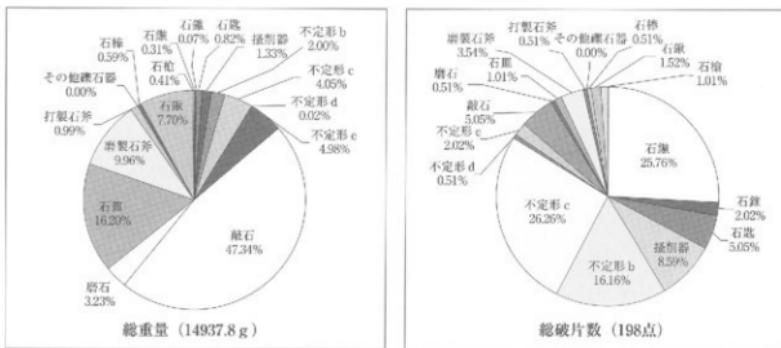
石器類の個々の特徴に関しては一覧表にまとめている。

#### 石器・石製品分類表

|                            |                 |  |   |                 |  |
|----------------------------|-----------------|--|---|-----------------|--|
| A<br>剥<br>片<br>器           | I 石器            | a 完成品<br>b 未製品   | 1 凸基<br>2 凹基  | 3 不明はか          |  |
|                            | II 石椎           | 出土しなかった。   |   |                 |  |
|                            | III 石槍          | a 棍長<br>b 棍長   |   |                 |  |
|                            | IV 石鏃           | 剥片石器の石材  | 1 刃部一部<br>2 一部ない部分有り                                    | 3 中まで剥離が及ぶもの    |  |
|                            | V 振・削器<br>不定形石器 | a 一般的な振・削器<br>b 振圧剥離系列の石器を製作する過程でできる剥片に使用してできた痕跡があるもの<br>c 抑正剥離系列の石器を製作する過程でできる剥片に簡単な加工を施しているもの<br>d ピエス・エスキュー |   |                 |  |
|                            | VI 砕石           | e 磨き心斧や鍬石器によく使われる石材を用いているもの  |   |                 |  |
|                            | VII 破石          | a 一般的な砾石<br>b 多面性石器  | 1 片手で持てる<br>2 片手状で握りに<br>3 通窓の破片<br>4 楽に握れる程<br>度の小さなもの | 5 その他の<br>6 耐打性 |  |
|                            | VIII 破石         | a 格状の一般的な砾石<br>b それ以外のもの   |   |                 |  |
|                            | IX 岩石           | a 片手でもてる一般的なもの<br>b その他  | 1 細長いもの<br>2 手に収まる小石状                                   | 3 その他の          |  |
|                            | X 門石            | 1 最大長20cm以下  | 2 20~30cm   | 3 30cm以上        |  |
| B<br>礫<br>石<br>器           | XI 石頭           | 出土しなかった。   |   |                 |  |
|                            | XII 破片          | a 完成品<br>b 未製品   | 0 加工<br>1 剥離段階<br>2 耐打段階<br>3 研磨段階                      |                 |  |
|                            | XIII 打製石斧       | 細分しなかった。   |   |                 |  |
|                            | XIV その他         |  |   |                 |  |
| C<br>剥<br>片<br>器<br>残<br>枝 | XV 剥片・残枝        | a 振圧剥離系列の石器製作時に出る剥片<br>b 抑正剥離系列の石器に使用されるような石材の残枝   |   |                 |  |
|                            | XVI 剥片・残枝       | a 磨石器、石製品系列の作成時に出る剥片<br>b 磨石器、石製品製作に使用されるような石材の残枝  |   |                 |  |
|                            | XVII 石製品        | XVIII 石棒   | XIX 石製円盤  | XX その他          |  |

各器種の構成についてはグラフに整理した。

石材の产地をみると、A類とした石鎚・石匙・不定形石器などは奥羽山脈系の頁岩、B類の石鎚・打製石斧類には北上山地系の頁岩が使用されていることが分かった。磨製石斧の石材は奥羽山脈・北上山地系とともに見られる。



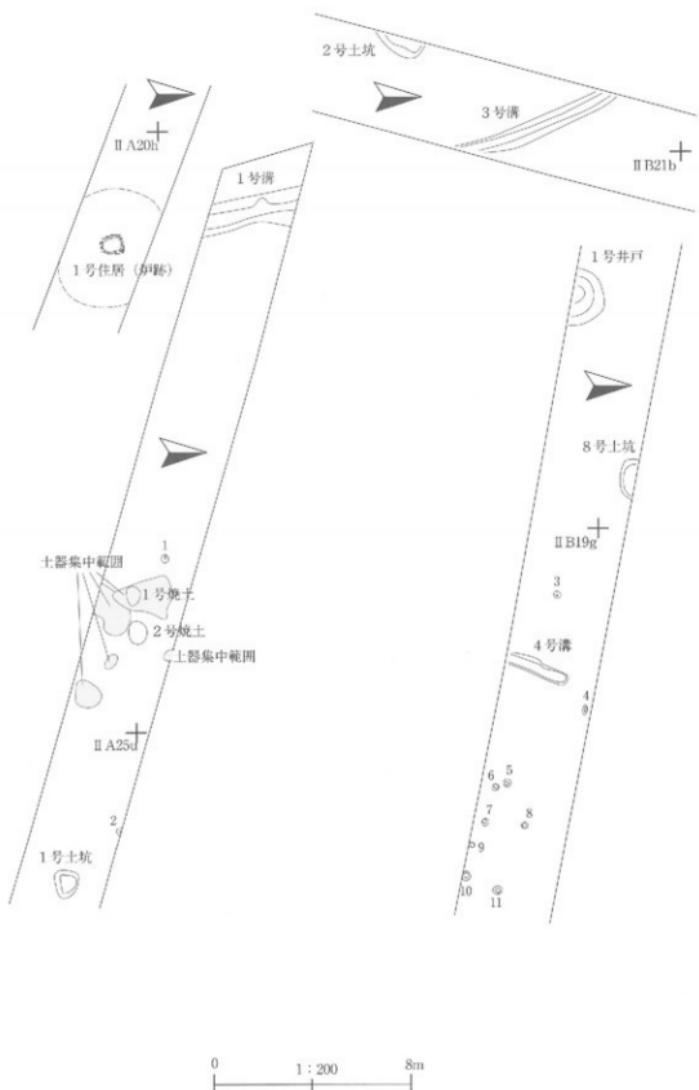
その他の遺物（第82図、写真図版81・82）

## (1) 羽 口

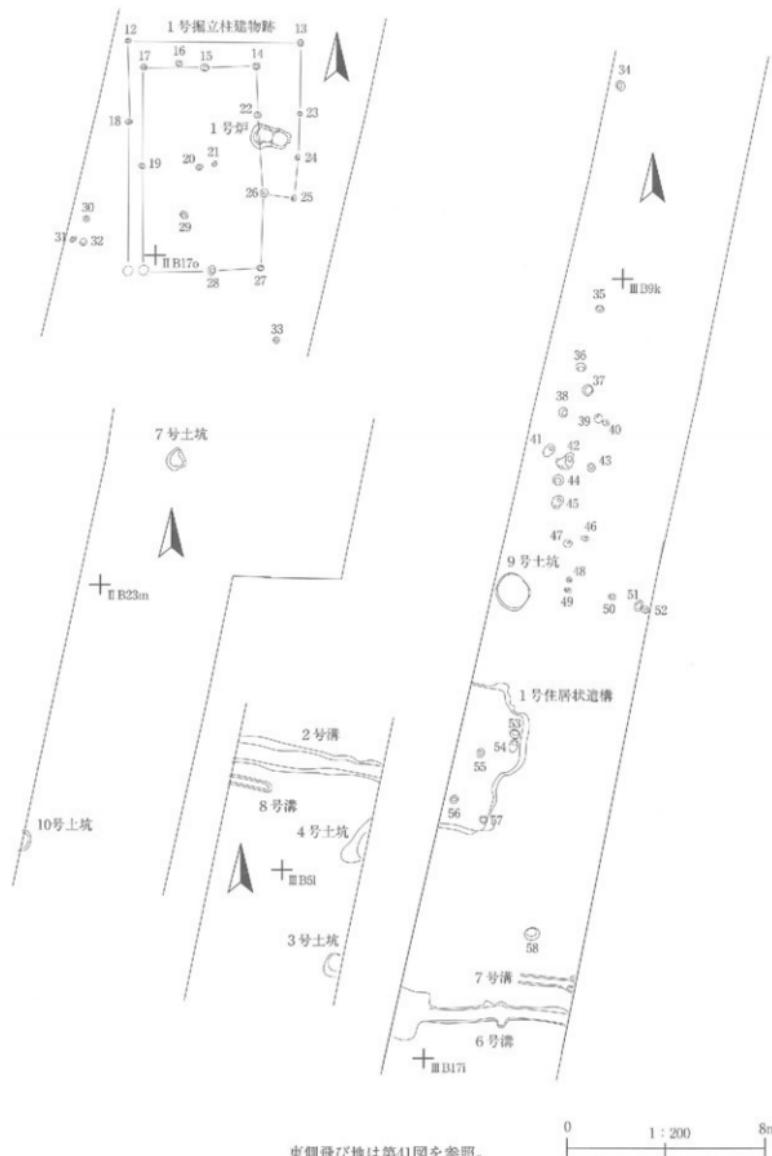
1号井戸跡から数十片が出土している。破片のため全体形を復元できるものはないが、2個体以上の破片のようである。孔の直径は3.1~4.3センチを測る。時期は近世と考えているが、あまり根拠はない。

## (2) 鉄 淚

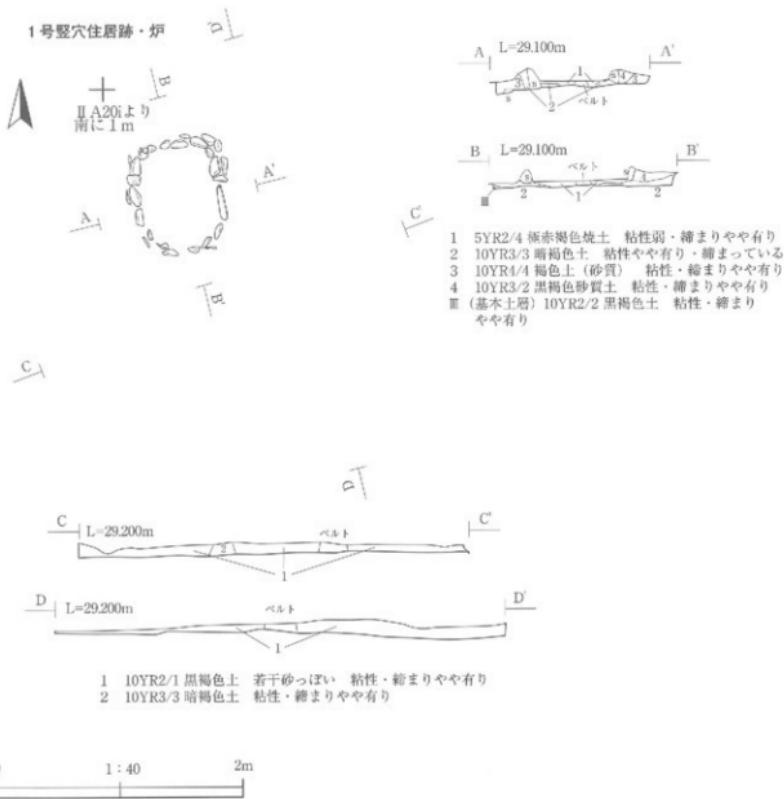
1号井戸跡から8片出土した。多くは炉内涙のようである。



第32図 小林繁長遺跡遺構配置図（1）



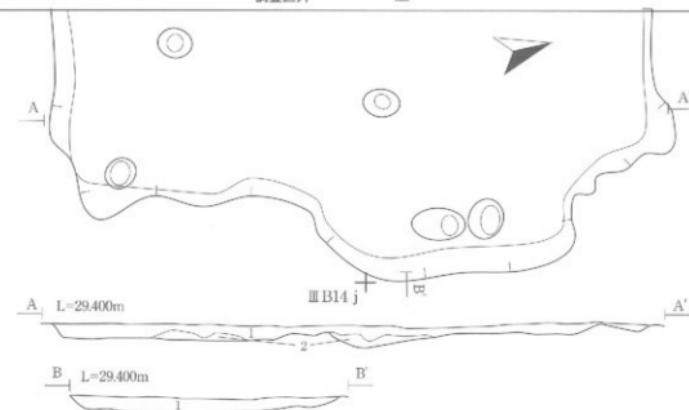
第33図 小林繁長遺跡遺構配置図（2）



第34図 1号竪穴住居跡、炉

## 1号住居状遺構

調査区外

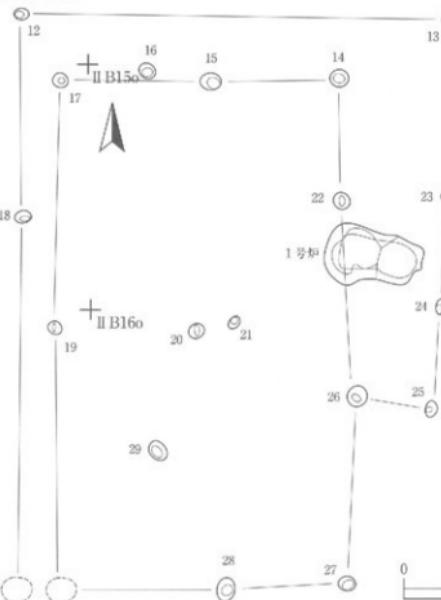


## 1号住居状遺構

1:50 2m

0

## 1号掘立柱建物跡

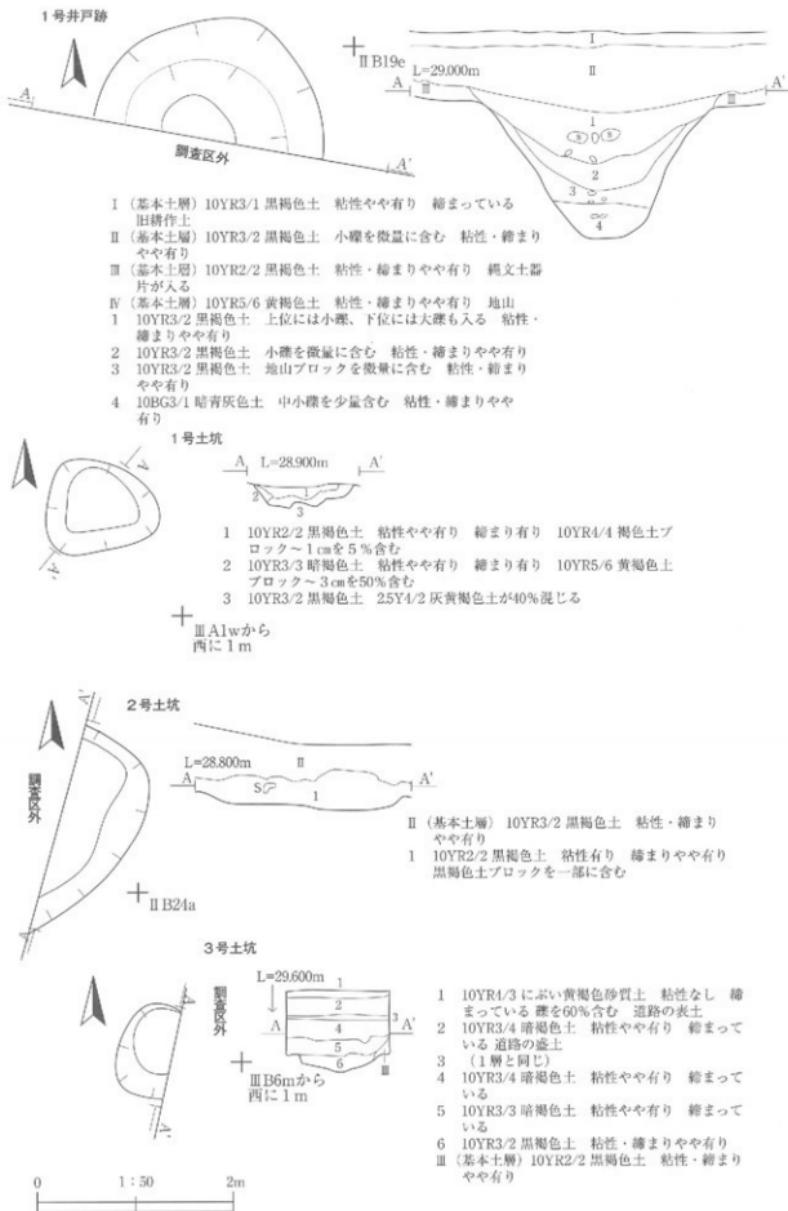


## 1号掘立柱建物跡

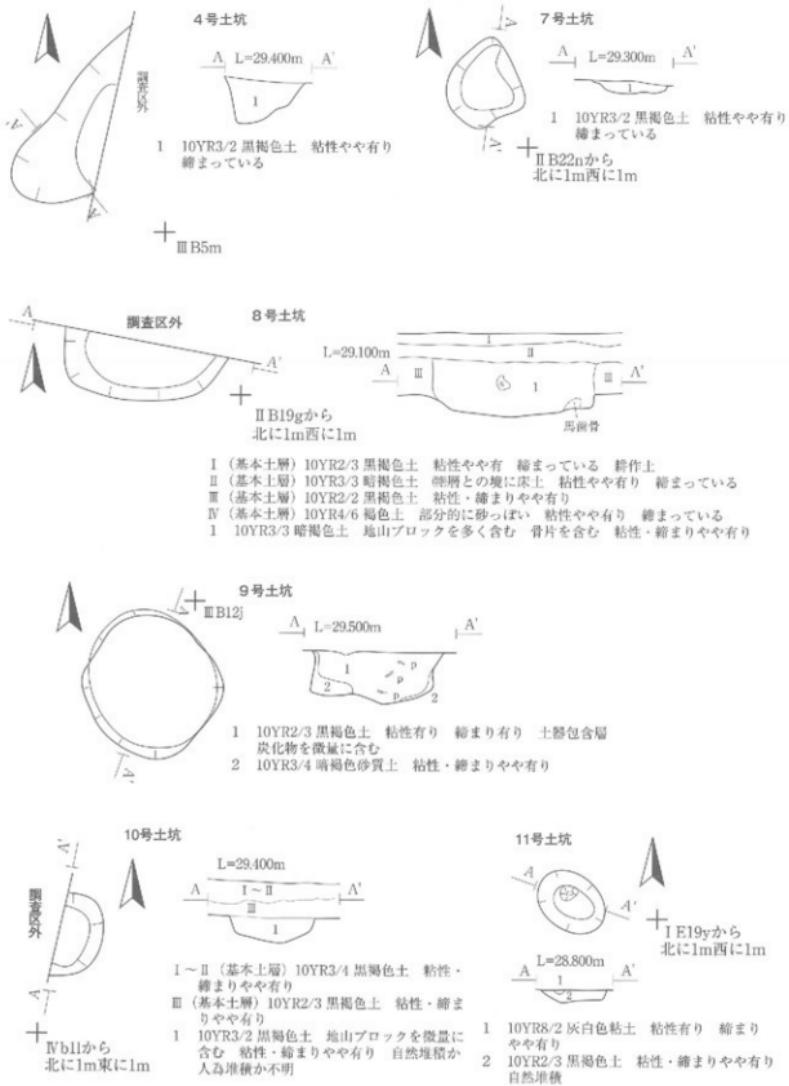
1:80 4m

0

第35図 1号住居状遺構、1号掘立柱建物跡

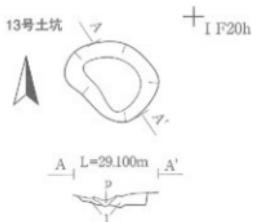
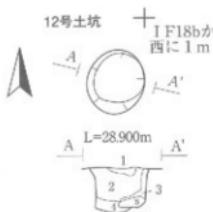


第36図 1号井戸跡、1~3号土坑

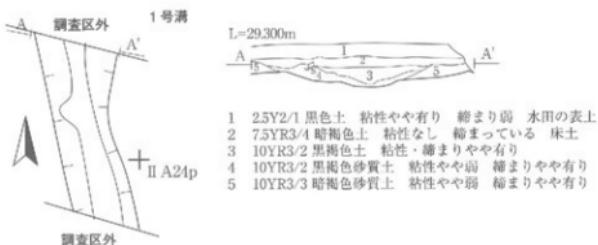
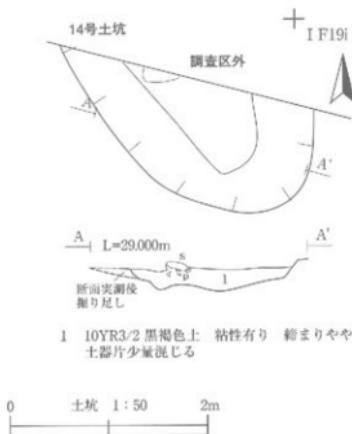


第37図 4・7~11号土坑

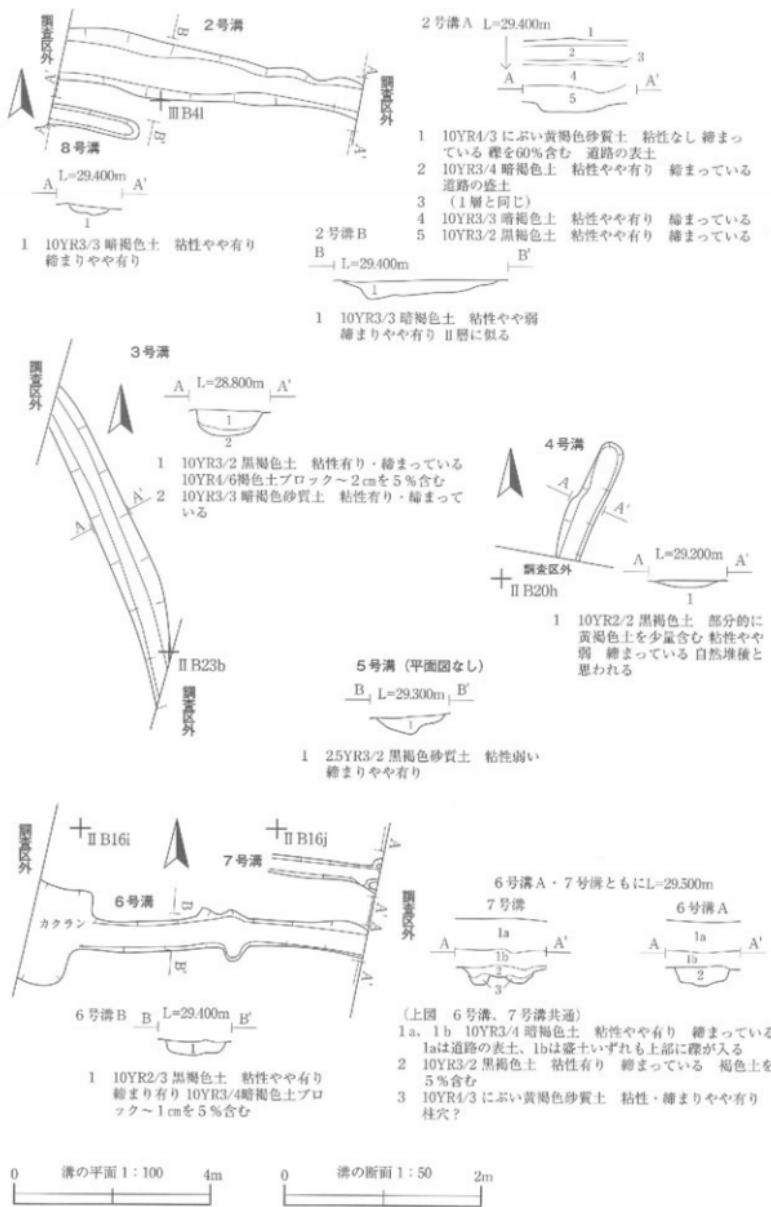
## 2 検出された遺構と遺物



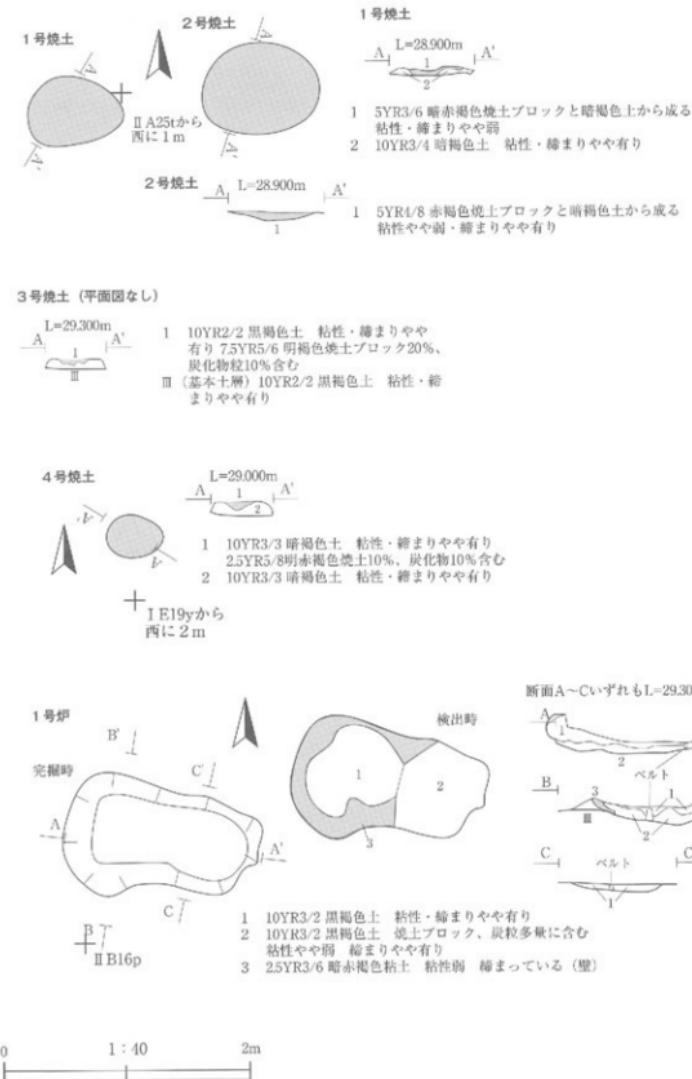
- 1 10YR2/3 黒褐色土 炭粒多く含む 粘性・縮まりやや有り
- 2 10YR2/3 粘性やや有り 縮まりやや弱
- 3 10YR2/2 粘性やや有り 縮まっている
- 4 10YR3/3 暗褐色土 地山ブロックを少暈含む 粘性やや有り 縮まっている（1、2層は抜き取り後の土 3、4層が本來の土 4層は柱当たり）



第38図 12～14号土坑、1号溝



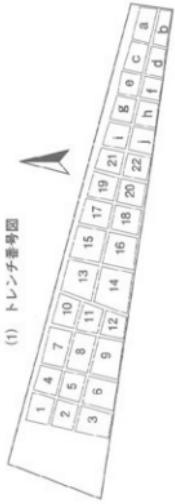
第39図 2～8号溝



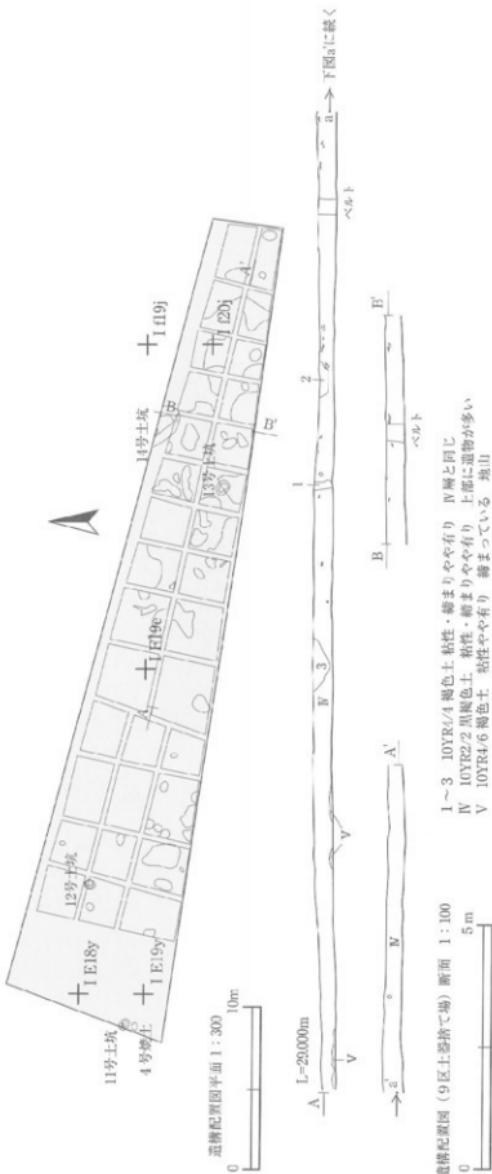
第40図 1～4号焼土、1号炉

## 9区土器捨て場

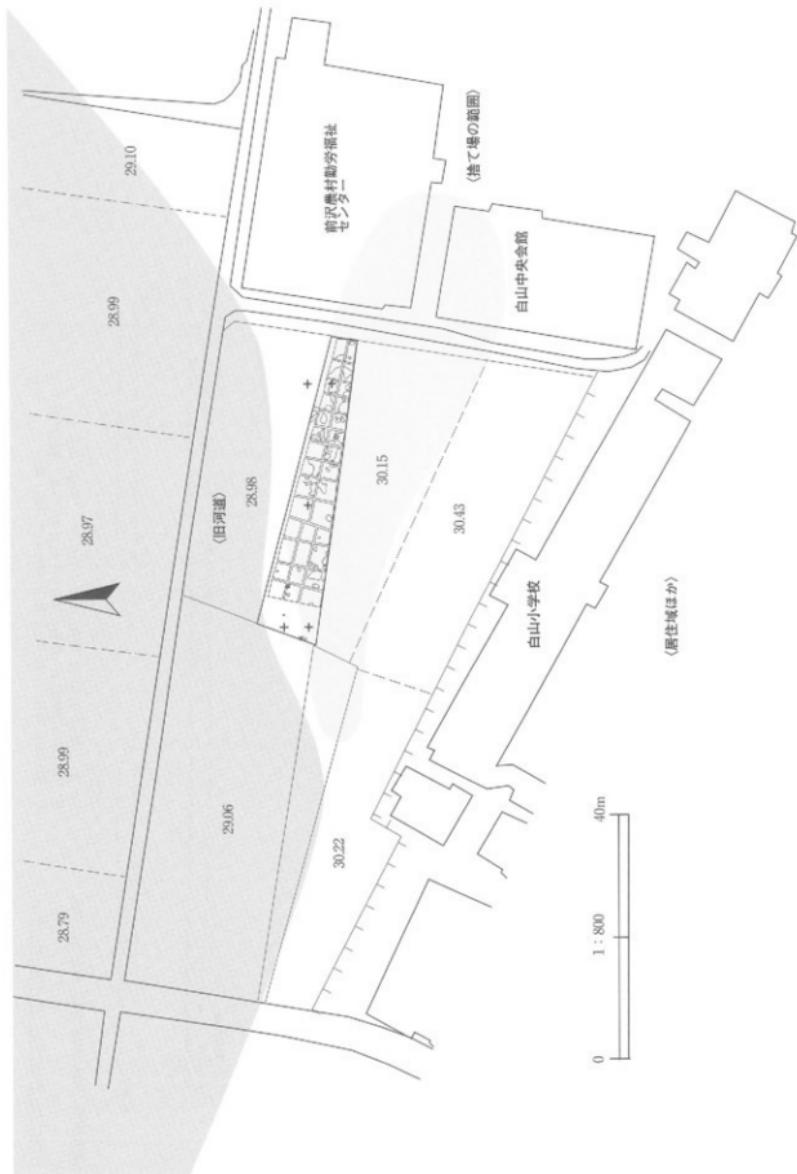
(1) トレンチ番号図



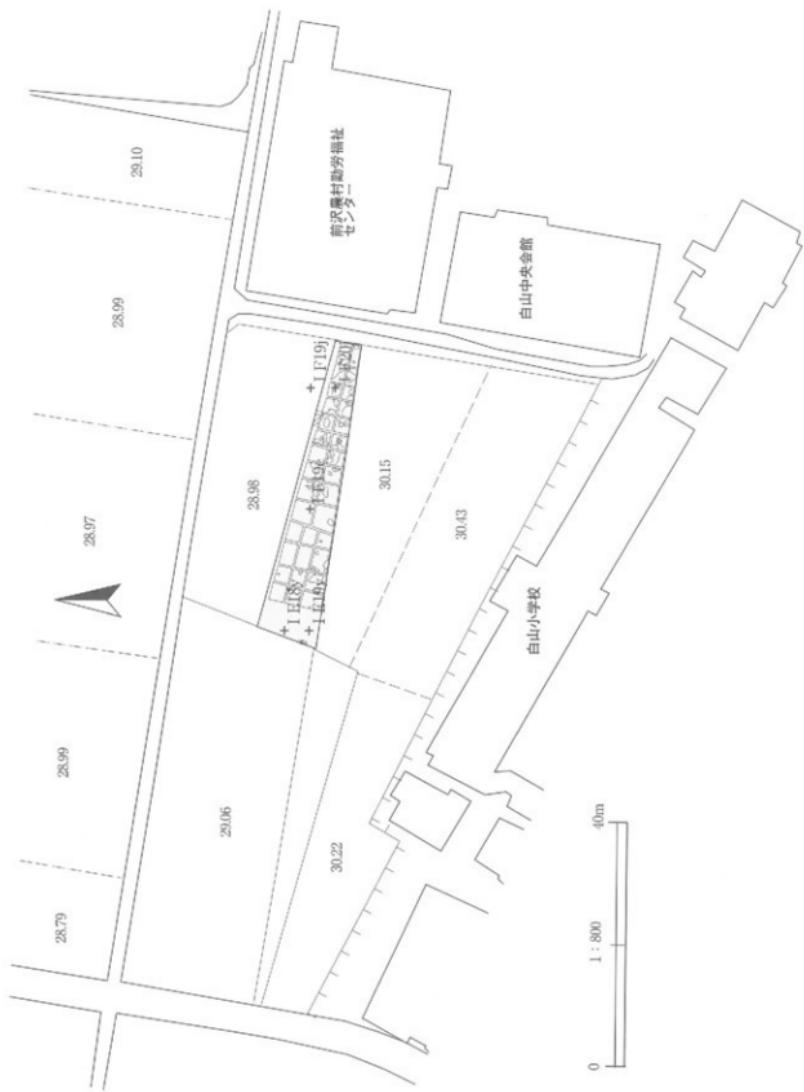
(2) 遺構配置図 (調査区全体を塗りつぶしたのは全体が遺構範囲のため。)



第41図 9区土器捨て場 (1) トレンチ番号図 (2) 遺構配置図

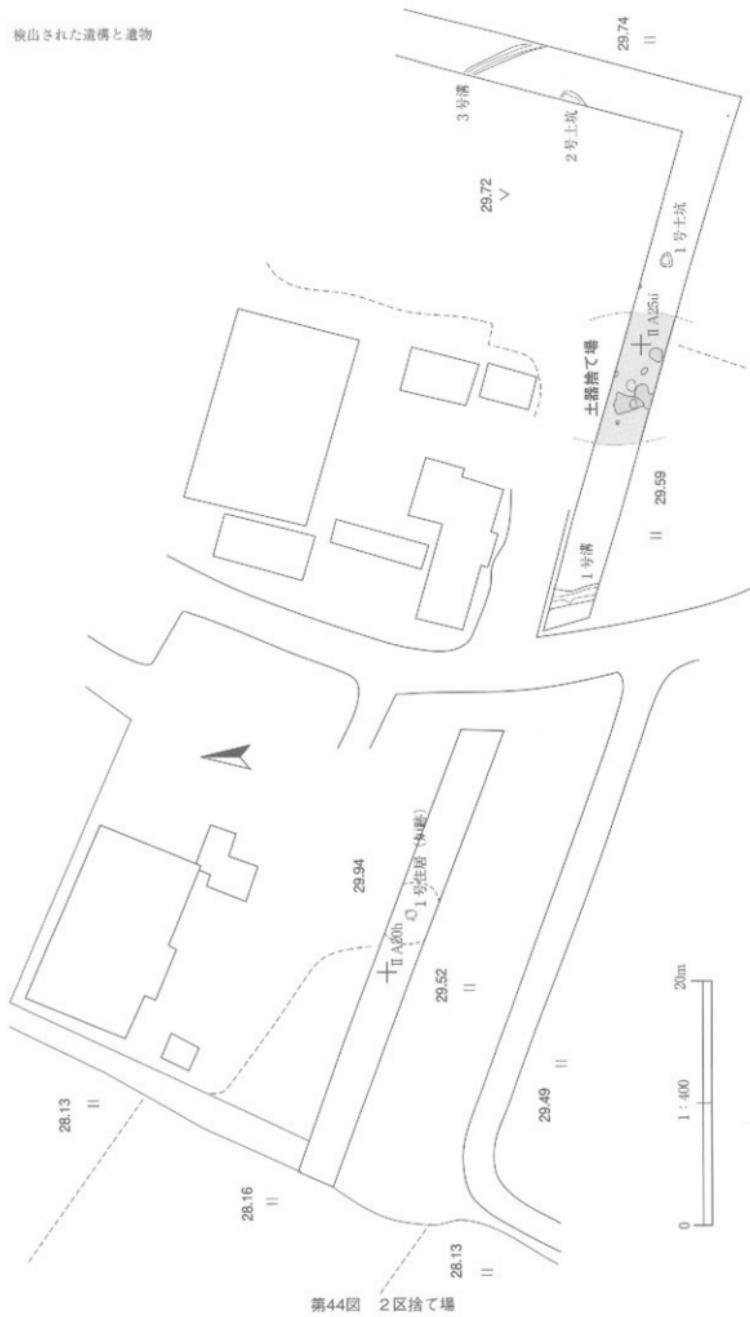


第42図 9区土器捨て場（3）土器集中範囲



第43図 9区土器捨て場周辺の地形

2 検出された遺構と遺物



土器出土重量：

0~4kg



5~9kg



10~14kg



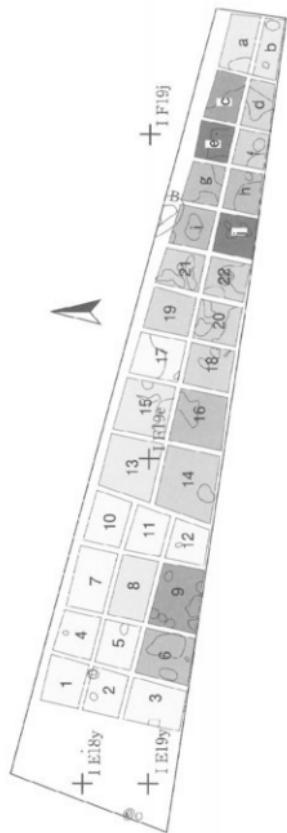
15~19kg



20~25kg



25kg~



石器出土重量：

0~500g



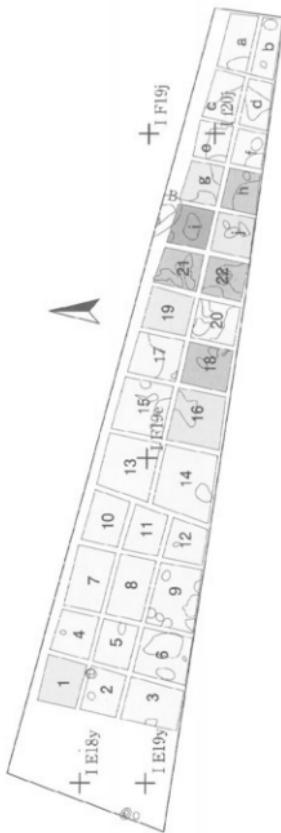
501~1000g



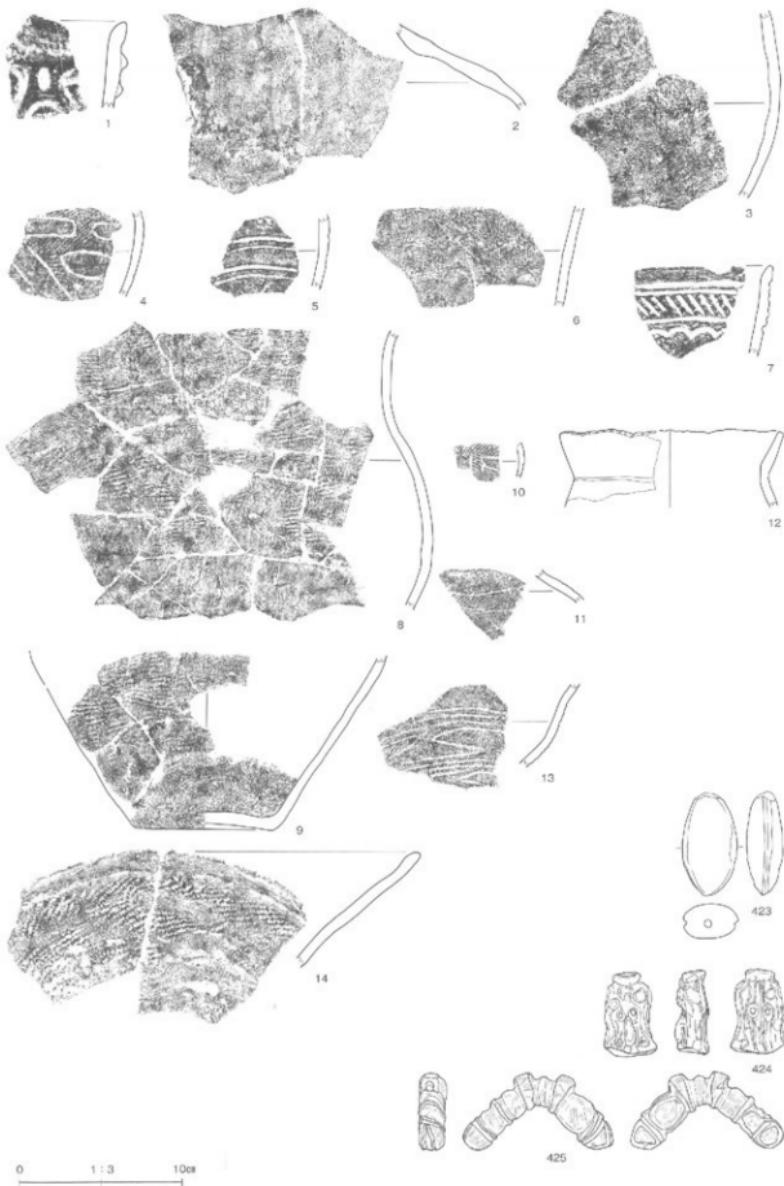
1001~1500g



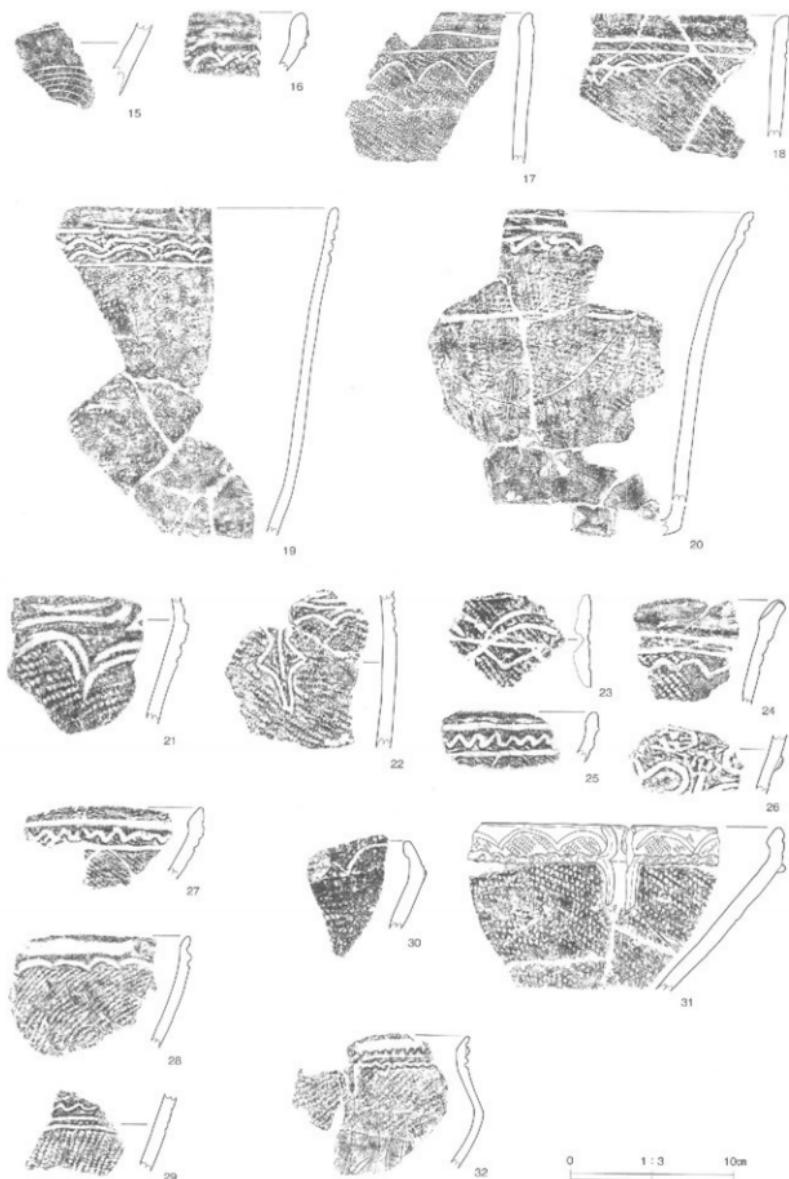
1501g~



第45図 9区捨て場

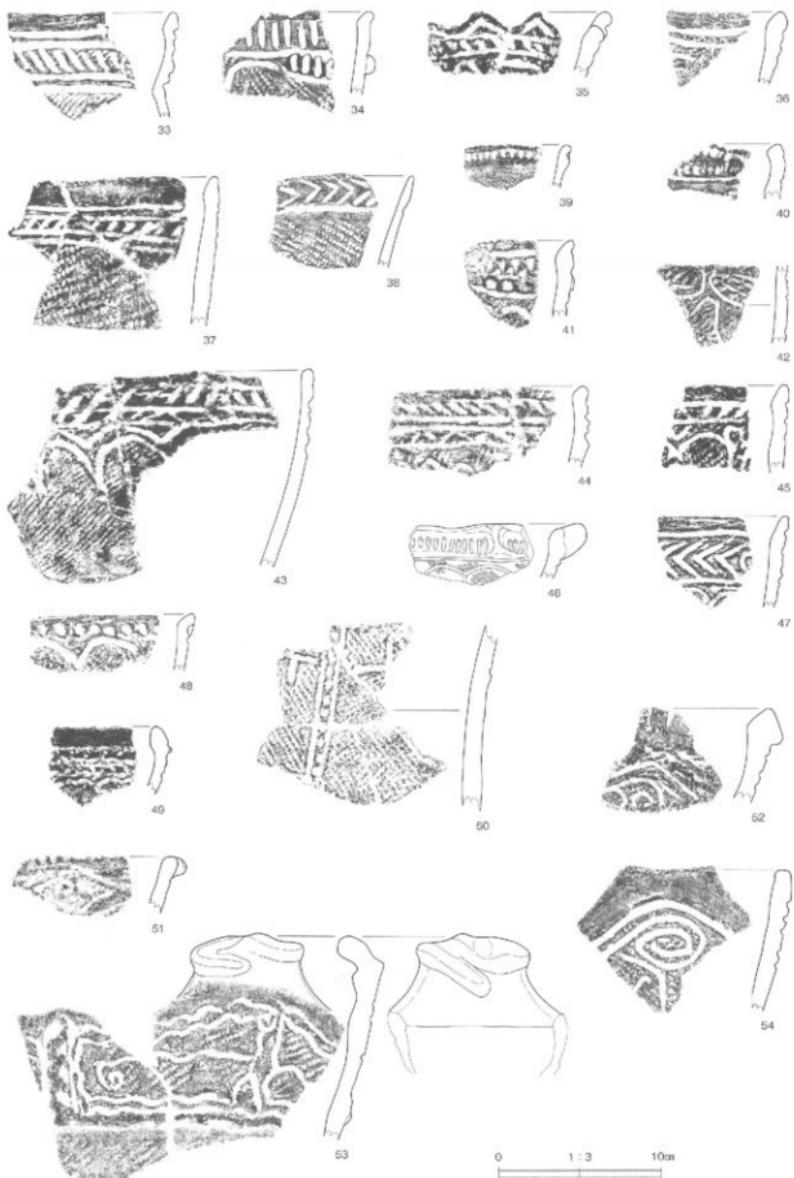


第46図 遺構内出土土器、土製品、石製品



第47図 5区出土土器、9区捨て場出土土器 1

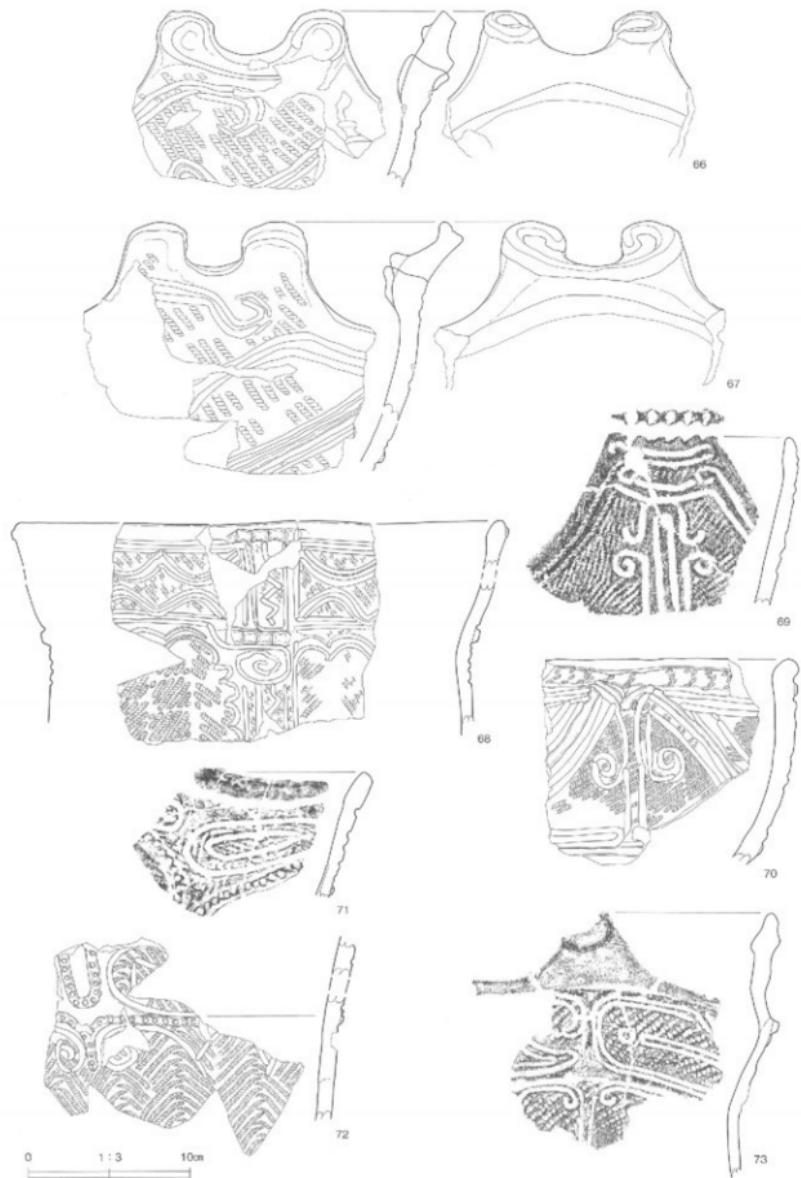
2 検出された遺構と遺物



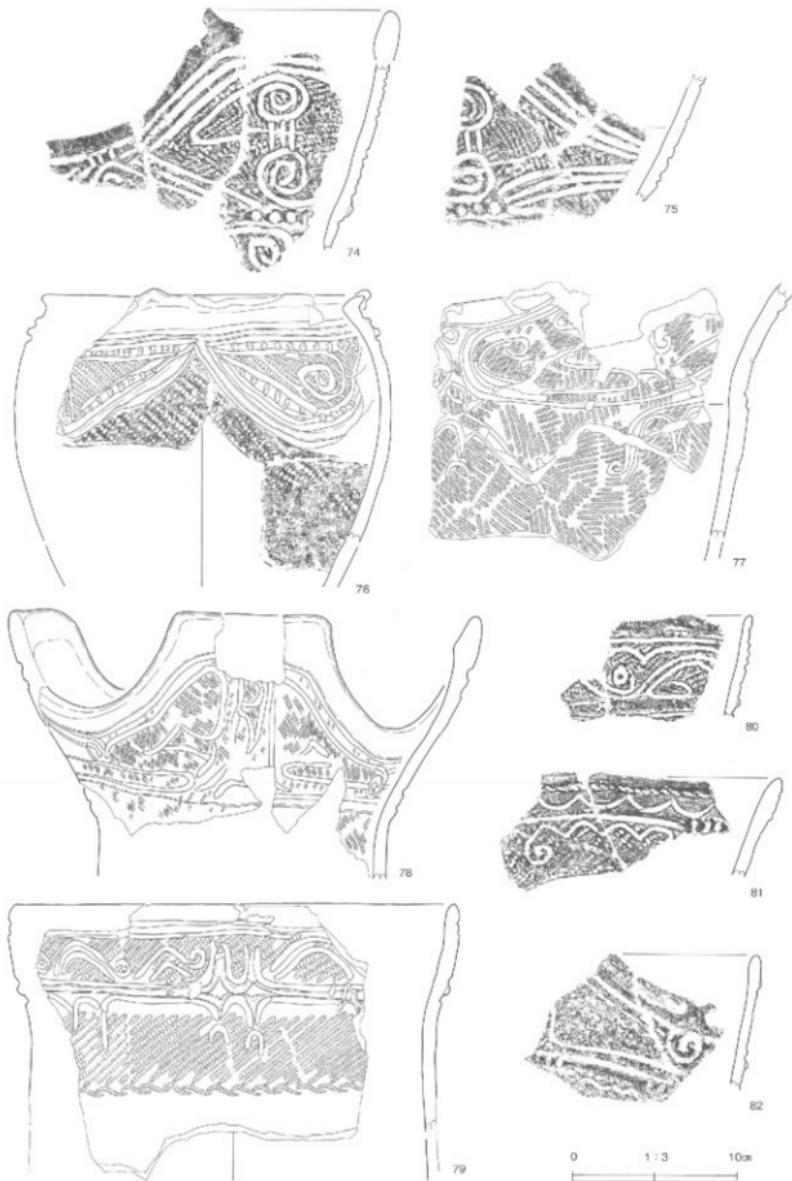
第48図 9区捨て場出土土器2



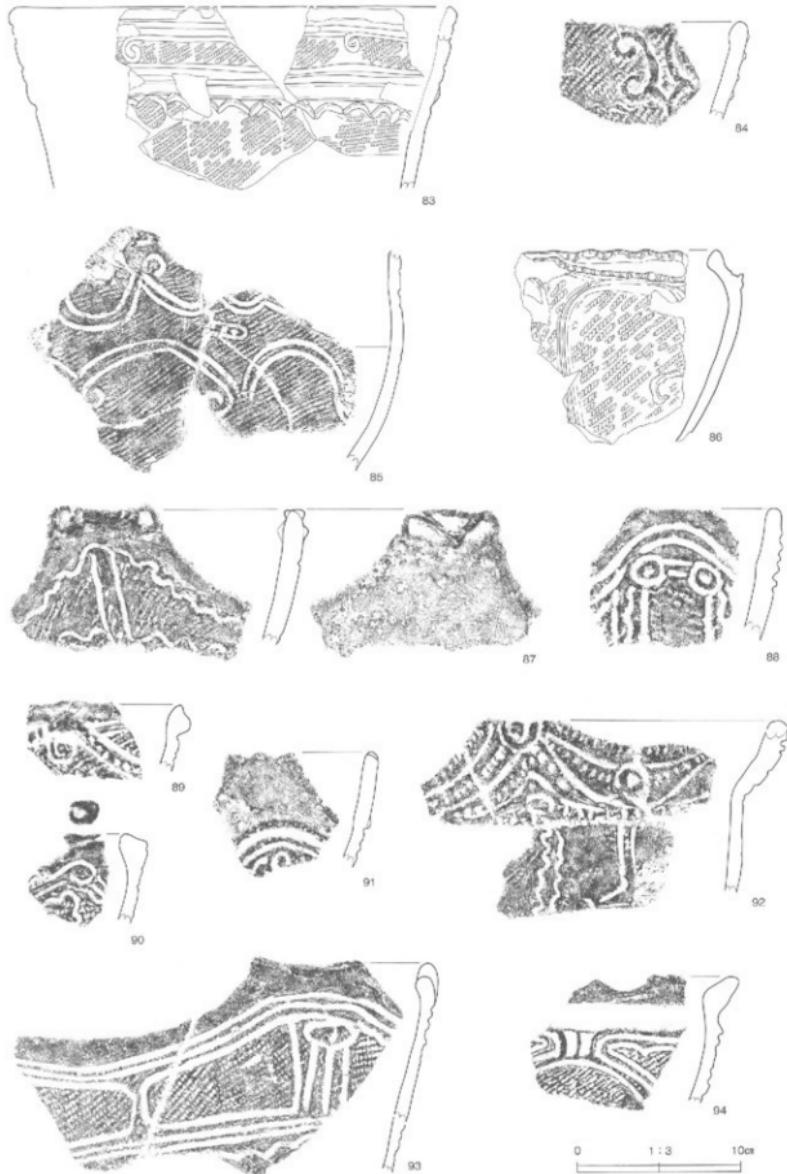
第49図 9区捨て場出土土器 3



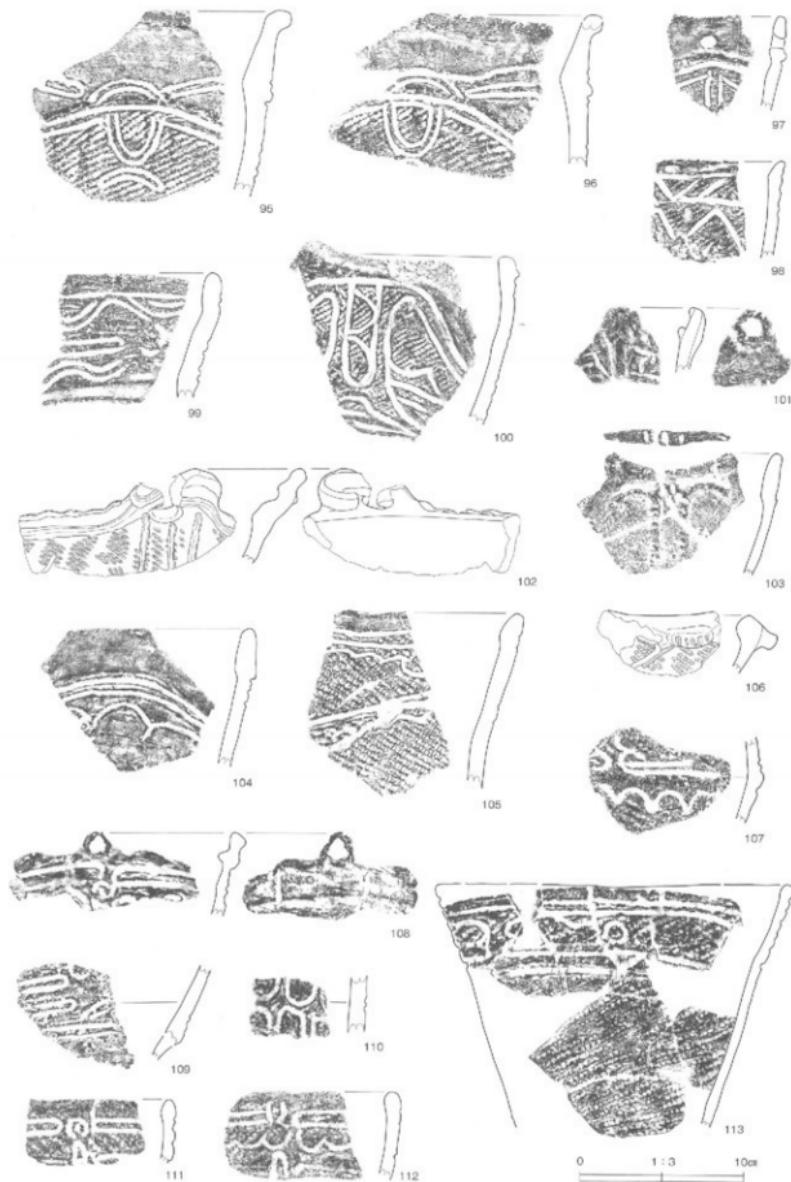
第50図 9区捨て場出土土器4



第51図 9区捨て場出土土器5

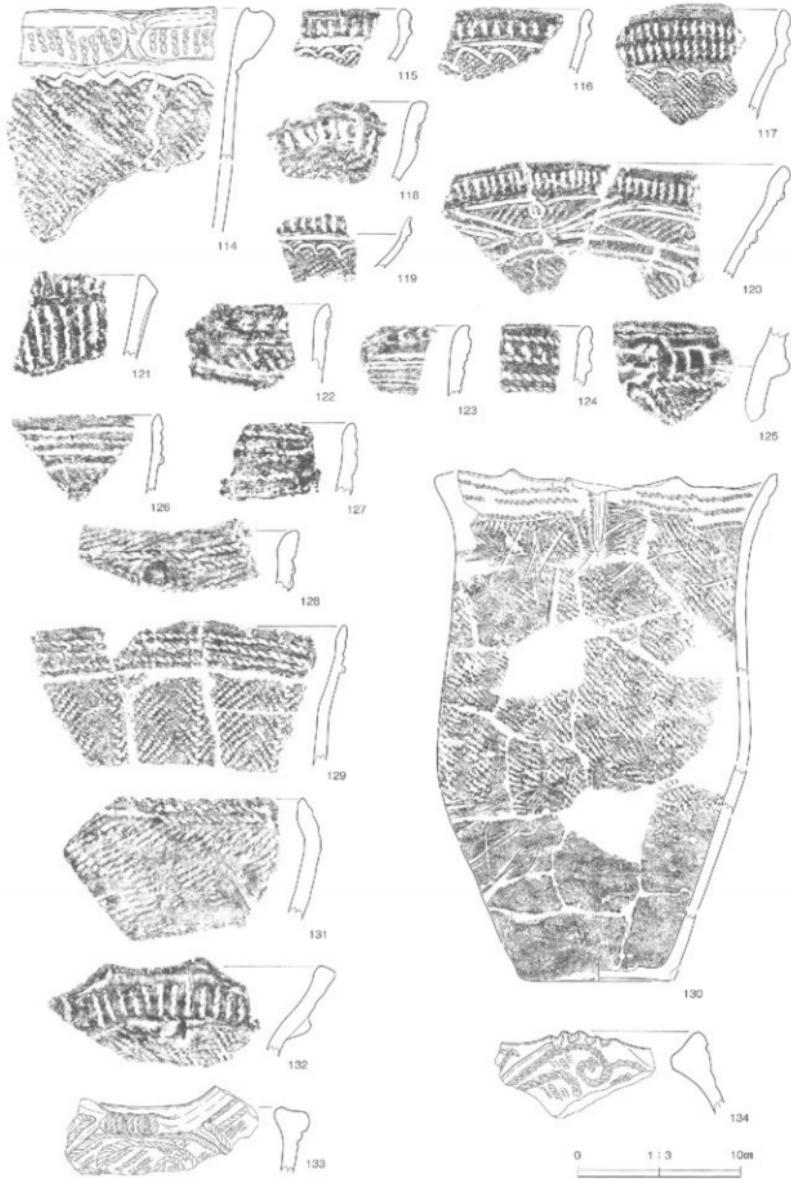


第52図 9区捨て場出土土器 6

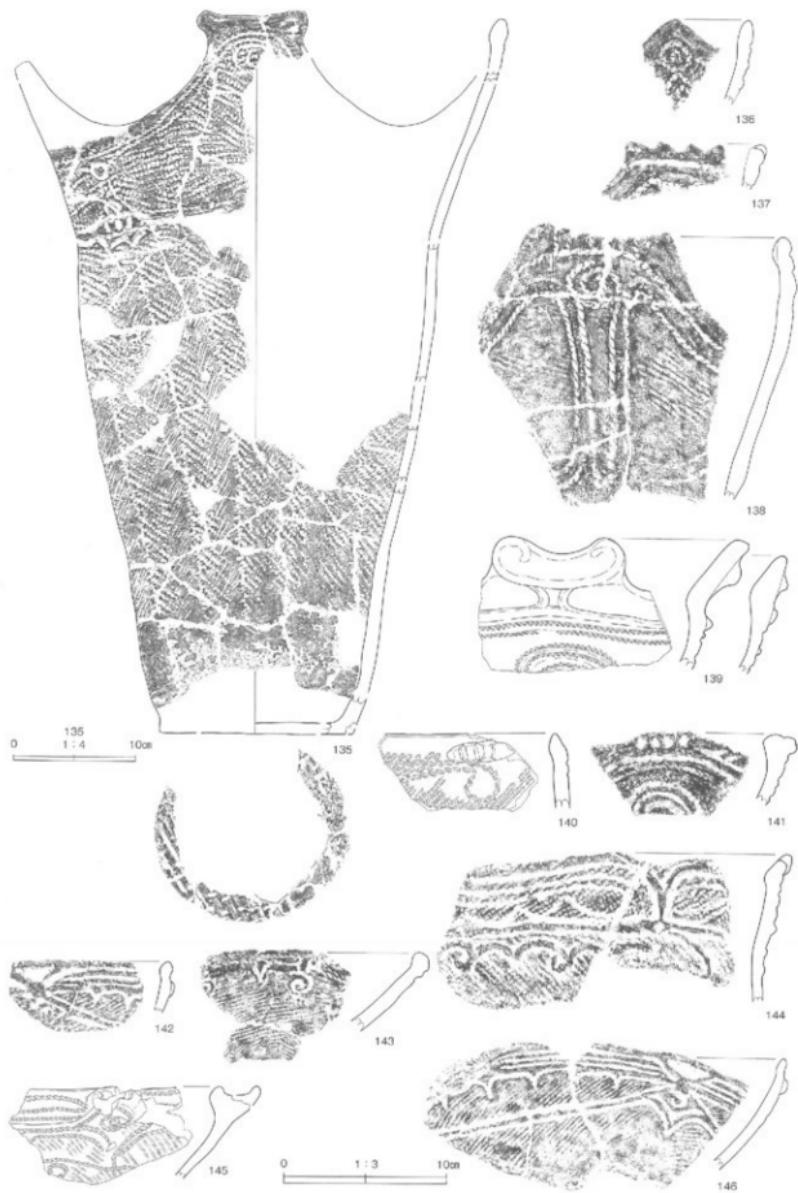


第53図 9区捨て場出土土器7

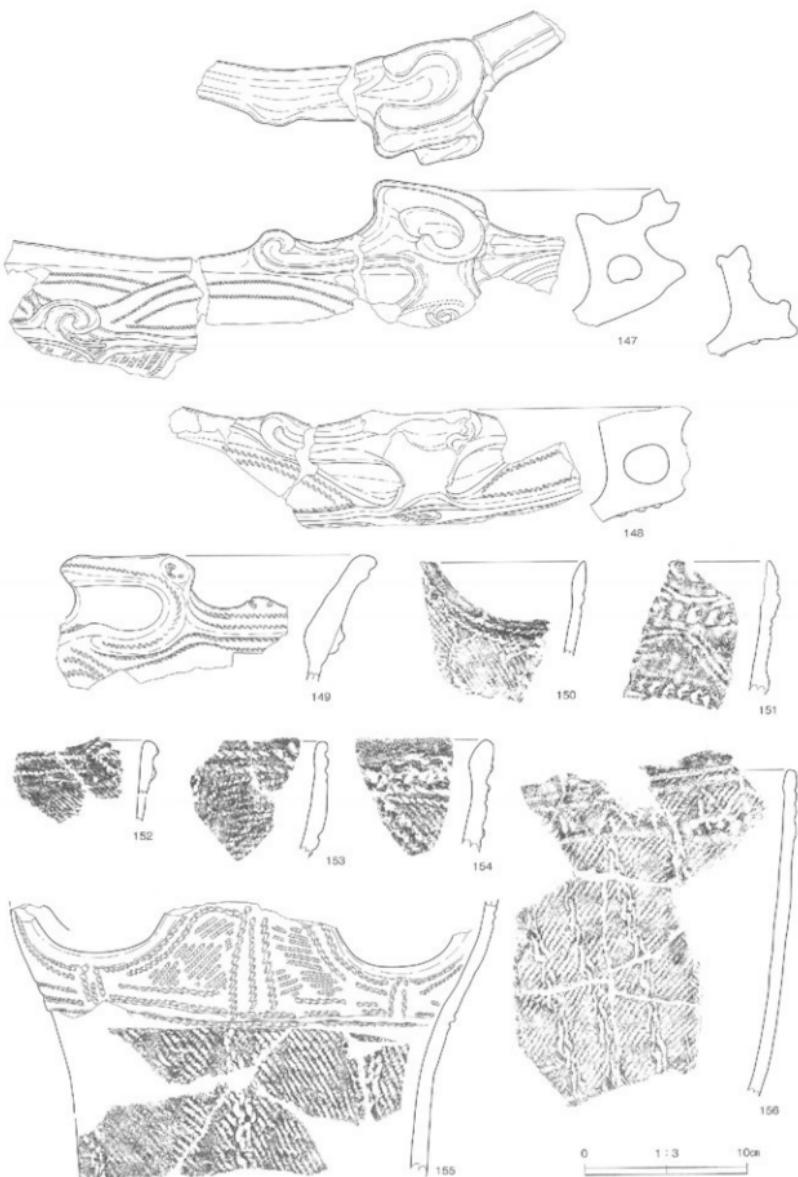
2 検出された遺構と遺物



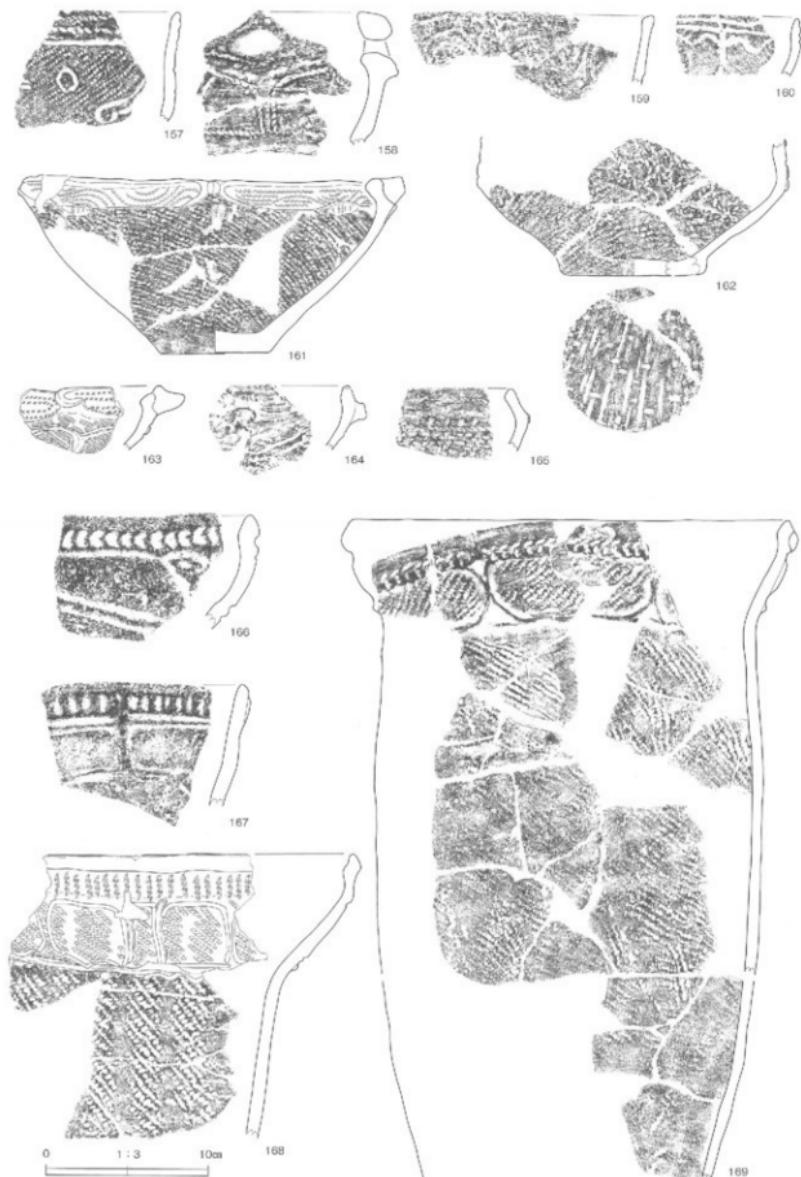
第54図 9区捨て場出土土器8



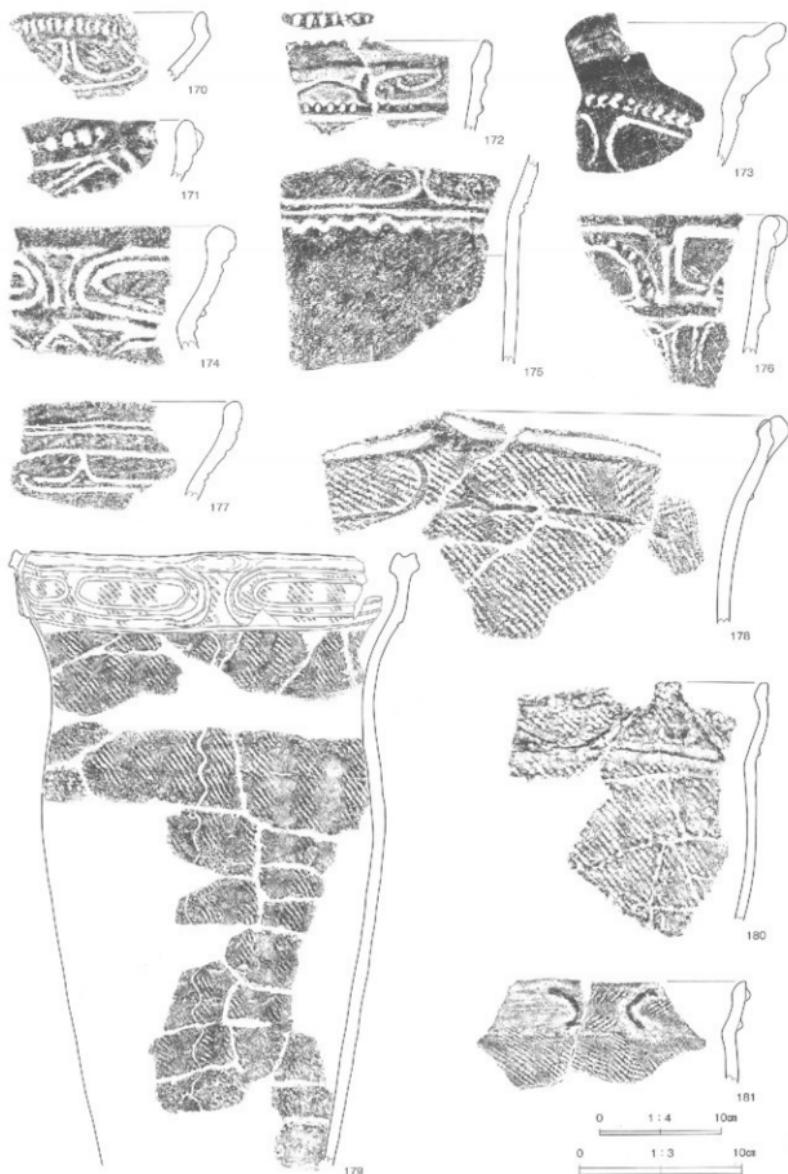
第55図 9区捨て場出土土器9



第56図 9区捨て場出土土器10



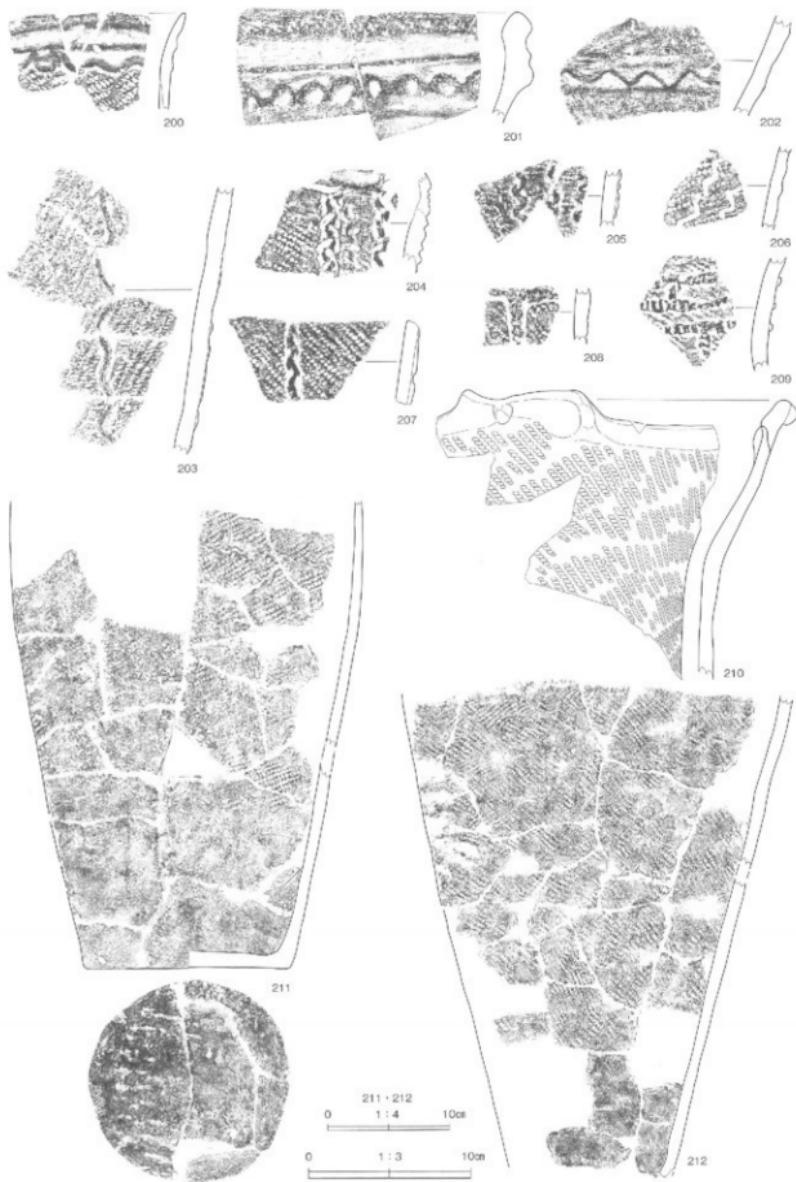
第57図 9区捨て場出土土器11



第58図 9区捨て場出土土器12



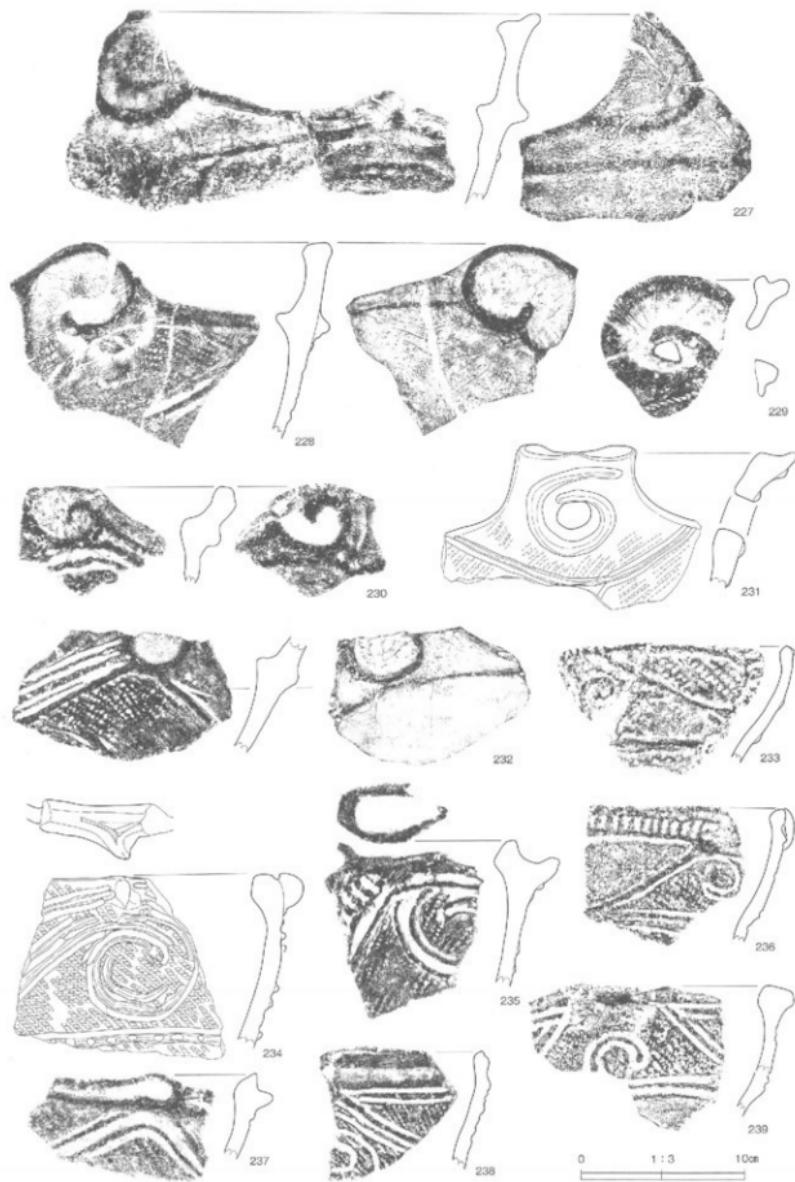
第59図 9区捨て場出土土器13



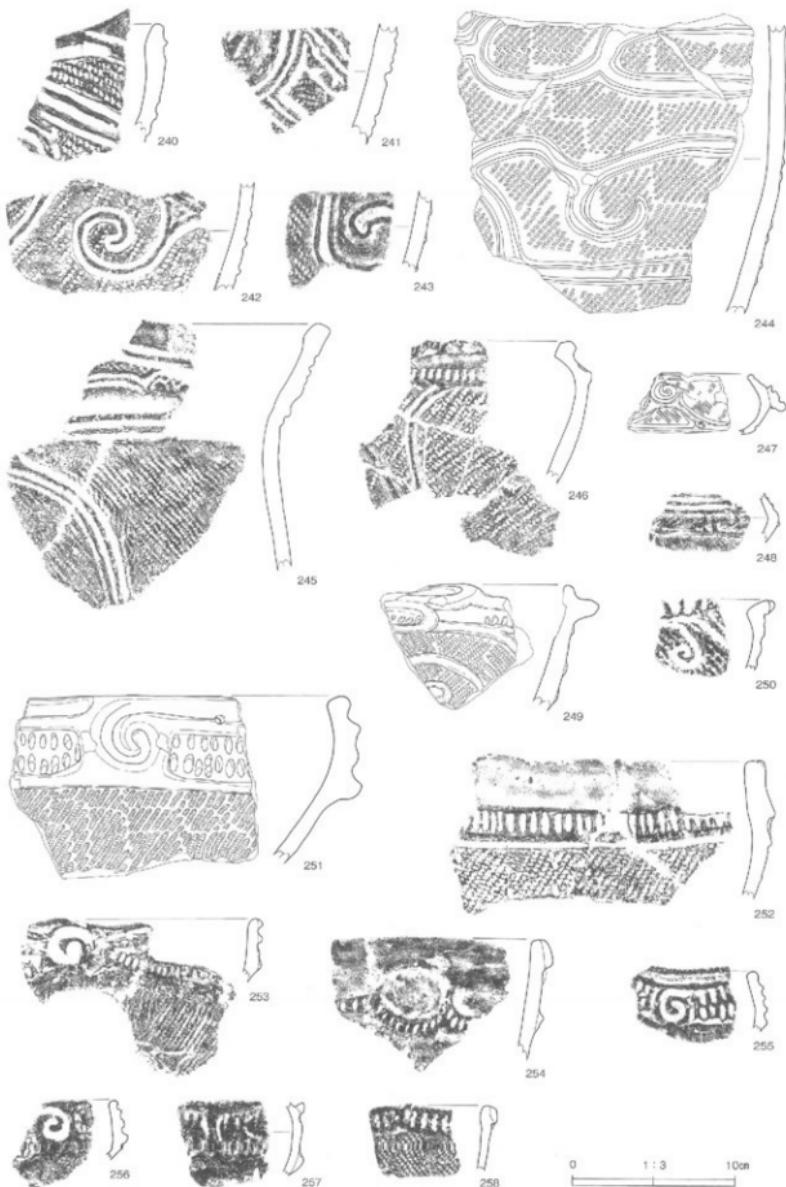
第60図 9区捨て場出土土器14



第61図 9区捨て場出土土器15



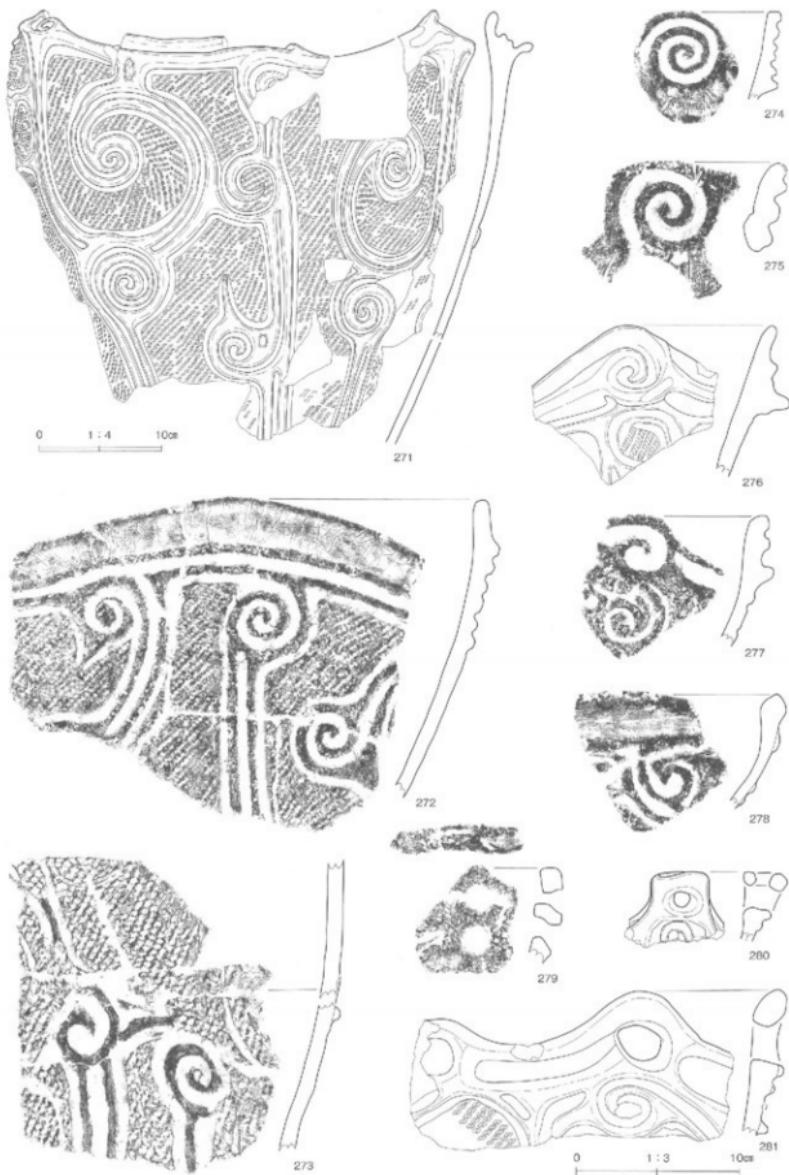
第62図 9区捨て場出土土器16



第63図 9区捨て場出土土器17、2区捨て場及びその近辺出土土器1



第64図 2区捨て場及びその近出土土器2



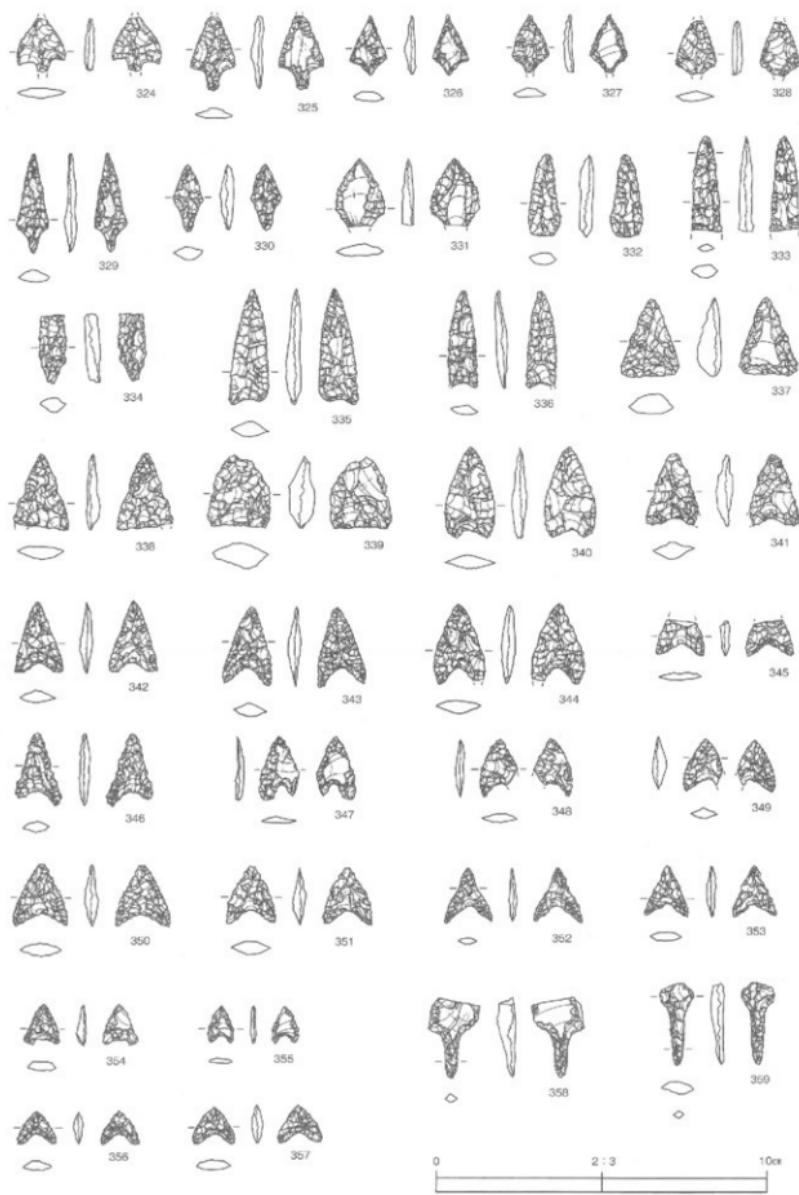
第65図 2区捨て場及びその近辺出土土器3



第66図 2区捨て場及びその近辺出土土器 4



第67図 2区捨て場及びその近辺出土土器5ほか



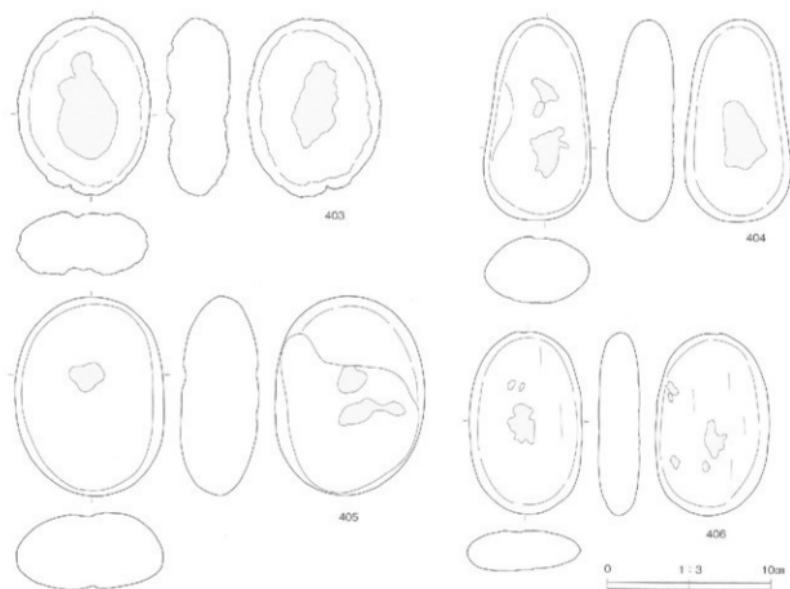
第68図 石器 1



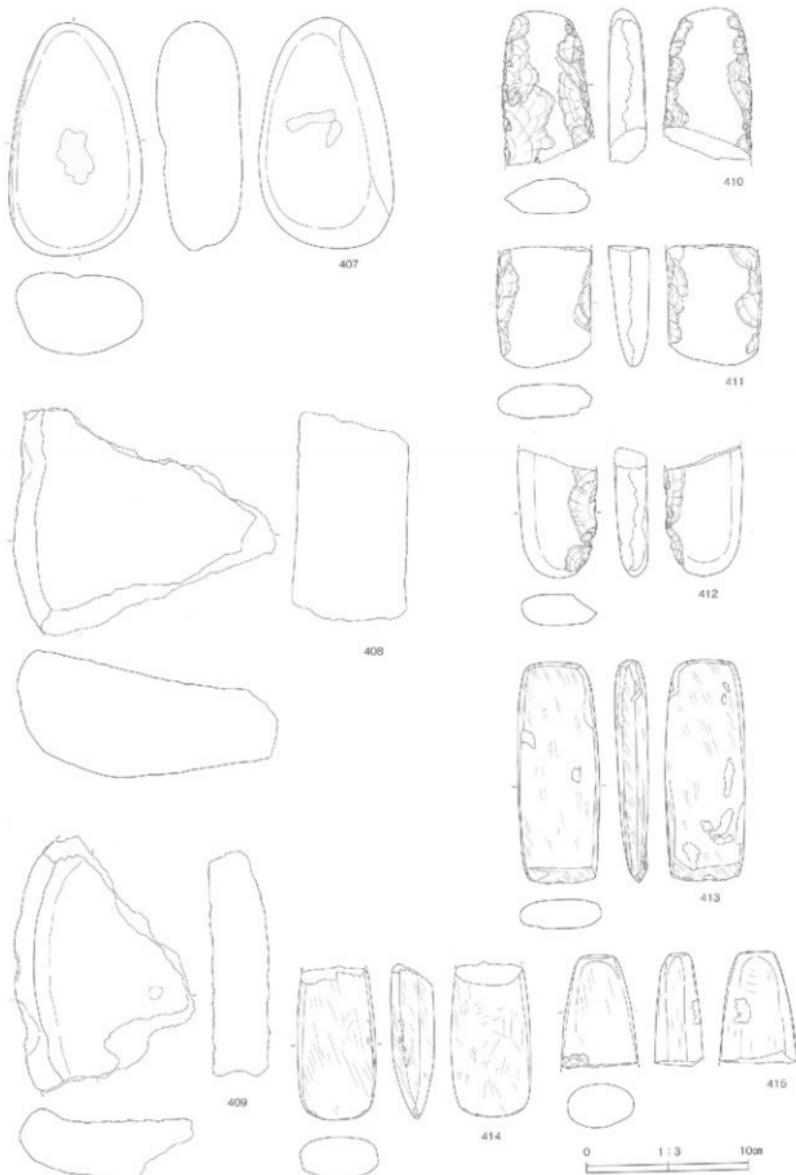
第69図 石器2



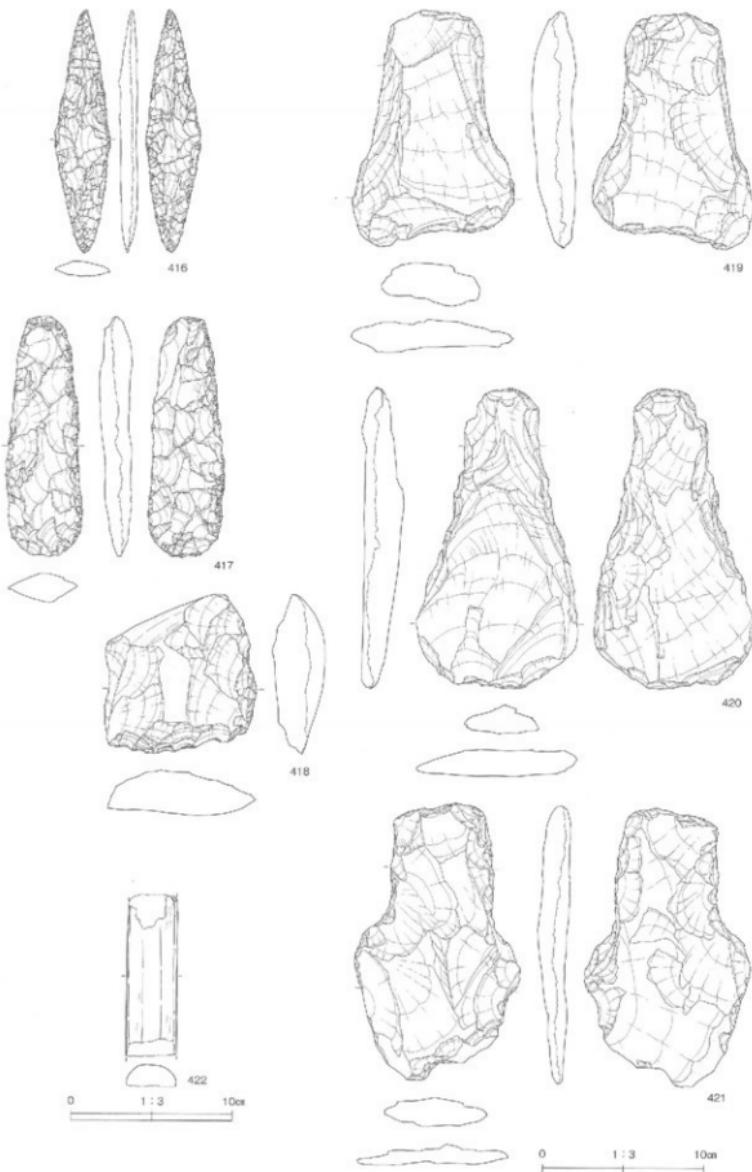
第70図 石器3



第71図 石器4



第72図 石器 5



第73図 石器6

第7表 繩文土器観察表 2・9区は捨て場出土遺物である。

| 掘査番号 | 仮番    | 出土地点、層位        | 器種    | 分類    | 残存位置 | 法華(cm) | 施文の特徴など                              | 標示  | その他 |
|------|-------|----------------|-------|-------|------|--------|--------------------------------------|-----|-----|
|      |       |                |       |       |      |        |                                      |     |     |
| 1    | 144   | 1号堅穴住居埋上       | 深鉢    | 黒B2   | 口縁   |        | 口縁: 薄帶                               |     |     |
| 2    | 226   | 1号住居状遺構、理土     | 盃か    | N     | 側部   |        | 無文                                   | 縦   |     |
| 3    | 228   | 1号作別状遺構、四十     | 甕類    | N     | 側部   |        | 無文                                   | 縦   |     |
| 4    | 230   | 1号作別状遺構、理土     | 壺・甕類  | N     | 側部   |        | 側部: 麻消し縦文、L.R                        |     |     |
| 5    | 229   | 1号作別状遺構、理土     | 甕類    | N     | 側部   |        | 側部: 沈縫                               |     |     |
| 6    | 227   | 1号作別状遺構、理土     | 甕類    | N     | 側部   |        | RLか                                  | 縦   |     |
| 7    | 145   | 9区12号土坑        | 鉢類    | II A2 | 口縁   |        | 口縁: 平行沈縫内に刻目、その下に逆小弧縫文               | 旗げ  |     |
| 8    | 235-a | 9号土坑           | 盃・甕類  | N     | 側部   |        | 側部: L.R                              | 縦   |     |
| 9    | 235-b | 9号十坑           | 盃・甕類  | N     | 側・底  | 8A     | 10.85 側部: L.R                        | 縦   |     |
| 10   | 234   | 9号土坑           | 盃・甕類  | N     | 側部   |        | 側部: 麻消し縦文、L.R                        |     |     |
| 11   | 232   | 9号土坑           | 盃・甕類  | N     | 側部   |        | 側部: 区画内にL.R                          | 縦   |     |
| 12   | 231   | 9号土坑           | 甕類    | N     | 口縁   | 13.7   | 4.7 流状口縁に刻目                          | 縦   |     |
| 13   | 233   | 9号土坑           | 鉢類か   | N     | 口縁   |        | 口縁: 变形工字文崩れ                          |     |     |
| 14   | 242   | 9区T-22、七坑!     | 浅鉢    | II C  | 口縁   |        | 口縁: L.R                              |     |     |
| 15   | 148   | 5区、I~III層      | 深鉢    | 早期N   | 底部   |        | 底部: 尖底、沈縫                            |     |     |
| 16   | 108   | 9区T-13、IV層     | 深鉢    | II A1 | 口縁   |        | 口縁: 底縫、沈縫による小弧縫文                     |     |     |
| 17   | 147   | 3区、IV層         | 深鉢    | II A1 | 口・肩  |        | 口縁: 並行沈縫と溝小弧縫文、L.R                   |     |     |
| 18   | 267   | 9区T-5土器1、IV層   | 深鉢    | II A1 | 口縁   |        | 口縁: 平行沈縫と小逆弧縫文、地文不明                  |     |     |
| 19   | 269   | 9区T-g土器1、IV層   | 深鉢    | II A1 | 口・肩  |        | 口縁: 平行沈縫と小逆弧縫文、L.Rか                  |     |     |
| 20   | 265   | 9区T-d土器1、IV層   | 鉢類    | II A1 | 口・底  |        | 口縁: 平行沈縫と小逆弧縫文、L.R                   |     |     |
| 21   | 44    | 9区T-c、IV層      | 深鉢    | II A1 | 口縁   |        | 口縁: 平行沈縫と小逆弧縫文、L.R                   |     |     |
| 22   | 264   | 9区T-18-20問、IV層 | 深鉢    | II A1 | 側部   |        | 側部: 沈縫による小逆弧縫文、L.R                   |     |     |
| 23   | 101   | 9区T-12土器1、IV層  | 鉢類    | II A2 | 側部   |        | 側部: 沈縫と刺突列、L.R                       |     |     |
| 24   | 103   | 9区T-13、IV層     | 深鉢    | II A1 | 口縁   |        | 側部: 沈縫、小逆弧縫文、L.R                     |     |     |
| 25   | 194   | 9区T-c-e間、IV層   | 鉢類    | II A1 | 口縁   |        | 口縁: 平行沈縫、溝小弧縫文、地文不明                  |     |     |
| 26   | 82    | 9区T-6上器2、IV層   | 深鉢    | II A1 | 頭部   |        | 頭: 別みのある貼付け、沈縫による小円弧文、刺突、地文不明        |     |     |
| 27   | 263   | 9区T-9土器1、IV層   | 深鉢    | II A1 | 口縁   |        | 口縁: 平行沈縫と小逆弧縫文、L.Rか                  |     |     |
| 28   | 65    | 9区T-18、IV層     | 鉢類    | II A1 | 口・肩  |        | 口縁: 小逆弧縫文、頭部: L.Rか                   |     |     |
| 29   | 78    | 9区T-6土器1、IV層   | 深鉢    | II A1 | 頭部   |        | 頭部: 沈縫による浅小弧縫文、L.R                   |     |     |
| 30   | 51    | 9区T-c、IV層      | 浅鉢    | II A1 | 口・肩  |        | 口縁: 溝縫、頭部: R.I.                      | 複節か |     |
| 31   | 153   | 9区T-e、IV層      | 浅鉢    | II A1 | 口・肩  |        | 口縁: 小逆弧縫文、頭部: 溝縫で区画しその一部が垂下、頭部: R.I. |     |     |
| 32   | 266   | 9区T-c-e間、IV層   | 鉢類    | II A1 | 口・肩  |        | 口縁: 沈縫と難縫による小逆弧縫文ほか、L.R              |     |     |
| 33   | 293   | 9区T-j、IV層      | 深鉢    | II A2 | 口縁   |        | 口縁: 横走する沈縫、その間に刻目                    |     |     |
| 34   | 120   | 9区T-15、IV層     | 鉢類    | II A2 | 口縁   |        | 口縁: 刺突列、刺突のある貼付と沈縫文の組合せ、地文不明         |     |     |
| 35   | 106   | 9区T-15、苦層      | 鉢類鉢盤  | II A2 | 口縁   |        | 口縁: 流状口縁、複数の横走する沈縫とその間に刻目            |     |     |
| 36   | 58    | 9区東、IV層        | 鉢類    | II A2 | 口縁   |        | 口縁: 沈縫と刺突                            |     |     |
| 37   | 295   | 9区T-j上器2、苦層    | II A2 | 口・肩   |      |        | 口縁: 横走する4本の沈縫、その中間に沈縫による刻目、L.R       |     |     |
| 38   | 99    | 9区T-9、土器1・2    | 鉢類    | II A2 | 口・肩  |        | 口縁: 刻目、頭部: L.R                       |     |     |
| 39   | 118   | 9区T-14、IV層     | 鉢類    | II A2 | 口縁   |        | 口縁: 沈江痕列、地文不明                        |     |     |
| 40   | 201   | 9区T-d、IV層      | 鉢類    | II A2 | 口縁   |        | 口縁: 極円形横帯区段文の中を刺突列                   |     |     |
| 41   | 46    | 9区T-c、IV層      | 鉢類    | II A2 | 口縁   |        | 口縁: 刺突列、頭部: 積帶に溝状縫                   |     |     |
| 42   | 262   | 9区T-f、IV層      | 鉢類    | II A2 | 頭部   |        | 頭部: 沈縫により格円形に区画し、内部に刻目、L.R           |     |     |
| 43   | 294   | 9区T-h、IV層      | II A2 | 口・肩   |      |        | 口縁: 横走する沈縫、その間に2段の刻目、頭部: 小逆弧縫文、L.R   |     |     |

| 掲載番号 | 假番  | 出土地点、層位       | 器種 | 分類     | 残存位置 | 法量(cm) |    | 施文の特徴など  | 環焦   | その他  |
|------|-----|---------------|----|--------|------|--------|----|--|------|------|
|      |     |               |    |        |      | 口径     | 底径 |  |      |      |
| 44   | 296 | 9区T-g、IV層     |    | II A 2 | 口縁   |        |    | 口縁：横走する4本の沈線。その中に沈線による刻日、小連弧線文                         |      |      |
| 45   | 94  | 9区T-9、IV層     | 鉢類 | II A 2 | 口-肩  |        |    | 口縁：沈線と刻日、肩部：小連弧線文、し紋                                   |      |      |
| 46   | 154 | 9区T-g土器2、IV層  | 鉢類 | II A 2 | 口縁   |        |    | 口縁：刻日、小突起、肩部：小連弧線文、LR                                  |      |      |
| 47   | 36  | 9区、IV層        | 鉢類 | II A 2 | 口縁   |        |    | 口縁：沈線による「く」字文  |      |      |
| 48   | 268 | 9区T-g土器1、IV層  | 鉢類 | II A 2 | 口縁   |        |    | 口縁：刻文、小連弧線文、LR   |      |      |
| 49   | 73  | 9区T-6、IV層     | 鉢類 | II A 2 | 口縁   |        |    | 口縁：陰線に刻日、その上に小連弧線文                                     |      |      |
| 50   | 292 | 9区T-e土器2、IV層  | 深鉢 | II A 2 | 脚部   |        |    | 脚部：2本の沈線間を刻突、LR  |      |      |
| 51   | 83  | 9区T-6上土器2、IV層 | 深鉢 | II A 3 | 口縁   |        |    | 口唇：小字起伏状に刻み日、陰沈線による渦巻文                                 |      | 風化なし |
| 52   | 182 | 9区T-20土器3、IV層 | 深鉢 | II A 3 | 口縁   |        |    | 山形口縁か、口縁：沈線文、陰線による連弧線文                                 |      |      |
| 53   | 153 | 9区T-e、c間、IV層  | 深鉢 | II A 3 | 口縁   |        |    | 口縁：刻文、散摩輪で口縁内を区画、横降輪で脚部を区画、波状文と渦巻文の組合せ、LR              |      |      |
| 54   | 306 | 9区T-e g間、IV層  | 深鉢 | II A 3 | 口縁   |        |    | 口縁：山形口縁、沈線による渦巻文、地文不明                                  |      |      |
| 55   | 159 | 9区T-g土器1、IV層  | 深鉢 | II A 3 | 口-肩  | 33.6   | 24 | 口唇と脚部には陰窓(刻目あり)、口唇部の降線は渦巻文になる。口縁は沈線主体の土様で一筋に刻目も列を成す。RL |      |      |
| 56   | 327 | 9区T-17土器1、IV層 | 深鉢 | II A 3 | 口-肩  |        |    | 口縁：口唇部に刻日、口縁を陰線で三角形に区画し、その内部に沈線で渦巻文と小連弧線文、脚部：沈線、LR     |      | 風化なし |
| 57   | 17  | 9区T-4、IV層     | 鉢類 | II A 3 | 口縁   |        |    | 口縁：斜方形の区画内に施正直列、陰線による渦巻文、LR                            |      |      |
| 58   | 196 | 9区T-g土器1、IV層  | 深鉢 | II A 3 | 山縁   |        |    | 突起、口縁：渦巻文、R前：陰沈線による渦巻文、LR                              |      |      |
| 59   | 301 | 9区T-d土器1、IV層  |    | II A 3 | 口縁   |        |    | 口縁：突起状、沈線文   |      |      |
| 60   | 324 | 9区T-6-9面、IV層  | 深鉢 | II A 3 | 口-肩  | 15.5   | 10 | 小突起、口縁：渦巻文と菱形文、R前：陰沈線による渦巻文、RL肩部粘部                     |      |      |
| 61   | 177 | 9区T-9土器1、IV層  | 深鉢 | II A 3 | 口縁   |        |    | 突起、山縁：突起の下に渦巻文、RL                                      |      |      |
| 62   | 200 | 9区T-i、IV層     | 深鉢 | II A 3 | 口縁   |        |    | 小突起の下に陰線による渦巻文   |      |      |
| 63   | 199 | 9区T-h、IV層     | 深鉢 | II A 3 | 口縁   |        |    | 大波状口縁、沈線による渦巻文、R左か                                     |      |      |
| 64   | 183 | 9区T-20土器3、IV層 | 深鉢 | II A 3 | 口縁   |        |    | 口縁：沈線による渦巻文  |      |      |
| 65   | 198 | 9区T-h土器1、IV層  | N層 | II A 3 | 口縁   |        |    | 口唇：渦巻文、口根部：渦巻文   |      |      |
| 66   | 8   | 9区T-6-9面、IV層  | 深鉢 | II A 3 | 口-肩  |        |    | 口縁：口玉状の突起、沈線による渦巻文ほか、LR                                | 7と同一 |      |
| 67   | 7   | 9区T-9、土器3、IV層 | 深鉢 | II A 3 | 口-肩  |        |    | 口縁：渦巻状の突起、沈線による渦巻文ほか、LR                                | 8と同一 |      |
| 68   | 24  | 9区T-g土器3、IV層  | 深鉢 | II A 3 | 口-肩  |        |    | 山形口縁(沿部に刻目)、沈線・純庄凱文と渦巻文、RL                             |      |      |
| 69   | 305 | 9区T-h土器1、IV層  | 深鉢 | II A 3 | 口縁   |        |    | 口縁：山形口縁(沿部に刻目)、沈線・純庄凱文と渦巻文、RL                          |      |      |
| 70   | 331 | 9区T-9、IV層     | 深鉢 | II A 3 | 口縁   |        |    | 口縁上：純庄凱文、口縁下：陰沈線による渦巻文ほか、LR                            |      |      |
| 71   | 79  | 9区T-6土器2、IV層  | 深鉢 | II A 3 | 口縁   |        |    | 口縁：陰線に連続刻突、沈線による長円文、LR                                 |      |      |
| 72   | 251 | 9区T-9、IV層     | 深鉢 | II A 3 | 口-肩  |        |    | 口縁：陰線に刻突列、肩部：沈線による渦巻文、純庄RL、RL                          |      |      |
| 73   | 248 | 9区T-g、IV層     | 深鉢 | II A 3 | 口-肩  |        |    | 口縁上：突起、無文、口縁下：沈線による斜円形の区画、弧線に渦巻文、LR                    |      |      |
| 74   | 302 | 9区T-d土器1、IV層  | 深鉢 | II A 3 | 口縁   |        |    | 口縁：山形口縁、三本一単位の沈線と渦巻文、LR                                |      |      |
| 75   | 192 | 9区T-d、IV層     | 深鉢 | II A 3 | 口縁部  |        |    | 大波状口縁、沈線による渦巻・綱文、刻目のある粘付、RL                            |      |      |
| 76   | 160 | 9区T-i土器2、IV層  | 深鉢 | II A 4 | 口-肩  | 19.8   |    | 口縁上：無文、口縁下：陰線で弧状に大きく区画し内部に沈線で渦巻文や刻突列を配置、脚部：RL          |      |      |

## 2 検出された遺構と遺物

| 査定番号 | 復古  | 出土地点、層位         | 器種    | 分類    | 残存状態 | 法量(cm) |    | 施文の特徴など  | 焼焦     | その他 |
|------|-----|-----------------|-------|-------|------|--------|----|--|--------|-----|
|      |     |                 |       |       |      | 口徑     | 底径 |  |        |     |
| 77   | 333 | 9区T-12七器1、IV層   | 深鉢    | II A4 | 口-刷  |        |    | 口刷: 沈縫による口頭部の凹凸、その中に渦巻状の沈縫文、脚部: 游走形の沈縫、LR      |        |     |
| 78   | 161 | 9区T-g-h、IV層     | 深鉢    | II A4 | 口-刷  | 29     |    | 口縁: 山形口縁、沈縫で多様な文様、RLか                          |        |     |
| 79   | 109 | 9区T-13号坑埋土      | 深鉢    | II A4 | 口-刷  | 27     |    | 口縁: 換毛する沈縫の中を波+渦巻文、L R端部結                      | 風化著しい  |     |
| 80   | 245 | 9区T-f土器1、IV層    | 鉢類    | II A4 | 口縁   |        |    | 口縁: 沈縫による波状、渦巻文、LR                             |        |     |
| 81   | 241 | 9区T-12十器1、IV層   | 深鉢    | II A4 | 山縁   |        |    | 口縁: 楕円底、沈縫による小連弧縫文+渦巻文、貼付に楕円底、LR               |        |     |
| 82   | 121 |                 |       | II A4 |      |        |    |  |        |     |
| 83   | 330 | 9区T-18、IV層      | 深鉢    | II A3 | 口-刷  | 26.8   |    | 口縁: 沈縫による裕円形、渦巻文、頭部: 小連弧縫文、LR                  | 風化著しい  |     |
| 84   | 176 | 9区T-9上器3、IV層    | 深鉢    | II A4 | 口縁   |        |    | 口縁: 段階による渦巻文、LRか                               |        |     |
| 85   | 191 | 9区T-g、IV層       | 深鉢    | II A4 | 刷部   |        |    | 頭部: 沈縫による渦巻文と弧縫文、RL                            |        |     |
| 86   | 328 | 9区T-15土器1、N号-浅鉢 | II A4 | 口-刷   |      |        |    | 口縁: 裕円形に凹凸し内部に刷突列、口唇部に周目、刷部: 波纏、LR             |        |     |
| 87   | 298 | 9区T-20上器3、IV層   | 深鉢    | II A5 | 口縁   |        |    | 口縁: 山形口縁に日干(?)内面にも陰刻文(文様)、小連弧縫文地で文様を構成、地文不明    |        |     |
| 88   | 57  | 9区、IV層          | 深鉢    | II A5 | 山縁   |        |    | 口縁: 山形口縁、沈縫による円・波状他の文様、地文不明                    |        |     |
| 89   | 61  | 9区楕円底           | 深鉢    | II A5 | 口縁   |        |    | 沈縫に厚体押抜、沈縫による渦巻文、地文不明                          |        |     |
| 90   | 42  | 9区T-b、IV層       | 鉢類    | II A5 | 口縁   |        |    | 口縁: 小突起、沈縫による渦巻文状文ほか                           |        |     |
| 91   | 66  | 9区T-18、IV層      | 深鉢    | II A5 | 口縁   |        |    | 口縁: 沈縫文  |        |     |
| 92   | 190 | 9区T-d土器1、IV層    | 深鉢    | II A5 | 口-刷  |        |    | 波状口縁、口唇: 刻目、口縁: 沈縫による円文と撇、その隙間に削目、刷部: 小渦巻、地文不明 |        |     |
| 93   | 300 | 9区T-f上器1、IV層    | 深鉢    | II A5 | 口縁   |        |    | 口縁: 山形口縁、三本・單位の沈縫で口唇部を区画、頭部: 小連弧縫文、LR          |        |     |
| 94   | 246 | 9区T-g、IV層       | 深鉢    | II A5 | 口-別  |        |    | 口縁: 小突起、無文、頭部: 跡丸縫による区画文、RL                    |        |     |
| 95   | 255 | 9区T-j、IV層       | 深鉢    | II A5 | 口-刷  |        |    | 口縁上: 無文、口縁下: 沈縫による文様、其上                        | 232と同じ |     |
| 96   | 252 | 9区T-e f間、IV層    | 深鉢    | II A5 | 口-刷  |        |    | 口縁上: 無文、口縁下: 沈縫による文様、RL                        | 255と同じ |     |
| 97   | 76  | 9区T-6、IV層       | 深鉢    | II A5 | 口縁   |        |    | 口縁: 山形口縁、複沈縫による文様、LR                           |        |     |
| 98   | 62  | 9区T-16、IV層      | 深鉢    | II A5 | 口-刷  |        |    | 口縁: 傾斜状沈縫、LR                                   |        |     |
| 99   | 254 | 9区、IV層          | 深鉢    | II A5 | 口縁   |        |    | 口縁: 沈縫による波状文                                   |        |     |
| 100  | 301 | 9区T-g h間、IV層    | 深鉢    | II A5 | 口縁   |        |    | 口縁: 山形口縁、沈縫による複雑な文様、LR                         |        |     |
| 101  | 117 | 9区T-14、IV層      | 鉢類    | II A5 | 口縁   |        |    | 口縁: 小突起、沈縫文                                    |        |     |
| 102  | 16  |                 |       | II A5 |      |        |    |  |        |     |
| 103  | 303 | 9区T-d f間、IV層    | 深鉢    | II A5 | 口縁   |        |    | 口縁: 文突起、隠縫による文様                                |        |     |
| 104  | 39  | 9区T-b、IV層       | 深鉢    | II A5 | 口縁   |        |    | 口縁: 沈縫・小連弧縫文                                   |        |     |
| 105  | 59  | 9区、IV層          | 深鉢    | II A5 | 口縁   |        |    | 口縁: 沈縫による小連弧縫文、LR                              |        |     |
| 106  | 11  | 9区T-13、IV層      | 鉢類    | II A5 | 口縁   |        |    | 口縁: 貼付に削目、沈縫、RL                                |        |     |
| 107  | 258 | 9区T-c j上器2、IV層  | 鉢類    | II A6 | 脚部   |        |    | 脚部: 沈縫による小連弧縫文                                 |        |     |
| 108  | 257 | 9区T-d、IV層       | 鉢類    | II A6 | 口縁   |        |    | 口縁: 小突起、沈縫による裕円形区画と渦巻文                         |        |     |
| 109  | 43  | 9区T-a、IV層       | 深鉢    | II A6 | 口縁   |        |    | 口縁: 複縫を沈縫                                      | 風化著しい  |     |
| 110  | 52  | 9区、IV層          | 鉢類    | II A6 | 口頭   |        |    | 口縁: 沈縫による裕円形文か                                 |        |     |
| 111  | 260 | 9区T-e 土器2、IV層   | 鉢類    | II A6 | 口縁   |        |    | 口縁: 沈縫による円・裕円形文の組合せ、地文不明                       |        |     |
| 112  | 259 | 9区T-c e間、IV層    | 鉢類    | II A6 | 口縁   |        |    | 口縁: 沈縫による小連弧縫・裕円文ほか、地文不明                       |        |     |
| 113  | 261 | 9区T-e 土器2、IV層   | 深鉢    | II A6 | 口-刷  | 22     |    | 口縁: 沈縫による安平裕円形区画、その中に内文、LR                     |        |     |

| 掲載番号 | 仮番  | 出土地点、層位         | 器種 | 分類    | 残存位置 | 法量(cm) |    |      | 施文の特徴など   | 発見  | その他の  |
|------|-----|-----------------|----|-------|------|--------|----|------|---|-----|-------|
|      |     |                 |    |       |      | 口徑     | 底径 | 高さ   |   |     |       |
| 114  | 162 | 9区T-j、IV層       | 深鉢 | II B1 | 口-側  |        |    | 13.6 | 口縁・横内筋に区画された内面は<br>縦圧痕、頭部: 小連弧線文、LR                 |     |       |
| 115  | 84  | 9区T-6土器2、IV層    | 鉢類 | II B1 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 横体压痕、頭部: 沈縮による連小弧文、SLR                          |     |       |
| 116  | 49  | 9区T-c、IV層       | 鉢類 | II B1 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 原体压痕、口縁下: 沈縮による連小弧文、LR                          |     |       |
| 117  | 278 | 9区T-g、IV層       | 鉢類 | II B1 | 口-側  |        |    |      | 口縁: 縱压痕2段、頭部: 小連弧線文、LR                              |     |       |
| 118  | 96  | 9区T-g、IV層       | 鉢類 | II B1 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 小突起、口縁: 原体压痕、RL                                 |     |       |
| 119  | 41  | 9区T-b、IV層       | 鉢類 | II B1 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 原体压痕、口縁下: 沈縮による連小弧文、LR                          |     |       |
| 120  | 219 | 9区T-b、IV層       | 深鉢 | II B1 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 縱圧痕列、浮沈線による波状文、LR                               |     |       |
| 121  | 107 | 9区T-9土器1、IV層    | 深鉢 | II B2 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 縱圧痕文  |     |       |
| 122  | 98  |                 |    | II B2 |      |        |    |      |   |     |       |
| 123  | 287 | 9区T-d上器1、IV層    | 深鉢 | II B2 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 縱圧痕による文様  |     |       |
| 124  | 35  | 9区T-c、土器1、IV層   | 鉢類 | II B2 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 縱圧痕文  |     |       |
| 125  | 38  | 9区T-b、IV層       | 深鉢 | II B2 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 縱圧痕文  |     |       |
| 126  | 85  | 9区T-6土器2、IV層    | 鉢類 | II B2 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 縱圧痕文  |     |       |
| 127  | 72  | 9区T-s、IV層       | 深鉢 | II B2 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 縱圧痕   |     |       |
| 128  | 54  | 9区、Ⅳ層           | 深鉢 | II B2 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 縱圧痕、貼付、LR                                       |     |       |
| 129  | 274 | 9区T-6・9間、IV層    | 深鉢 | II B2 | 口-側  |        |    |      | 口縁: 縱圧痕3段、頭部: 第状施文SLR、RL                            |     |       |
| 130  | 168 | 9区T14           |    | II B2 |      |        |    | 21   | 94  | 316 |       |
| 131  | 280 | 9区T-j、IV層       | 浅鉢 | II B2 | 口-側  |        |    |      | 口縁: 縱圧痕2段、頭部: L                                     |     |       |
| 132  | 277 | 9区T-g土器1、IV層    | 手桶 | II B3 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 山形口縁状、縦圧痕列、LRか                                  |     |       |
| 133  | 329 | 9区T-17、IV層      | 鉢類 | II B3 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 縱圧痕による渦巻文ほか                                     |     |       |
| 134  | 13  | 9区T-17、IV層      | 鉢類 | II B3 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 刻目、縱圧痕による渦巻文、LR                                 |     |       |
| 135  | 157 | 9区T15           |    | II B3 |      | 398    | 16 | 59.7 |   |     |       |
| 136  | 113 | 9区T-13・15、IV層   | 鉢類 | II B3 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 縱圧痕による円形文ほか                                     |     |       |
| 137  | 75  | 9区T-6、IV層       | 深鉢 | II B3 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 山形口縁  |     |       |
| 138  | 297 | 9区T-6土器2、IV層    | 深鉢 | II B3 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 山形口縁(頭部に萬葉正)、<br>縦圧痕による渦巻文と区画文、RL               |     |       |
| 139  | 15  | 9区T-17・19、IV層   | 深鉢 | II B3 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 山形口縁(萬葉状の文様)、<br>縱圧痕と隠線文                        |     |       |
| 140  | 14  | 9区T-6・9土器1、IV層  | 鉢類 | II B3 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 貼付に刻目、縱圧痕による<br>渦巻文、地文不明                        |     |       |
| 141  | 289 | 9区T-i、IV層       | 深鉢 | II B3 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 口沿に刻目、隠線と縱圧痕<br>で渦巻文                            |     |       |
| 142  | 284 | 9区T-20・22・3、IV層 | 鉢類 | II B3 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 隠線で区画した内部に縱圧<br>痕文                              |     |       |
| 143  | 279 |                 |    | II B3 |      |        |    |      |   |     |       |
| 144  | 290 | 9区T-h・j間、IV層    | 深鉢 | II B3 | 口-側  |        |    |      | 口縁: 隠線で口縁と頭部に区画、<br>その内部に縱圧痕文、刻印: 隠線<br>による小連弧線文、LR |     |       |
| 145  | 18  | 9区T-17土器2、IV層   | 浅鉢 | II B3 | 口-側  |        |    |      | 口縁: 縱圧痕による横長の文様、頭部:<br>縱圧痕による渦巻文、LR                 |     |       |
| 146  | 276 | 9区T-g、IV層       | 浅鉢 | II B3 | 口-側  |        |    |      | 口-側: 縱圧痕による横円・渦巻・<br>小連弧線の文様、LR                     |     |       |
| 147  | 5   | 9区T-15、IV層      | 深鉢 | II B3 | 口縁   |        |    |      |   |     |       |
| 148  | 6   | 9区T-15、IV層      | 深鉢 | II B3 | 口縁   |        |    |      |   |     |       |
| 149  | 163 | 9区T-9、IV層       | 深鉢 | II B3 | 口縁   |        |    | 8.3  | 口縁: 大突起、縱圧痕と隠線によ<br>る渦巻文                            |     |       |
| 150  | 286 | 9区T-d、IV層       | 深鉢 | II B4 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 縱圧痕文、RL   |     |       |
| 151  | 288 | 9区T-c土器2、IV層    | 深鉢 | II B4 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 縱圧痕による文様、一部に<br>隠線                              |     |       |
| 152  | 271 | 9区T-9上器3、IV層    | 鉢類 | II B4 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 縱圧痕で横円形に区画                                      |     |       |
| 153  | 105 | 9区T-13、IV層      | 深鉢 | II B4 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 縱圧痕文、LR   |     |       |
| 154  | 40  | 9区T-b、IV層       | 深鉢 | II B4 | 口縁   |        |    |      | 口縁: 隠線と縱圧痕文の組合せ、<br>地文不明                            |     | 裏化粧しい |

| 指標番号 | 假番  | 出土地点、層位        | 器種 | 分類     | 残存位置 | 法量(cm) |    |      | 施文の特徴など                               | 焼焦                 | その他 |
|------|-----|----------------|----|--------|------|--------|----|------|---------------------------------------|--------------------|-----|
|      |     |                |    |        |      | 口徑     | 武径 | 器高   |                                       |                    |     |
| 155  | 167 | 9区T9上器1        |    | II B 4 |      | 30     |    | 17.1 |                                       |                    |     |
| 156  | 283 | 9区T-9土器3、IV層   | 深鉢 | II B 4 | 口-側  |        |    |      | 口縁：焼成底による三角形状の文様、貼付、頭部：LR結節           |                    |     |
| 157  | 273 | 9区T-f h同、IV層   | 鉢類 | II B 4 | 口-側  |        |    |      | 口縁：焼成底による円文ほか、LR                      |                    |     |
| 158  | 270 | 9区T-8、IV層      | 鉢類 | II B 4 | 口縁   |        |    |      | 口縁：中空にした突起、焼成底による区画文                  | 風化著しい              |     |
| 159  | 285 | 9区T-e上器1、IV層   | 鉢類 | II B 4 | 口縁   |        |    |      | 口縁：焼成底で区画した内部に焼成底文、小連弧文               |                    |     |
| 160  | 282 | 9区T-8-9同、V層    | 鉢類 | II B 4 | 口縁   |        |    |      | 口縁：焼成底による小連弧文、地文しか                    |                    |     |
| 161  | 150 | 9区T-18、IV層     | 浅鉢 | II B 4 | 口-底  |        |    |      | 口縁：焼成形の区画内部に焼成底文が波状に配される。着点部に貼付、頭部：LR |                    |     |
| 162  | 272 | 9区T-22土器1、V層   | 深鉢 | II B 4 | 口-底  |        |    | 8.8  | 口縁：底面により口部を区画し内部に焼成底で支撑、LR            | 網代底                |     |
| 163  | 19  | 9区T-16、IV層     | 浅鉢 | II B 4 | 口縁   |        |    |      | 口縁：椎門を基調とした焼成底文、隣接による文様、LR            |                    |     |
| 164  | 275 | 9区T-11・12同、IV層 | 浅鉢 | II B 4 | 口-側  |        |    |      | 口縁：純生底による椎円形の文様、頭部：沈縁文、LR             |                    |     |
| 165  | 116 | 9区T-14、IV層     | 鉢類 | II B 4 | 口縁   |        |    |      | 口縁：焼成底、脚部：RLR                         |                    |     |
| 166  | 188 | 9区T-e土器2、IV層   | 深鉢 | II B 5 | 口縁   |        |    |      | 口縁上：焼成底列、口縁下：椎円形沈縁区画の点に渦巻文、頭部：小連弧文、LR |                    |     |
| 167  | 186 | 9区T-c土器2、IV層   | 深鉢 | II B 5 | 口縁   |        |    |      | 口縁上：焼成底列、口縁下：椎円形沈縁区画の点に渦巻文、頭部：小連弧文、LR | 186・187・188は同一個体   |     |
| 168  | 111 | 9区T-12、IV層     | 深鉢 | II B 5 | 口-側  |        |    |      | 口縁上：焼成底、口縁下：深沈縁による縱横区画、浅小連弧文、LR       |                    |     |
| 169  | 326 | 9区T-9土器2、IV層   | 深鉢 | II B 5 | 口-側  |        |    | 40.8 | 口縁：焼成底列、椎円形横筋区画、LR                    |                    |     |
| 170  | 102 | 9区T-4、IV層      | 深鉢 | II B 5 | 口縁   |        |    |      | 口縁上：厚底正直、口縁：沈縁文、LRか                   |                    |     |
| 171  | 36  | 9区T-c、上器1、IV層  | 深鉢 | II B 5 | 口縁   |        |    |      | 口縁：焼成底、沈縁による文様                        | 風化著しい              |     |
| 172  | 247 | 9区T-f、IV層      | 鉢類 | II B 5 | 口縁   |        |    |      | 口唇：斜口、口縁：隣接による椎円形区画、その一部に割目           |                    |     |
| 173  | 181 | 9区T-20、IV層     | 深鉢 | II B 5 | 口縁   |        |    |      | 突起、口縁：焼成底、椎円形沈縫区画、地文不明                |                    |     |
| 174  | 195 | 9区T-e、IV層      | 深鉢 | II B 5 | 口縁   |        |    |      | 口縁：椎円形横筋区画、脚部文様不明                     | 風化著しい              |     |
| 175  | 187 | 9区T-e土器2、IV層   | 深鉢 | II B 5 | 口縁   |        |    |      | 口縁上：焼成底列、口縁下：椎円形沈縫区画の点に渦巻文、頭部：小連弧文、LR | 生焼けで器形が歪んでいる。風化著しい |     |
| 176  | 239 | 9区、IV層         | 深鉢 | II B 5 | 口-期  |        |    |      | 口縁：隆縁による文様、頭部：焼成底                     |                    |     |
| 177  | 197 | 9区T-e g同、IV層   | 深鉢 | II B 5 | 口縁   |        |    |      | 口縁：横走する沈縫と弧線文                         | 風化著しい              |     |
| 178  | 299 | 9区T-16、IV層     | 深鉢 | II B 5 | 口-側  |        |    |      | 口縁：椎円形横筋区画、頭部：RL                      |                    |     |
| 179  | 158 | 9区T15上器1       |    | II B 5 |      | 33     |    | 50.7 |                                       |                    |     |
| 180  | 281 | 9区T-7、IV層      | 深鉢 | II B 3 | 口-側  |        |    |      | 口縁：隆縁で三角形に区画し内部に焼成底、脚部：LR             | 無鉛か                |     |
| 181  | 243 | 9区T-e土器2、IV層   | 鉢類 | II B 5 | 口縁   |        |    |      | 口縁：焼成による張状文、LR                        |                    |     |
| 182  | 193 | 9区T-e土器3、IV層   | 深鉢 | II A 6 | 口-側  |        |    |      | 口縁：椎円形横筋区画文、LRか                       |                    |     |
| 183  | 31  | 9区T-e土器1、IV層   | 鉢類 | II A 6 | 口縁   |        |    |      | 口縁：突起、隣接による椎円形の区画2枚                   |                    |     |
| 184  | 244 | 9区T-e土器2、IV層   | 深鉢 | II A 6 | 口縁   |        |    |      | 口縁：椎円形を基調とした隆沈縫による区画、RL               |                    |     |
| 185  | 29  | 9区T-e十器1、V層    | 鉢類 | II A 6 | 口縁   |        |    |      | 口縁：隆沈縫による椎円形の区画文、及び                   | 30と同一              |     |
| 186  | 114 | 9区T-14土器1、IV層  | 深鉢 | II A 6 | 口-側  |        |    |      | 口縁：隆沈縫による椎円形区画、頭部：小連弧文、LR             |                    |     |
| 187  | 64  | 9区T-18上器1、IV層  | 深鉢 | II A 6 | 脚部   |        |    |      | 脚：隆沈縫による菱形基調の文様、RLか                   |                    |     |
| 188  | 169 | 9区To、Toベルト1    |    | II A 6 |      | 31.4   |    | 35.9 |                                       |                    |     |
| 189  | 33  | 9区T-e上器1、IV層   | 深鉢 | II C   | 口縁   |        |    |      | 口縁：突起、沈縁文                             | 風化著しい              |     |
| 190  | 30  | 9区T-e土器1、V層    | 鉢類 | II A 6 | 脚部   |        |    |      | 脚部：沈縁文、RLか                            | 29と同一              |     |

| 測量<br>番号 | 假番  | 出土地点、層位        | 器種 | 分類      | 残存<br>位置 | 法書(cm) | 施文の特徴など   |                 | 焼焦                              | その他の<br>特徴 |
|----------|-----|----------------|----|---------|----------|--------|---|-----------------|---------------------------------|------------|
|          |     |                |    |         |          |        | 口縁  | 底持              |                                 |            |
| 191      | 256 | 9区T-d土器1       | 浅鉢 | II      | 口-肩      |        | 口縁：陰線に円弧、側部：R L                                   |                 |                                 |            |
| 192      | 173 | 9区T-5、IV層      | 鉢類 | II C    | 口縁       |        | 突起部   |                 |                                 |            |
| 193      | 26  | 9区T-3、IV層      | 鉢類 | II C    | 口縁       |        | 突起：溝巻文  |                 |                                 |            |
| 194      | 27  | 9区T-16土器1、IV層  | 鉢類 | II C    | 口縁       |        | 突起：中空立体的  |                 |                                 |            |
| 195      | 115 | 9区T-14、IV層     | 深鉢 | II C    | 口-肩      |        | 口縁：無文、側部：R L 結節                                   |                 |                                 |            |
| 196      | 166 | 9区T-18土器1、IV層  | 浅鉢 | II      | 口-底      | 28.5   | 9.6   | 131             | 口縁：小突起2箇で片方にはその両側に小波状線になる。側：R L |            |
| 197      | 81  | 9区T-6土器2、IV層   | 深鉢 | II C    | 口縁       |        | 口縁：R L  |                 |                                 |            |
| 198      | 122 | 9区T-18、IV層     | 深鉢 | II C    | 底部       |        |   | 9.8             | 135 本業底                         |            |
| 199      | 123 | 9区T-18、IV層     | 深鉢 | II C    | 底部       |        | 本業底   |                 |                                 |            |
| 200      | 69  | 9区T-4、IV層      | 鉢類 | II C    | 口縁       |        | 頭部：陰線による小波、溝巻文、R L                                |                 |                                 |            |
| 201      | 253 | 9区T-f、IV層      | 深鉢 | II C    | 口縁       |        | 口縁：隆線に短目  |                 |                                 |            |
| 202      | 48  | 9区T-c、IV層      | 深鉢 | II C    | 口縁       |        | 口縁：隆線による平行文、小波文                                   |                 |                                 |            |
| 203      | 309 | 9区T-13、IV層     | 深鉢 | II C    | 側部       |        | 頭部：隆線文頭、R L                                       |                 |                                 |            |
| 204      | 74  | 9区T-6、IV層      | 深鉢 | II C    | 口縁       |        | 口縁：隆線による小波弧文、L R                                  |                 |                                 |            |
| 205      | 307 | 9区T-16、IV層     | 深鉢 | II C    | 口縁か      |        | 口縁：隆線による小波弧文、L R 結節                               |                 |                                 |            |
| 206      | 97  | 9区T-9、IV層      | 鉢類 | II C    | 側部       |        | 頭：沈線による細密状文、L R                                   |                 |                                 |            |
| 207      | 86  | 9区T-6土器2、IV層   | 深鉢 | II C    | 側部       |        | 側部：陰線による小波状文、L R                                  |                 |                                 |            |
| 208      | 308 | 9区T-9土器1、IV層   | 深鉢 | II C    | 口縁       |        | 口縁：短目のある隆沈線、L R                                   |                 |                                 |            |
| 209      | 55  | 9区、IV層         | 鉢類 | II C    | 側部       |        | 側部：継横の隆線による圓圧痕、L R                                |                 |                                 |            |
| 210      | 310 | 9区T-9土器1、IV層   | 深鉢 | II C    | 口-肩      |        | 口縁：S字状のつくり、側部：L R                                 |                 |                                 |            |
| 211      | 250 | 9区T-a土器1、IV層   | 深鉢 | II      | 側部       | 12.6   | 28.8  | 側部：L R 結節、底部：網代 |                                 |            |
| 212      | 151 | 9区T-9          |    | II      |          |        | 残存高38cm   |                 |                                 |            |
| 213      | 112 | 9区T-18、IV層     | 深鉢 | III A I | 口-肩      |        | 小突起、口縁：擴走する隆線で仄面した中に溝巻文、R L                       |                 |                                 |            |
| 214      | 67  | 9区T-18、IV層     | 深鉢 | III A I | 側部       |        | 頭部：陰線による弧文  |                 |                                 |            |
| 215      | 184 | 9区T-19・20回、IV層 | 深鉢 | III A I | 側部       |        | 側：陰線による文様、L R                                     |                 |                                 |            |
| 216      | 185 | 9区T-21、IV層     | 深鉢 | III A I | 口縁       |        | 奥部、口縁：立體的な構造横書き                                   |                 |                                 |            |
| 217      | 37  | 9区T-c、十回1、IV層  | 深鉢 | III A I | 口縁       |        | 口縁：陰線と沈線  |                 |                                 |            |
| 218      | 70  | 9区T-4、IV層      | 深鉢 | III A I | 頭部       |        | 頭部：沈線による長文、L Rか                                   |                 |                                 |            |
| 219      | 104 | 9区T-13、IV層     | 深鉢 | III A I | 側部       |        | 側部：陰線による溝巻文                                       |                 |                                 |            |
| 220      | 178 | 9区T-16土器1、IV層  | 深鉢 | III A I | 口-肩      |        | 口沿：陰線による高密文と波文、<br>口縁：陰線による溝巻文、側部と<br>の区間に刻目列、L R |                 |                                 |            |
| 221      | 87  | 9区T-6土器2、IV層   | 深鉢 | III A I | 頭-肩      |        | 頭部：陰線による溝巻文、L R                                   |                 |                                 |            |
| 222      | 9   | 9区T-9土器3、IV層   | 鉢類 | III A I | 口縁       |        | 口縁：中空立体的な突起、陰線に<br>よる文様、L R                       |                 |                                 |            |
| 223      | 171 | 9区T-1、IV層      |    | III A I | 口縁       |        | 口縁：陰線による圓圧痕された内<br>部に凹凸と強状文、R L R                 |                 |                                 |            |
| 224      | 10  | 9区T-14、IV層     | 鉢類 | III A I | 口縁       |        | 口縁：弱密文  |                 |                                 |            |
| 225      | 221 | 9区T-13、IV層     | 鉢類 | III A I | 口縁       |        | 口縁：沈線による溝巻文                                       |                 |                                 |            |
| 226      | 25  | 9区T-a土器1、IV層   | 深鉢 | III A I | 口縁       |        | 突起：大小の溝巻文、L R                                     |                 |                                 |            |
| 227      | 189 | 9区T-21、IV層     | 深鉢 | III A I | 口縁       |        | 大小の突起、口縁：横円形横帯区<br>間                              |                 |                                 |            |
| 228      | 224 | 9区T-6土器2、IV層   | 深鉢 | III A I | 口縁       |        | 口縁：溝巻文、L R  |                 |                                 |            |
| 229      | 240 | 9区T-15・17回、IV層 | 鉢類 | III A I | 口縁       |        | 突起：溝巻文  |                 |                                 |            |
| 230      | 179 | 9区T-17、IV層     |    | III A I | 口縁       |        | 溝巻文のある突起  |                 |                                 |            |
| 231      | 156 | 9区T-h土器1、IV層   | 深鉢 | III A I | 口縁       |        | 大形の溝巻文突起、陰沈線文、L R                                 |                 |                                 |            |
| 232      | 172 | 9区T-2土器2、IV層   | 深鉢 | III A I | 口縁       |        | 突起欠損、口縁：陰沈線文、L R                                  |                 |                                 |            |
| 233      | 180 | 9区T-17土器1、IV層  | 深鉢 | III A I | 口縁       |        | 口縁：刻目のある點仔、口縁：點<br>子下に陰線による溝巻文、波羅文、<br>L R        |                 |                                 |            |
| 234      | 110 | 9区T-6土器2       | 深鉢 | III A I | 口-肩      |        | 口縁：點台、側部：陰線に沈線を<br>沿わせる溝巻文                        |                 |                                 |            |

## 2 検出された遺構と遺物

| 掲載番号 | 版番  | 出土地点・層位       | 器種 | 分類     | 残存位置 | 法量(cm)<br>口径<br>底径<br>器高 | 施文の特徴など |    | 焼焦   | その他             |
|------|-----|---------------|----|--------|------|--------------------------|---------|----|--|-----------------|
|      |     |               |    |        |      |                          | 口縁      | 器高 |  |                 |
| 235  | 220 | 9区T-21、IV層    | 深鉢 | III A1 | 口-刷  |                          |         |    | 突起、口縁上：刺突列、口縁下：<br>盤底による渦巻文、R.L              |                 |
| 236  | 100 | 9区T-11、IV層    | 深鉢 | III A1 | 口縁   |                          |         |    | 口縁上：蓮柄刺列、口縁下：沈底<br>による渦巻文                    |                 |
| 237  | 174 | 9区T-6上層2、IV層  | 深鉢 | III A1 | 口縁   |                          |         |    | 口唇：渦巻文、口縁：隆沈線によ<br>る曲線文、R.Lか                 |                 |
| 238  | 32  | 9区T-c十階1、IV層  | 深鉢 | III A1 | 口縁   |                          |         |    | 口縁下：沈底による渦巻、陳線                               |                 |
| 239  | 175 | 9区T-6十階2、IV層  | 深鉢 | III A1 | 口縁   |                          |         |    | 小突起、口縁：横走する沈底で区<br>画した内部に渦巻文、張状文、R.<br>Lか    | 風化なし            |
| 240  | 53  | 9区、IV層        | 深鉢 | III A1 | 口縁   |                          |         |    | 脣縁による文様、R.L                                  |                 |
| 241  | 60  | 9区東、IV層       | 深鉢 | III A1 | 側部   |                          |         |    | 沈底による曲線、R.L                                  |                 |
| 242  | 63  | 9区T-16室ベルト、5層 | 深鉢 | III A1 | 側部   |                          |         |    | 刷：隆沈線による渦巻文、R.L                              |                 |
| 243  | 95  | 9区T-9、IV層     | 深鉢 | III A1 | 側部   |                          |         |    | 刷部：沈底による渦巻文、R.L                              |                 |
| 244  | 332 | 9区、IV層        | 深鉢 | III A1 | 側部   |                          |         |    | 刷部：隆沈線による文様、R.L                              |                 |
| 245  | 222 | 9区T-8、IV層     | 深鉢 | III A1 | 口縁   |                          |         |    | 口唇：小波状文、肩部、口縁：刺<br>突列、側部：降盤による渦巻文、<br>R.L    |                 |
| 246  | 119 | 9区T-15土器3、II層 | 浅鉢 | III A1 | 口-刷  | 9.4                      |         |    | 4.1: 口縁：隆沈線による文様、R.L<br>4.1: 肩部：降盤による渦巻文、R.L |                 |
| 247  | 22  | 9区T-18、IV層    | 鉢類 | III A1 | 口縁   |                          |         |    | 口縁：渦巻文を立體的に付け、<br>そこから斜線、沈線を展開、地文<br>不明      |                 |
| 248  | 68  | 9区、IV層        | 鉢類 | III A1 | 口縁   |                          |         |    | 口縁：隆沈による段段渦巻文、R.L                            |                 |
| 249  | 28  | 9区T-a-c間、IV層  | 鉢類 | III A1 | 口縁   |                          |         |    | 口縁：蔓葉文、横内、弧状に区画し<br>その内側に刺突列、刷：沈底によ<br>る渦巻文  |                 |
| 250  | 77  | 9区T-6、IV層     | 鉢類 | III A1 | 口縁   |                          |         |    | 口唇：丸み日、口：沈底による渦<br>巻文、地文不明                   |                 |
| 251  | 12  | 2区西-中央、Ⅲ層     | 深鉢 | III B1 | 口縁   |                          |         |    | 口縁：沈底による渦巻文、横円形<br>横帯区間に刻目2段、R.L             |                 |
| 252  | 219 | 2区西-中央、Ⅲ層     | 深鉢 | III B1 | 口-刷  |                          |         |    | 口縁上：無文、口縁下：刻目列、<br>R.L                       |                 |
| 253  | 130 | 1区中央、Ⅲ層       | 深鉢 | III B1 | 口縁   |                          |         |    | 口縁：渦巻文を起点とし両側に横円<br>形横帯区間に刻目を形成、R.L          |                 |
| 254  | 131 | 1区中央、Ⅲ層       | 深鉢 | III B1 | 口縁   |                          |         |    | 口縁：内・横円による区画、その<br>中に刻目                      |                 |
| 255  | 127 | 1区中央、Ⅲ層       | 鉢類 | III B1 | 口縁   |                          |         |    | 口縁：隆沈による渦巻文、刺突列                              |                 |
| 256  | 321 | 2区西側、Ⅲ層       | 深鉢 | III B1 | 口縁   |                          |         |    | 口縁：渦巻文、2段の刺突、R.L                             |                 |
| 257  | 128 | 1区中央、Ⅲ層       | 深鉢 | III B1 | 口縁   |                          |         |    | 口縁：横円形の区画内に2段の刻目                             |                 |
| 258  | 146 | 3区、IV層        | 鉢類 | III B1 | 口縁   |                          |         |    | 口縁：横円形の区画内に刻目を形成、<br>R.L                     |                 |
| 259  | 209 | 2区西側上層4、II層   | 深鉢 | III B1 | 口-刷  |                          |         |    | 口縁：無文、頸部：隆線による渦<br>巻文、R.L                    |                 |
| 260  | 142 | 1区西側、Ⅲ層       | 深鉢 | III B1 | 口縁   |                          |         |    | 口縁：隆線による渦巻文と曲線文                              |                 |
| 261  | 90  | 2区西側、Ⅲ層       | 深鉢 | III B1 | 口-刷  |                          |         |    | 口縁：R.L.R、頸部：隆沈線                              |                 |
| 262  | 204 | 2区西側土器3、II層   |    | III B2 | 口-刷  |                          |         |    | 口縁：無文帶、頭部：刺突列、隆<br>沈線による渦巻文、R.L              | 203・204<br>同・側面 |
| 263  | 203 | 2区西側土器3、II層   | 深鉢 | III B2 | 口-刷  |                          |         |    | 口縁：無文、無文帶、頭部：刺突列、<br>隆沈線による渦巻文、R.L           |                 |
| 264  | 208 | 2区西側土器3、II層   | 鉢類 | III B2 | 口-刷  |                          |         |    | 頸部：沈底内に刻目列、刷：渦巻文、<br>R.L                     | 風化なし            |
| 265  | 3   | 2区、Ⅲ層         | 鉢類 | III B2 | 口縁   |                          |         |    | 口縁：突起、横円形の区画内に2段<br>の刻目                      | 21と同一           |
| 266  | 21  | 2区西側、Ⅲ層       | 鉢類 | III B2 | 口縁   |                          |         |    | 口縁：突起、横円形の区画内に2段<br>の刻目                      | 3と同一            |
| 267  | 88  | 2区西側、Ⅲ層       | 深鉢 | III B2 | 口縁   |                          |         |    | 口縁：無文、頭部：隆線による刺突列、<br>頸部：沈底文、R.L             |                 |
| 268  | 89  | 2区西側、Ⅲ層       | 深鉢 | III B2 | 頭-刷  |                          |         |    | 頭部：隆線による刺突列、刷部：隆線<br>による渦巻文、R.L              |                 |
| 269  | 215 | 2区西側、Ⅲ層       | 深鉢 | III B2 | 口縁   |                          |         |    | 口縁上：無文、口縁下：刺突列2段、<br>刷部：沈底による渦巻文、R.L         |                 |
| 270  | 325 | 2区西側          | 深鉢 | III B2 | 口-刷  |                          |         |    | 口縁上：無文、口縁下：刺突列2段、<br>刷部：沈底による渦巻文、R.L         |                 |
| 271  | 149 |               |    | III B2 |      |                          |         |    |  |                 |
| 272  | 205 | 2区西側土器3、II層   |    | III B2 | 口-刷  |                          |         |    | 口縁：無文帶、頸部：隆線による<br>渦巻文、R.Lか                  |                 |

| 拓載<br>番号 | 板番  | 出土地点、層位       | 器種   | 分類   | 残存<br>位置 | 法書(on) |       |                  | 施文の特徴など                     | 媒材          | その他   |
|----------|-----|---------------|------|------|----------|--------|-------|------------------|-----------------------------|-------------|-------|
|          |     |               |      |      |          | 口絆     | 底絆    | 器高               |                             |             |       |
| 273      | 302 | 2区西側土器3、Ⅲ層    | 深鉢   | ⅢB2  | 胴部       |        |       |                  | 胴部：陰線による渦巻文、R.L.R           |             |       |
| 274      | 318 | 2区西側、Ⅲ層       | 深鉢   | ⅢB2  | 口縁       |        |       |                  | 口縁：渦巻文                      |             |       |
| 275      | 216 | 2区西側、Ⅲ層       | 深鉢   | ⅢB2  | 突起       |        |       |                  | 突起：蘭華文                      |             |       |
| 276      | 1   | 2区西側、Ⅲ層       | 深鉢   | ⅢB2  | 口縁       |        |       |                  | 口縁：波状口縁に渦巻文、胴部：渦巻文、地文不明     |             |       |
| 277      | 314 | 2区西側、Ⅲ層       | 深鉢   | ⅢB2  | 口縁       |        |       |                  | 口縁・胴部：陰沈線による渦巻文             |             |       |
| 278      | 316 | 2区西側、Ⅲ層       | 深鉢   | ⅢB2  | 口縁       |        |       |                  | 口縁：無文、胴部：陰沈線による渦巻文          |             |       |
| 279      | 319 | 2区中央部北側、Ⅲ層    | 深鉢   | ⅢB2  | 突起       |        |       |                  | 突起：二段の孔                     |             |       |
| 280      | 2   | 2区西側、Ⅲ層       | 鉢瓶   | ⅢB2  | 突起       |        |       |                  | 突起：中空、渦巻文                   |             | 風化著しい |
| 281      | 23  | 2区西側、Ⅲ層       | 深鉢   | ⅢB2  | 口縁       |        |       |                  | 口縁：波状口縁、疊縁に陰線を沿わせる渦巻文、R.L.R |             | 20と同一 |
| 282      | 152 | 2区西側土器1、Ⅲ層    | 深鉢   | ⅢB2  | 口縁       |        |       |                  | 口縁：陰沈線による渦巻文、L.R            |             |       |
| 283      | 93  | 2区西側土器1、Ⅲ層    | 深鉢   | ⅢB2  | 口・胴      |        |       |                  | 陰沈線による渦巻文、地文不明              |             |       |
| 284      | 141 | 1区西側、Ⅲ層       | 鉢    | ⅢB2  | 胴部       |        |       |                  | 胴部：沈線による渦巻文、R.L             |             |       |
| 285      | 131 | 1号作           | 深鉢   | ⅢB2  | 胴部       |        |       |                  | 胴部：沈線による柄円文、R.L.Rか          |             |       |
| 286      | 211 | 2区西側土器4、Ⅲ層    | 深鉢   | ⅢB2  | 胴部       |        |       |                  | 胴部：陰沈線による渦巻文、R.L.Rか         |             |       |
| 287      | 135 | 1区中央、Ⅲ層       | 深鉢   | ⅢB2  | 胴部       |        |       |                  | 胴部：陰線による渦巻文、R.L.R           |             |       |
| 288      | 140 | 1区西側、Ⅲ層       | 深鉢   | ⅢB2  | 胴部       |        |       |                  | 胴部：陰沈線による文様を文               |             |       |
| 289      | 310 | 2区西側、Ⅲ層       | 深鉢   | ⅢB2  | 胴部       |        |       |                  | 胴部：陰沈線による渦巻文、R.L            |             |       |
| 290      | 212 | 2区西側土器4、Ⅲ層    | 深鉢   | ⅢB2  | 口縁       |        |       |                  | 口縁：陰沈線による渦巻文、R.L            |             |       |
| 291      | 311 | 2区、Ⅲ層         | 深鉢   | ⅢB2  | 口縁       |        |       |                  | 口縁：陰沈線による渦巻文、R.L            |             |       |
| 292      | 137 | 1区西側、I～Ⅲ層     | 深鉢   | ⅢB2  | 口縁       |        |       |                  | 口縁：陰線による文様、地文不明             |             |       |
| 293      | 313 | 2区西側、Ⅲ層       | 深鉢   | ⅢB2  | 胴部       |        |       |                  | 胴部：陰沈線による渦巻文、R.L.Rか         | 普遍的<br>ではない | 天地自然  |
| 294      | 129 |               |      | ⅢB2  |          |        |       |                  |                             |             |       |
| 295      | 315 | 2区西側、Ⅲ層       | 深鉢   | ⅢB2  | 口縁       |        |       |                  | 口縁：陰沈線による文様                 |             |       |
| 296      | 92  | 2区西側土器4、Ⅲ層    | 深鉢   | ⅢB2  | 口・胴      |        |       |                  | 口縁：無文、胴部：陰沈線による渦巻文          |             | 20と同一 |
| 297      | 133 | 1区中央、Ⅲ層       | 深鉢   | ⅢB2  | 頭・胴部     |        |       |                  | 頭部・胴部：沈線文、L.R               |             |       |
| 298      | 317 | 2区西側、道構       | 深鉢   | ⅢB2  | 胴部       |        |       |                  | 胴部：沈線による柄円形く                |             |       |
| 299      | 136 | 1区中央、Ⅲ層       | 深鉢   | ⅢB2  | 口・胴      |        |       |                  | 口縁：無文、頭・胴部：陰沈線文、L.R         |             |       |
| 300      | 138 | I区西側、I～Ⅲ層     | 深鉢   | ⅢB2  | 口縁       |        |       |                  | 口縁：陰沈線、口縁：無文、頭部：沈線          |             |       |
| 301      | 218 | I区西側、Ⅲ層       | 小型土器 | ⅢB2  | 底部       | 45     | 1.6   | 長脚剥げている          |                             |             |       |
| 302      | 91  | 2区西側、Ⅲ層       | 小型土器 | ⅢB2  | 胴部       | 45     | 2.8   | 地文不明             |                             |             |       |
| 303      | 217 | 2区西側、Ⅲ層       | 小型土器 | ⅢB2  | 底部       | 44     | 2.9   | R.L              |                             |             |       |
| 304      | 132 | 1区中央、Ⅲ層       | 小型土器 | ⅢB2  | 頭・底      | 44     | 5.5   | 胴部：無文            |                             |             |       |
| 305      | 228 | 2区西側土器4、Ⅲ層    | 深鉢   | IV   | 口・胴      |        |       |                  | 口縁：無文、胴部：R.L                |             |       |
| 306      | 139 | 1区西側、Ⅲ層       | 深鉢   | IV   | 口縁       |        |       |                  | 口縁：無文、胴部：L.R.L              |             |       |
| 307      | 164 | 9区T-a、IV層     | 小壺   | IV   | 口・胴      | 119    | 10.85 | 口縁：口唇に刻目、胴部：L.R  |                             |             |       |
| 308      | 165 | 9区T-g、IV層     | 鉢瓶   | IV   | 口・胴      | 19     | 8.35  | 小波状口縁、孔2、無文      |                             |             |       |
| 309      | 236 | 9区T-a、IV層     | 浅鉢   | IV   | 頭部       |        |       |                  | 頭部：磨削し縦文、L.Rか               |             |       |
| 310      | 291 | 9区T-21、IV層    | 小型土器 | IV   | 底部       | 38     | 1.95  | 無文               |                             |             |       |
| 311      | 170 | 9区T-20上部1、IV層 | 深鉢   | IV   | 口・胴      | 31.8   | 16.2  | 口縁：小波状で無文、胴部：L.R |                             |             |       |
| 312      | 126 | I区中央、Ⅲ層       | 深鉢   | IV   | 口縁       |        |       |                  | 口縁：沈線による文様                  |             | 124と同 |
| 313      | 124 | 1区東側、Ⅲ層       | 深鉢   | IV   | 胴部       |        |       |                  | 胴部：沈線による文様                  |             | 126と同 |
| 314      | 125 | 1区東側、Ⅲ層       | 深鉢   | IV   | 胴部       |        |       |                  | 胴部：沈線による区画文、地文不明            |             | 143と同 |
| 315      | 143 | 1区東側、Ⅲ層       | 深鉢   | IV   | 胴部       |        |       |                  | 胴部：沈線による区画文、地文不明            |             | 125と同 |
| 316      | 322 | 2区西側、Ⅲ層       | 鉢瓶   | IV   | 口縁       |        |       |                  | 口縁：沈線による小波状文                |             |       |
| 317      | 238 | 3区            | 小壺   | IV   | 胴部       |        |       |                  | 胴部：陰沈線による菱形・三角形を基調とした文様2段   |             |       |
| 318      | 237 | 2区西側、Ⅲ層       | 壺    | 上部器部 | 胴部       |        |       |                  | 胴部：ヘラケズリ†                   |             |       |
| 319      | 323 | 2区西側、Ⅲ層       | 壺    | 上部器部 | 胴部       |        |       |                  | 胴部：ヘラケズリ†                   | 焦           |       |

第8表 石器観察表

| 掲載番号 | 仮想番 | 種類 | 分類      | 出土地点           | 計測値 cm・g |       |     | 石材               | 特記事項 |
|------|-----|----|---------|----------------|----------|-------|-----|------------------|------|
|      |     |    |         |                | 長さ       | 幅     | 厚さ  |                  |      |
| 324  | 44  | 石器 | A I a 1 | 9区、Ⅳ層          | (1.6)    | 1.5   | 0.3 | 0.6<br>めのう、奥羽山脈  |      |
| 325  | 22  | 石器 | A I a 1 | 1号住居状遺構、埋土     | (2.2)    | 1.5   | 0.4 | 0.7<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 326  | 21  | 石器 | A I a 1 | 1号住居状遺構、埋土     | 1.8      | 1.1   | 0.3 | 0.4<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 327  | 40  | 石器 | A I a 1 | 3区中央、I層        | 1.8      | 1.2   | 0.3 | 0.5<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 328  | 60  | 石器 | A I a 1 | 9号土坑、埋土        | (1.7)    | 1.3   | 0.4 | 0.6<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 329  | 17  | 石器 | A I a 1 | 2区西側、Ⅲ層        | 3.0      | 1.9   | 0.4 | 0.7<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 330  | 43  | 石器 | A I a 1 | 9区、表土          | 2.0      | 0.9   | 0.4 | 0.5<br>無縫石、产地不明  |      |
| 331  | 55  | 石器 | A I a 1 | 9区T-e、Ⅳ層       | (2.1)    | 1.5   | 0.4 | 1.0<br>めのう、奥羽山脈  |      |
| 332  | 82  | 石器 | A I a 3 | 9区T-a土器1、Ⅳ層    | 2.5      | 1.0   | 0.5 | 1.0<br>頁岩、更羽山脈   |      |
| 333  | 56  | 石器 | A I a 1 | 9区T-e、Ⅳ層       | (2.9)    | 0.9   | 0.5 | 1.0<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 334  | 63  | 石器 | A I a 3 | 9区T-9、Ⅳ層       | 2.1      | 0.9   | 0.5 | 0.9<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 335  | 61  | 石器 | A I a 2 | 9区T-2、Ⅳ層       | 3.6      | 1.2   | 0.5 | 1.7<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 336  | 13  | 石器 | A I a 2 | 2区中央、層不明       | 3.0      | 0.9   | 0.3 | 0.9<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 337  | 3   | 石器 | A I a 2 | 1区西側、I-II層     | 2.4      | 1.8   | 0.7 | 2.1<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 338  | 1   | 石器 | A I a 2 | I層             | 2.3      | 1.7   | 0.4 | 1.2<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 339  | 74  | 石器 | A I a 2 | 3区北側、Ⅲ層        | 2.2      | 1.8   | 0.8 | 3.0<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 340  | 59  | 石器 | A I a 2 | 9区T-1、Ⅳ層       | 2.8      | 1.6   | 0.5 | 1.5<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 341  | 15  | 石器 | A I a 2 | 2区西側、Ⅲ層        | 2.2      | (1.6) | 0.5 | 1.2<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 342  | 2   | 石器 | A I a 2 | 1区中央、Ⅲ層        | 2.1      | 1.5   | 0.4 | 0.7<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 343  | 19  | 石器 | A I a 2 | 2区西側、Ⅲ層        | 2.4      | 1.5   | 0.4 | 0.8<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 344  | 10  | 石器 | A I a 2 | 2区西側、Ⅲ層        | 2.5      | 1.6   | 0.4 | 1.1<br>無縫石、产地不明  |      |
| 345  | 57  | 石器 | A I a 2 | 2区南側、Ⅲ層        | (1.1)    | 1.5   | 0.3 | 0.3<br>闊頭石、产地不明  |      |
| 346  | 12  | 石器 | A I a 2 | 2区、I層          | 2.2      | 1.1   | 0.4 | 0.7<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 347  | 9   | 石器 | A I a 2 | 2区南側、Ⅲ層        | 1.9      | 1.2   | 0.3 | 0.5<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 348  | 50  | 石器 | A I a 2 | 9区T-9、IV層      | 1.8      | 1.1   | 0.3 | 0.3<br>黒曜石、產地不明  |      |
| 349  | 58  | 石器 | A I a 2 | 9区T-6、IV層      | 1.6      | (1.2) | 0.5 | 0.5<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 350  | 18  | 石器 | A I a 2 | 2区東側、Ⅲ層        | 1.9      | 1.7   | 0.4 | 0.9<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 351  | 51  | 石器 | A I a 2 | 9区T-9、IV層      | 1.7      | 1.5   | 0.4 | 0.5<br>黒曜石、产地不明  |      |
| 352  | 14  | 石器 | A I a 2 | 2区中央、層不明       | 1.7      | 1.5   | 0.3 | 0.3              |      |
| 353  | 32  | 石器 | A I a 2 | 9区T-9、IV層      | 1.6      | 1.3   | 0.3 | 0.3<br>黒曜石、产地不明  |      |
| 354  | 62  | 石器 | A I a 2 | 1号埴上           | 1.3      | 1.1   | 0.3 | 0.3<br>黒曜石、产地不明  |      |
| 355  | 49  | 石器 | A I a 2 | 9区T-5、IV層      | 1.1      | 0.8   | 0.2 | 0.1<br>闊頭石、产地不明  |      |
| 356  | 54  | 石器 | A I a 2 | 9区T-6、IV層      | 1.0      | 1.2   | 0.3 | 0.2<br>黒曜石、产地不明  |      |
| 357  | 16  | 石器 | A I a 2 | 2区南側、I-II層     | 1.1      | 1.3   | 0.3 | 0.3<br>黒曜石、产地不明  |      |
| 358  | 64  | 石器 | A II    | 9号土坑、埋土        | 2.5      | 1.6   | 0.6 | 1.4<br>赤色頁岩、奥羽山脈 |      |
| 359  | 83  | 石器 | A II    | 9区T-b、IV層      | 2.5      | 1.0   | 0.4 | 0.6<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 360  | 11  | 石器 | A III a | 2区東側、II-III層   | 4.2      | 2.6   | 0.8 | 5.0<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 361  | 65  | 石器 | A III a | 9区T-9、IV層      | 5.7      | 2.7   | 1.0 | 12.9<br>不明       |      |
| 362  | 66  | 石器 | A III a | 9区T-9、IV層      | 6.4      | 2.0   | 0.6 | 4.8<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 363  | 42  | 石器 | A III a | 5区、Ⅲ層          | 5.1      | 2.3   | 0.6 | 6.6<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 364  | 95  | 石器 | A III a | 9区T-20、IV層     | 6.2      | 3.3   | 1.1 | 16.7<br>頁岩、奥羽山脈  |      |
| 365  | 6   | 石器 | A III a | 1区、I層          | (3.9)    | 2.4   | 0.9 | 8.4<br>頁岩、奥羽山脈   |      |
| 366  | 5   | 石器 | A III b | 1区南側、Ⅲ層        | 3.8      | 5.6   | 0.8 | 12.7<br>頁岩、北上山地  |      |
| 367  | 81  | 石器 | A III b | 9区T-15-17周、IV層 | 3.8      | 5.1   | 0.9 | 12.2<br>頁岩、奥羽山脈  |      |
| 368  | 67  | 石器 | A III b | 3区北側、Ⅲ層        | 4.9      | 6.3   | 1.4 | 26.6<br>頁岩、奥羽山脈  |      |
| 369  | 87  | 削器 | A V a   | 9区T-16、IV層     | 7.9      | 4.3   | 1.3 | 36.5<br>頁岩、奥羽山脈  |      |
| 370  | 7   | 削器 | A V a   | 1区中央、Ⅲ層        | 6.2      | 2.7   | 0.9 | 12.0<br>めのう、奥羽山脈 |      |
| 371  | 97  | 石器 |         | 9区T-20、IV層     | 9.6      | 2.1   | 0.9 | 13.0<br>頁岩、奥羽山脈  |      |
| 372  | 94  | 削器 | A V a   | 9区T-19、IV層     | 7.3      | 2.3   | 1.3 | 16.0<br>頁岩、北上山地  |      |

| 指標番号 | 仮番  | 種類    | 分類       | 出土地点           | 計測値: cm・g |        |     |        | 石材                | 特記事項 |
|------|-----|-------|----------|----------------|-----------|--------|-----|--------|-------------------|------|
|      |     |       |          |                | 長さ        | 幅      | 厚さ  | 重量     |                   |      |
| 373  | 8   | 刮器か   | AV a か   | 1区中央、Ⅲ層        | (6.2)     | 2.3    | 1.4 | 22.3   | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 374  | 25  | 刮器    | AV c     | 1区東側、I・II層     | 4.3       | 3.6    | 0.8 | 18.4   | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 375  | 26  | 刮器    | AV a     | 1区西側、I・II層     | 3.3       | 2.7    | 0.9 | 4.5    | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 376  | 34  | 刮器    | AV a     | 2区西側、Ⅲ層        | 3.6       | 3.6    | 0.9 | 9.9    | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 377  | 38  | 刮器か   | AV a     | 2区中央部の北側、Ⅲ層    | 3.9       | 4.1    | 1.2 | 15.9   | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 378  | 36  | 刮器    | AV a     | 2区東側、Ⅲ層        | 3.1       | 2.6    | 0.9 | 5.8    | 赤色頁岩、奥羽山脈         |      |
| 379  | 41  | 刮器    | AV a     | 3区南側、Ⅲ層        | 4.1       | 3.1    | 0.7 | 8.7    | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 380  | 37  | 擦器    | AV a     | 2区西側、Ⅲ層        | 4.8       | 3.2    | 1.3 | 13.9   | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 381  | 4   | 刮器    | AV a     | 1区中央、Ⅲ層        | 3.2       | 2.8    | 0.8 | 6.1    | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 382  | 90  | 擦器    | AV a     | 9区T-18、IV層     | 5.1       | 2.9    | 1.4 | 18.3   | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 383  | 80  | 不定形石器 | AV b     | 9区T-15、IV層     | 4.4       | 4.2    | 1.1 | 11.6   | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 384  | 31  | 不定形石器 | AV b     | 2区西側、II・III層   | 4.7       | 2.0    | 1.2 | 9.5    | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 385  | 30  | 不定形石器 | AV b     | 2区東側、Ⅲ層        | 2.2       | 3.0    | 0.6 | 3.2    | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 386  | 20  | 不定形石器 | AV c     | 1号井戸           | 2.8       | 1.7    | 0.6 | 2.4    | 赤色頁岩、奥羽山脈         |      |
| 387  | 23  | 不定形石器 | AV c     | 1区中央、Ⅲ層        | 2.7       | 2.0    | 0.7 | 2.8    | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 388  | 27  | 不定形石器 | AV c     | 1区、I層          | 4.3       | 1.4    | 0.6 | 4.1    | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 389  | 53  | 不定形石器 | AV c     | 9区T-2、IV層      | (6.7)     | 4.2    | 2.3 | 62.9   | 頁岩、北上山地           |      |
| 390  | 28  | 不定形石器 | AV c     | 1区中央、Ⅲ層        | 5.7       | 3.0    | 1.2 | 19.1   | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 391  | 35  | 不定形石器 | AV c     | 2区西側、Ⅲ層        | 3.2       | 1.8    | 1.0 | 3.1    | 無殻石、產地不明          |      |
| 392  | 24  | 不定形石器 | AV c     | 1区西側、I・II層     | 4.3       | 2.3    | 0.9 | 7.8    | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 393  | 29  | 不定形石器 | AV c     | 1区中央、II・III層   | 5.9       | 2.6    | 1.2 | 15.5   | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 394  | 39  | 不定形石器 | AV c     | 2区西側、Ⅲ層        | 6.4       | 4.7    | 2.0 | 46.5   | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 395  | 33  | 不定形石器 | AV c     | 2区東側、Ⅲ層        | 2.1       | 2.6    | 0.9 | 5.4    | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 396  | 76  | 不定形石器 | AV c     | 9区T-a、IV層      | 2.9       | 2.8    | 0.6 | 4.9    | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 397  | 100 | 不定形石器 | AV b     | 9区T-20、IV層     | 3.8       | 5.0    | 1.4 | 18.7   | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 398  | 89  | 不定形石器 | AV c     | 9区T-18・20間、IV層 | 4.2       | 5.1    | 1.5 | 10.5   | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 399  | 45  | 不定形石器 | AV c     | I・II層          | 3.5       | 2.6    | 0.6 | 5.4    | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 400  | 32  | 不定形石器 | AV c     | 2区西側、Ⅲ層        | 4.3       | (3.1)  | 1.1 | 14.1   | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 401  | 75  | 不定形石器 | AV c     | 9区T-a、IV層      | 3.9       | 3.2    | 1.4 | 13.1   | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 402  | 84  | 不定形石器 | AV c     | 9区T-j、IV層      | (10.7)    | 3.2    | 1.3 | 42.6   | 頁岩、北上山地           |      |
| 403  | 85  | 敲石    | BVI a 1  | 9区T-g、IV層      | 11.0      | 8.2    | 3.9 | 398.0  | ディサイト、奥羽山脈        |      |
| 404  | 86  | 敲石    | BVI a 1  | 9区T-16、IV層     | 12.5      | 6.6    | 4.1 | 461.7  | 安山岩、奥羽山脈          |      |
| 405  | 95  | 敲石    | BVI a 1  | 9区T-21、IV層     | 12.4      | 9.2    | 4.8 | 810.0  | 安山岩、奥羽山脈          |      |
| 406  | 78  | 敲石    | BVI a 1  | 9区T-i、IV層      | 11.3      | 7.0    | 2.5 | 266.7  | ディサイト、奥羽山脈        |      |
| 407  | 101 | 敲石    | BVI a 1  | 9区T-22、IV層     | 14.1      | 8.3    | 5.1 | 885.1  | 安山岩、奥羽山脈          |      |
| 408  | 73  | 石器    | BXI      | II区南側の中央、I・IV層 | (14.0)    | (16.1) | 8.0 | 1737.2 | 安山岩、奥羽山脈          |      |
| 409  | 46  | 石器    | BXI      | 1区中央、III層      | (15.8)    | (11.1) | 4.5 | 682.7  | 安山岩、奥羽山脈          |      |
| 410  | 99  | 石斧    | BXII b 1 | 9区土坑4          | (9.9)     | 5.6    | 2.3 | 185.5  | フォルクフェルス、北上山地 未製品 |      |
| 411  | 79  | 磨製石斧  | BXII b 2 | 9区T-13、IV層     | (7.5)     | 5.9    | 2.5 | 165.8  | ディサイト、奥羽山脈        |      |
| 412  | 92  | 不定形石器 | AV e     | 9区T-20、IV層     | (8.0)     | 4.9    | 2.0 | 287.7  | 頁岩、奥羽山脈           |      |
| 413  | 68  | 磨製G斧  | BXII a   | 1号炉            | 13.7      | 5.0    | 2.0 | 237.8  | 頁岩、北上山地           |      |
| 414  | 91  | 磨製石斧  | BXII a   | 9区T-18西側、IV層   | (9.6)     | 4.9    | 2.6 | 204.9  | 砂岩、北上山地           |      |

| 記載番号 | 假名  | 種類    | 分類       | 出土地点           | 計測値: cm・g |      |       | 石材     | 特記事項             |
|------|-----|-------|----------|----------------|-----------|------|-------|--------|------------------|
|      |     |       |          |                | 長さ        | 幅    | 厚さ    |        |                  |
| 415  | 69  | 磨質石斧  | B XII a  | 9区T-6, IV層     | (7.0)     | 4.8  | 3.0   | 153.3  | 黄岩、北上山地          |
| 416  | 107 | 石椎    | A V      | 9区T-e g間, IV層  | 14.8      | 3.5  | 1.2   | 47.9   | 黄岩、奥羽山脈          |
| 417  | 88  | 打製石斧  | B X III  | 9区T-16, IV層    | 14.9      | 4.8  | 2.1   | 148.1  | 黄岩、北上山地          |
| 418  | 96  | 不定形石器 | A V e    | 9区T-20, IV層    | 9.9       | 9.4  | 3.3   | 289.7  | 黄岩、奥羽山脈          |
| 419  | 47  | 石頭    | B X III  | 7区東側, 蔊層       | 14.4      | 10.1 | 2.8   | 411.6  | 黄岩、北上山地          |
| 420  | 71  | 石頭    | B X III  | 7区東側, 蔊層       | 18.6      | 10.0 | 2.6   | 436.5  | 輝綠凝灰岩、一関市東山町     |
| 421  | 48  | 石頭    | B X III  | 7区東側, 蔊層       | 17.2      | 10.3 | 2.0   | 302.6  | 黄岩、北上山地          |
| 422  | 77  | 石棒    | D X VI   | 2区北東, 蔊層       | (10.1)    | 3.2  | (1.4) | 88.4   | ホルシフェルス、北上山地     |
| 425  | 108 |       |          | 2区西面           |           |      |       |        |                  |
| 437  | 70  | 磨石    | B VI b   | 9区西側, IV層      | 15.0      | 8.9  | 2.5   | 482.9  | 安山岩、奥羽山脈         |
| 438  | 72  | 敲石か   | -        | 9区, IV層        | 25.6      | 7.8  | 6.1   | 1448.8 | デイサイト、奥羽山脈       |
| 439  | 93  | 石鏡    | A I a 2  | 9区T-19, IV層    | 12        | 1.0  | 0.2   | 0.1    | 黄岩、奥羽山脈<br>写真のみ  |
| 440  | 102 | 石鏡    | A I a 2  | 9区T-i j間, IV層  | 1.4       | 1.2  | 0.3   | 0.2    | 黄岩、奥羽山脈<br>写真のみ  |
| 441  | 103 | 石鏡    | A I a 2  | 9区T-i j間, IV層  | 1.4       | 1.9  | 0.3   | 0.2    | 黄岩、奥羽山脈<br>写真のみ  |
| 442  | 104 | 石鏡    | A I a 2  | 9区T-19-i間, IV層 | 1.8       | 1.4  | 0.4   | 0.7    | 黄岩、奥羽山脈<br>写真のみ  |
| 443  | 105 | 石斧か   | B XI b 1 | 9区T-i, IV層     | (12.0)    | 6.9  | 3.2   | 419.3  | 逐岩、奥羽山脈<br>写真のみ  |
| 444  | 106 | 敲石    | B VI a 1 | 9区T-i, IV層     | 13.5      | 9.4  | 6.5   | 1122.7 | 安山岩、奥羽山脈<br>写真のみ |

### 3 まとめ

小林繁長遺跡は、奥州市前沢区白山字小林から字繁長地内にある遺跡で東西約300m、南北約100mの範囲がある。奥州市立白山小学校の周辺に位置し、北上川西岸の自然堤防上に立地する。標高は29m前後で現況は畑地及び水田・宅地である。

今回の調査は総面積3,997m<sup>2</sup>、遺跡の西端から中央にかけてと、遺跡北東端を細長く調査したことになる。平成19年度には遺跡北端部を調査し、近世の掘立柱建物跡のほかに溝や柱穴が検出され、遺物としては縄文時代中期以降の土器、石器、平安時代の須恵器壺片、近現代の陶磁器などが出土した。昭和61年度に旧前沢町教育委員会によって遺跡西側（白山小学校校庭から南東方向）を調査した際には縄文時代中期・晚期、弥生時代前期の土器などが出土している。

今年度の調査で検出された遺構は縄文時代中期中葉以降と見られる竪穴住居跡1棟、弥生時代の可能性のある住居状遺構1棟、縄文時代の捨て場が2箇所、土坑11基、溝跡8条、近世頃の井戸跡1基、掘立柱建物跡1棟、炉1などが見つかっている。出土遺物には縄文土器35箱、弥生土器02箱、石器類3箱、近世陶磁器、羽口・鉄滓1箱が出土した。

ここでは時代ごとに遺跡の状況を整理し、その内容について考えていく。

#### （1）遺構

##### ＜縄文時代中期以前＞

今回の調査で早期に位置づけられる土器片1点が出土した。これまでの調査でも出土遺物・遺構は未確認である。本遺跡が北上川西岸の自然堤防上に立地している点から考えても、この時期に遺跡内に集落が営まれていたとは想定しにくい。土器片が1点のみに留まっていることからも、何らかの原因で移動の途中に壊れた、或いは遺跡内を短期間利用した際の土器の一部が出土したのではないかと考えたい。

##### ＜縄文時代中期前葉から中期中葉＞

今回の調査では9区捨て場がこの時期にある。9区捨て場は遺跡北東端にあり320m<sup>2</sup>を調査しているが、これは捨て場の一部に過ぎない。捨て場は南側と東側へと続いている。想定される捨て場の範囲は第42図に示した。現在の地形から考えてこの時期の居住域は白山小学校（校舎・校庭）に求めるのが最も妥当である。9区捨て場はこの居住域の北側の1段低い平坦面に形成されたといえ、捨て場のさらに北側は旧河道へと下がっていく。つまり9区捨て場は居住域の北側にある旧河道へと下っていく中間部分に形成されていると解釈できる。

捨て場から出土している上器は中期前葉から中期中葉が主体である（他時期の土器としては晚期の土器が2・3点出土しているのみである）。遺物包含層は基本土層でいう第IV層にあたり、その中でも第IV層の上面、厚さにして最大15cm程しかなかったが、土器・石器・自然礫は足の踏み場もないような状態で広がっていた。捨て場は「広く薄く」形成されていたといえ、他遺構との切り合いも殆どなく、状態は良好であった。

包含層が薄いため分層して遺物を取り上げることはできなかったが、逆にこうした土器類の出土状況は中期前葉から中期中葉まで連続して捨て場が形成されていることを表していると解釈した。よって出土した上器に関しても時期差を層位的に示すことは不可能ではあるが、土器変遷（大木7a・7b・8a式段階）の連続性を把握するにはかなり有効であるのではなかろうか。

出土した土器・石器類の量、想定される捨て場の規模からこの時期の集落はかなり規模の大きなも

のであった可能性がある。

＜縄文時代中期中葉からそれ以降＞

遺跡西端1区から竪穴住居1棟、そのすぐ近くの2区から捨て場1箇所を検出している。竪穴住居は残りが悪く石囲炉と床面のみの検出であった。2区の捨て場からは破片を中心につつも、その場で潰れたような状態で出土する個体も多かった。周囲よりも若干低い場所を捨て場として利用していたようで、想定される範囲を第44図に示している。9区捨て場よりは小規模な捨て場であったと考えている。遺物包含層は基本層序第Ⅲ層であるが、実際に遺物の含まれる層の厚さは10cm程度であった。よって分層して遺物の取り上げはできなかった。捨て場は他の遺構との切り合いもなく良好な状態で残っているようで、北側及び南側へと続いている。

土器類をみると中期中葉から後期初頭頃までのものが捨て場の近辺も含めると出土しているが、主体は中期中葉である。大木8b式が大半を占め、9式以降は少量であった。注目されるのは9区捨て場の時期と殆ど重複しないことである。

＜縄文時代中期を中心に見た集落変遷について＞

2区捨て場と9区捨て場とは、同じ遺跡内であるものの直線距離で300mは離れていること、捨て場から出土する土器の時期が殆ど重複しないだけでなく、連続性をもっていること、二つの捨て場の中間地点（調査区は狭いもの）を調査した際にこの時期の遺構遺物がなかったことなどから、以下のような仮説が考えられた。

第一に9区捨て場を形成したであろう集落が先ず（中期初頭）出現し、中期中葉まで存続する。そしてこの集落が廃絶し、2区捨て場近辺に移動して集落を形成した（中期中葉及びそれ以降）。

第二の可能性としては、中期初頭に9区に集落が出現し、中期中葉以降にも存続している可能性である。今回は捨て場の一部のみを調査したに過ぎないので、中期中葉以降の遺物は調査区外へ続いている捨て場のどこかにあると仮定しなければならない。そうなると2区捨て場を形成した集落とは時期的に重複するので、一つの遺跡内に集落が分散してあったことになる。9区付近に比較的大きな集落が、2区付近に比較的小規模な遺跡が9区から分かれて形成されたと想定することができる。

第三の可能性は、9区捨て場及びそれに伴う集落が中期初頭に形成され、中期初頭に廃絶する。そして2区に新たな場所から移ってきた集団によって中期中葉から集落が出来た、という仮説である。

どれも仮定の域を出ないが、筆者が比較的の高いと考えている順に示してみた。何れにしても本遺跡に最初に集落が営まれる中期初頭が白山地区（もう少し広い意味で捉えるなら前沢区における水沢段丘より若干低い面）での集落の初現である事が明らかになった。得られた遺物の量からも比較的大規模な集落を想定することが可能である。そして中期中葉以降には遺跡西側（2区）からも遺構・遺物が出土するようになる。後期初頭の土器は数片しかなく、それ以降の後期の土器は出土していない。遺跡内の後期の状況は不明なのである。周辺にも後期の遺跡が把握されているので、一つ課題が明らかになったといえるだろう。晩期になると、遺跡東側（9区）で土器が2・3個体出土する。遺構は特に見つかっていない。本遺跡の北側には川岸場I・II遺跡が近く、ここは晩期から弥生時代の遺跡である事が明らかになっている。加えて、本遺跡の西側にある白山上野遺跡からも晩期の土器が多量に出土している。両遺跡は大規模な晩期の集落遺跡と位置づけることができるので、後期の集落も未確認なだけ近くにあるのかもしれない。

＜弥生時代＞

遺跡中央や西側の3区から住居状遺構1棟と土坑1基が検出されている。過去の調査でも弥生時代の土器は出土しているが量は多くない。主体は隣接する川岸場I・II遺跡で、本遺跡には小規模な集

落が営まれた程度なのではないだろうか。

#### <古代>

古墳時代・奈良時代の遺構・遺物は見つかっていない。平安時代の土師器・須恵器片が少量出土しているが、遺構に伴って出土したものはない。明からな遺構も確認されていないのである。この時期の状況を述べる資料は少ないわけだが、平安時代の遺物は出土しているのでこの時期の小規模な集落は調査区外に分布していると想定される。特に調査が殆ど及ばなかった遺跡南半部にその可能性がある。

#### <中世・近世>

中世末の唐津産陶器片が出土しているが遺構は検出されていない。時期不明の溝などの多くはこの時期に位置づけられる可能性がある。中世集落は現在あるこの地区的集落（住宅）と位置的には重複していると思われる。1号井戸跡・1号掘立柱建物跡・1号炉跡は近世と考えているが時期が明らかになる遺物を作っていない。1号井戸跡では鉄滓や羽口片などが出土していることから付近では小鍛冶をしていた可能性を指摘できる。

### (2) 遺 物

#### <本遺跡出土の縄文時代中期前葉から中期中葉の土器群について>

9区捨て場を形成していた土器群である。第IV章で述べてきたとおり、捨て場のごく一部を調査したに過ぎないこと、捨て場を形成した遺物包含層は層的な厚みが殆どなく分層できない状況で出土したこと、上面は削平されているものの残された部分は後世の擾乱を殆ど受けおらず廃棄された状態を留めていることなどが明らかになった。これらのことから縄文時代中期前葉から中期中葉の土器群を層位的な根拠をもって分けることはできないにしても、大木7a式～8a式までの連続性を捉えるには有効な資料群と位置づけた。土器分類に際してはこの点を意識しているが、捨て場のごく一部を調査しただけなので十分に理解できない部分も多くあった。土器に施された文様に時期的な連続性・変遷があると考えて整理しているが、それにに関しての層位的な裏付けは今回の調査に於いては全くない。

大木7a式と位置づけた土器群をみると弧線（弧状）文と沈線を持つものが多く、これに刻目・刺突列を持つものや渦巻文を多用するもの、渦巻文以外の文様では表現しにくいような文様を持つものなどがある。そして弧状文・沈線の配置の仕方によって楕円形横帯区画文に近い文様が見られるようになる。層位的な根拠はないが、弧状文・沈線文の配倣が変化して出来たと思われる楕円形横帯区画文に近い文様（II A 6類）は大木7a式の中でも後出するのではないかとの印象を持った。そして大木7b式の中でも繩圧痕をあまり用いない文様として楕円形横帯区画文は引き継がれていくと考えている。大木7a式の前に糠塚式をおき、中期の初頭に位置づけるのは大方の一一致するところのようである。糠塚式は大木6式の雰囲気が濃く残っている段階と理解しており、今回調査した9区捨て場からは出土していない。このことは本県における中期初頭～前葉の土器群の型式学的変化を理解する上で有効な事例といえるだろう。

大木7b式とした土器群は繩圧痕文を主体とするものをまとめている。この中には弧線（弧状）文と沈線を持つものに繩圧痕文（縱方向に押圧）が付け加えられており、大木7aとしたII A 1類などよりは後出的であると考えたい。II B 3・II B 4類に分類したものは大木7a式では沈線で施されていた文様が繩圧痕文に置き換わっているだけでII A 3・II A 4・II A 5類とはそのモチーフには共通する部分が多いように思う。楕円形横帯区画文をもつ土器群は大木7a式段階では楕円形というよりは弧状文の連結した文様帶といった感じであったが、本群では楕円形を基調とするものが主体となる。

楕円形横帯区画文が2段で用いられるものをみると、この文様が弧状文の配列の変化から発生していることを窺がわせる。

大木8a式に関しては、口縁部から底部まで残っている資料がない。そのため細かな分類は控えているが、前述したように9区の捨て場から出土する土器は時期的な連続性が高いと考えているので大木8a式のなかでも古段階のものが中心であると考えられる。

次に他遺跡との比較について若干触れておきたい。位置的に近い本県の類例として北上市滝ノ沢遺跡・同市本郷遺跡などがある。円筒式土器群の影響の殆どない事例といえるもので対比してみた。滝ノ沢遺跡(84・86・90年度調査)の資料は前期後半から中期前葉までの土器群が主体のようである。刻目文が非常に発達しており、隆帯の上からや口唇部、楕円形を主とした区画文の内側などに多く施文されている。~~~~文も多い。その一方で渦巻文はあまり多くはなく、複雑な渦巻文も見られない。同じく縄压痕文も少ない。

北上市本郷遺跡の資料は中期前葉から中葉が主体で本遺跡の9区捨て場出土の土器群とも時期的に共通する。各文様に問しても弧線文・刻目をベースとし渦巻文が発達するもの、或いは縄压痕文を主に文様を構成するものなど本遺跡の資料と類似する土器が多く見られるという印象を持つ。

それから本遺跡より南の事例として宮城県の小栗川遺跡・中ノ内A遺跡・内屋敷遺跡・新倉貝塚との資料とも比較してみた。その特徴を要約すると沈線或いは縄压痕文による弧状文や渦巻文が主体と言え、加えて楕円形横帯区画文なども多く見られる。こうした特徴は本遺跡の土器群と共通すると言えるが、宮城県の資料から受ける雰囲気はかなり異なる。特に渦巻文等の文様が大きく土器の胴部まで展開する例は本遺跡ではあまり見受けられず、地的な違いを示す点として挙げておきたい。

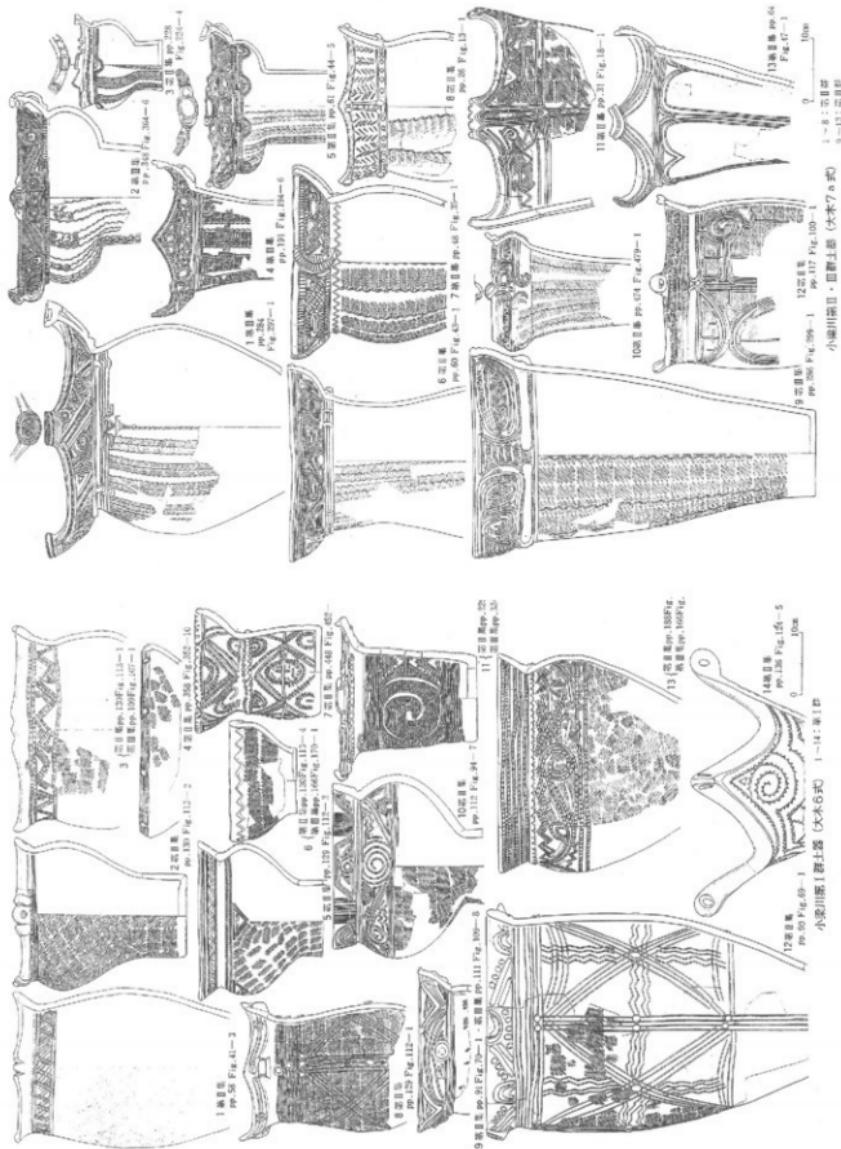
### (3) そ の 他

小林繁長遺跡は今回の調査も含め計3回の発掘調査が行われている。その結果、本格的に集落が営まれ始めたのは縄文時代中期前葉ということが明らかとなり、遺跡内で場所を変えながら中期後半、晩期、弥生及びそれ以降と断続的に生活の場として利用してきた。とくにも北上川に近い沖積地に中期前葉の比較的規模の大きな集落が形成されたことが明らかにされたことの意味は大きいと言える。その時期の環境について科学的な分析がなされているわけではないが、遺跡の立地するような微高地と旧河道・低湿地とが周囲には広がっていたことはまず間違いない。旧河道を挟んで隣り合う合野遺跡では陥り穴が見つかっており、本遺跡の周辺には狩猟の場が形成されていたと推察できる。その一方で上鍤・石錘といった漁具関連遺物は出土しなかった。交易関連の遺物も他遺跡と比べて顕著なわけでもないようである。堅果類の採集についても憶測の域を出ないが、北上川沿いの沖積平野という立地から、トチ・コナラ・ミズナラ類よりは胡桃・クリ類が多く採れたのではないかという印象を持つ。何れにしても縄文時代中期前葉になって本遺跡に集落が形成される根本的な要因に関しては未解明の課題として残っており、同様の立地を持つ遺跡の内容を整理する中で引き続き考えていきたい。

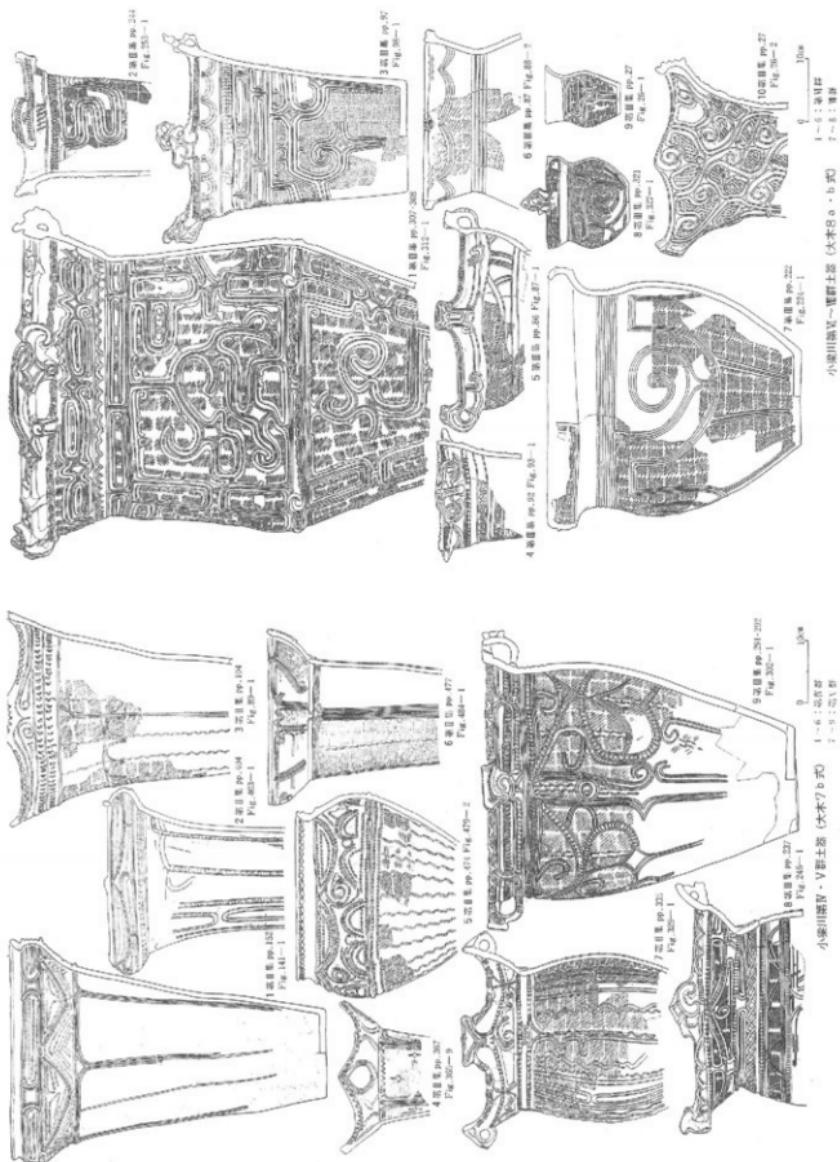
## 引用・参考文献

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターはJR岩手理文と、岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第○集は埋蔵文化財調査報告書第○集と略す

- 岩手県教育委員会 1980年 「東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書V」
- 岩手県教育委員会 1982年 「東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書X V」 岩手県文化財調査報告書第70集  
JR岩手理文 1982 「御所ダム建設関連遺跡発掘調査報告書 玉石塙ヶ森I・II遺跡」 埋蔵文化財調査報告書第31集
- 北上市教育委員会 1983年 「滝ノ沢遺跡」 北上市文化財調査報告書第33集
- 宮城県教育委員会 1986年 「七ヶ宿ダム関連遺跡発掘調査報告書 II」 宮城県文化財調査報告書第117集
- 宮城県教育委員会 1987 「中ノ内A遺跡・本居敷遺跡跡」 宮城県文化財調査報告書第121集
- 宮城県教育委員会 1988年 「七ヶ宿ダム関連遺跡発掘調査報告書付編」 宮城県文化財調査報告書第126集
- 熊谷常正 1989年 「北上川中流域における大木8a式土器」 岩手県立博物館研究報告第7号
- 丹羽茂 1989年 「中期大木式土器様式」『織文土器大綱3』 小学館
- JR岩手理文 1992年 「本郷遺跡発掘調査報告書」 埋蔵文化財調査報告書第164集
- 北上市教育委員会 1991 「滝ノ沢遺跡Ⅱ」 北上市文化財調査報告書第63集
- 盛岡市教育委員会 1993 「大館遺跡群 大館町遺跡」 平成4年度発掘調査概報
- JR岩手理文 1996 「鳩洞崎上の台遺跡発掘調査報告書」 埋蔵文化財調査報告書第240集
- JR岩手理文 2001 「秋浦 I 遺跡発掘調査報告書」 埋蔵文化財調査報告書第346集
- JR岩手理文 2001 「秋浦 II 遺跡発掘調査報告書」 埋蔵文化財調査報告書第347集
- JR岩手理文 2001 「清水ヶ野遺跡発掘調査報告書」 埋蔵文化財調査報告書第351集
- JR岩手理文 2003 「清田台遺跡発掘調査報告書」 埋蔵文化財調査報告書第412集
- JR岩手理文 2004 「宝性寺遺跡発掘調査報告書」 埋蔵文化財調査報告書第441集
- JR岩手理文 2005 「滝ノ沢地区遺跡発掘調査報告書」 埋蔵文化財調査報告書第412集
- 中野幸大 2008年 「大木7a～8b式土器」『絶対織文土器』小林達雄先生吉希記念企画



第74図 参考資料・小栗川第I～III群土器



第75図 参考資料・小梁川第IV～VII群土器



# 合野遺跡写真図版





遺跡遠景（南西から）



遺跡全景（真上から）



今年度調査区遠景（南から）



今年度調査区全景

写真図版2 航空写真（2）

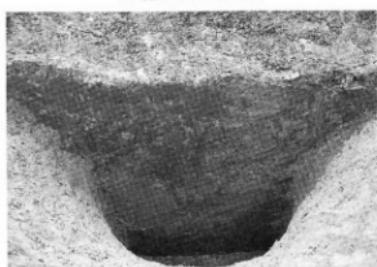
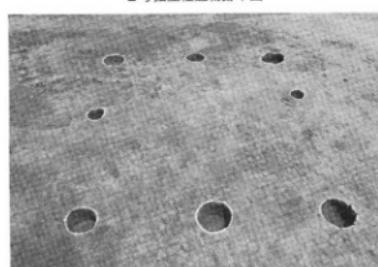
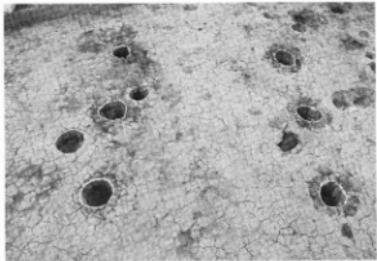


調査前の状況（北区を東から撮影）

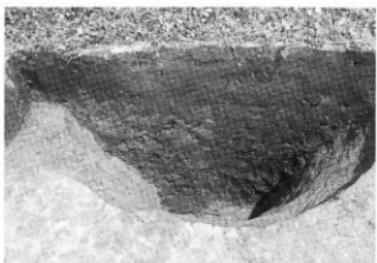


1号掘立柱建物跡全景平面

写真図版3 調査前の状況、1号掘立柱建物跡



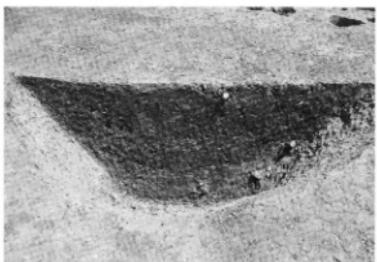
写真図版 4 2号掘立柱建物跡、1号井戸跡、12号溝



2号井戸跡断面



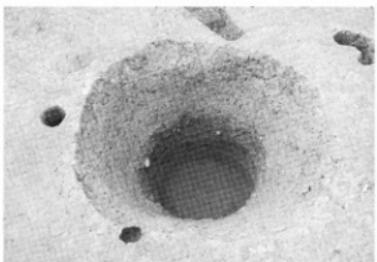
3号井戸跡断面



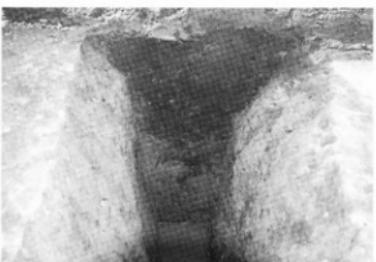
4号井戸跡断面



3号井戸跡断面



4号井戸跡平面



1号陥し穴状遺構断面



北区調査風景



1号陥し穴状遺構平面

写真図版5 2～4号井戸跡、1号陥し穴状遺構



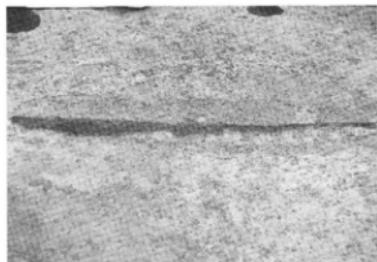
1号円形周溝平面



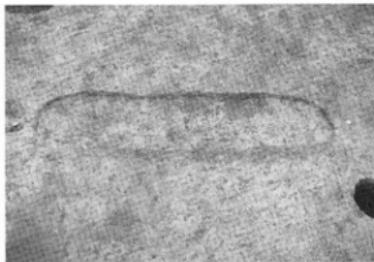
1号円形周溝断面A



1号円形周溝断面C



1号土坑断面

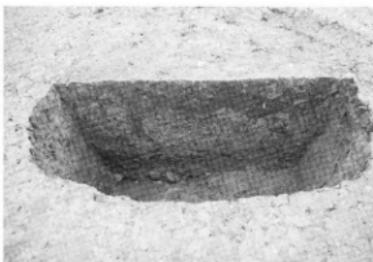


1号土坑平面

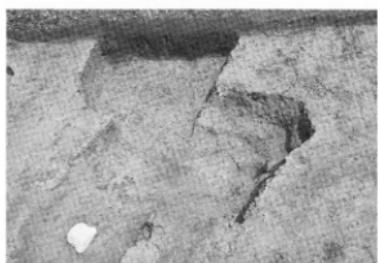
写真図版 6 1号円形周溝、1号土坑



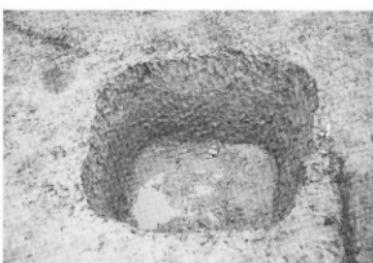
2·3号土坑断面



4号土坑断面



2·3号土坑平面



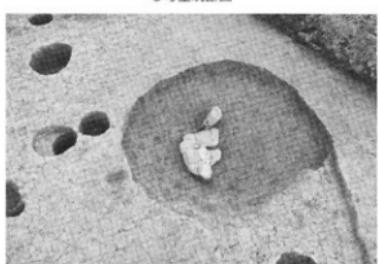
4号土坑平面



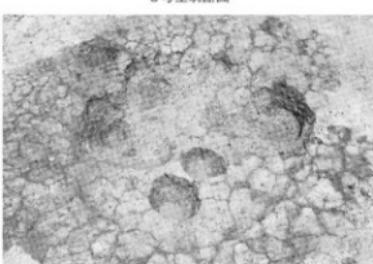
5号土坑断面



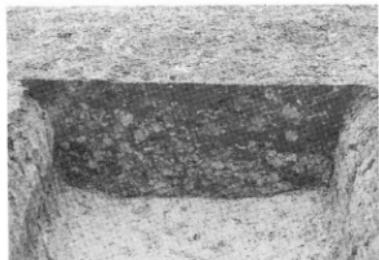
6号土坑断面



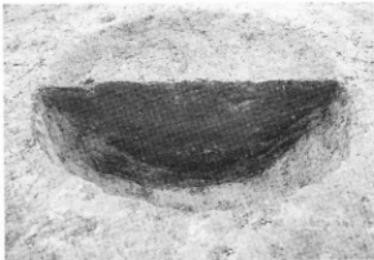
5号土坑平面



6号土坑平面



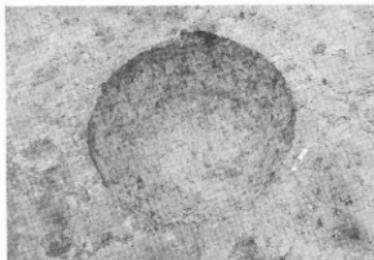
7号土坑断面



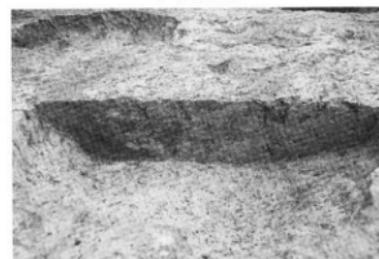
8号土坑断面



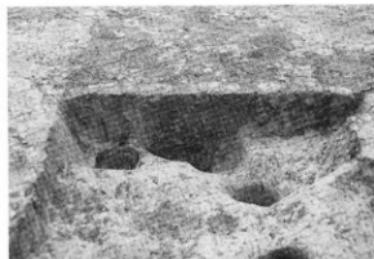
7号土坑平面



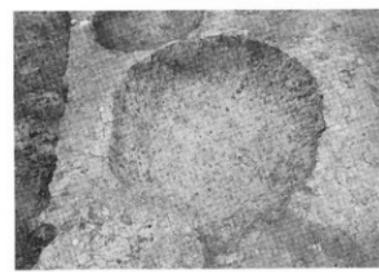
8号土坑平面



9号土坑断面



10号土坑断面



9号土坑平面

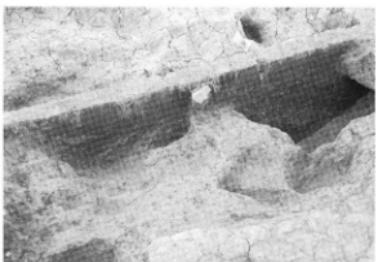


10号土坑平面

写真図版 8 7~10号土坑



11号土坑断面・平面



12号土坑断面



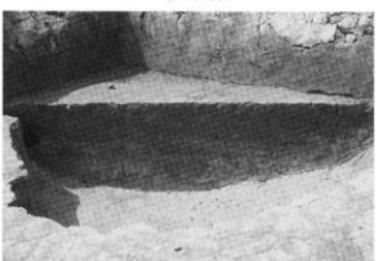
13号土坑断面



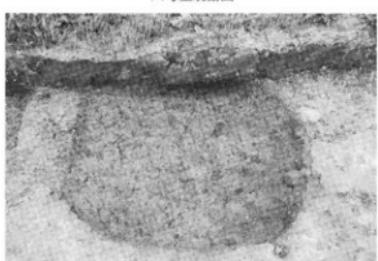
12号土坑平面



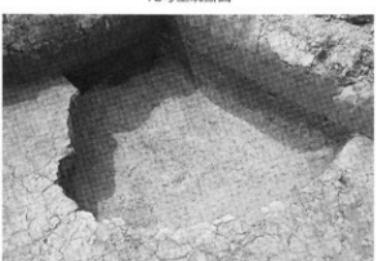
14号土坑断面



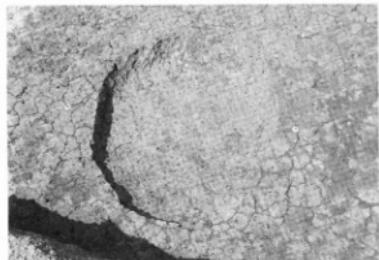
15号土坑断面



14号土坑平面



15号土坑平面



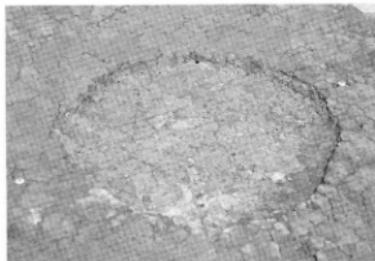
16号土坑平面



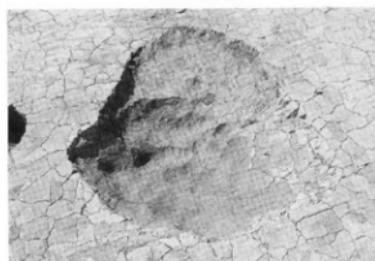
17号土坑断面



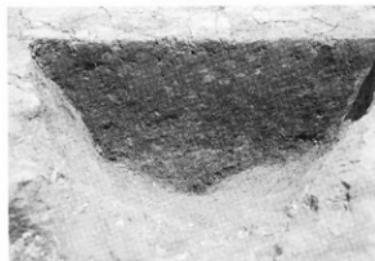
18号土坑断面



17号土坑平面



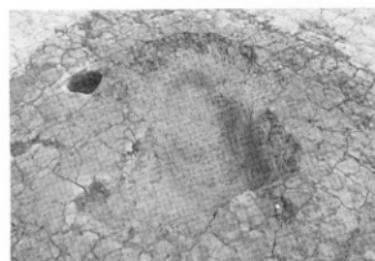
18号土坑平面



19号土坑断面

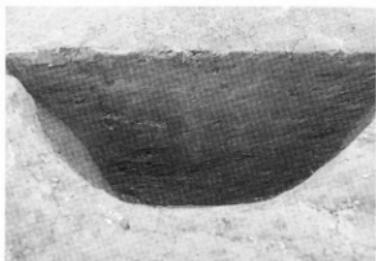


20号土坑断面



19·20号土坑平面

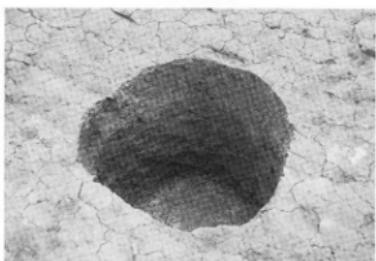
写真図版10 16~20号土坑



21号土坑断面



22号土坑断面



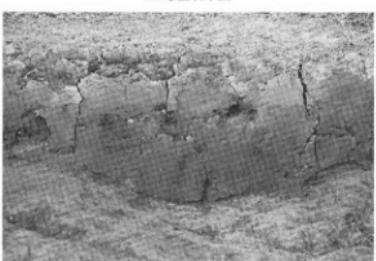
21号土坑平面



22号土坑平面



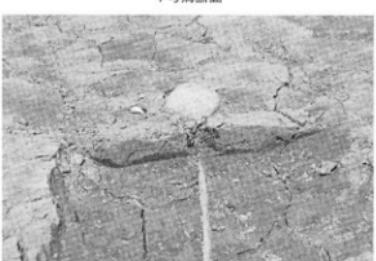
23号土坑断面



1号溝断面



23号土坑平面



2号溝断面

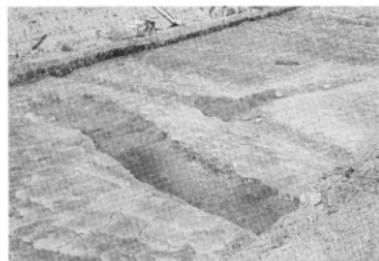
写真図版11 21~23号土坑、1・2号溝



2・3号溝断面（重複）



4号溝断面



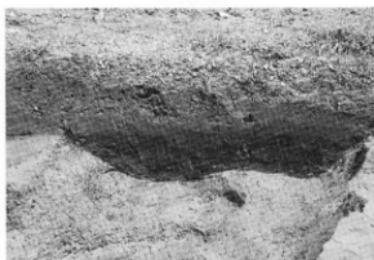
1～3号溝平面



4号溝平面



5号溝断面・須恵器出土状況



6号溝断面

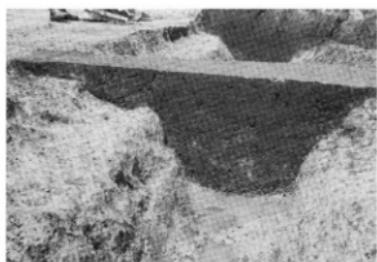


5号溝平面

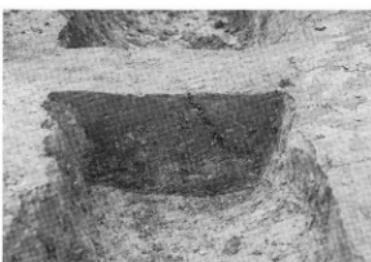


6号溝平面

写真図版12 1～6号溝



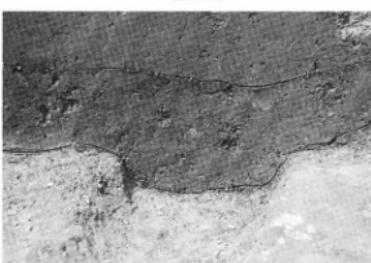
7号溝断面



8号溝断面



7・8号溝平面



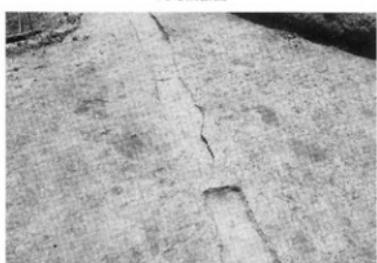
9号溝断面



10号溝断面



9号溝平面



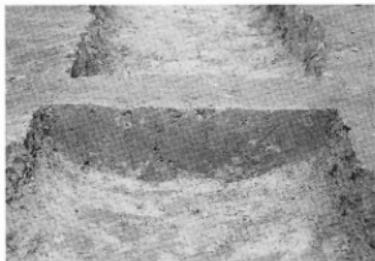
10号溝平面



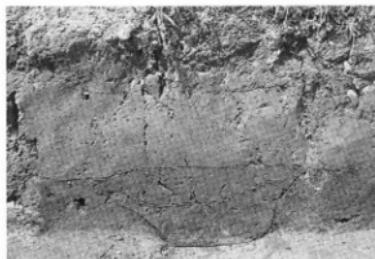
縹文土器出土状況



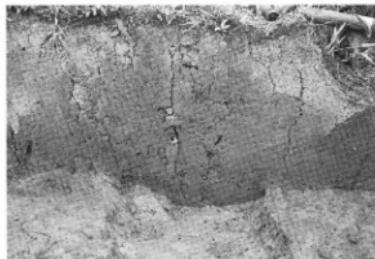
11号溝平面



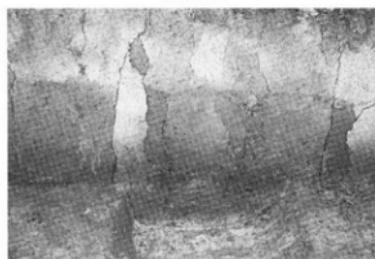
11号溝断面



12号溝断面



13号溝断面



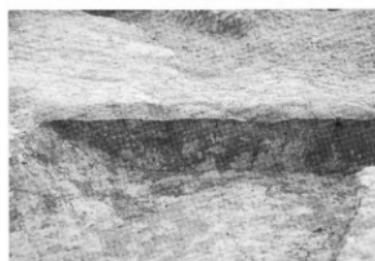
14号溝断面



13・14号溝平面

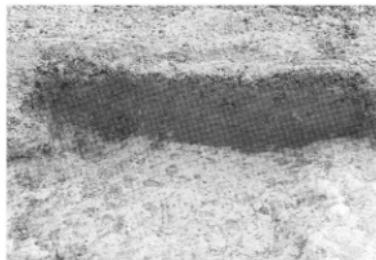


15号溝平面

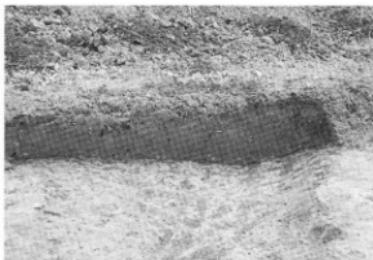


15号溝断面

写真図版14 11～15号溝



16号溝断面



17号溝断面



16・17号溝平面



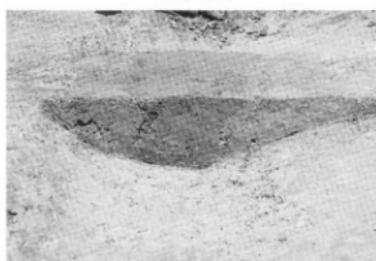
18号溝平面



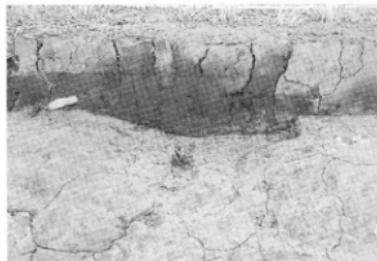
19号溝断面



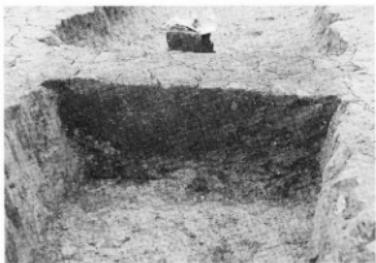
19・20号溝平面



20号溝断面



21号溝断面



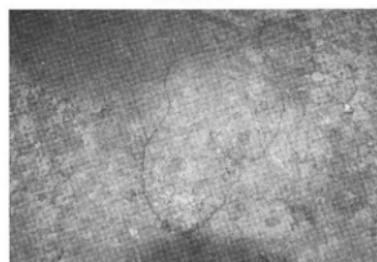
22号溝断面



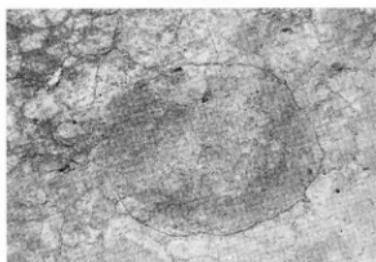
21号溝平面



22号溝平面



1号焼土平面



2号焼土平面

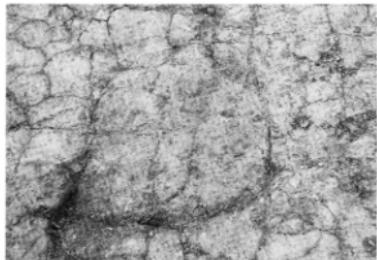


2・3号焼土断面

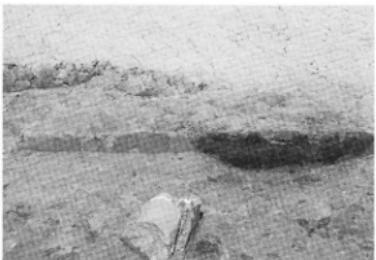


3号焼土平面

写真図版16 21・22号溝、1～3号焼土



4号焼土平面



4号焼土断面



北区・南区基本層序



斜面区基本層序



斜面区調査風景

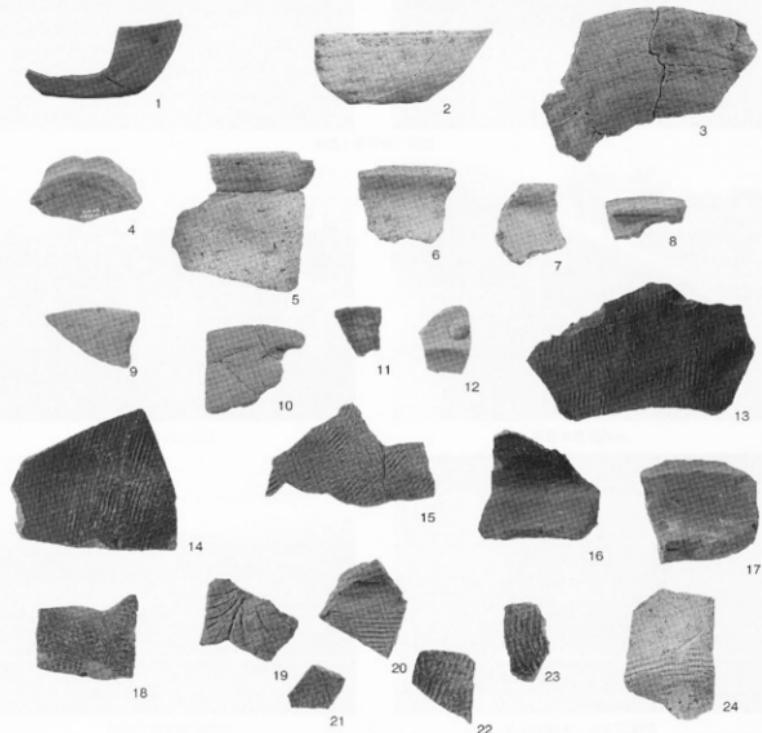
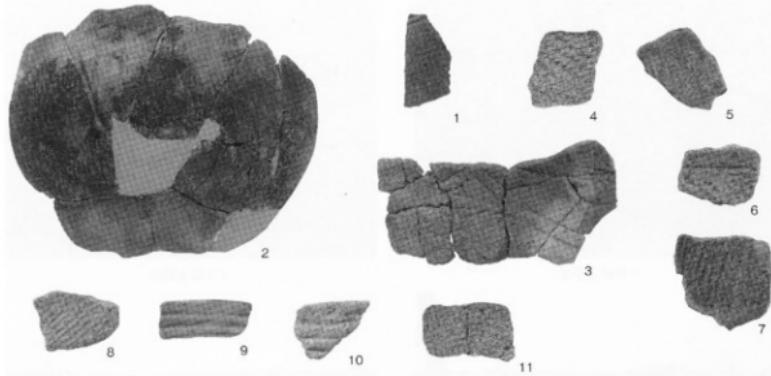


斜面区トレンチ検出状況



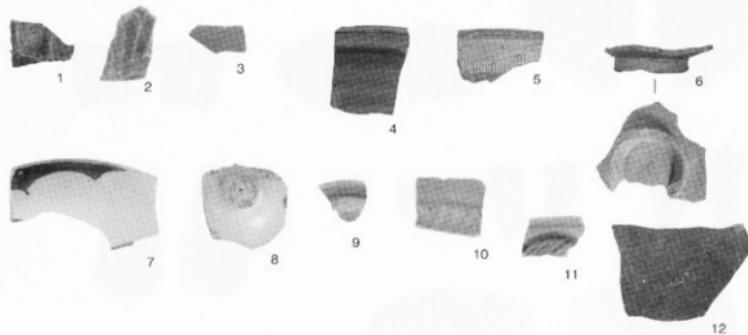
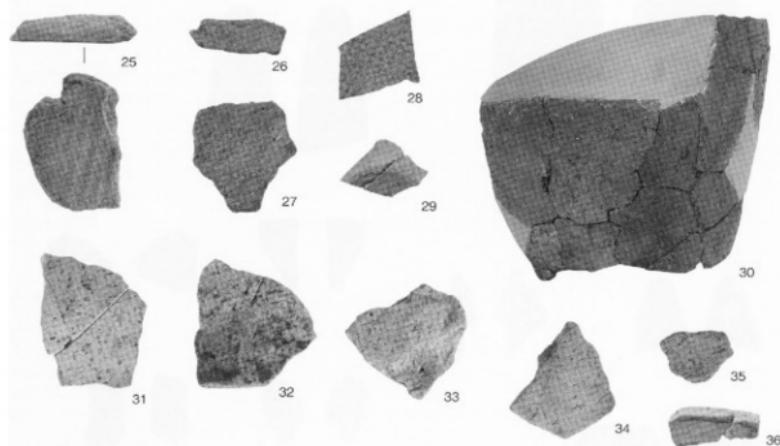
斜面区調査終了状況

写真図版17 4号焼土、斜面区調査終了状況



率縮尺は 1/3

写真図版18 繩文土器、土師器、須恵器（1）



参考尺は1/3 陶磁器1~3、10、11は1/2

写真図版19 土師器、須恵器(2)、陶磁器



赤鉛尺は1/3 3、4は1/1 12は1/2 17は1/6

写真図版20 石器、ガラス製品

# 小林繁長遺跡写真図版





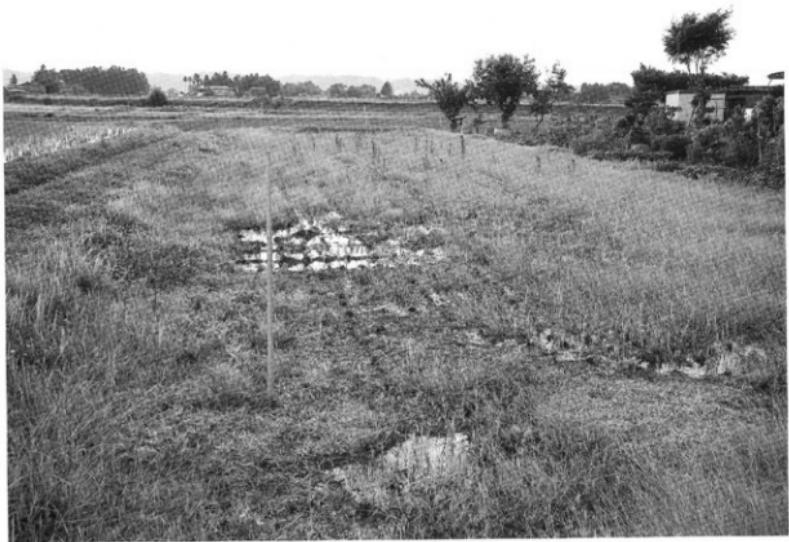
遺跡遠景 (W→)



遺跡遠景 (N→)



遺跡遠景（W→）遺跡範囲



遺跡現況1区（E→）

写真図版22 遺跡近景（1）ほか



遺跡現況1区 (W→)



遺跡現況3・4区 (NE→)



5・6区現況 (W→)



6区現況 (N→)



8区現況（N→）



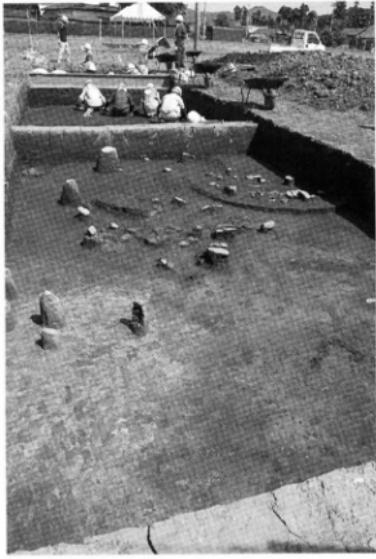
9区現況（W→）



1区調査風景 (E→)



2区中央遺構核出面 (S→)



2区西侧遺構核出面 (W→)

写真図版26 各調査区 (1)



2区北側遺構検出面  
(E→)



2区北側遺構検出面  
(E→)



2・3区遺構検出面  
(S→)



3区南端遭横検出面 (S→)



3区中央遭横検出面 (S→)



3区南端遭横検出面 (S→)



3区遭横検出面 (N→)

写真図版28 各調査区 (3)



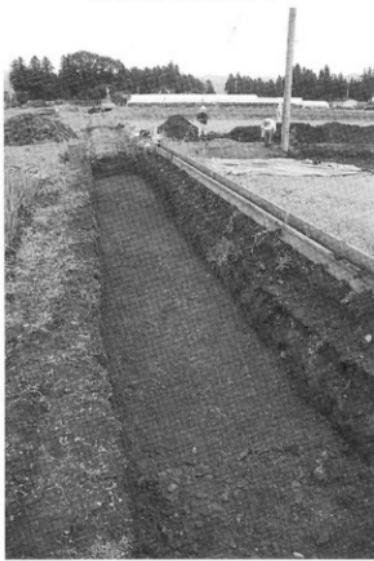
3区北側遺構検出面 (S→)



3区追加分遺構検出面 (W→)



4区遺構検出面 (E→)



5区追構検出面 (W→)



6区遺構検出面 (S→)



7区遺構検出面 (W→)



8区遺構検出面 (N→) 1



8区遺構検出面 (N→) 2

写真図版30 各調査区 (5)



9区上空から（写真上が白山小学校、左が公民館）



10区西侧倒壊橋脚出面（W→）



10区東側倒壊橋脚出面（E→）

写真図版31 各調査区（6）



1号竪穴住居跡平面 (S→)

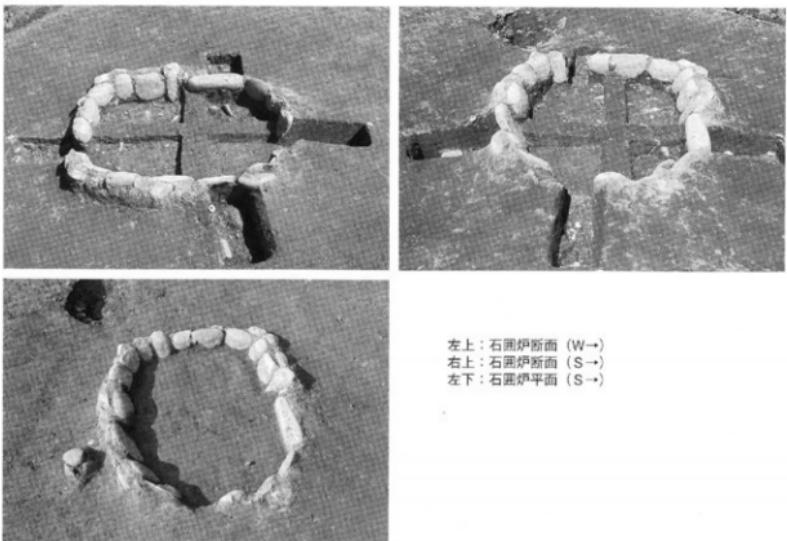


1号竪穴住居跡断面 (S→)

写真図版32 1号竪穴住居跡 (1)



1号竪穴住居跡断面 (E→)



左上：石窯断面 (W→)  
右上：石窯断面 (S→)  
左下：石窯炉平面 (S→)



1号竪穴住居跡調査状況



1号住居状遺構平面 (E→)

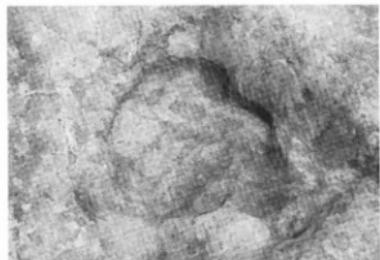
写真図版34 1号竪穴住居跡（3）、1号住居状遺構（1）



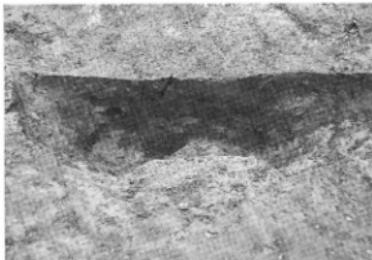
1号住居状造構断面 (E→)



1号住居状造構断面 (S→)



1号土坑平面 (W→)



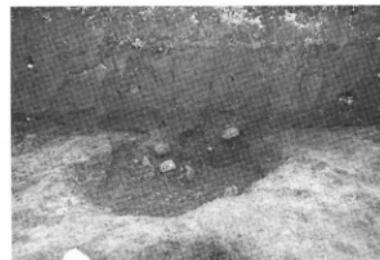
1号土坑断面 (W→)



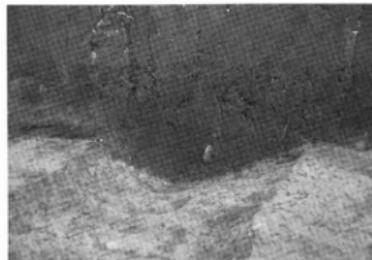
2号土坑平面 (N→)



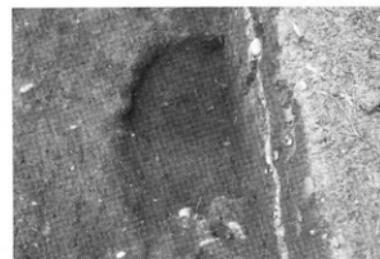
2号土坑断面 (E→)



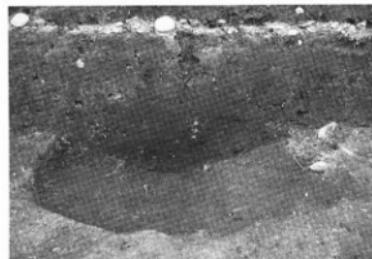
3号土坑平面 (S→)



3号土坑断面 (W→)

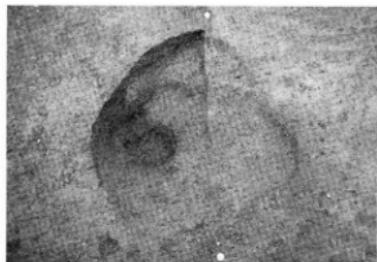


4号土坑平面 (S→)



4号土坑断面 (N→)

写真図版36 土坑 (1)



7号土坑平面 (S→)



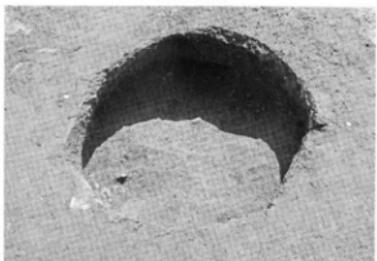
7号土坑断面 (W→)



8号土坑平面 (S→)



8号土坑断面 (S→)



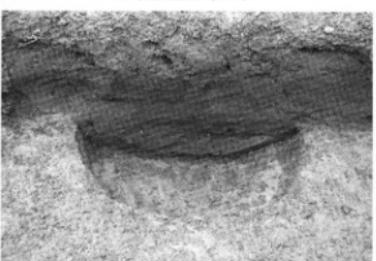
9号土坑平面 (W→)



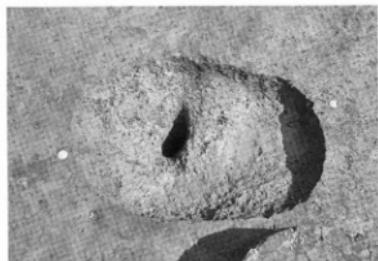
9号土坑断面 (W→)



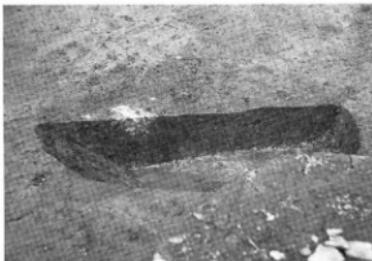
T 6 土器 1



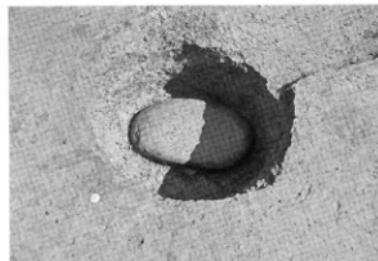
10号土坑断面 (W→)



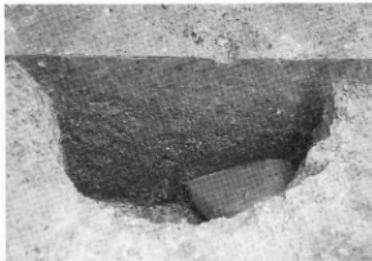
11号土坑平面 (S→)



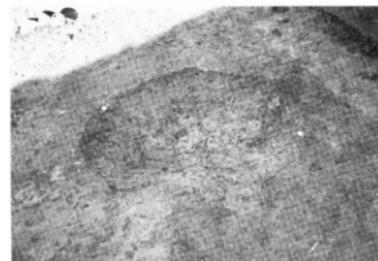
11号土坑断面 (S→)



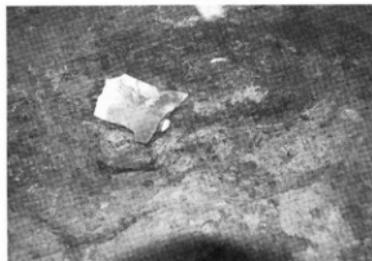
12号土坑平面 (W→)



12号土坑断面 (S→)



13号土坑平面 (W→)



13号土坑断面 (W→)



14号土坑平面 (S E→)



14号土坑断面 (S→)

写真図版38 土坑 (3)



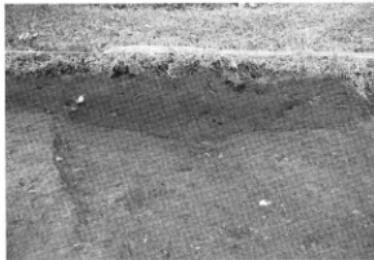
1号井戸跡平面 (W→)



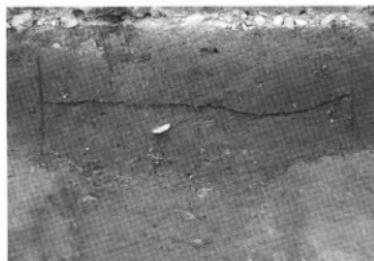
1号井戸跡断面 (N→)



1号溝平面 (S→)



1号溝断面 (S→)



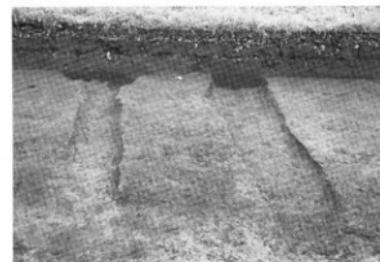
2号溝断面 (W→)



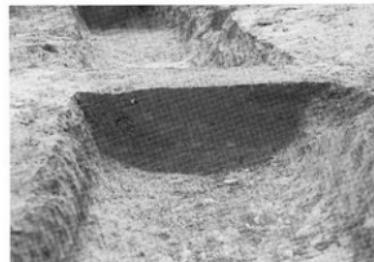
2号溝断面 (W→)



2・8号溝平面 (SW→)



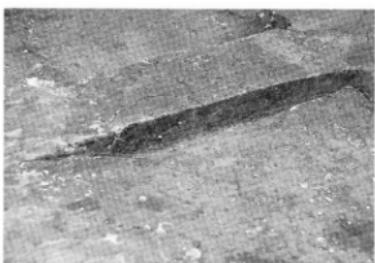
2・8号溝平面 (W→)



3号溝断面 (S→)



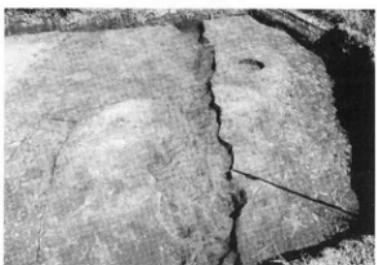
3号溝平面 (S→)



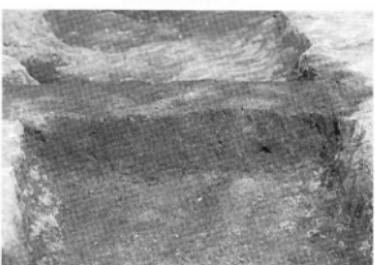
4号溝断面 (W→)



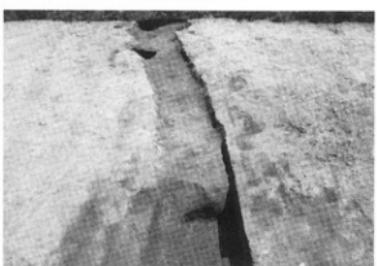
5号溝断面 (W→)



5号溝平面 (W→)



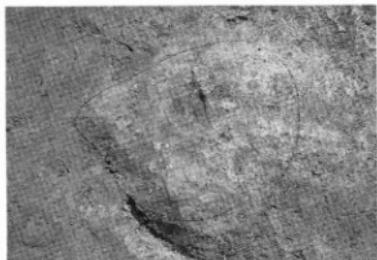
6号溝断面 (W→)



6号溝平面 (W→)



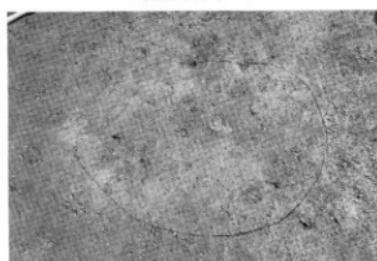
1号掘立柱建物跡・1号炉



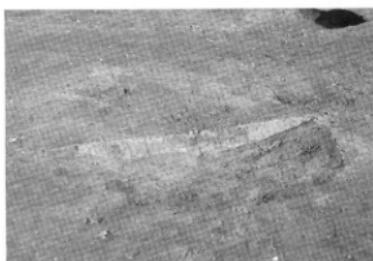
1号焼土平面 (N→)



1号焼土断面 (W→)



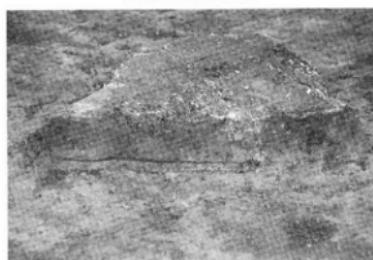
2号焼土平面 (N→)



2号焼土断面 (W→)



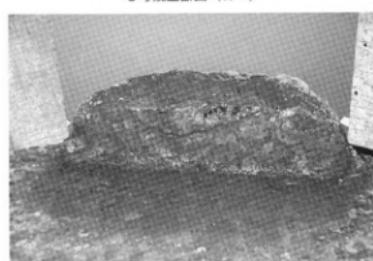
3号焼土平面 (S→)



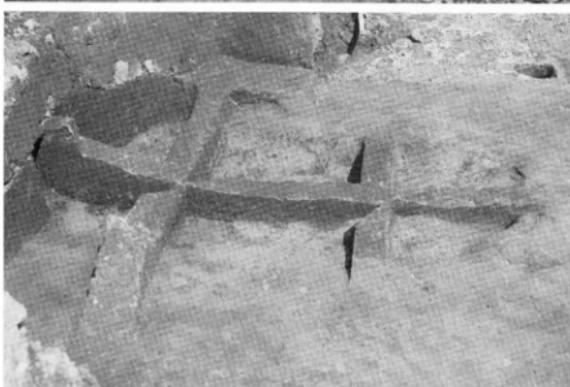
3号焼土断面 (W→)



4号焼土平面 (SW→)



4号焼土断面 (NE→)



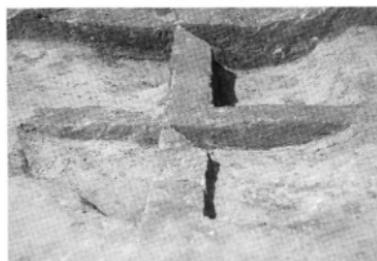
写真図版43 1号掘立柱建物跡、1号炉跡 (1)



1号炉検出 (S→)



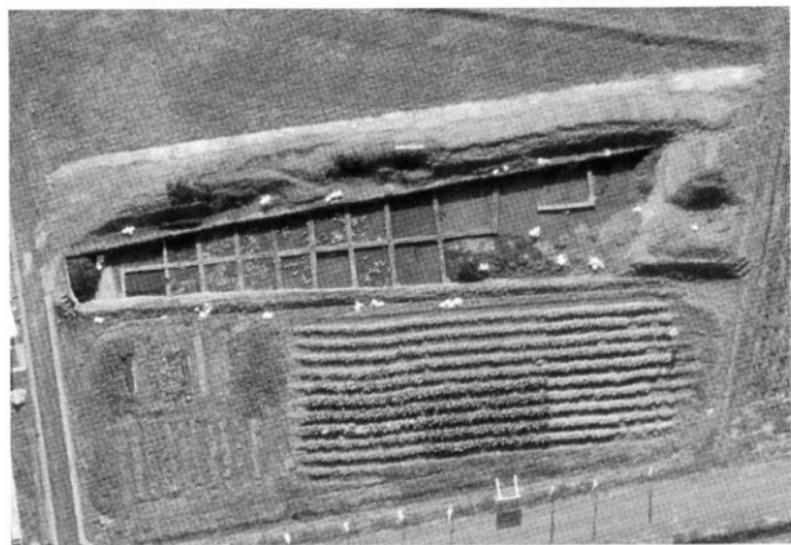
1号炉平面 (SE→)



1号炉断面 (E→)



1号炉断面 (E→)



9区捨て場 (写真上が南)

写真図版44 1号炉跡 (2)、9区捨て場 (1)



9区捨て場 (E→)



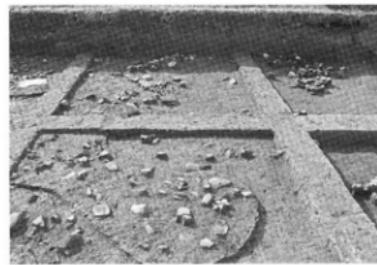
9区捨て場 (W→)



9区捨て場近景 (E N→)



9区捨て場遺物出土状況 (W→)



9区捨て場は、造構が殆どなく、純粹な捨て場と言つてよい。遺物は薄く広範に見られる。土器以外に自然礫も多く捨てられていた。

写真図版46 9区捨て場 (3)



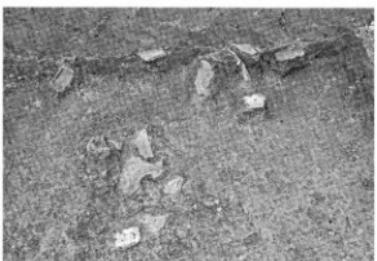
T 2 土器 2



T 5 土器 1



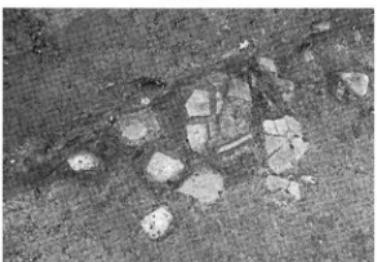
T 6 土器 2



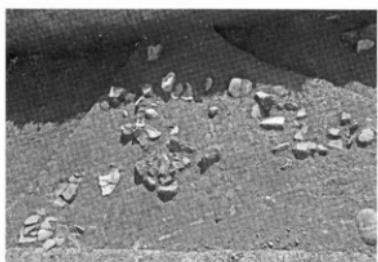
T 9 土器 1



T 9 土器 2



T 9 土器 3



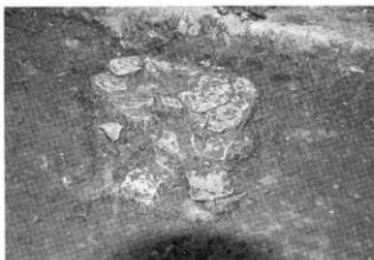
T d 土器 1



T e 土器 1



T f 土器 1



T h 土器 2



T i 土器 2



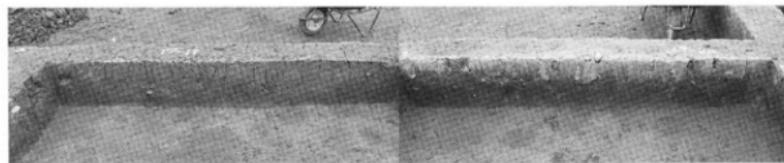
T j 土器 1



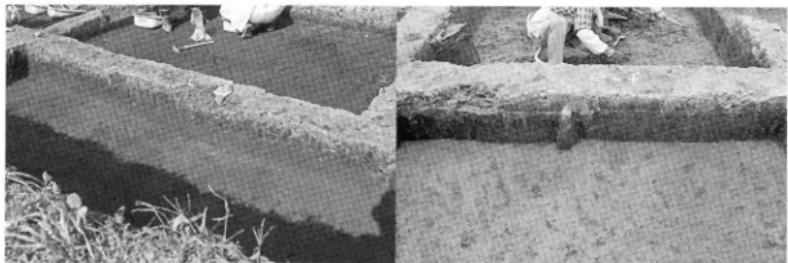
T 14・16断面 (W→)



T 14・16断面 (S→)



T 18・20断面 (S→)



T f d断面 (S→)



T b断面 (S→)



基本土層 (S→)



白山小学校生徒見学



現地公開

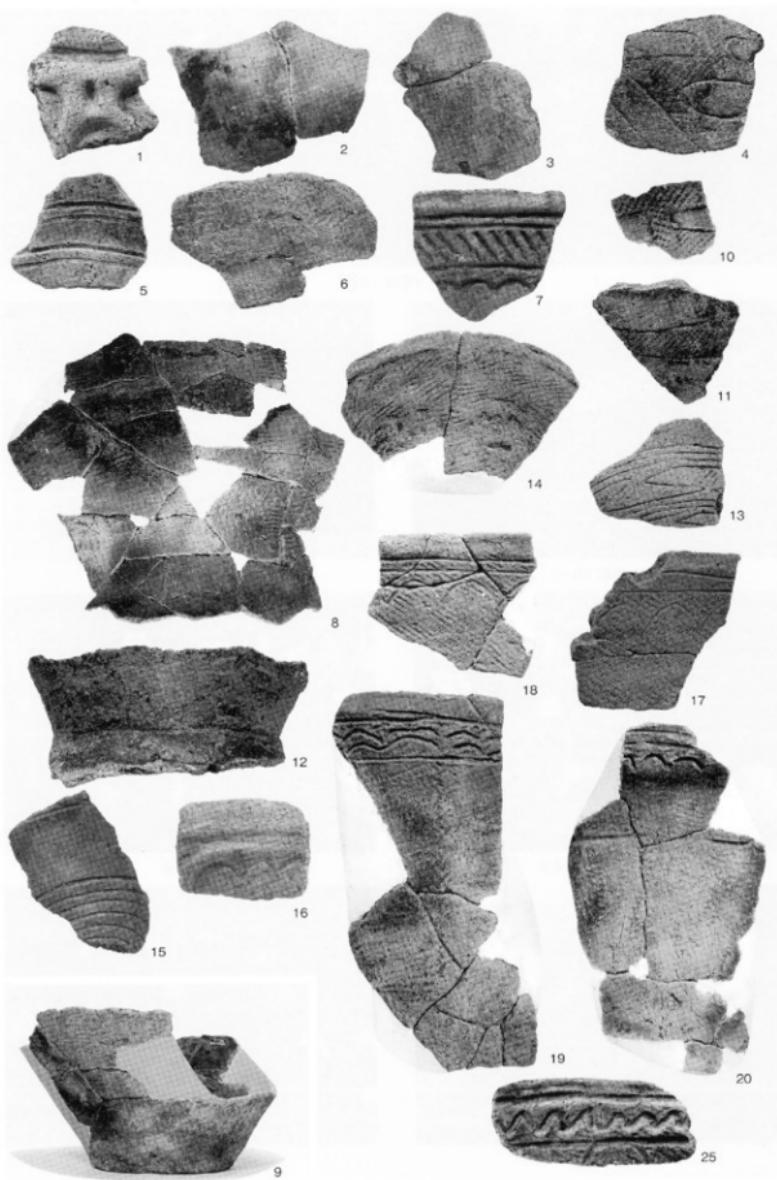


現地公開



9区調査風景

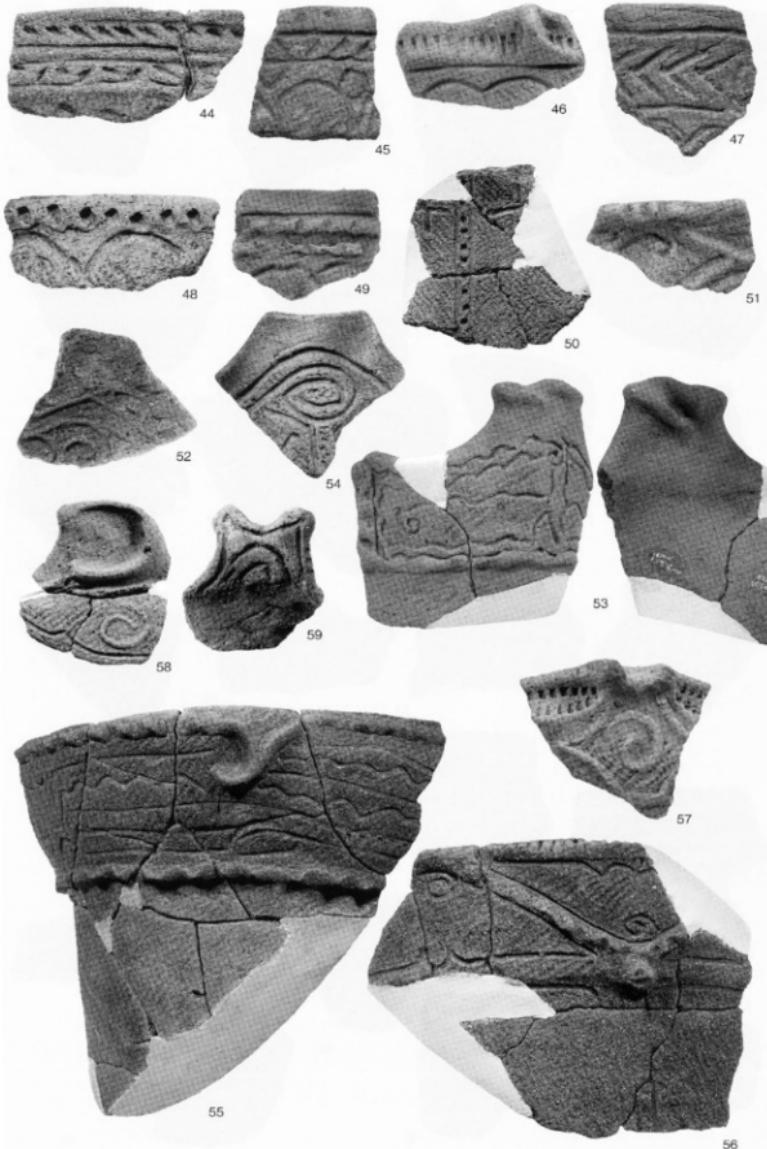
写真図版49 9区捨て場 (6) ほか



写真図版50 繩文土器 1



写真図版51 繩文土器2



写真図版52 繩文土器 3



60



62



63



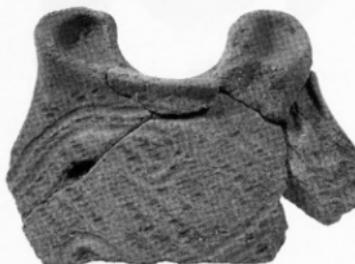
61



64



65



66



67



写真図版53 繩文土器 4



68



71



69



72



70



73



74



75

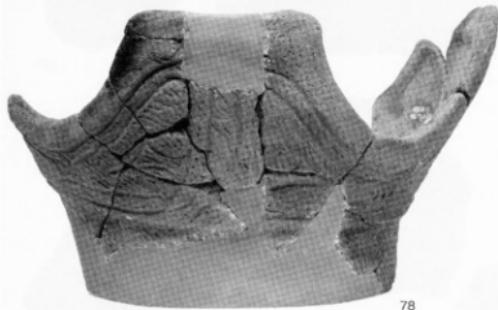
写真図版54 繩文土器 5



76



77



78



80



81



82



79



83

写真図版55 繡文土器 6



84



85



86



87



90



89



88



91



93



94



92

写真図版56 繩文土器 7



写真図版57 繩文土器 8



108



109



110



111



112



113



114



115



116



117

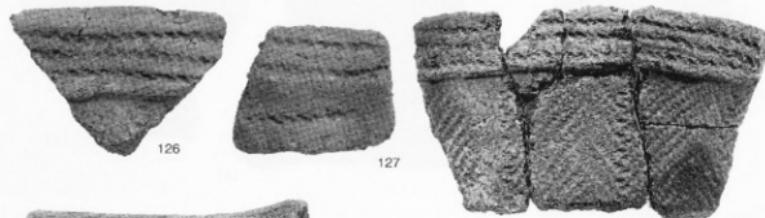


118



119

写真図版58 繡文土器9



写真図版59 繩文土器10



134



136



137



138



139



143



140



141



142



144



135

写真図版60 繩文土器11



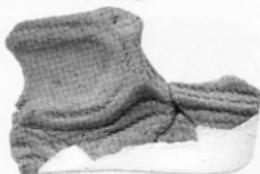
145



146



147



149



148



152



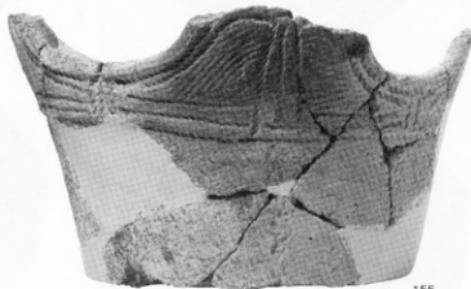
150



151

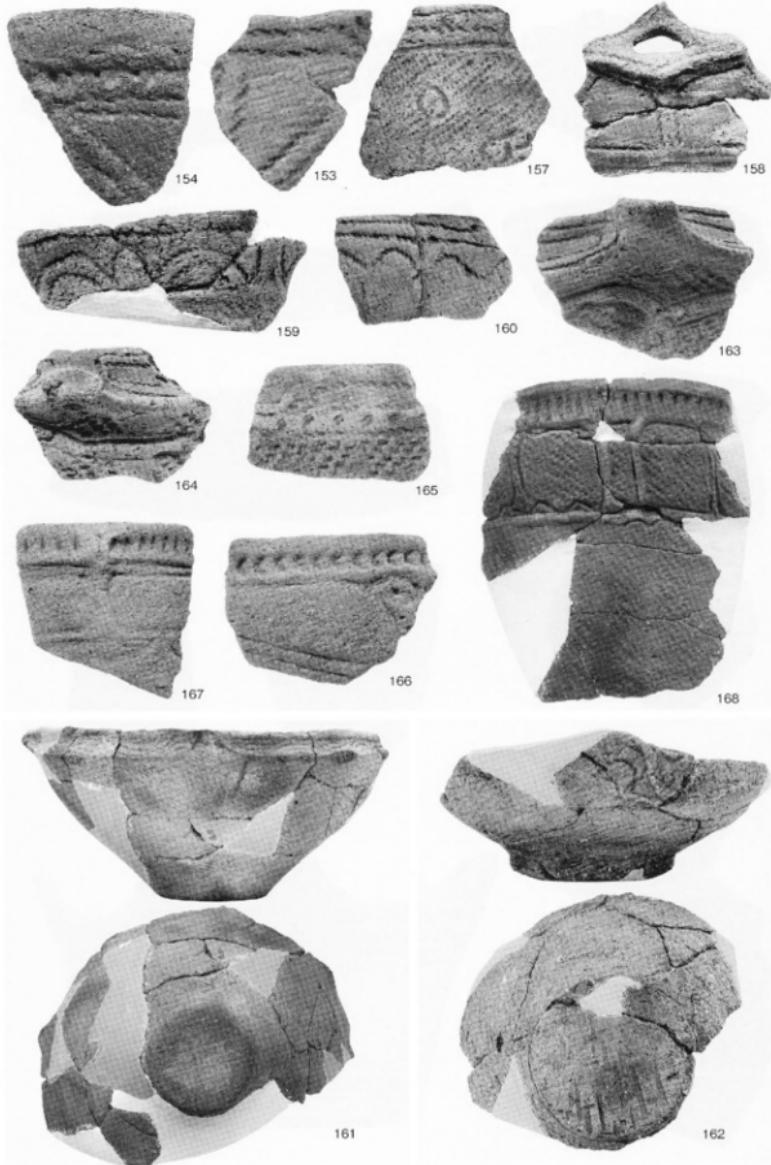


156



155

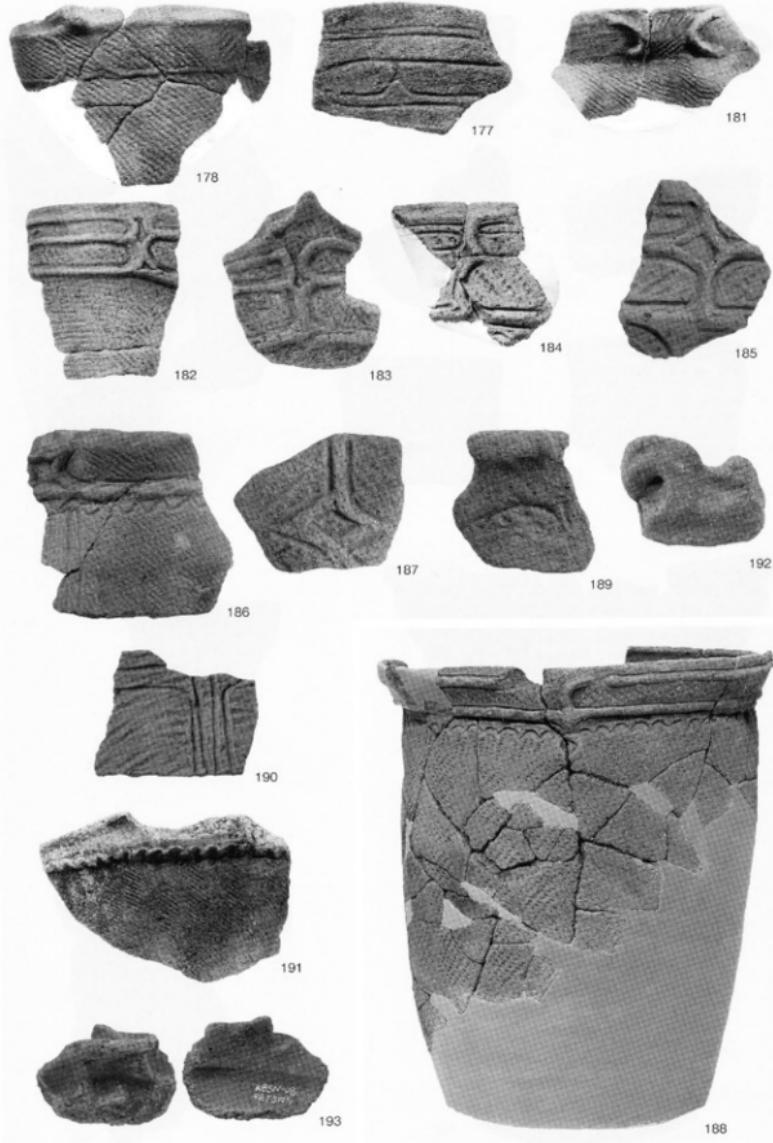
写真図版61 縄文土器12



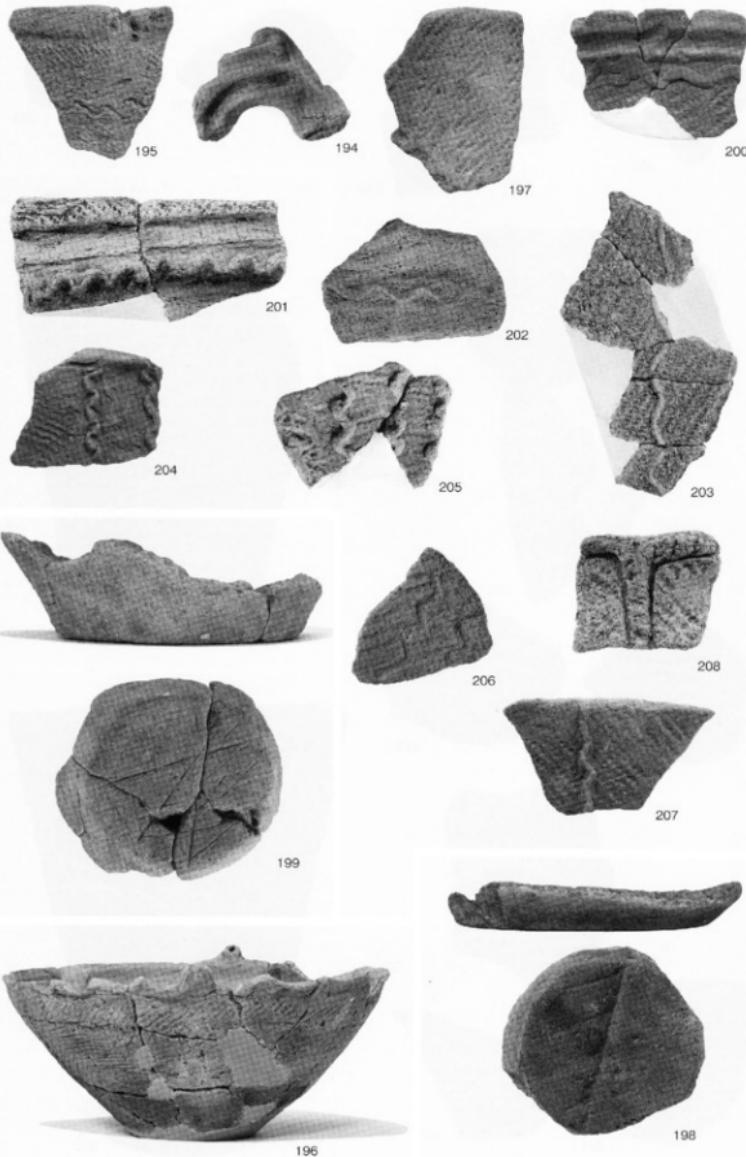
写真図版62 繩文土器13



写真図版63 繩文土器14



写真図版64 繩文土器15



写真図版65 繩文土器16



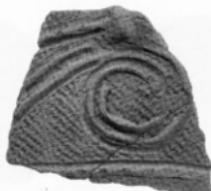
写真図版66 繩文土器17



写真図版67 縄文土器18



233



234



235



236



237



238



239



241



242



243



240



244



245



246



247

写真図版68 繩文土器19



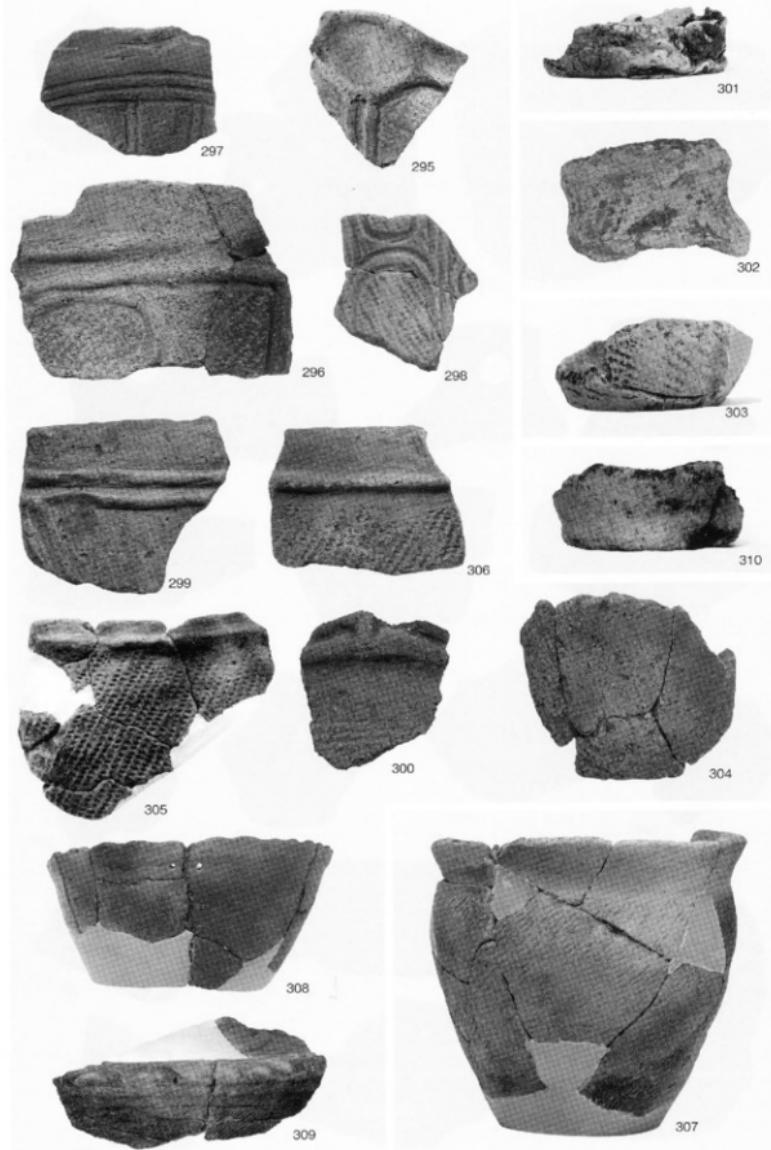
写真図版69 縄文土器20



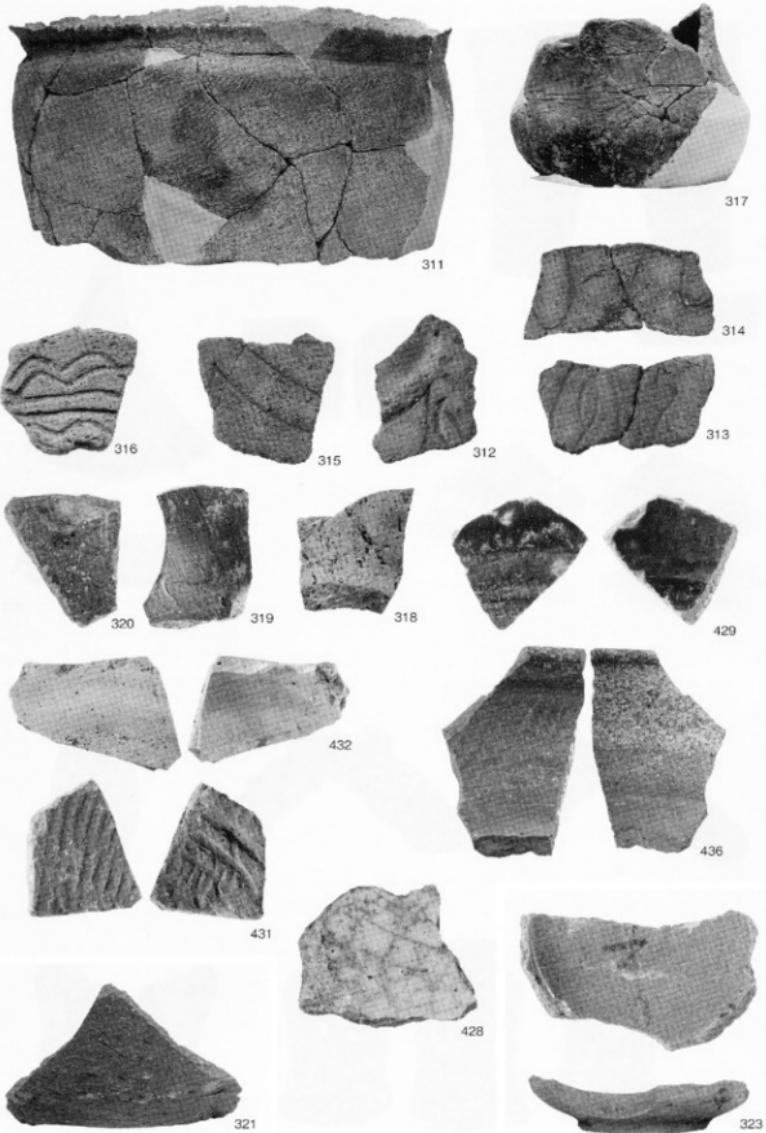
写真図版70 繩文土器21



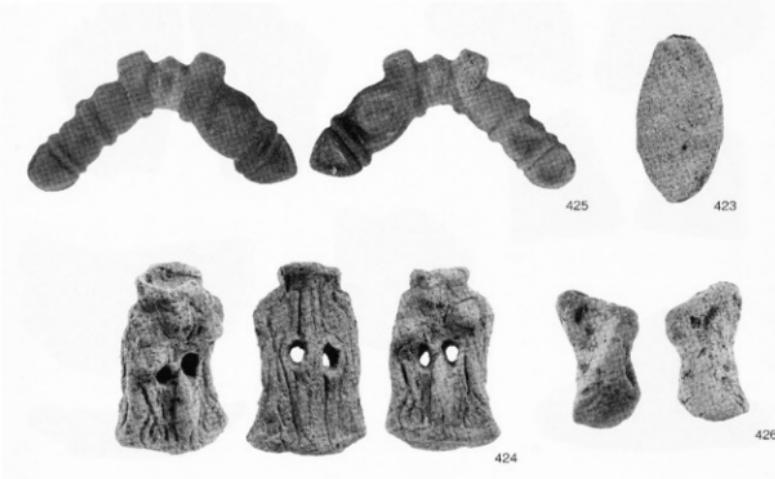
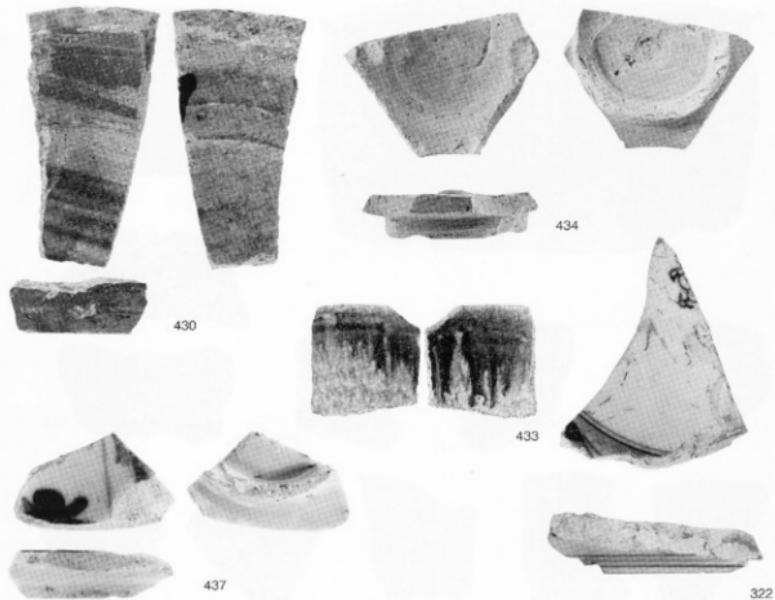
写真図版71 繩文土器22



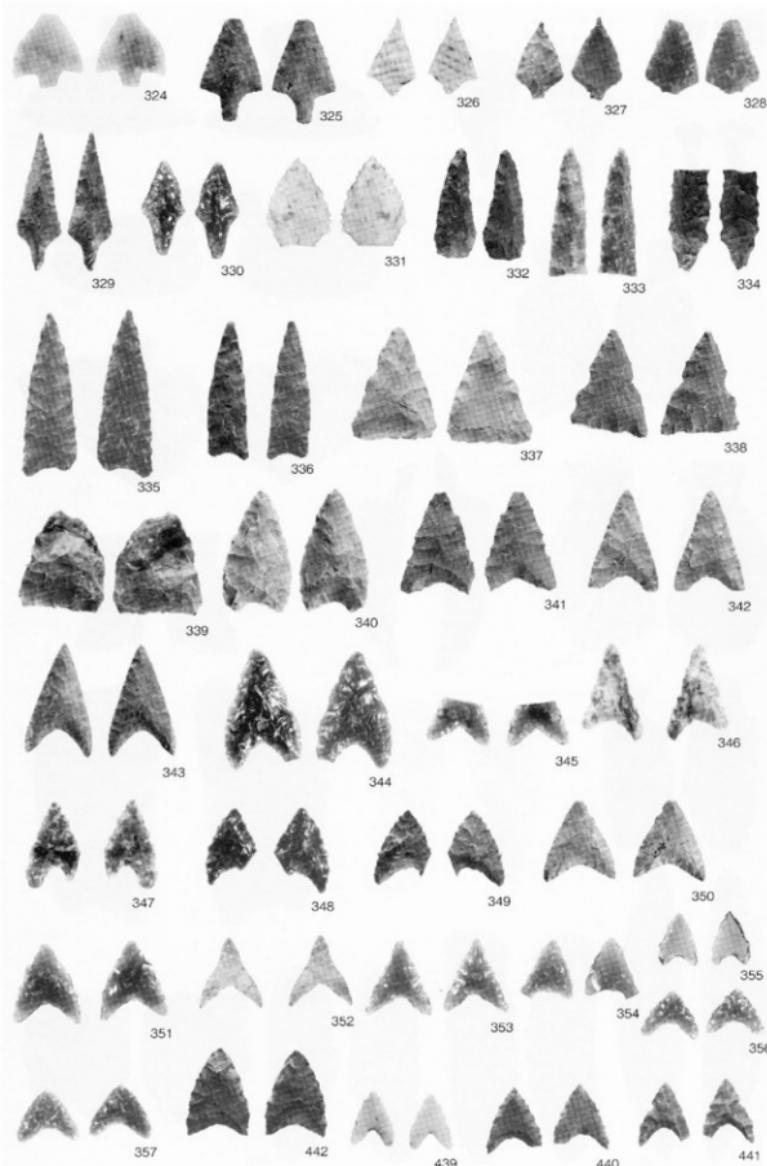
写真図版72 縄文土器23



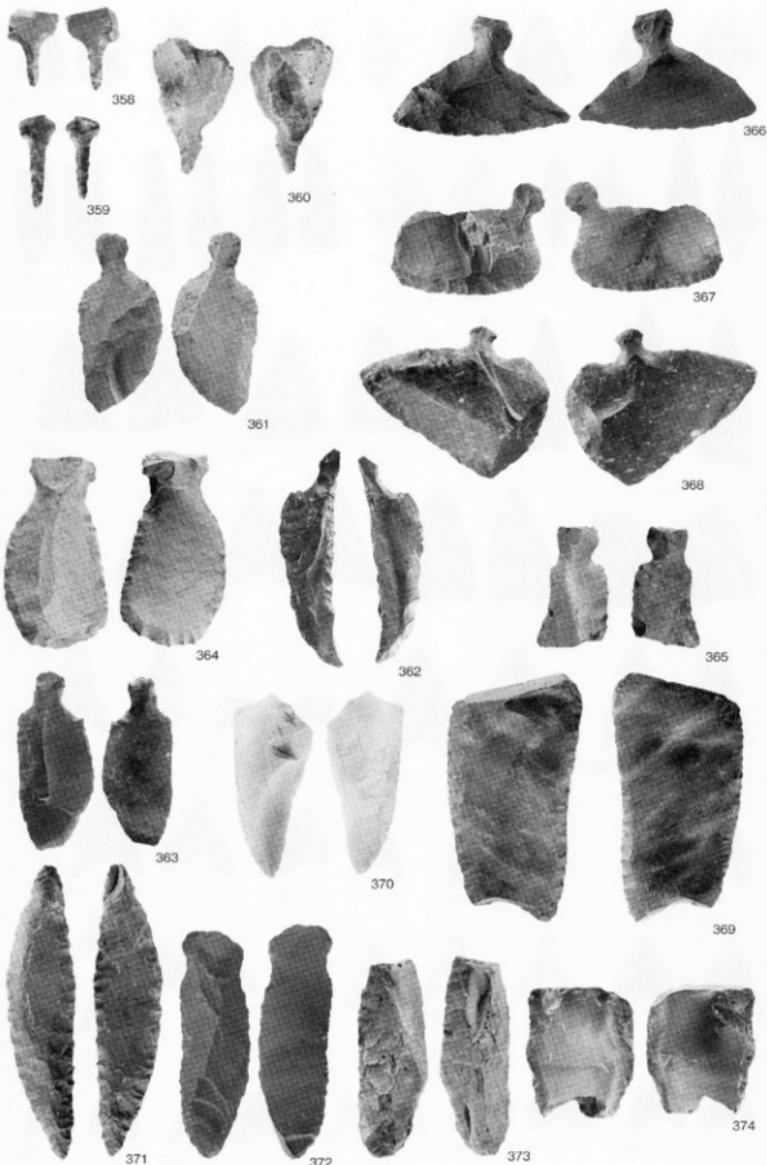
写真図版73 繩文土器24、土師器、須恵器、陶磁器



写真図版74 陶磁器、土製品、石製品



写真図版75 石器1



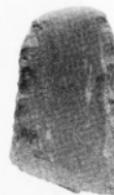
写真図版76 石器2



写真図版77 石器 3



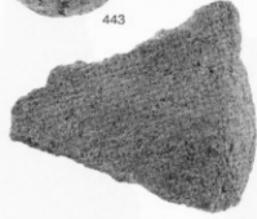
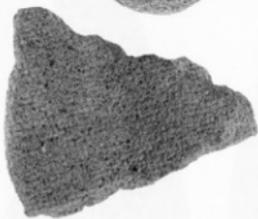
写真図版78 石器4



410

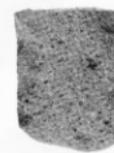
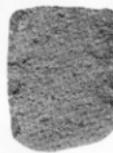


412



444

408



411

409



415

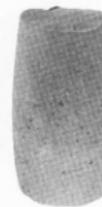
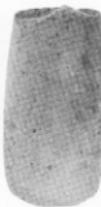
写真図版79 石器5



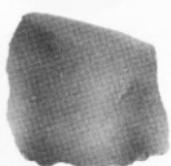
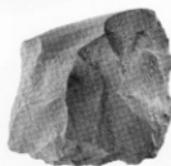
413

416

417



414



418



422



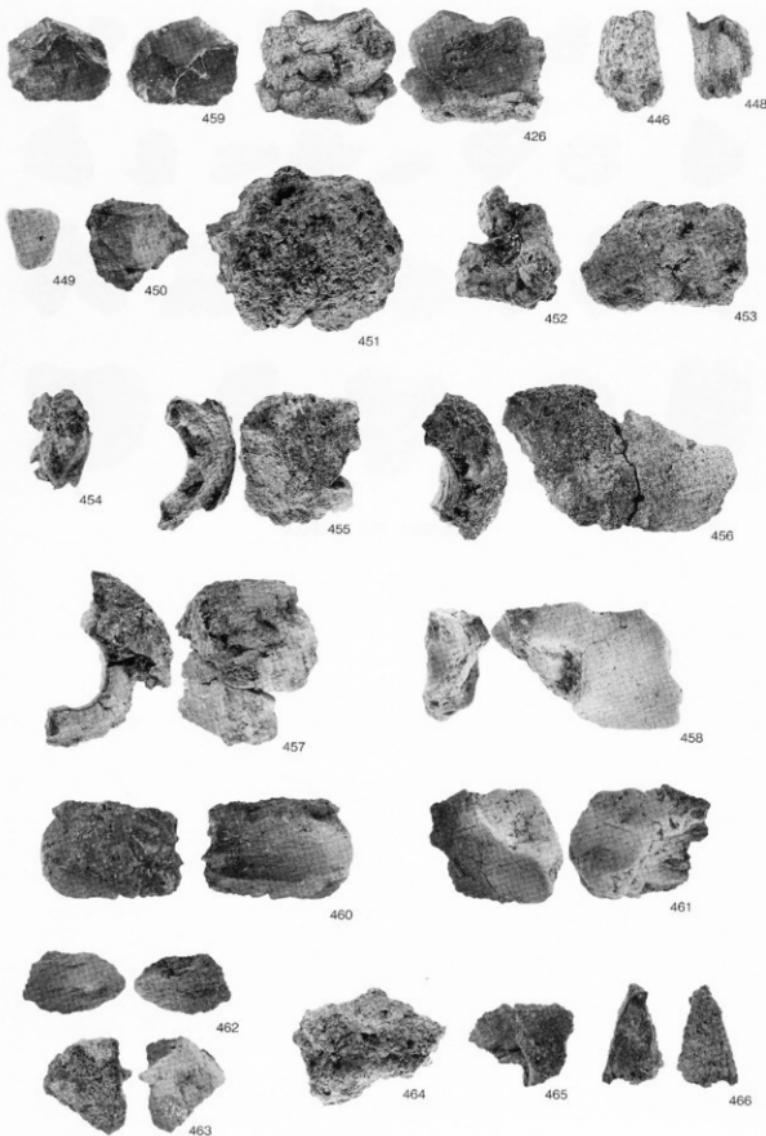
420



419



421



写真図版81 羽口、鉄津ほか



写真図版82 羽口、鉄津ほか

## 報告書抄録

|        |   |
|--------|---|
| ふりがな   | あいのいせき・こばやしげながいせきはつくつちょうさほうこくしょ                 |
| 書名     | 合野遺跡・小林兼長遺跡発掘調査報告書                              |
| 副書名    | 経営体育成基整備事業白山地区開発遺跡発掘調査                          |
| 卷次     |   |
| シリーズ名  | 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書                            |
| シリーズ番号 | 第570集   |
| 編著者名   | 菊池呂彦・杉沢昭太郎                                      |
| 編集機関   | (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター                          |
| 所在地    | 〒020-0853 岩手県盛岡市下巣鴨11地割185番地 TEL (019) 638-9001 |

| 発行年月日 | 2010年2月19日          | ふりがな  | ふりがな      | コード       | 北緯         | 東經 | 調査期間                    | 調査面積                | 調査原因                  |
|-------|---------------------|-------|-----------|-----------|------------|----|-------------------------|---------------------|-----------------------|
| 所収遺跡名 | 所在地                 | 市町村   | 道跡番号      |           |            |    |                         |                     |                       |
| 合野遺跡  | 岩手県奥州市前沢区白山字合野4-1ほか | 03382 | NE47-0084 | 39度04分25秒 | 141度09分20秒 | ~  | 2008.04.01<br>2008.6.30 | 4,275m <sup>2</sup> | 経営体育成基整備事業白山地区に係る発掘調査 |

| 所収遺跡名 | 種別         | 主な時代                     | 主な遺構   | 主な遺物   | 特記事項                      |                          |
|-------|------------|--------------------------|--|--|---------------------------|--------------------------|
| 合野遺跡  | 狩り場<br>集落跡 | 縄文時代<br>平安時代<br>近世<br>不明 | 階下穴状遺構<br>上坑<br>円形周溝<br>掘立柱建物<br>井戸<br>上坑<br>溝<br>焼土<br>掘立柱建物<br>井戸<br>柱穴状遺構 | 1基<br>5基<br>1基<br>1棟<br>2基<br>5基<br>9条<br>4基<br>1棟<br>1基 | 縄文土器・石器<br>土師器・須恵器<br>陶磁器 | 柱穴状遺構・井戸・土坑等は北区中央部に集中する。 |

|    |  |
|----|--|
| 要約 | 今回の調査で、本遺跡周辺は縄文時代の狩り場、平安時代から近世にかけての居住域だったことが明らかになった。特に平安時代の井戸が確認されたことで、当時の人々がそこで生活用水を確保していたことがわかった。一部の瓶十の形状や土器出土状況から、堅穴住居とそれに付随するカマドがあつたことも推測されるが、水出し窓の際に上部が削られたものと見られ堅穴住居は確認できなかった。溝は農業用水や生活用水に活用する水を供給したものとみられる。円形周溝は平安時代のものと思われるが詳細は不明である。調査区北西にある掘立柱建物は近世の祠跡と思われる。 |
|----|--|

## 報告書抄録

|        |  |       |               |                      |                    |  |                              |
|--------|--|-------|---------------|----------------------|--------------------|--|------------------------------|
| ふりがな   | あいのいせき・こばやしげながいせきはっくつちょうさはうこくしょ  |       |               |                      |                    |  |                              |
| 書名     | 台野遺跡・小林繁長遺跡発掘調査報告書   |       |               |                      |                    |  |                              |
| 副書名    | 経営体育成基盤常備事業白山地区周辺遺跡発掘調査  |       |               |                      |                    |  |                              |
| 卷次     |  |       |               |                      |                    |  |                              |
| シリーズ名  | 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書   |       |               |                      |                    |  |                              |
| シリーズ番号 | 第570集  |       |               |                      |                    |  |                              |
| 編著者名   | 杉沢昭太郎・菊池昌彦   |       |               |                      |                    |  |                              |
| 編集機関   | (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター   |       |               |                      |                    |  |                              |
| 所在地    | 〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地 TEL (019) 638-9001  |       |               |                      |                    |  |                              |
| 発行年月日  | 2010年2月19日   |       |               |                      |                    |  |                              |
| ふりがな   | ふりがな   | コード   | 北緯            | 東経                   | 調査期間               | 調査面積                                       | 調査原因                         |
| 所取遺跡名  | 所在地  | 市町村   | 遺跡番号          | ...                  | ...                | ...  | ...                          |
| 小林繁長遺跡 | 岩手県奥州市   | 03382 | NE47-1046     | 39度<br>04分<br>15秒    | 141度<br>09分<br>30秒 | 2008.07.01<br>~<br>2008.10.31              | 3,989m <sup>2</sup>          |
|        | 前沢区白山字   |       |               |                      |                    |  | 経営体育成基盤<br>事業白山地区に<br>係る発掘調査 |
|        | 小林3-1ほか  |       |               |                      |                    |  |                              |
| 所取遺跡名  | 種別   | 主な時代  | 主な遺構          | 主な遺物                 | 特記事項               |  |                              |
| 小林繁長遺跡 | 集落跡  | 縄文時代  | 住居<br>捨て場     | 1棟<br>2箇所            | 縄文土器・石器            | 縄文時代中期前葉～中葉の<br>住居域と中期中葉～後葉の<br>住居域の2ヶ所がある |                              |
|        |  | 弥生時代  | 住居状遺構         | 1基                   | 弥生土器               |  |                              |
|        |  | 近世    | 土坑<br>掘立柱建物   | 1基<br>1基             |                    |  |                              |
|        |  | 不明    | 井戸<br>土坑<br>溝 | 1基<br>1基<br>9基<br>8条 | 陶磁器・羽口・鉄滓          |  |                              |
|        |  |       |               |                      |                    |  |                              |
| 要約     | 遺跡は北上川西岸の沖積平野に立地する。遺跡北東端には縄文時代中期前葉から中葉にかけての比較的大きな捨て場が形成されていたことが明らかになった。調査区外になるがこの捨て場の南側に居住域が広がっていると推察される。遺跡西端にも規模は小さいが縄文時代中期中葉から後葉の捨て場と住居が見つかっており、時期ごとに居住域が遺跡内に変わっている点を指摘できる。縄文時代中期前葉から中葉の捨て場では、肩位的に土器を分けられのような状況ではなく、絶え間なく廻収行為が繰り返されていた様相を呈していた。その一方で縄文時代前期末から中期初頭の土器を含まないため、県南部におけるこの時期の土器群を型式学的に理解する上で有効な資料となる。 |       |               |                      |                    |  |                              |

---

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第570集  
合野遺跡・小林繁長遺跡発掘調査報告書  
経営体育成基盤整備事業白山地区関連遺跡発掘調査

印 刷 平成22年2月15日

発 行 平成22年2月19日

編 集 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター  
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地  
電 話 (019) 638-9001  
発 行 岩手県県南広域振興局農林部農村整備室  
〒023-1111 岩手県奥州市江刺区大通り7-13  
電 話 (0197) 35-8443  
(財)岩手県文化振興事業団  
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸13番1号  
電 話 (019) 654-2235  
印 刷 有限会社 内海印刷 盛岡営業所  
〒020-0875 岩手県盛岡市清水町8-8-108  
電 話 (019) 622-0288

